Canon

レーザビームプリンタ

Satera LBP5900SE

ユーザーズガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。


このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。



このマークが付いているガイドは、付属の取扱説明書 CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

• プリンタを設置するには
• パソコンと接続するには
• オプション品を取り付けるには

設置ガイド



• トラブルの簡単な解決方法を知るには
• プリンタの簡単な使いかたを知るには

かんたん操作ガイド



• 基本的な使いかたを知るには
• 困ったときには

ユーザーズガイド（本書）



• プリンタドライバのインストール方法を知るには
• 印刷するには
• 添付ソフトウェアの使いかたを知るには

LIPS ソフトウェアガイド／本編



• いろいろなネットワークの設定方法を知るには

ネットワークガイド／本編



• 操作パネルを使ってプリンタを設定するには

LIPS 機能ガイド



• Web ブラウザからプリンタを操作・設定するには

リモート UI ガイド



別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル

LIPS 対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

オプション品に付属の取扱説明書

オプション品の設置のしかたや使いかたを説明しています。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品とは異なる場合があります。

本書の構成について

第 1 章 お使いになる前に　必ずお読みください

第 2 章 プリンタの使いかた　必ずお読みください

第 3 章 給紙・排紙のしかた　必ずお読みください

第 4 章 日常のメンテナンス

第 5 章 困ったときには

第 6 章 付録

おもな仕様、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内、索引などを掲載しています。

目次

第 1 章　お使いになる前に

第 2 章　プリンタの使いかた

第３章　給紙・排紙のしかた

第４章　日常のメンテナンス

第 5 章　困ったときには

第 6 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン LBP5900SE をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告　取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意　取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンについて

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

• 操作パネル上のキー：[キー名称]

例：[オンライン]
　　[ユーティリティ]

• コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

例：[OK]
　　[変更]

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版：	Windows NT
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版：	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® operating system：	Windows

本書では、日本郵政公社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

規制について

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS、NetSpot、PageComposer は、キヤノン株式会社の商標です。

FontComposer、FontGallery は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、EtherTalk、Mac OS、Macintosh、TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

HP、HP-GL は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

IBM、AT、PowerPC、PS/55 シリーズは、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

ESC/P、ESC/P-J84 は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

PC-9800 シリーズは、日本電気株式会社の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。

下記の書体は米国 Bitstream Inc. よりライセンスを受けています。

Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Roman, Swiss 721, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Oblique, Symbol, Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Oblique 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold Oblique 10 Pitch/Text

下記の書体は米国 Bitstream Inc. の商標です。

Dutch 801, Swiss 721

本製品で使用している明朝体、ゴシック体のフォントは、それぞれ平成明朝体 TM W3、平成角ゴシック体 TM W5 を使用しています。これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律	• 刑法 • 著作権法 • 通貨及証券模造取締法 • 外国二於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造二関スル法律	• 郵便法 • 郵便切手類模造等取締法 • 印紙犯罪処罰法 • 印紙等模造取締法

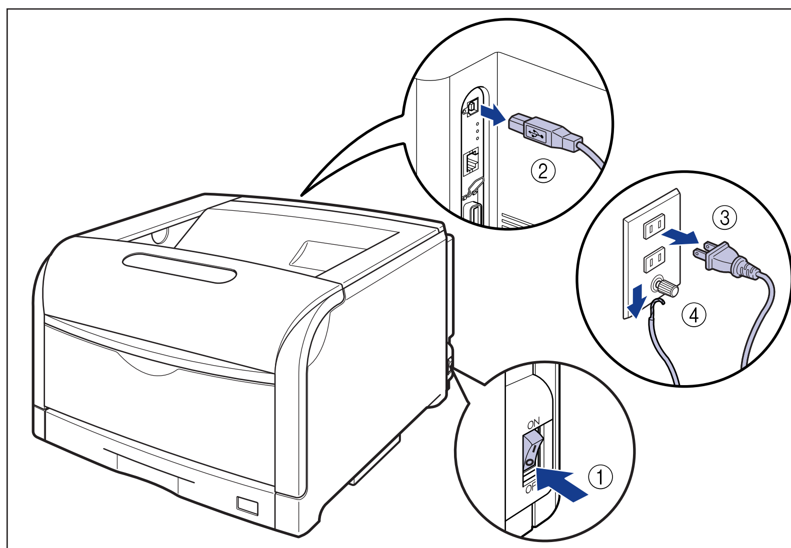
安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし①、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください②。そのあと、電源プラグを抜いて③、アース線を取り外し④、お買い求めの販売店にご連絡ください。
  - ・アクセサリーなどの金属物
  - ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器



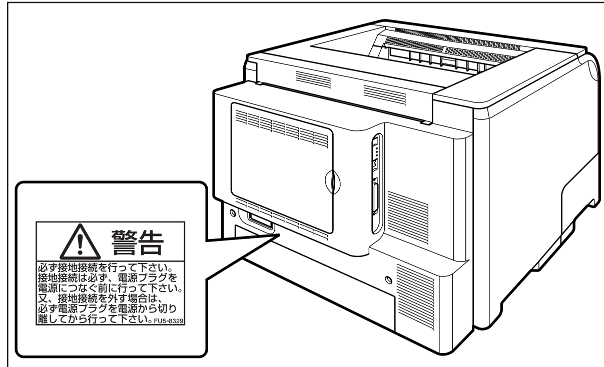
注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・高温になる場所
  - ・火気に近い場所
- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。（→プリンタを移動する：P.4-70）

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。



- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  ［アース線を接続してもよいもの］

  ・電源コンセントのアース線端子

  ・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

  ［アース線を接続してはいけないもの］

  ・水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ・ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。

  ・電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。

  ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。

  ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。

  ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。

  ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

  ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気部品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやステイプル針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

注意

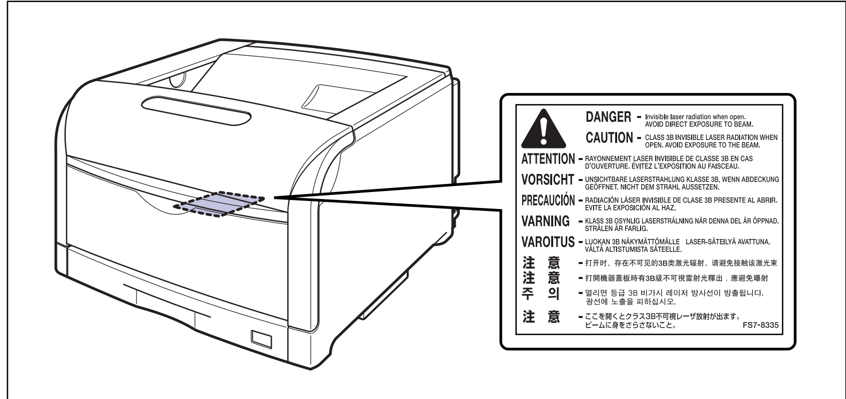
- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- メインボードや拡張ボード、RAM、ROM の取り扱いには注意してください。メインボードや拡張ボード、RAM、ROM の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

  ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。

  ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。

  ・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。



- この製品は IEC60825-1:1993 においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。

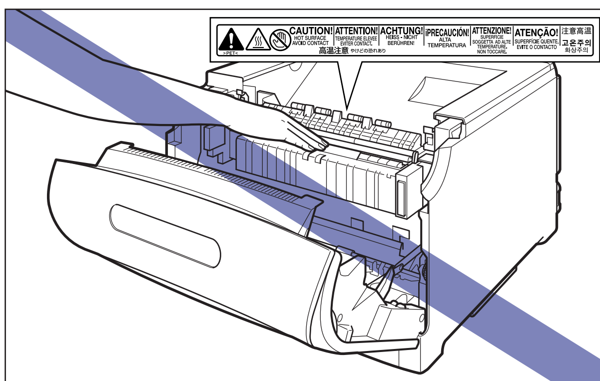
保守／点検について

⚠ 警告

- 清掃のときは、電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周囲にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのドラムカートリッジやトナーカートリッジ、廃トナー容器を火中に投じないでください。ドラムカートリッジやトナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。



- 紙づまり処理やドラムカートリッジ、トナーカートリッジ、廃トナー容器を交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

注意

トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

その他

警告

ドラムカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらドラムカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

1
CHAPTER

お使いになる前に

この章では、本プリンタのおもな特長と基本的な機能について説明しています。



製品の特長

本プリンタのおもな特長を説明しています。

■ **高品位 A3 フルカラープリント**

印字機構に A3 カラーレーザプリンタエンジンを搭載。さらにデータ処理解像度を 600dpi ／多値処理とすることで、高画質フルカラープリンティングを A3 サイズで実現しました。

■ **高速プリント**

高速 CPU や、新 PDL の採用によりコントローラ処理時間の高速化を実現。さらに現像ドラムを 4 つ持つことで、従来モノクロプリントの 4 倍の時間を要したカラープリントが、モノクロプリント同様のスピード（毎分 30 枚）で行うことが可能になりました。

■ **エコロジー**

「資源エネルギー庁長官賞」受賞経験のある低消費電力を実現したオンデマンド定着方式を採用。オフィス機器における省エネルギー化推進のための国際的なプログラムである「国際エネルギースタープログラム」の基準に適合しています。さらにスタンバイ時の消費電力を抑える「スリープモード」機能を搭載することで、低消費電力化を追求しています。また、トナーの使用量を約半分*に抑えて印刷するドラフトモード等の機能を備える優れたエコロジープリンタです。

＊注　データによって異なります。

■ **超高精細画質**

印字機構に 1200dpi エンジンを搭載し、文字はもちろん写真データやグラデーションの印刷において超高精細画質を可能にしました。LIPS プリンタドライバもデータ解像度 1200dpi 処理に対応することで「スーパーファインモード」を実現し、鮮明な画質の表現力を高めました。また、「ファインモード」時には、より豊かな階調表現を可能にした「高階調モード」に対応。高画質プリントと超高速プリントの両立を可能にしました。

■ **多彩なペーパーハンドリング**

標準の手差しトレイとユニバーサルカセットに加え、オプションで 550 枚ペーパーフィーダを用意。最大 2000 枚、5 種類の用紙サイズの連続自動給紙を可能にしました。また、手差しトレイは、手差し両面プリントが可能で、用紙サイズもハガキから最大 A3、長尺紙にまで対応しており、多様な用途に応じた使いかたを可能にしています。

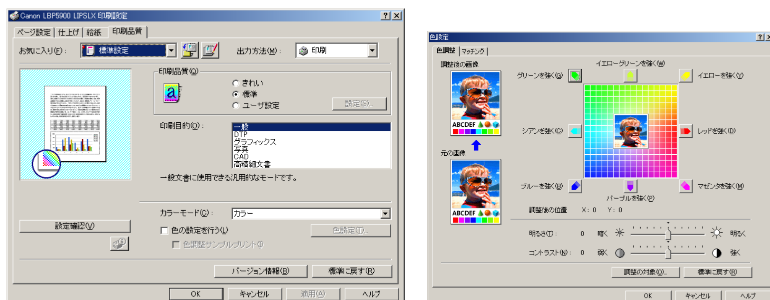


長尺紙は、LIPS LX プリンタドライバからのみプリントすることができます。

■ 簡単操作のカラーコントロール

カラーマトリックスを使ったユーザインタフェースにより直観的でわかりやすい色調整を実現。しかも調整前と調整後の画像サンプルを 1 枚の用紙に出力するサンプルプリント機能により好みの色を簡単・確実に確認できます。

また、カラーページを自動的に判別するオートカラー機能により、白黒モードとカラーモードをいちいち切り替える必要がなくなりました。もちろん期待通りの色再現を実現する、キヤノン独自のカラーマネジメントシステム「ColorGear」も搭載。ドキュメントを構成する文字、写真、絵の各要素毎に最適な色補正を行うカラーマッチングを簡単操作で実現しています。



■ ネットワークプリンタ

10BASE-T/100BASE-TX　対応のプリントサーバを標準装備。TCP/IP、SMB、AppleTalkのプロトコルに対応しており､多様なホスト／OS環境に対応するネットワークプリンタとして、すぐにお使いになれます。また、高速 DMA 転送（プリンタのメモリに直接データを送る）や自動インタフェース切り替え、自動エミュレーション切り替え機能によって、ネットワーク環境下での快適なプリンティングを実現しています。

標準装備のプリントサーバには､ブラウザを使ってプリンタの機能が設定できる｢リモートUI｣を内蔵しており､プリンタの設定･管理をネットワーク上のパソコンから行えます。

メモ　本プリンタに内蔵のプリントサーバの対応 OS、設定のしかた、詳細については「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

■ ユーザフレンドリー

高速な USB2.0 インタフェースを標準装備し、Windows のみでなく Mac OS にも対応可能となった簡単操作が自慢の LIPS プリンタドライバを用意しました。
印刷したい設定をアイコンで簡単に選択できる「お気に入り」メニューや、複数ページ印刷機能、製本作業を容易にした「仕上げ」等の便利なプリント機能を使用できます。
さらに、パソコン上でネットワークに接続されたプリンタの設定や管理を行うプリンタ管理ユーティリティ「NetSpot Device Installer」を提供します。プリンタの使用状況や出力総量の集計・分析が可能な「NetSpot Accountant」（有償）やプリンタの状態や印刷状態、自分の印刷が終わったかどうかをパソコン画面に知らせてくれる印刷終了通知等の機能を持った印刷ユーティリティソフトウェアの｢NetSpot Job Monitor｣等を同梱しています。

メモ　本プリンタに付属されているソフトウェアの対応 OS、インストールのしかた、詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」を参照してください。

■ セキュリティ機能が充実

オプションのハードディスクを装着すると、印刷時にパスワードの入力が必要な「セキュアプリント」機能に加え、データ通信時のセキュリティを強化した「暗号化セキュアプリント」機能を使用することができます。また、ハードディスク内のデータを完全に消去する「ハードディスク完全消去」機能やリモート UI の通信に SSL を使用することができ、より安全なプリント環境を実現しました。



暗号化セキュアプリントに必要なソフトウェアについては、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」を参照してください。ソフトウェアのインストール方法については、オプションのハードディスクに同梱されている CD-ROM「暗号化セキュアプリント ドライバ Add-in for Client PC」内の Readme.txt を参照してください。

■ さまざまなプリント方法に対応

本プリンタはネットワーク上にある様々なメーカーのプリンタやスキャナを共通のフォーマットを用いて接続することができる BMLinkS に標準で対応しています。また、TIFF や JPEG のデータを直接プリンタに送って印刷する「ダイレクトプリント」機能や、E メールをプリンタに送って印刷する「E メール印刷」機能にも対応しています（E メール印刷はオプションのハードディスク使用時のみ可能）。

■ TrueType フォント「FontGallery」同梱

和文 20 書体、かな 31 書体、欧文 100 書体を標準で CD-ROM に収録しています。プリンタ内蔵の「平成明朝体 W3」「平成角ゴシック体 W5」フォントと組み合わせてお使いいただくことで、WYSIWYG 環境を実現できます。
また、かなフォント組み替えユーティリティ「FontComposer」により、FontGallery の各種 TrueType フォントのかな部分（ひらがな、カタカナ、記号文字等）との組み替えが簡単に行え、より豊かな文章表現が可能です。



同梱のプリンタドライバや各種ユーティリティソフトウェアの対応 OS につきましては、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」を参照してください。

■ LIPS V に対応

LBP5900SE は、LIPS の資産を継承した、最新テクノロジーである「LIPS V」に対応しています。LIPS V は、LIPS IV（LIPS II+、LIPS III を含む）および LIPS LX から構成されています。
LIPS LX は、最新の OS に最適化されたプリンティングシステムで、印刷処理をパソコンとプリンタで分散させて行なうため、高速なプリント出力が行なえます。また、プリンタのメモリ追加を行なわない場合でも、高速なプリント出力が可能です。



LIPS LX は Windows 2000/XP/Server 2003 および Mac OS X のみで使用可能です。

各部の名称と機能

本プリンタは、いろいろな機能を持つ部品で構成されています。本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

本体

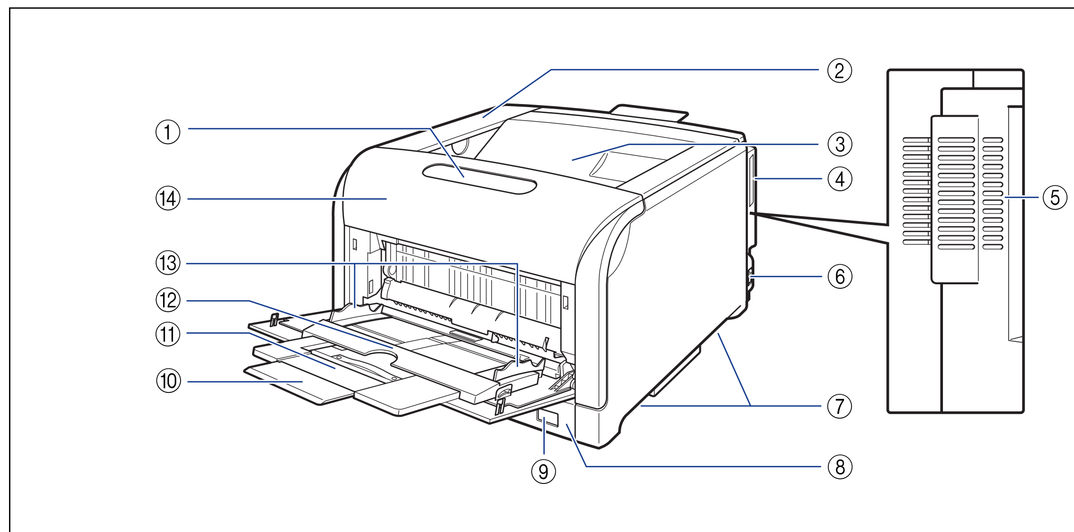
プリンタ本体の各部の名称と機能を説明しています。

注意 本プリンタには通気口（吸気口、排気口）がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口（吸気口、排気口）をふさがれるとプリンタ内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

前面

前面の各部の名称と機能を説明しています。

メモ　操作パネルに貼られているフィルムは、ご使用前にはがしてください。



① **操作パネル**
プリンタの動作や状態を表示したり、機能の設定をします。（→ P.1-9）

② **トナーカバー**
トナーカートリッジを交換するときに、ここを開けて作業します。（→ P.4-3）

③ **排紙トレイ**
プリントされた用紙が下向き（フェースダウン）で排紙されます。（→ P.3-16）

④ **拡張ボードスロット**
オプションのハードディスクを取り付けます。（→設置ガイド「第 3 章オプション品の取り付け」）

⑤ **排気口**
プリンタ内部冷却用の排気口です。

⑥ **電源スイッチ**
プリンタの電源をオン／オフします。(→P. 2-6)

⑦ **運搬用取っ手**
プリンタを運ぶときは、ここを持ちます。(→ P.4-74)

⑧ **給紙カセット**
最大 250 枚までの A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17)、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの用紙がセットできます。(→ P.3-17)

⑨ **用紙サイズ表示**
給紙カセットにセットした用紙サイズの用紙サイズ表示板を差し込みます。(→ P.3-26)

⑩ **延長トレイ**
A3 サイズの用紙などの長いサイズの用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように開けます。

⑪ **補助トレイ**
B4 サイズの用紙などの大きいサイズの用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように引き出します。

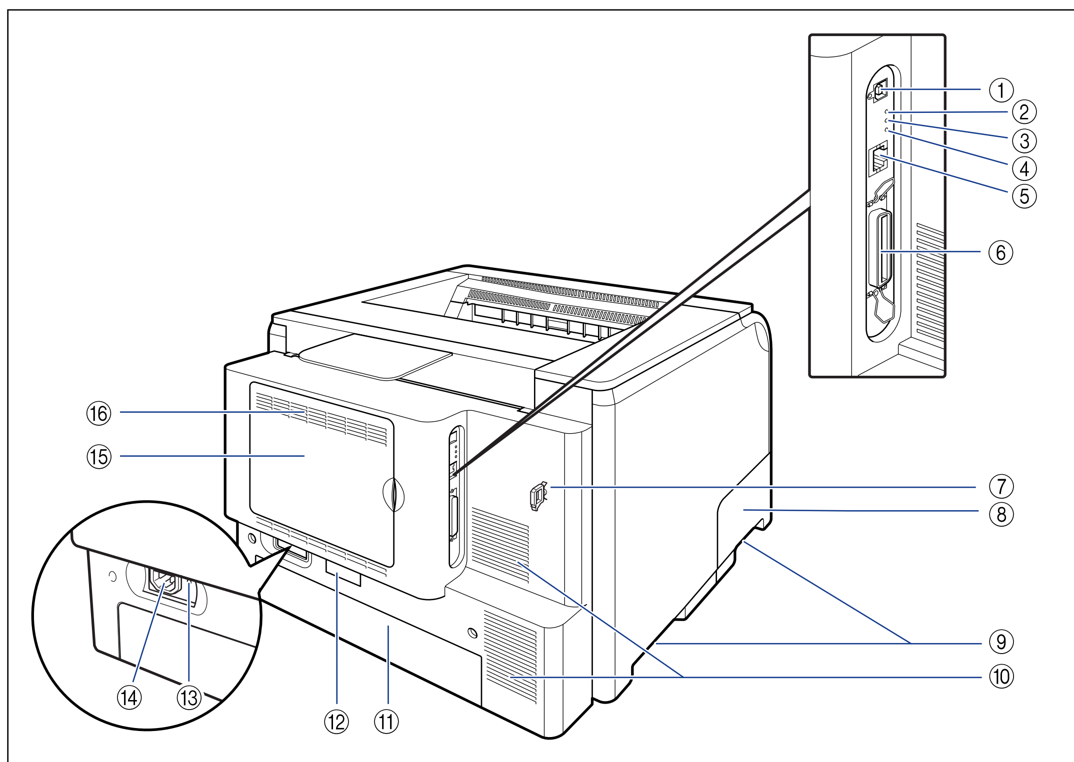
⑫ **手差しトレイ**
用紙を手差しトレイから給紙するときに、用紙をセットします。(→ P.3-51)

⑬ **用紙ガイド**
手差しトレイにセットした用紙の幅に合わせてガイドの位置を調整します。積載制限マークが付いており、このマークまで用紙をセットできます。

⑭ **前カバー**
定着器の交換や紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。(→ P.4-42)

背面

背面の各部の名称と機能を説明しています。



① **USB コネクタ**
USB ケーブルの接続部です。パソコンが USB インタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。

② **100 ランプ（緑色）**
プリントサーバが 100BASE-TX でネットワークに接続されているときに、点灯します。10BASE-T 接続の場合は、点灯しません。

③ **LNK ランプ（緑色）**
プリントサーバがネットワークに正しく接続されているときに点灯します。

④ **COL ランプ（オレンジ色）**
ネットワーク上でデータの衝突（コリジョン）が発生しているときに、点灯または点滅します。

⑤ **LAN コネクタ**
10BASE-T/100BASE-TXのLANケーブル接続部です。

⑥ **パラレルコネクタ**
IEEE1284 準拠の 8 ビットパラレルインタフェースケーブルの接続部です。パソコンのプリンタポートがパラレルインタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。（→ P.6-14）

⑦ **ケーブルガイド**
プリンタに LAN ケーブルを接続したときは、ここに LAN ケーブルを通します。他のケーブルは、通さないでください。

⑧ **廃トナーカバー**
廃トナー容器の交換をするときに、ここを開けて作業します。（→ P.4-54）

⑨ **運搬用取っ手**
プリンタを運ぶときは、ここを持ちます。（→ P.4-74）

⑩ **排気口**
プリンタ内部冷却用の排気口です。

⑪ **カセット保護カバー**
給紙カセットにゴミやホコリが入らないようにするためのカバーです。給紙カセットを延長して、A3 や B4 サイズなど大きな用紙をセットすると、自動的にカセット保護カバーが上がります。

⑫ **定格銘板ラベル**
プリンタ識別のためのシリアルナンバー（SerialNo.）が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値（10A）は、平均消費電流です。（→ P.6-24）

⑬ **アース線端子**
付属のアース線をこの端子に接続します。

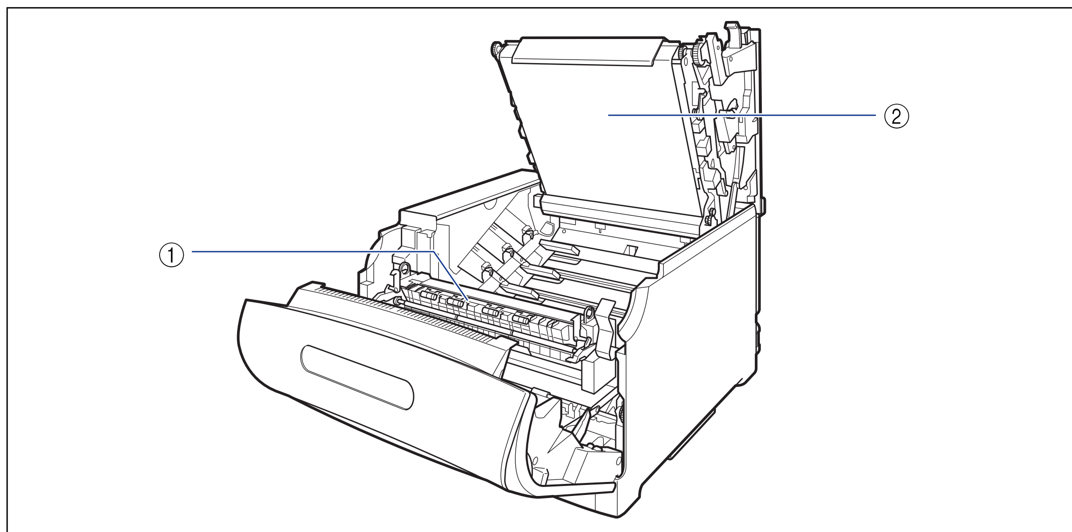
⑭ **電源コード差し込み口**
付属の電源コードをここに接続します。

⑮ **後カバー**
オプションの RAM や ROM、ハードディスクを取り付けるときに、ここを開けて作業します。

⑯ **排気口**
プリンタ内部冷却用の排気口です。

プリンタ内部

プリンタ内部の各部の名称と機能を説明しています。

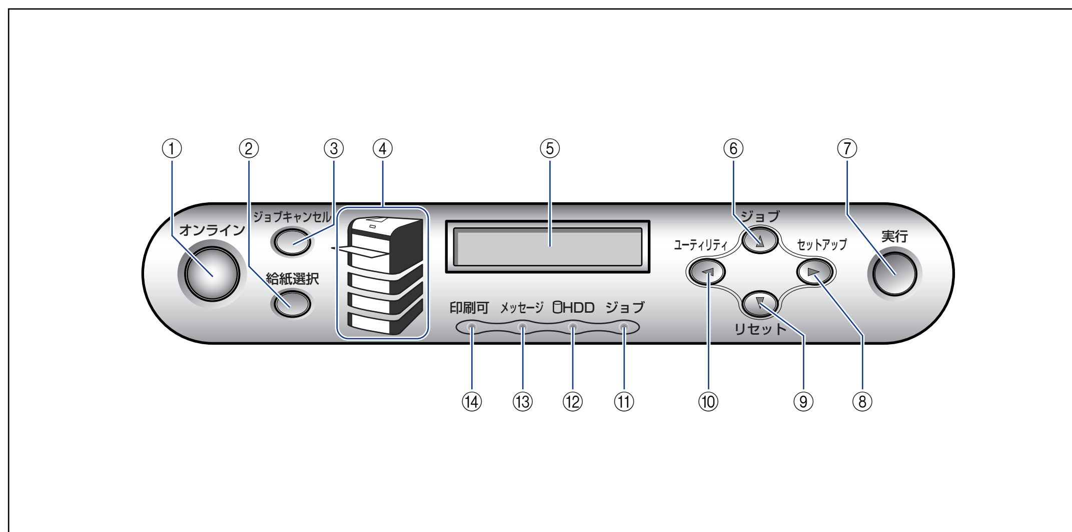


① **定着器（倒した状態）**
トナーを用紙に定着させる装置です。

② **ITB（Intermediate Transfer Belt：中間転写ベルト）ユニット**
4 色のトナーを用紙に転写する装置です。

操作パネル

本プリンタの上部には下図のような操作パネルがあり、この操作パネルで本プリンタの状態を知ったり、本プリンタの持つ各種の機能を使うことができます。



① ［オンライン］キー／オンラインランプ（緑色）

パソコンとの接続をオン（オンライン）／オフ（オフライン）します。
また、エラーが発生してプリンタが停止したときに、そのエラーを一時的に解除してプリントを続行させる機能も持っています。ただし、エラーによっては、このキーを押しても解除できないことがあります。
キー内部にオンラインランプがあり、点滅により次の状態を表示します。
点灯：
オンライン状態（パソコンからプリントデータを受信できる状態）
消灯：
オフライン状態（パソコンからのプリントデータを受信できない状態）。
ただし、プリンタがスリープモードに移行しているときは、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯します。（→ P.2-11）

② ［給紙選択］キー

オフライン時：
給紙選択メニューを表示します。
オンライン時：
給紙選択メニューを表示します。
メニュー操作時：
動作しません。

③ ［ジョブキャンセル］キー

オフライン時：
ジョブランプ点灯または点滅時はジョブキャンセルを行います。ジョブランプ消灯時は、動作しません。
オンライン時：
ジョブランプ点灯または点滅時はジョブキャンセルを行います。ジョブランプ消灯時は、動作しません。

④ 給紙元表示ランプ（緑色）

点灯：
現在選択されている給紙元のランプが点灯します。
点滅：
現在選択されている給紙元の用紙がない、または給紙カセットが装着されていない状態。
消灯：
現在選択されていない状態。オプション品を含む給紙カセットまたはペーパーフィーダが装着されていない状態。

⑤ ディスプレイ

プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。（→ P.1-11）

⑥ **［ジョブ］（▲）キー**
オフライン時：
オフラインの状態では動作しません。
オンライン時：
ジョブメニューを表示します。
メニュー操作時：
ひとつ前のメニュー（上の階層）へ戻します。

⑦ **［実行］キー**
オフライン時：
オフラインの状態では動作しません。
オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。
メニュー操作時：
次のメニュー（下の階層）へ進みます。一番下のメニュー（設定値が表示されている状態）では、設定値を確定します。

⑧ **［セットアップ］（►）キー**
オフライン時：
セットアップメニューを表示します。
オンライン時：
セットアップメニューを表示します。ただし、オンライン状態ではユーザメンテナンスグループの設定はできません。
メニュー操作時：
メニューの右側の項目を表示します。設定値を増やします。

⑨ **［リセット］（▼）キー**
オフライン時：
リセットメニューを表示します。
オンライン時：
リセットメニューを表示します。
メニュー操作時：
次のメニュー（下の階層）へ進みます。一番下のメニュー（設定値が表示されている状態）では、設定値を確定します。

⑩ **［ユーティリティ］（◄）キー**
オフライン時：
オフラインの状態では動作しません。
オンライン時：
ユーティリティメニューを表示します。
メニュー操作時：
メニューの左側の項目を表示します。設定値を減らします。

⑪ **ジョブランプ（緑色）**
点灯：
プリントデータ受信中または、プリンタのメモリにプリントデータが残っている状態。
点滅：
プリントデータを処理している状態。
消灯：
プリンタのメモリにプリントデータが何もない状態。

⑫ **HDD ランプ（緑色）**
点灯：
ハードディスクに読み書きを行っている状態。
消灯：
ハードディスクに読み書きを行っていない状態。

⑬ **メッセージランプ（オレンジ色）**
点灯：
プリンタに何かトラブルが起きてプリントできない状態。（オフラインでスリープモードに入った場合は、メッセージランプ（オレンジ）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。）
消灯：
プリンタが正常な状態。

⑭ **印刷可ランプ（緑色）**
点灯：
プリント可能な状態。（オンラインでスリープモードに入った場合は、印刷可ランプ（緑）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。）
点滅：
自己診断中。ウォーミングアップ中。
消灯：
プリントできない状態。

ディスプレイ

本プリンタの操作パネルには下図のようなディスプレイがあり、プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。

プリント可能な状態

①  ②

操作パネルでメニュー操作中の状態



① **状態、動作欄**
プリンタの状態や動作モードを表示します。

② **給紙元、用紙サイズ欄**
現在選択されている給紙元の用紙サイズを略号で表示します。次の用紙は略号で表示されます。(12 × 18:TxE、レジャー(11 × 17):LD、リーガル:LG、レター:LT、レター縦:LTR、エグゼクティブ:EX、ハガキ:HG、往復ハガキ:H2、4 面ハガキ:H4、洋形 4 号封筒:Y4、洋形 2 号封筒:Y2、角形 2 号封筒:K2、ユーザ設定サイズ:80 ～ 99、ユーザ設定サイズ縦、長尺紙:80R ～ 99R、フリー:FR)

2
CHAPTER

プリンタの使いかた

この章では、本プリンタの基本的な使用方法について説明しています。

ソフトウェアをインストールする

パソコンからプリントするには、プリンタドライバやユーティリティソフトなどのソフトウェアをインストールする必要があります。お使いのパソコンやネットワークに合ったソフトウェアをインストールしてください。

Windows の場合

Windows からプリントするときは、本プリンタに付属の CD-ROM からプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。
本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

重要　BMLinkS プリンタドライバは、付属の CD-ROM には同梱されていません。以下の URL にアクセスし、BMLinkS プリンタドライバをダウンロードしてインストールしてください。インストールのしかたや詳細については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
http://www.jbmia.or.jp/bmlinks/

メモ　プリンタドライバやユーティリティソフトの対応 OS、インストールのしかたや詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」を参照してください。

■ LIPS プリンタドライバ

Windows アプリケーションからプリントするときに必要なソフトウェアです。必ずインストールしてください。

■ NetSpot Device Installer

パソコンからネットワークで接続したプリンタのネットワークプロトコルの初期設定や設定変更を行うユーティリティソフトです。NetSpot Device Installer はパソコンへインストールすることなく使用できるので、簡単にプリンタの初期設定や設定変更を行うことができます。

■ NetSpot Job Monitor

プリンタの状態をパソコンの画面に表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

重要　プリンタとパソコンを USB やパラレルインタフェースで接続した場合、「NetSpot Job Monitor」は使用できません。

DOS の場合

DOS のアプリケーションソフトで本プリンタを使用する場合、各アプリケーションソフトのプリンタ設定で本プリンタまたは互換性のあるプリンタを選択してプリントします。本プリンタは、キヤノン独自の LIPS モードと IBM PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）の ESC/P エミュレーションモードなどの動作モードを内蔵していますので、キヤノン製 LIPS プリンタや ESC/P 準拠プリンタを、互換性のあるプリンタとして選択できます。互換性のあるプリンタの詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」を参照してください。また、オプションのコントロール ROM を装着することにより、PC-9800 シリーズ用、PS/55 シリーズ用のプリンタを、互換プリンタとして選択できたり、HP-GL 対応のアプリケーションソフトからプリントできるようになります。

メモ

- エミュレーションモードのプリントについては、「動作モードについて」（→ P.2-57）を参照してください。
- プリンタ設定の方法については、ご使用のアプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。
- オプションのコントロール ROM については、設置ガイド「第 1 章 設置する前に」を参照してください。

Macintosh の場合

Macintosh からプリントするときは、本プリンタに付属の CD-ROM からプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。
本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

メモ

プリンタドライバやユーティリティソフトの対応 OS、インストールのしかたや詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」を参照してください。

■ LIPS プリンタドライバ

Macintosh アプリケーションソフトからプリントするときに必要なソフトウェアです。EtherTalk 接続用プリンタドライバと USB 接続用プリンタドライバの 2 種類があります。接続方法に合わせて、いずれかを必ずインストールしてください。

■ プリントモニタ

プリンタの状態をパソコンの画面に表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトです。プリンタドライバと一緒にインストールされます。

■ NetSpot Device Installer

パソコンからネットワークで接続したプリンタのネットワークプロトコルの初期設定や設定変更を行うユーティリティソフトです。NetSpot Device Installer はパソコンへインストールすることなく使用できるので、簡単にプリンタの初期設定や設定変更を行うことができます。

ネットワークに接続している場合

ネットワークに接続している場合は、本プリンタに付属のCD-ROMから、ネットワーク管理ソフトとプリンタドライバを、各クライアントパソコンにインストールします。インストールのしかたや詳細については、「LIPSソフトウェアガイド／本編」や「ネットワークガイド／本編」を参照してください。



- 本プリンタをネットワークに接続した場合、ステータスプリントを行ってプリントサーバのMACアドレスなどを確認し、ネットワークOS（UNIXなど）の設定やプリントサーバの設定を行ってください。これらの設定については「ネットワークガイド／本編」を参照してください。
- ネットワークに接続して使う場合のプリントサーバについては、設置ガイド「第2章 プリンタの設置」を参照してください。

電源のオン、オフ

本プリンタの電源は、本体右側面の電源スイッチでオン、オフを行います。思わぬトラブルを避けるため、正しい手順を覚えてください。

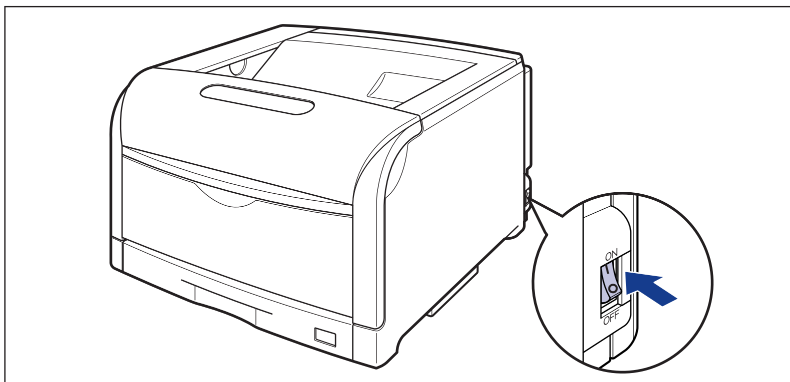
電源をオンにする

本プリンタを使用するには、電源スイッチの"I"側を押し、オンにします。本体やオプション品の状態チェックを実行した後、プリント可能な状態になります。

重要
- 電源をオフにした直後に、再度電源をオンにしないでください。電源をオフにした後に再度電源をオンにするときは、電源をオフにしてから 10 秒以上経ったあと、電源をオンにしてください。
- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「メッセージ一覧」(→ P.5-22)、「サービスコール表示」(→ P.5-41)を参照してください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにするときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットを本体にセットしてからプリンタの電源を入れてください。

メモ
ハードディスクを取り付けて初めて電源をオンにするときやハードディスクに異常があるときは、電源をオンにした後フォーマットが行われるため、プリント可能な状態になるまで約 60 秒かかります。

1 本体の電源スイッチの"I"側を押します。



操作パネルのランプやディスプレイが点灯し、本体やオプション品の状態を自己診断します。

自己診断の結果に異常がなければ、オンラインランプと印刷可ランプ、選択されている給紙元表示ランプが点灯し、ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」や「00　LIPS」、「00　ESC/P」と表示されてプリント可能な状態になります。



ディスプレイには、次の情報が表示されます。

プリント可能で処理中のプリントデータがない状態 ― 00 インサツ カノウ　A4 ― 現在選択されている給紙元の用紙サイズ

電源をオフにする

本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。電源をオフにする操作は、ハードディスクを使用している場合と、使用していない場合で異なります。

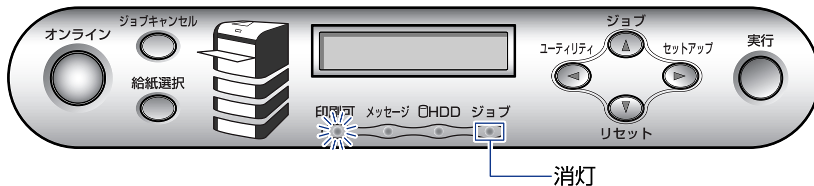
重要

- ハードディスクを使用している場合は、ハードディスク保護のため、必ず手順にしたがって電源をオフにしてください。（→ P.2-7）
- ネットワークに接続している場合は、他のパソコンからプリントしていないか確認してから、電源をオフにしてください。
- ジョブランプが点灯している状態で電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っているプリントデータは消去されます。必要なプリントデータは、出力し終わるまで待つかオフラインの状態で［リセット］を押して「ハイシュツ」を選択し、出力してから電源をオフにしてください。（→ P.2-60）
- プリンタが以下の状態のときに電源をオフにしないでください。
  - ・プリント中
  - ・プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中
  - ・ディスプレイに NVRAM 初期化中や NVRAM 書き込み中のメッセージが表示されているとき
  - ・ディスプレイに「02　キドウチュウ」や「02　キャリブレーションチュウ」のメッセージが表示されているとき
- ハードディスクを使用している場合は、必ず HDD ランプが点灯していないことを確認してください。HDD ランプが点灯中（ハードディスクに読み書き中）に電源をオフにすると、ハードディスクに損傷を与え、使用不能になることがあります。

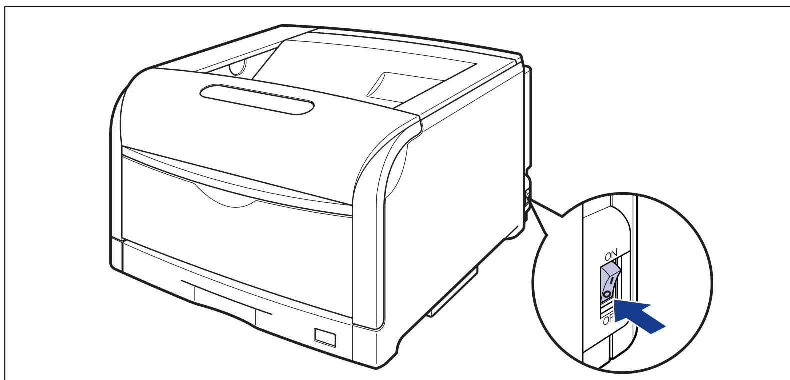
ハードディスクを使用していない場合

ハードディスクを使用していない場合は、次の手順で電源をオフにします。

1 ジョブランプが消灯していることを確認します。



2 本体の電源スイッチの“○”側を押します。



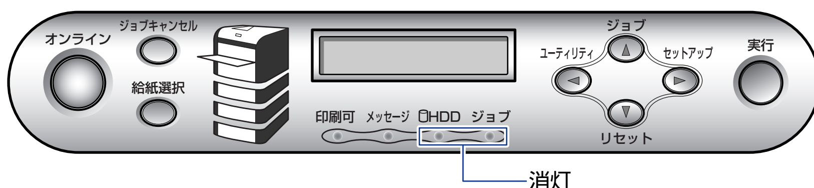
ハードディスクを使用している場合（ハードディスク装着時のみ）

オプションのハードディスクを使用している場合は、次の手順で電源をオフにします。

重要

- ハードディスクに停止操作したジョブやセキュアプリントのジョブがある場合にシャットダウンを実行すると、「ジョブガ　ノコッテイマス」のメッセージが表示されます。シャットダウンを実行すると、ジョブはすべて消去されます。ただし、ボックス内に保存されているジョブはそのままハードディスクに保存されます。プリントを継続したいときは、［オンライン］を押して、オンラインにしてください。
- シャットダウンを実行すると、途中で止めることはできません。再びプリンタの電源をオンにしたい場合は、メッセージに従って電源スイッチを一度オフにしてから、電源スイッチをオンにしてください。

1 ジョブランプとHDDランプが消灯していることを確認します。





2 ［リセット］を押します。





3 ［◄］、［►］で「シャットダウン」を選択し、［実行］を押します。





4 メッセージを確認し、[実行] を押します。

シ゛ッコウ シマスカ?

▼

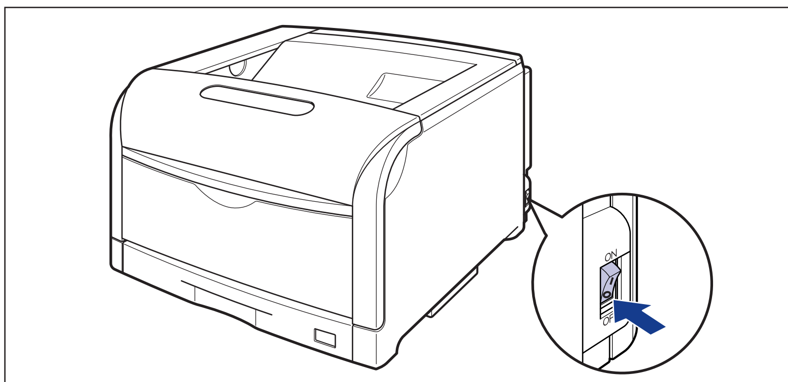
シ゛ッコウ チュウ

▼

テ゛ンケ゛ンヲ オキリクタ゛サイ

電源をオフにするための処理が行われ、準備が整うと、「デンゲンヲ　オキリクダサイ」のメッセージが表示されます。

5 「デンゲンヲ　オキリクダサイ」のメッセージが表示されたら、本体の電源スイッチの "○" 側を押します。



消費電力の節約（スリープモード）について

本プリンタが動作していないときや、ご使用になっていないときに、スリープモードにすることで効率的に節電することができます。
スリープモードには以下の 2 種類あります。

重要　本体右側面にある電源スイッチの "○" 側を押した状態では、消費電力は 0W になります。

メモ
- ボックスへのジョブの保存中は、スリープモードであっても、ジョブランプが点灯します（ボックスにジョブを保存できるのは、ハードディスク装着時のみです）。
- 「タイマー設定」の「ウェイクアップ時刻」を設定すると、設定した時刻にスリープモードを解除することができます。「タイマー設定」についての詳細は、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。
- プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときに、スリープモードに移行しないようするには、「エラースリープ」を「シナイ」に設定します。「エラースリープ」についての詳細は、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

■ スリープモード 1（パネルオフモード）・・・節電効果：小

パネル操作を行わず、パソコンからデータが送られてこない状態が「スリープ移行時間」で設定した時間経過したときや、「タイマー設定」の「スリープ時刻」で設定した時間になったときにスリープモード 1 に移行します。

重要　「スリープ移行時間」の設定は、「5 フン」、「15 フン」、「30 プン」、「60 プン」、「180 プン」から選択でき、工場出荷時は「30 プン」に設定されています。また、スリープモードに移行しないように設定することもできます。「スリープ移行時間」についての詳細は、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

メモ
- 「タイマー設定」についての詳細は、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。
- 次のような状態のときは、設定時間が経過してもスリープモードに移行しません。
  - · プリンタにエラーが発生（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅）していて、「エラースリープ」を「シナイ」に設定している
  - · プリンタの起動中
  - · シャットダウン中（ハードディスク装着時のみ）
  - · ハードディスク初期化中（ハードディスク装着時のみ）
- スリープモード 1 に移行すると、印刷可ランプのみが点灯します。ただし、オフライン状態のときは、メッセージランプのみが点灯します。
- スリープモード 1 は、操作パネルのキーが押されたり、エラーが起こると解除されます。また、オンライン状態では、パソコンからのデータを受信してもスリープモード 1 が解除されます（ボックスへのジョブの保存を除く）。

■ スリープモード 2（プリンタスリープモード）・・・節電効果：大

電源をオンにしたあと、またはスリープモード 2 が解除されたあと、印刷可能な状態が 15 分間経過したときに、以下の条件を満たすとスリープモード 2 に移行します。

- サービスコールが発生していない

メモ
- スリープモード 2 に移行すると、印刷可ランプのみが点灯します。ただし、オフライン状態のときは、メッセージランプのみが点灯します。

- 「スリープモード」を「パネルオフ」に設定している場合は、スリープモード 2 には移行しません。

オンラインとオフライン

プリンタがパソコンからデータを受け取り、プリントできる状態を「オンライン」、パソコンとの接続が切り離され、データを受け取れない状態を「オフライン」といいます。

操作パネルから各メニューを設定するには以下の状態に切り替えます。

○：メニューに入ることができる状態
×：メニューに入ることができない状態

	オンライン状態	オフライン状態
セットアップメニュー	○*	○
給紙選択メニュー	○	○
リセットメニュー	○	○
ジョブメニュー	○	×
ユーティリティメニュー	○	×

* オンライン状態ではユーザメンテナンスグループの設定はできません。

オンラインにする

パソコンからプリントするときは、プリンタがオンラインの状態になっていることが必要です。プリントするときは、プリンタがオンラインになっていることを確認してください。オンラインになっていないときは、次の手順でオンラインにします。電源をオンにしたときは、自動的にオンラインの状態になります。



1 [オンライン]を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。



- プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときは、オンラインになりません。エラーの原因を取り除いてからオンラインにしてください。
- プリント中は、絶対に本体の前カバーや給紙カセットを開けないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。



プリンタがスリープモードに移行しているときには、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯し、印刷可ランプのみが点灯します。スリープモード中にデータを受信すると、スリープモードは解除されオンラインランプが点灯し、プリント可能な状態になります。

オフラインにする

パソコンからのデータを受け取らない状態にしたり、セットアップメニューのすべての項目を設定するには、プリンタを次の手順でオフラインにします。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

 重要

- プリンタをオフラインにしたままパソコンからプリントすると、［プリンタの準備ができていません］、［プリンタが接続されていません］などのメッセージが表示され、プリントできません。
- 本プリンタは、オフラインにしたまま 5 分間以上放置すると、自動的にオンライン状態になります。ただし、プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のとき、またはメニュー機能や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などの操作中は、自動的にはオンラインになりません。

プリンタの機能と設定方法について

本プリンタは、拡大／縮小プリントや複数ページ印刷、とじしろの設定など、いろいろな機能を持っています。これらの機能を設定するには、プリンタの操作パネル、プリンタドライバ、リモート UI の 3 つの方法があり、それぞれの方法によって設定できる項目が多少異なります。

メモ　BMLinkS プリンタドライバの設定項目については、BMLinkS プリンタドライバに添付の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

代表的な機能

本プリンタの代表的な機能を以下の表に示しています。○印は設定可能、×印は設定できないことを表しています。

機能	機能の概要	プリンタドライバ（Windows）	リモート UI	操作パネル
給紙選択	どこから用紙を給紙するか（給紙元）を設定します。	○	○	○
手差しトレイ用紙サイズ	手差しトレイにセットした用紙のサイズを設定します。	○	○	○
両面プリント	用紙の両面にプリントします。	○	○	○
ページフォーマット	エミュレーションモードでプリントするときに、用紙に合わせてページフォーマットを設定します。	×	×	○
カラーモード	モノクロまたはカラーに固定してプリントするか、自動でプリントするかを設定します。	○	○	○
データ処理解像度 *1	スーパーファインモード（1200dpi）、ファインモード（600dpi）のモード設定をします。	○	○	○
拡大／縮小 *1	データを拡大または縮小してプリントします。	○	×	○ *2
複数ページ印刷 *1	拡大／縮小プリントの機能で縮小したデータを複数ページ並べて 1 枚の用紙にプリントします。	○	×	○ *2
オーバレイプリント*1（LIPS モード時のみ）	LIPS のコントロールコマンドで登録したフォーマットを選択し重ねてプリントします。	○ *3	×	○ *4

機能	機能の概要	プリンタドライバ（Windows）	リモート UI	操作パネル
とじ方向	とじしろを作る辺（長辺または短辺）を設定します。	○	○	○
とじしろ	とじ方向で設定された辺のとじしろの幅を設定します。	○	○	○
トナー濃度	印字濃度を調整します。	×	○	○
ドラフトモード	テスト印刷するモードの設定をします。	○	○	○
ブザー警告	エラー発生時のブザー音の鳴りかたを設定します。	×	○	○
スリープモード	プリンタの消費電力を節約するモードの設定をします。	×	○	○

*1 これらの機能は、プリンタドライバとリモート UI、操作パネルとで設定内容やプリント結果に違いがありますので気を付けてください。詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」や「LIPS 機能ガイド」、「リモートUI ガイド」を参照してください。

*2 LIPS 専用セットアップメニューからのみ設定可能です。

*3 LIPS IV プリンタドライバからのみ設定可能です。

*4 フォーム作成登録はLIPS コマンドで行います。使用するフォームの指定のみ可能です。

設定のしかた

プリンタの機能は、プリンタドライバやリモート UI、プリンタの操作パネルで、それぞれ次のように設定して使います。

メモ
- プリンタドライバのインストール方法や操作方法については、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」およびプリンタドライバのヘルプを参照してください。
- リモートUI からの操作方法については、「リモートUI ガイド」およびリモートUI のヘルプを参照してください。
- プリンタの操作パネルからの操作方法については、「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

■ LIPS プリンタドライバ

本プリンタに付属の LIPS プリンタドライバをパソコンにインストールし、プリンタ設定画面を表示して設定します。

■ リモート UI

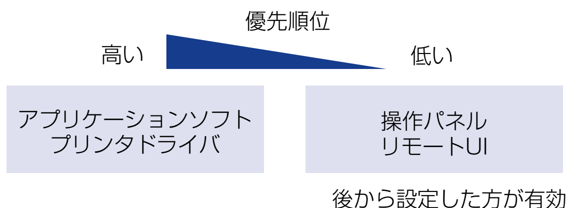
本プリンタをネットワーク経由で接続している場合は、パソコンから Web ブラウザで本プリンタを設定します。

■ プリンタの操作パネル

プリンタの操作パネルのキーでメニューを選択して設定します。

設定の優先順位

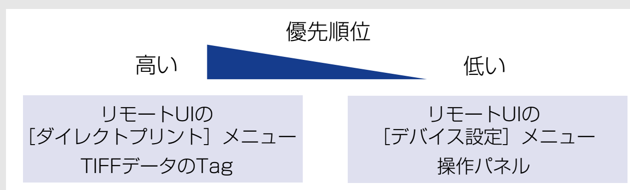
設定した項目は、プリンタドライバやアプリケーションソフトとプリンタのメニュー項目に同じ機能がある場合、プリンタドライバやアプリケーションソフトの設定が優先されます。



● ダイレクトプリント時（→ P.2-26）の設定の優先順位

メニュー機能にしかない項目を、操作パネルで行う場合とリモート UI の［デバイス設定］メニューで行う場合では、後から設定した方の内容が有効になります。

ダイレクトプリント時には、操作パネルやリモート UI の［デバイス設定］メニューで設定した内容よりもリモート UI の［ダイレクトプリント］メニューや画像ファイルの TIFF データのヘッダーが持つ IFD（Image file directory）の中にある Tag で設定されている内容が優先されます。



TIFF データのヘッダーが持つ一部の Tag の機能は有効にならない場合があります。

BMLinkS について

本プリンタは、BMLinkS に標準で対応しています。ここでは、BMLinkS についての概要やプリンタドライバの入手方法、プリント時の注意事項について説明します。

BMLinkS とは

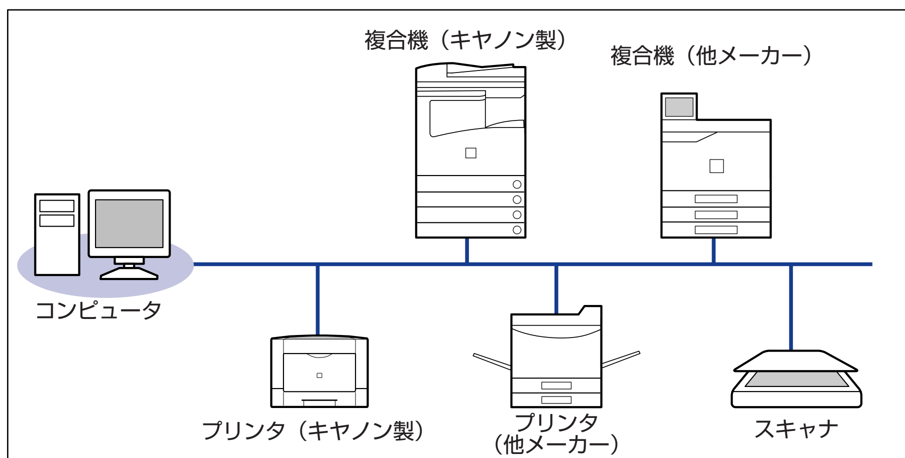
BMLinkS は、ネットワーク上にある様々なメーカーのプリンタやスキャナを共通のフォーマットを用いて接続する技術です。

BMLinkS に対応したプリンタやスキャナを利用することで、以下のようなことが可能になります。

■ 1 種類のプリンタドライバで異なるメーカーのプリンタに出力が可能

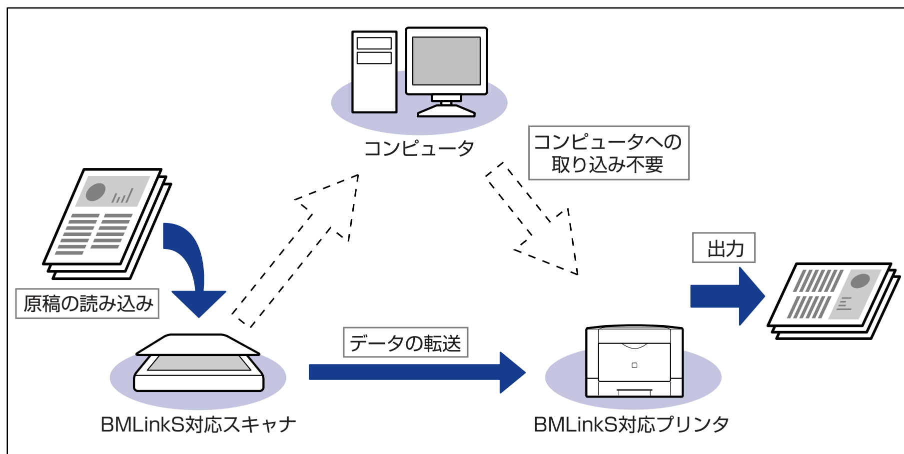
従来は、プリンタごとに専用のプリンタドライバをコンピュータにインストールしなければなりませんでしたが、BMLinkS 対応のプリンタの場合、異なるメーカーのプリンタであっても、1 つのプリンタドライバで出力することができ、プリンタごとに共通の操作、共通の設定でプリントすることができます。

また、お得意先や出張先などで、自分のノート PC からプリントするときなども、BMLinkS に対応したプリンタがあれば、プリンタドライバをインストールしなくてもプリントすることができます。



■ スキャナで読み込んだ画像を PC を介すことなくプリンタに出力が可能

BMLinkS 対応のスキャナとプリンタがネットワーク上にある場合、スキャナからプリンタにダイレクトにプリントすることができます。スキャナで読み込んだ画像を PC に取り込んでからプリントするという手間が省けます。



- BMLinkS は、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）が推進しているオフィス機器インタフェースです。
- 本製品は JBMIA による BMLinkS 認証を受けています。
- 実装サービス名：プリントサービス
- BMLinkS 標準仕様バージョン 1.2 準拠

BMLinkS プリンタドライバについて

BMLinkS を利用するには、専用のプリンタドライバが必要になります。BMLinkS プリンタドライバは、BMLinkS ホームページからダウンロードしてインストールします。

■ 必要なシステム環境

BMLinkS プリンタドライバを使用してプリントするには以下の環境が必要です。

OS	Windows 2000日本語版（Service Pack 3以降） Windows XP日本語版（Service Pack 1以降）
CPU	300 MHz以上（600 MHz以上を推奨）
メモリ	128 MB以上（256MB以上を推奨）
ディスプレイ解像度	800×600 ピクセル以上

■ BMLinkS プリンタドライバの入手方法

BMLinkS プリンタドライバは、以下の URL にアクセスしてダウンロードしてください。
http://www.jbmia.or.jp/bmlinks/

■ BMLinkS プリンタドライバのインストール方法および使用方法

BMLinkS ホームページからダウンロードしたファイルをダブルクリックすると、[Driver] フォルダおよび [Manual] フォルダが作成されます。

[Driver] フォルダ	BMLinkSプリンタドライバのインストーラが入っています。
[Manual] フォルダ	BMLinkSプリンタドライバのインストール方法や使用方法について記載されているPDFが入っています。

プリンタドライバをインストールするときは、[Manual] フォルダに入っている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

また、「ユーザーズマニュアル」には BMLinkS プリンタドライバからの印刷方法が記載されていますので、良くお読みになってからご使用ください。

■ BMLinkS プリンタドライバのお問い合わせ先

BMLinkS プリンタドライバについてのお問い合わせは、以下のメールアドレスにご連絡ください。
bmlinks-support@jbmia.or.jp

メモ　BMLinkS プリンタドライバに関するお問い合わせのみを受け付けております。プリンタ本体については、キヤノン「お客様相談センター」(巻末参照) にお問い合わせください。

プリンタで行う BMLinkS の設定について

BMLinkS プリンタドライバからプリントするために、以下の設定を行ってください。

BMLinkS の設定は、リモート UI で行います。リモート UI の操作方法については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

重要
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。(設定はネットワーク環境によって異なりますので、ネットワーク管理者に相談してください。)
  - ･Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、[例外] (プロキシを使用しないアドレス) にプリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー (Cookie) が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。

メモ　BMLinkS の設定は、プリンタの操作パネルからも行うことができますが、設定できるのは BMLinkS プリンタドライバからのプリントを有効にするかしないかの設定のみです。

1 Web ブラウザを起動し、[アドレス] または [場所] に以下の URL を入力したあと、キーボードの [ENTER] キーを押します。

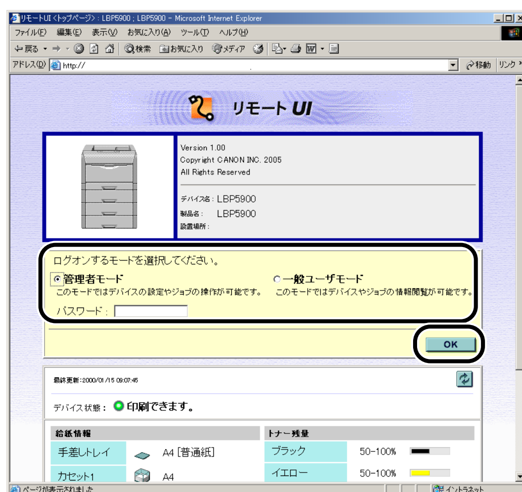
http:// <プリンタの IP アドレス> /





- プリンタの IP アドレスがわからないときは、管理者に相談してください。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http:// my_printer.xy_dept.company.co.jp/
- SSL による暗号化通信を利用してリモートUIによる設定を行う場合は、「https:// <プリンタの IP アドレス> /」を入力します。［セキュリティ警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。
- SSLによる暗号化通信は、オプションのハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

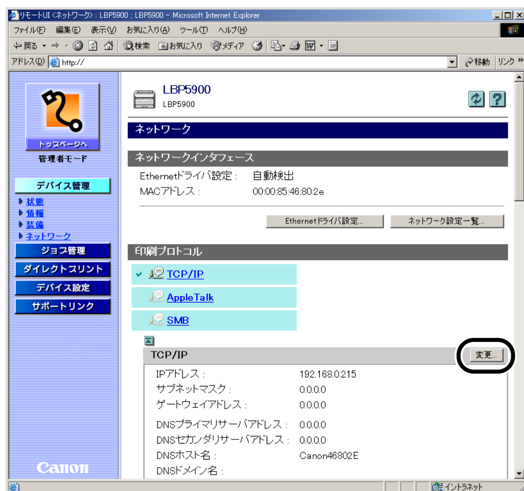
2 [管理者モード] を選択し、[パスワード] を入力して、[OK] をクリックします。



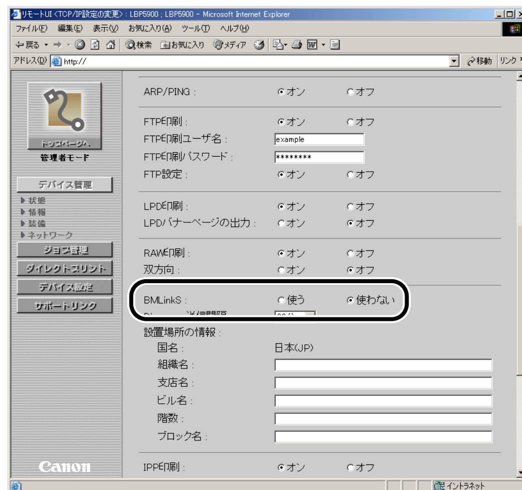
3 [デバイス管理] メニューから [ネットワーク] を選択します。



4 [TCP/IP] の右にある [変更] をクリックします。

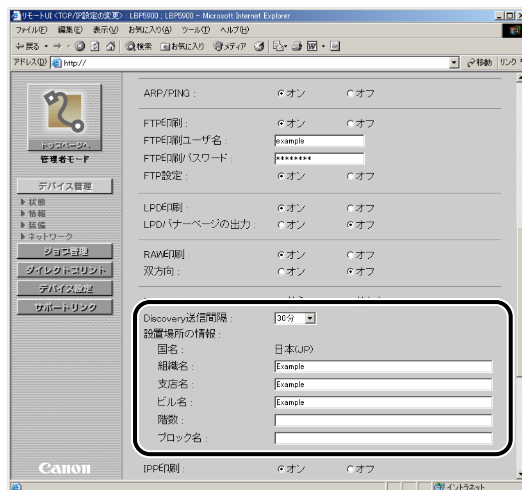


5 [BMLinkS] で [使う] を選択します。



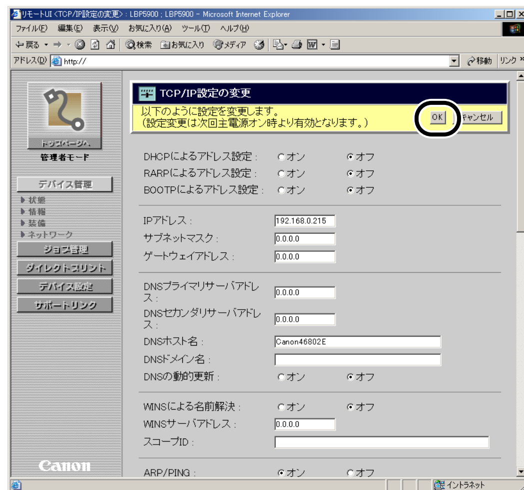
6 [Discovery 送信間隔] で、プリントサーバがネットワーク上で動作していることを示す情報を送信する間隔を設定します。

30 分、1 時間、3 時間、6 時間、12 時間、24 時間から選択できます。



必要に応じて、[組織名]、[支店名]、[ビル名]、[階数]、[ブロック名] を入力します。

7 設定後、［OK］をクリックします。



8 ハードリセットまたはプリンタを再起動します。

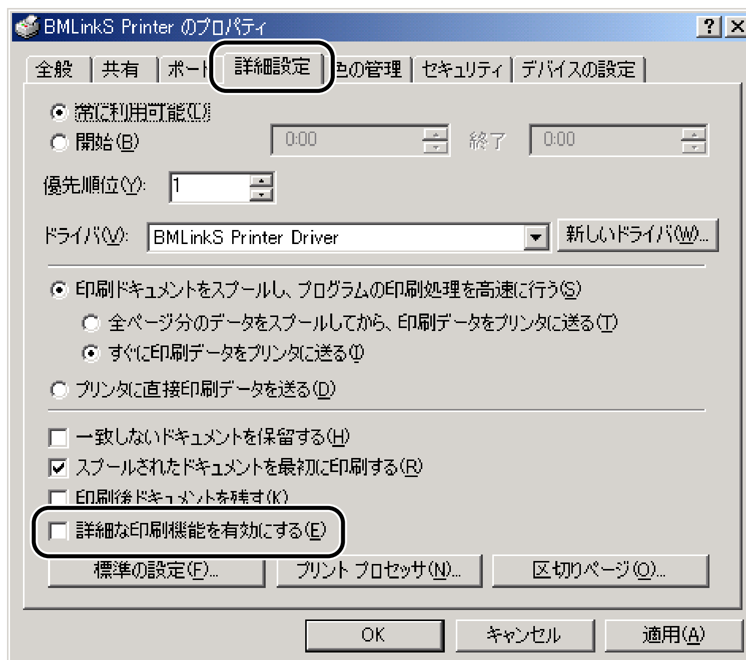
ハードリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

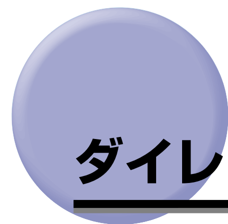


「ハードリセット」の実行方法については、「すべての作業を中止する（ハードリセット）」（→ P.2-63）を参照してください。

プリント時の注意事項

- BMLinkS　プリンタドライバでプリントする場合、プリンタのプロパティの［詳細設定］ページにある［詳細な印刷機能を有効にする］のチェックを外してご使用されることをおすすめします。





ダイレクトプリントについて

ダイレクトプリントとは

ダイレクトプリントは、プリンタドライバを使用せずにホスト端末からファイルをプリンタに転送し、ファイルそのものをプリンタが認識し、プリントする機能です。したがって、ファイルを開いてプリントする必要がありません。

プリントするには、リモート UI からプリントしたい TIFF/JPEG 形式の画像ファイルを指定します。

また、コマンドプロンプトからのコマンド入力（LPR コマンド）によるダイレクトプリントにも対応しています。

■ リモート UI からプリントする（→ P.2-27）

■ コマンドプロンプトからプリントする（→ P.2-32）

重要

- 本プリンタのダイレクトプリントでは、JPEG データは ITU-T 勧告 T.81 の仕様に対応しています。TIFF データは Adobe TIFF Revision6.0 の仕様に対応しています。
- 本プリンタでは、JPEG データの符号化方式の対応は、次のようになっています。
  - ･対応している符号化方式
    基本 DCT 方式
  - ･対応していない符号化方式
    拡張 DCT 方式
    可逆方式
    ハイアラーキカル方式
- 本プリンタでは、TIFF データの符号化方式の対応は、次のようになっています。
  - ･対応している符号化方式
    非圧縮
    ITU-T 勧告 T.4 一次元符号化方式
    ITU-T 勧告 T.4 二次元符号化方式
    ITU-T 勧告 T.6 ベーシックファクシミリ符号化方式
    ITU-T 勧告 T.81 JPEG（基本 DCT 方式のみ）
    PackBits（Apple Macintosh PackBits 方式）
  - ･対応していない符号化方式
    LZW
    ITU-T 勧告 T.82 JBIG
    ITU-T 勧告 T.43 JBIG
    ITU-T 勧告 T.44 MRC

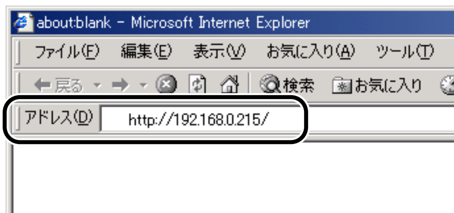
リモートUIからダイレクトプリントするには

リモートUIからTIFF/JPEG形式の画像ファイルを指定してダイレクトプリントすることができます。リモートUIの基本的な操作方法については「リモートUIガイド」を参照してください。

メモ　ダイレクトプリントを使用してプリントできない場合や印字位置がずれる場合でも、ファイルをアプリケーションから開いてプリンタドライバを使用することで正しくプリントできる場合があります。

1 Webブラウザを起動し、［アドレス］または［場所］に以下のURLを入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http://<プリンタのIPアドレス>/

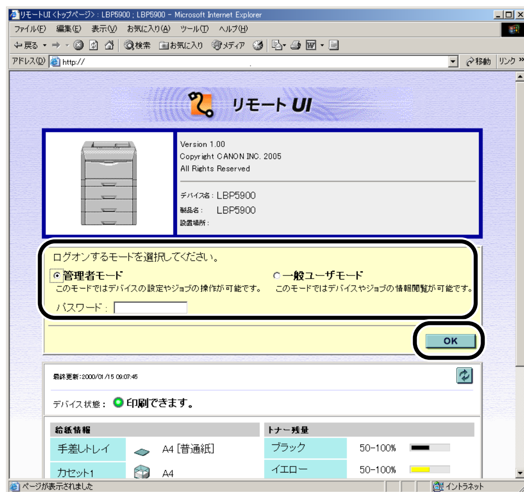


メモ

- プリンタのIPアドレスがわからないときは、管理者に相談してください。
- サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IPアドレスのかわりに［ホスト名.ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http:// my_printer.xy_dept.company.co.jp/
- SSLによる暗号化通信を利用してリモートUIによる設定を行う場合は、「https://<プリンタのIPアドレス>/」を入力します。［セキュリティ警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。
- SSLによる暗号化通信は、オプションのハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSLによる暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモートUIガイド」を参照してください。

2 リモートUIにログオンするモード（[管理者モード] または [一般ユーザモード]）を選択して、[OK] をクリックします。

[管理者モード] を選択した場合は、「パスワード」を入力してから [OK] をクリックします。

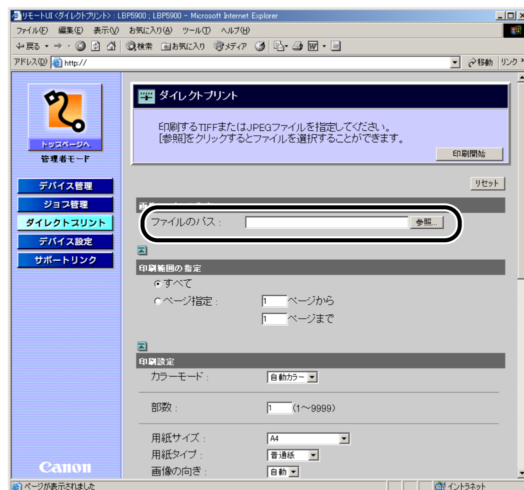


3 [ダイレクトプリント] メニューを選択します。



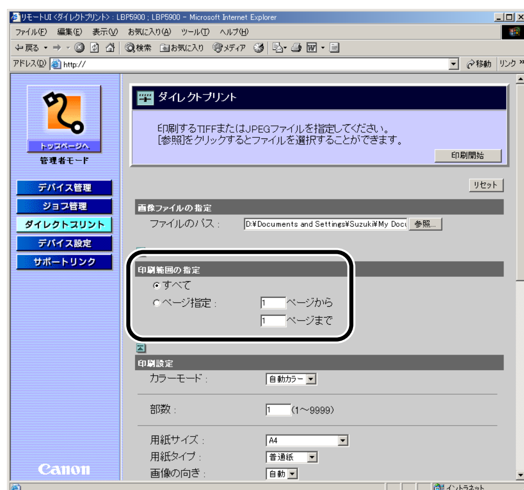
4 ［ファイルのパス］を設定します。

［参照］をクリックし、ファイルを選択したあと、［開く］をクリックします。

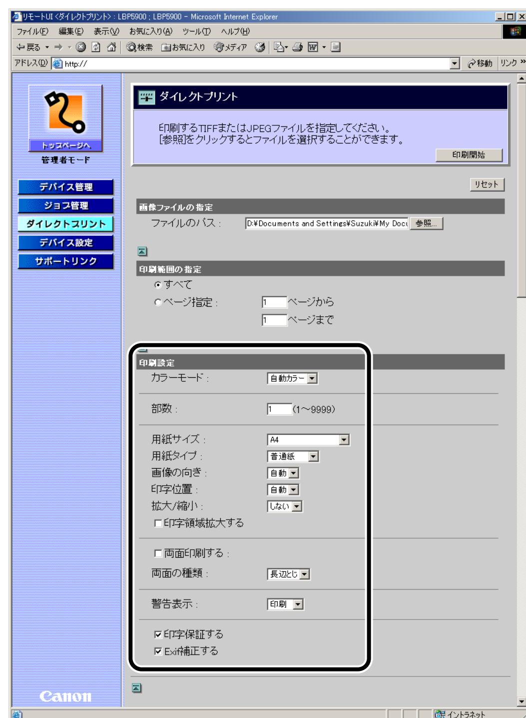


5 ［印刷範囲の設定］を設定します。

［すべて］を選択すると、全ページをプリントします。
［ページ指定］を選択し、ページ範囲を入力すると、入力したページのみがプリントされます。



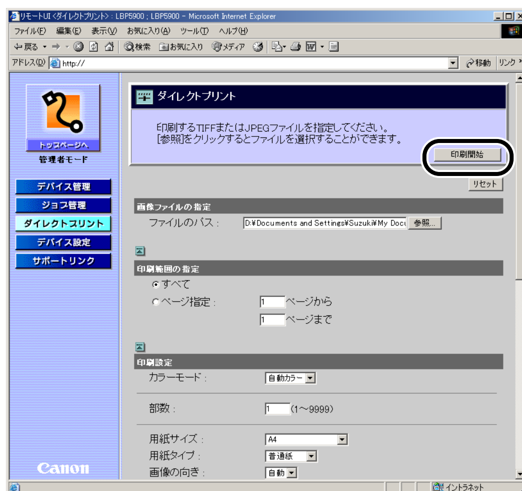
6 必要に応じて以下の［印刷設定］を行ってください。



［カラーモード］	カラー印刷を行うか、モノクロ印刷を行うかを選択します。
［部数］	プリント部数を設定します。
［用紙サイズ］	出力する用紙のサイズを設定します。
［用紙タイプ］	出力する用紙のタイプを設定します。
［画像の向き］	画像を縦方向にプリントするか、横方向にプリントするかを設定します。
［印字位置］	画像をどの位置に印字するかを設定します。
［拡大 / 縮小］	拡大または縮小してプリントするかどうかの設定をします。［自動］に設定すると、出力用紙の有効印字領域に合わせて、自動的に拡大 / 縮小してプリントします。
［印字領域拡大する］	印字領域を広げてプリントするかどうかを設定します。
［両面印刷する］	片面にプリントするか両面にプリントするかを設定します。
［両面の種類］	とじる位置を、用紙の長辺（長い辺）にするか短辺（短い辺）にするかを設定します。タッチパネルでとじしろが設定されている場合は、表面と裏面とで、とじしろの位置を自動的に調整します。

[警告表示]	IMAGING 機能に関するエラーを検出したときの、ジョブの処理方法を選択することができます。 [プリント] に設定すると、エラーの内容をプリントしジョブを終了します。 [パネル] に設定すると、プリンタのディスプレイにエラーメッセージが表示されプリントを停止します。 [しない] に設定すると、エラーが発生しても何も表示を行わずにジョブを終了します。
[印字保証する]	TIFF データに対しての印字保証をするかどうかを設定します。(ハードディスクを使用している場合にのみ表示されます。)
[Exif 補正する]	デジタルカメラで撮影したときの設定情報を元に補正を行うかどうかを設定します。

7 [印刷開始] をクリックします。




設定を工場出荷時の値に戻すときは［リセット］をクリックします。

コマンドプロンプトからダイレクトプリントするには

コマンドプロンプトから LPR でダイレクトプリントを行うことができます。

コマンドは以下の書式が有効です。その他のコマンドはご使用になれません。
lpr （スペース）-P （スペース）＜プリンタ名＞ （スペース）＜ファイル名＞

プリンタ名：プリンタの名称を入力します。プリンタの名称は、リモート UI の［デバイス管理］メニューの［情報］ページの［デバイス情報］-［デバイス名］で確認できます。

ファイル名：プリントするファイルのファイル名を入力します。

＜入力例：プリンタ名が「LBP-Printer」、ファイル名が「sample.txt」の場合＞

lpr　-P　LBP-Printer　sample.txt

プリンタの操作パネルで設定した設定項目は有効になります。ダイレクトプリントでご使用になれる設定項目はセットアップメニューの「共通セットアップメニュー」と「IMAGING 専用セットアップメニュー」です。

各メニューの設定項目については「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

E メール印刷について（ハードディスク装着時のみ）

E メール印刷とは

E メール印刷は、ホスト端末から本プリンタ宛に送信された E メールをプリンタが受信して、E メールの本文や添付されたファイルをプリントする機能です。したがって、プリンタドライバを使用したり、添付ファイルを開いてプリントする必要がありません。

重要
- E メール印刷には以下の制限があります。
  - ･プリント可能な添付ファイルの形式は、TIFF または JPEG のみです。
  - ･プリント可能な添付ファイルのファイルサイズは、1 ファイルあたり 100MB までです。100MB を超える添付ファイルは、プリントされません。
  - ･添付ファイルの数は、1 メールにつき 14 個までです。14 個を超えた場合は、14 個目までプリントされ、15 個目以降の添付ファイルはプリントされません。
  - ･HTML 形式のメール本文はプリントされません。
  - ･E メールの本文データが 25MB を超える場合、メールの本文はプリントされません。
  - ･E メールの本文には、メールヘッダの情報も併せてプリントされます。
  - ･E メールの本文で 1 行（改行なし）全角 499 文字、半角 998 文字を超える場合、自動的に改行されるため、次行の文字が正しくプリントされないことがあります。
- E メール印刷を行うためのメールサーバは、POP3 プロトコルの UIDL コマンドをサポートしている必要があります。UIDL コマンドがサポートされていない場合や UIDL コマンドの応答が「negative("-ERR")」の場合は、メールサーバへはアクセスしますが、E メールを受信することはできません。メールサーバについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本プリンタの E メール印刷では、JPEG データは ITU-T 勧告 T.81 の仕様に対応しています。TIFF データは Adobe TIFF Revision6.0、IETF RFC2301（File Format for Internet FAX）の仕様に対応しています。
- 本プリンタの E メール印刷は、Internet FAX Simple Mode に対応しています。
- 本プリンタでは、JPEG データの符号化方式の対応は、次のようになっています。
  - ･対応している符号化方式
    基本 DCT 方式
  - ･対応していない符号化方式
    拡張 DCT 方式
    可逆方式
    ハイアラーキカル方式
- 本プリンタでは、TIFF データの符号化方式の対応は、次のようになっています。
  - ･対応している符号化方式
    非圧縮
    ITU-T 勧告 T.4 一次元符号化方式
    ITU-T 勧告 T.4 二次元符号化方式
    ITU-T 勧告 T.6 ベーシックファクシミリ符号化方式
    ITU-T 勧告 T.81 JPEG（基本 DCT 方式のみ）
    PackBits（Apple Macintosh PackBits 方式）

· 対応していない符号化方式
LZW
ITU-T 勧告 T.82 JBIG
ITU-T 勧告 T.43 JBIG
ITU-T 勧告 T.44 MRC

- 本プリンタでは、エンコード形式の対応は、次のようになっています。
  · 7bit
  · 8bit
  · binary
  · quoted-printable
  · base64
  · uuencode
  · x-uuencode
- 本プリンタでは、文字セットの対応は、次のようになっています（文字セットの指定がない場合は、「us-ascii」で処理されます）。
  · iso-2022-jp
  · Shift_JIS
  · SJIS
  · EUC-JP
  · eucJP
  · us-ascii

E メール印刷の設定項目

E メール印刷に関する設定は、以下の通りです。プリンタの操作パネル、リモート UI、FTP クライアントから設定することができます。詳しい設定内容については、「LIPS 機能ガイド」、「リモート UI ガイド」、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。○印は設定可能、×印は設定できないことを表しています。

設定項目	設定内容	設定方法		
		操作パネル	リモート UI	FTP クライアント
POP3 サーバ名	Eメールを受信するサーバ名または IP アドレスを設定します。	×	○	○
POP3 ユーザ名	Eメールを受信するユーザ名を設定します。	×	○	○
POP3 パスワード	Eメールを受信するユーザ名のパスワードを設定します。	×	○	○
POP3 受信間隔	Eメールを受信するサーバへ自動的に接続する間隔を分単位で設定します。	○	○	○
POP3 受信	Eメール印刷機能を有効にするかどうかを選択します。	○	○	○

POP3 サーバのポート番号	Eメールを受信するサーバのポート番号を設定します。	×	○	○
E メール受信	Eメールの手動受信を行います。	○	○	×
印刷履歴リスト	Eメール印刷の履歴をプリントします。	○	○	×
E メール通信エラー	Eメール印刷時に受信エラーが発生したとき、メッセージの表示やランプの点滅をさせるかどうかを設定します。	○	×	×
Email 本文プリント	Eメール印刷時に、Eメールの本文をプリントするかどうかを設定します。	○	×	×
本文プリント制限	Eメール本文のプリント枚数を制限するかどうかを設定します。	○	×	×

E メール印刷をするには

E メールを受信してプリントする方法は以下の 2 種類あります。

■ 自動的に E メールを受信して、E メール印刷を行う

プリンタの操作パネル、リモート UI、FTP クライアントのいずれかの方法で、「POP3 受信間隔」を設定します。「POP3 受信間隔」で設定された間隔で、自動的にメールサーバへ接続して E メールを受信し、E メール印刷を行います。

- プリンタの操作パネル（→ LIPS 機能ガイド）
- リモート UI、FTP クライアント（→ネットワークガイド／本編）

■ 手動で E メールを受信して、E メール印刷を行う

プリンタの操作パネル、リモート UI のどちらかの方法で、手動でメールサーバへ接続して E メールを受信し、E メール印刷を行います。

- プリンタの操作パネル

1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［◀］、［▶］を押して「E メールインサツユーティリティ」を表示します。
4. ［実行］を押します。
5. ［◀］、［▶］を押して「E メールジュシン」を表示します。
6. ［実行］を押します。

- リモート UI

次の手順で、リモート UI から手動で E メールを受信して、E メール印刷を行うことができます。リモート UI の基本的な操作方法については「リモート UI ガイド」を参照してください。

重要

- オンライン時にのみ、E メールを受信することができます。
- 「POP3受信間隔」で自動的にEメールを受信するように設定していても、手動でEメールを受信することができます。ただし、E メールの受信中に、手動で E メールを受信しようとしても無視されます。

1 Web ブラウザを起動し、［アドレス］または［場所］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレス> /

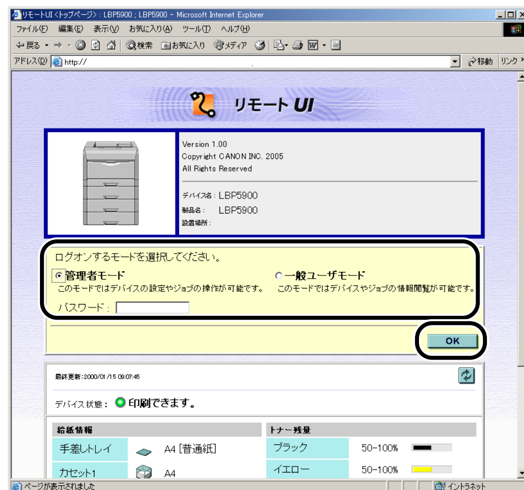


メモ

- プリンタの IP アドレスがわからないときは、管理者に相談してください。
- サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http:// my_printer.xy_dept.company.co.jp/
- SSL による暗号化通信を利用してリモートUIによる設定を行う場合は、「https:// <プリンタの IP アドレス> /」を入力します。［セキュリティ警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。
- SSLによる暗号化通信は、オプションのハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

2 リモートUIにログオンするモード（[管理者モード] または [一般ユーザモード]）を選択して、[OK] をクリックします。

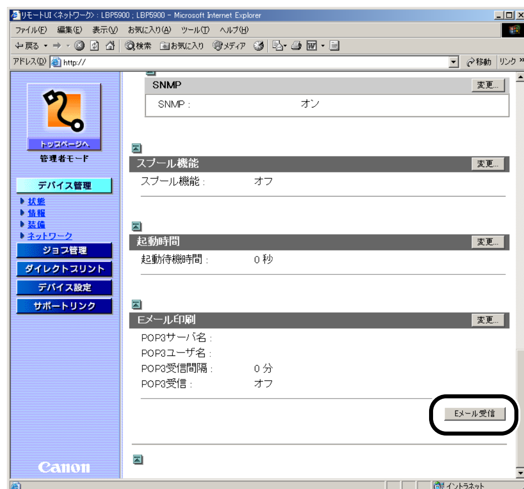
[管理者モード] を選択した場合は、「パスワード」を入力してから [OK] をクリックします。



3 [デバイス管理] メニューから、[ネットワーク] をクリックします。



4 ［E メール受信］をクリックします。



メールサーバへ接続されます。本プリンタ宛の E メールを受信し、E メール印刷が行われます。

E メール受信履歴をプリントするには

E メールの受信履歴をプリントすることができます。受信履歴には、件名や送信元などがプリントされます。E メールの受信履歴のプリントは、プリンタの操作パネル、リモート UI のどちらかの方法で行います。

• プリンタの操作パネル

1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［◀］、［▶］を押して「E メールインサツユーティリティ」を表示します。
4. ［実行］を押します。
5. ［◀］、［▶］を押して「ジュシンリレキリスト」を表示します。
6. ［実行］を押します。

• リモート UI

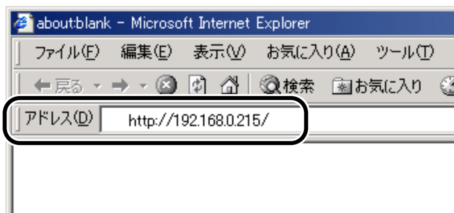
次の手順で、リモート UI から E メールの受信履歴をプリントすることができます。リモート UI の基本的な操作方法については「リモート UI ガイド」を参照してください。

重要　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「HDD　メンテナンス」で、ハードディスクをフォーマットすると、すべての E メール受信履歴が削除されます。

メモ
• 最大 96 通までの E メール受信履歴をプリントすることができます。
• 何らかの理由で正常に E メール印刷が行われなかった場合は、E メール受信履歴の「受信結果」にエラーコードがプリントされます。エラーコードの詳細については、「E メール印刷ができなかったときには」（→ P.2-41）を参照してください。

1 **Web ブラウザを起動し、［アドレス］または［場所］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

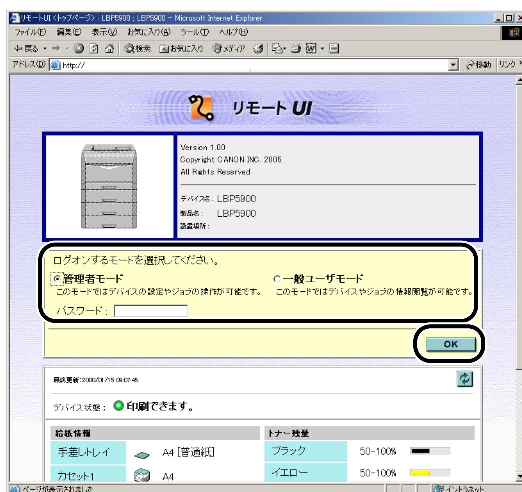
http:// <プリンタの IP アドレス> /





- プリンタの IP アドレスがわからないときは、管理者に相談してください。
- サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名．ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http:// my_printer.xy_dept.company.co.jp/
- SSL による暗号化通信を利用してリモートUIによる設定を行う場合は、「https:// <プリンタの IP アドレス> /」を入力します。［セキュリティ警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。
- SSLによる暗号化通信は、オプションのハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

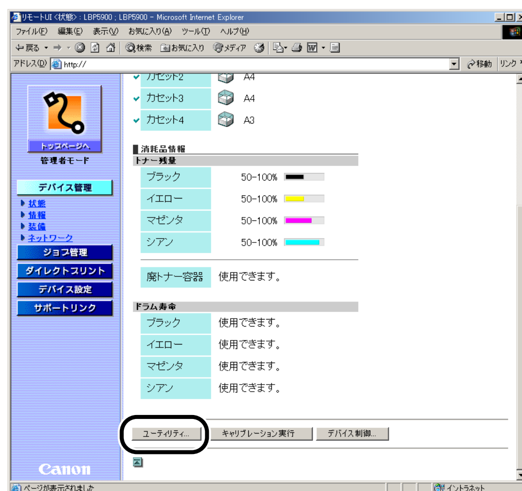
2 **［管理者モード］を選択し、［パスワード］を入力して、［OK］をクリックします。**



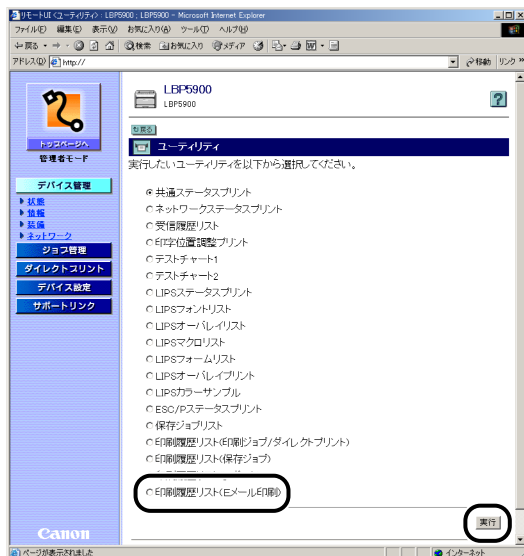
3 [デバイス管理] メニューから、[状態] をクリックします。



4 [状態] ページの [ユーティリティ] をクリックします。



5 [印刷履歴リスト(E メール印刷)]を選択し、[実行]をクリックします。



E メール受信履歴がプリントされます。

E メール印刷ができなかったときには

何らかの理由で正常に E メール印刷が行われなかった場合は、プリンタのディスプレイやリモート UI、N/W ステータスプリントにエラーメッセージか、E メール受信履歴にエラーコードが表示されます。表示されたエラーメッセージ、エラーコードに応じて、次のような処置を行ってください。

メモ

- リモート UI のエラーメッセージは、[デバイス管理]メニューの[ネットワーク]ページにある[E メール印刷]に表示されます。
- N/W ステータスプリントのプリント方法については、LIPS 機能ガイド「第 8 章 付録」を、E メール受信履歴のプリント方法については「E メール受信履歴をプリントするには」(→P.2-38)を参照してください。

■ ディスプレイ、リモートUI、N/Wステータスプリントに表示されるエラーメッセージ

エラーメッセージ		原　因	処　置
ディスプレイ	リモートUI、N/Wステータスプリント		
EM　サーバセッテイ　エラー	POP3 サーバ接続エラー	Eメール印刷時、POP3サーバに接続できなかった	・リモートUIの［ネットワーク］ページにある［Eメール印刷］の［POP3サーバ名］と［POP3サーバのポート番号］が正しく設定されているかを確認してください。 ・リモートUIの［ネットワーク］ページにある［TCP/IP］のDNSが正しく設定されているかを確認してください。 ・POP3サーバが正常に動作しているかを確認してください。 ・DNSサーバが正常に動作しているかを確認してください。
	POP3　サーバユーザ名エラー	Eメール印刷時、POP3サーバでユーザ名の認証に失敗した	・リモートUIの［ネットワーク］ページにある［Eメール印刷］の［POP3ユーザ名］が正しく設定されているかを確認してください。 ・POP3サーバにユーザ名が正しく登録されているかを確認してください。
	POP3 サーバパスワードエラー	Eメール印刷時、POP3サーバでパスワードの認証に失敗した	・リモートUIの［ネットワーク］ページにある［Eメール印刷］の［POP3パスワード］が正しく設定されているかを確認してください。 ・POP3サーバにパスワードが正しく登録されているかを確認してください。
	POP3　サーバUIDLエラー	Eメール印刷時、POP3サーバがUIDLコマンドをサポートしていないため接続できなかった	UIDLに対応しているPOP3サーバをご使用ください。
EM　Eメールアクセス　エラー	ー	POP3サーバのハードディスクにエラーがあるため、POP3サーバに接続できなかった	POP3サーバのハードディスクのエラーを解消してください。

■ E メール受信履歴に表示されるエラーコード *

* 複数のエラーが発生した場合は、優先順位の高いエラー（高：407 >低：499）のみが表示されます。

エラーコード	原　因	処　置
407	Eメール受信時に5分以上、応答がなかった	・ネットワーク管理者にお問い合わせください。 ・同じ E メールのデータで何度もエラーが発生する場合は、E メールのデータが正常かどうかを確認してください。
	E メール受信中、10 分間に 1Kbyte(1024byte) のデータを受信できなかった	
408	POP サーバから「ERR」の応答が返ってきた	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
420	E メールのデータサイズが 1.5GB を超えた	E メールのデータを 1.5GB 以下にしてください。
421	E メールの本文のサイズが 25MB を超えた	E メールの本文を減らしてください。
422	添付ファイルのファイルサイズが 100MB を超えた	添付ファイルのファイルサイズを 100MB 以下にしてください。
423	非サポートの形式の添付ファイルが送られてきた	添付ファイルの形式を TIFF または JPEG にしてください。
424	添付ファイルが 14 個を超えた	添付ファイルの数を 14 個以内にしてください。
430	送信者が不明の E メールが送られてきた	送信者を入力してください。
431	対応していないエンコードや文字コードが含まれた E メールが送られてきた	本プリンタに対応したエンコード、文字コードにしてください（→ P.2-34）。
	対応していないマルチパートメールを受信した	マルチパートメールのコンテンツタイプを本プリンタに対応した以下のタイプにしてください。 ・multipart/mixed ・multipart/parallel ・multipart/alternative ただし、ネストした場合は multipart/mixed の中で multipart/alternative が指定された場合のみ対応します。
432	不正なデータが送られてきた	送信したEメールのデータが正常かどうかを確認してください。
433	HTML形式のE メールが送信された	本プリンタは HTML 形式の E メールには対応していません。
434	E メールの本文がない	本文を入力してください。
440	何らかの理由でジョブがキャンセルされた	再度、E メールを送りなおしてください。

エラーコード	原　因	処　置
441	処理中に何らかのエラーが発生した	再度、E メールを送りなおしてください。
499	プリンタに何らかのエラーが発生した	「メッセージ一覧」(→ P.5-22) を参照してください。

ジョブの印刷と保存について（ハードディスク装着時のみ）

本プリンタにオプションのハードディスクを取り付けると、本プリンタ用の LIPS プリンタドライバでさまざまなプリントジョブの処理機能を利用できるようになります。

メモ　DOS アプリケーション、UNIX などプリンタドライバを使用できないパソコンや BMLinkS プリンタドライバでは、この機能を利用することはできません。プリントジョブは、［印刷］モードで処理されます。

ジョブの処理方法の種類

本プリンタ用のプリンタドライバでは、以下のような機能を利用することができます。

メモ
- ハードディスクに保存可能なジョブ数や容量を超えると「53　セキュアプリント　エラー」や「53　ホゾン　エラー」のメッセージが表示されます。これらのメッセージが表示されたときには、［オンライン］を押してエラースキップをしてください。ただし、エラースキップしたジョブは、削除されますので、ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してから、セキュアプリントやジョブの保存をしてください。
- データ通信時のセキュリティを強化した「暗号化セキュアプリント」機能を使用する場合は、暗号化セキュアプリントに必要なソフトウェアをインストールする必要があります。暗号化セキュアプリントに必要なソフトウェアについては、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」を参照してください。ソフトウェアのインストール方法については、オプションのハードディスクに同梱されている CD-ROM「暗号化セキュアプリント ドライバ Add-in for Client PC」内の Readme.txt を参照してください。

■［印刷］モード

通常のプリントを行います。

メモ　このモードは、ハードディスクを使用しなくても利用することができます。

■［セキュアプリント］モード

プリントジョブにユーザ名とパスワードを設定できるモードです。プリントジョブは、プリンタのハードディスクに保存され、プリンタの操作パネルやリモート UI からの操作でパスワードを入力してプリントできます。機密書類など他人にプリント結果を見られたくないときに便利です。

メモ
- ［セキュアプリント］モードでハードディスクに保存したジョブは、次の場合に消去されます。
  - ・プリンタの電源をオフにした場合
  - ・ハードリセットまたはソフトリセットの操作を行った場合
  - ・セキュアプリントのジョブをプリントした場合
  - ・一定時間内にプリンタの操作パネルやリモート UI でプリント操作を行わなかった場合
- 一定時間内にプリンタの操作パネルやリモート UI でプリント操作を行わなかった場合に自動消去されるまでの時間は、工場出荷時は 1 時間に設定されています。消去するまでの時間は変更することができます。詳細については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

■［保存］モード

プリントジョブをプリンタのハードディスク（ボックス）に保存するモードです。保存したジョブをプリントするには、プリンタの操作パネルやリモート UI でボックス内のジョブを指定します。リモート UI では、プリント時に部数などを指定できるので、よく使うフォームなどをプリントするときに便利です。また、保存時に保存するボックスを指定できるので、用途別にジョブを分けることができます。



［保存］モードでプリントしたプリントジョブはハードディスクに保存され、電源を切っても消去されません。消去したい場合はリモート UI で操作してください。

■［割り込み印刷］モード

今処理中のプリントジョブを止めて先にプリントするモードです。止められたプリントジョブは、プリンタのハードディスクに保持され、割り込み印刷のプリントジョブが終わると、プリントしなおされます。



すでに割り込み印刷のプリントジョブを処理している場合は、さらに割り込んで先にプリントすることはできません。

■［編集＋プレビュー］モード

複数のプリントジョブを［Canon PageComposer］で編集してプリントするモードです。編集機能では、ページを入れ替えたり、プリント結果のプレビューを表示したり、部数などを指定してプリントすることができます。簡易製本用にプリントしたいときや、複数のアプリケーションやファイルからプリントしたものを 1 冊に編集してプリントしたいときに便利です。



- このモードは、ハードディスクを使用しなくても利用することができます。
- Windows NT4.0 では、このモードは利用することができません。

パスワードを設定してプリントする（セキュアプリント／暗号化セキュアプリント）

セキュアプリントや暗号化セキュアプリントは、パスワードをかけたジョブをプリンタに保存し、そのジョブをプリンタの操作パネルやリモート UI からプリントします。リモート UI の操作については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
ここでは、プリンタの操作パネルを使ってプリントする手順を説明します。

1 パソコンのプリンタドライバで、セキュアプリントまたは暗号化セキュアプリントをプリントします。



- セキュアプリントは、プリンタドライバで［セキュアプリント］を選択し、ユーザ名とパスワードを入力してプリントします。
- セキュアプリントのユーザ名は半角英数字で 15 文字以内、パスワードは数字で 1 文字以上 7 文字以下で入力します。
- 暗号化セキュアプリントジョブの印刷方法については、暗号化セキュアプリントドライバのオンラインヘルプを参照してください。
  オンラインヘルプは、暗号化セキュアプリントドライバのインストール後にプリンタドライバから表示することができます。

2 プリントするときは、プリンタの所へ行きます。



- セキュアプリントジョブ／暗号化セキュアプリントジョブは、次の場合に消去されます。
  ・プリンタの電源をオフにした場合
  ・ハードリセットまたはソフトリセットの操作を行った場合
  ・セキュアプリントジョブ／暗号化セキュアプリントジョブをプリントした場合
  ・一定時間内にプリンタの操作パネルやリモート UI でプリント操作を行わなかった場合
- 一定時間内にプリンタの操作パネルやリモート UI でプリント操作を行わなかった場合に自動消去されるまでの時間は、工場出荷時は 1 時間に設定されています。消去するまでの時間は変更することができます。詳細については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。



3 プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンラインになっていない場合、［オンライン］を押します。



4 ［ジョブ］を押します。

```
ジョブ
↓
セキュア プリント →
```

ジョブメニュー項目が表示されます。



5 ［◀］、［▶］で「セキュア　プリント」または「アンゴウカセキュアプリント」を選択し、［実行］を押します。

セキュア プリント →

UserName →



6 ユーザ名が表示された場合は、［◀］、［▶］で目的のユーザ名を選択し［実行］を押します。

UserName →

FileName.txt →



7 ファイル名が表示された場合は、［◀］、［▶］で目的のファイル名を選択し、［実行］を押します。

SecretList.doc →

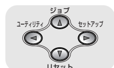
パスワード



8 ［パスワード］と表示されますので［実行］を押します。

パスワード

_



9 ［▲］、［▼］で数字を選択し、［◀］、［▶］で桁を移動させます。

この操作を繰り返してパスワードを入力してください。

1

1_



暗号化セキュアプリントのパスワードは、英数字のみ 1 文字以上 48 文字以内で設定されています。操作パネルからは数字のみが入力可能ですので、パスワードに英文字が設定されている場合は、リモート UI から暗号化セキュアプリントのジョブをプリントしてください（→リモート UI ガイド）。



10 **設定したパスワードを入力し終わったら、[実行]を押します。**

1234

指定したファイルがプリントされます。パスワードが違うと、入力したパスワードの表示が消去されるので、入力しなおしてください。

ボックスに保存したジョブをプリントする（保存ジョブプリント）

保存ジョブプリントは、パソコンから［保存］または［保存＋印刷］でプリンタのハードディスク（ボックス）にジョブ保存した後、プリンタの操作パネルやリモートUIを使ってプリントします。リモートUIの操作については、「リモートUIガイド」を参照してください。ここでは、プリンタの操作パネルを使ってプリントする手順を説明します。



- 保存ジョブはプリントしても、ハードディスクに残ります。保存ジョブの消去は、リモートUIで行ってください。（→リモートUIガイド）
- 保存するデータの名称は、プリンタドライバでプリント時に変更することができます。名称は半角英数字で24文字以内で入力します。名称に全角文字を入力すると、操作パネルのディスプレイには正しく表示されません。

1 **パソコンのプリンタドライバで［保存］または［保存＋印刷］を選択し、保存するボックスを指定して、プリントします。**



保存ジョブはすべてのボックス内のジョブを合わせて、100ジョブまで保存できます。

2 **プリントするときは、プリンタの所へ行きます。**



3 **プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。**

オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。



4 **［ジョブ］を押します。**

ｼﾞｮﾌﾞ

ｾｷｭｱ ﾌﾟﾘﾝﾄ →

ジョブメニュー項目が表示されます。

2 プリンタの使いかた



5 [◄]、[►] で「ホゾンジョブ　プリント」を選択し、[実行] を押します。

ﾎｿﾞﾝｼﾞｮﾌﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ→

Box NO.0 →



6 [◄]、[►] でジョブが保存されているボックス番号を選択し [実行] を押します。

Box NO.2 →

FileName.txt →



7 [アンショウバンゴウ] と表示された場合は、[実行] を押します。

ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳ

_

[▲]、[▼] で数字を選択し、[◄]、[►] で桁を移動させます。

この操作を繰り返して暗証番号を入力してください。

1

1_



8 [◄]、[►] で目的のファイル名を選択し、[実行] を押します。

ListFile.doc →

指定したファイルがプリントされます。

プリント画質について

本プリンタはデータ処理解像度を設定することによりプリント画質を変更することができます。データ処理解像度には、スーパーファインモード、ファインモードがあり、印字のきめ細かさや濃淡の滑らかさなどを目的に応じて使い分けることができます。また、ファインモード時は、高階調モード 1、高階調モード 2 の 2 つの階調モードを設定することができ、スーパーファインモード時は、標準モードに設定されます。



BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、画質の設定方法が異なります。詳しくは、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

解像度モードの種類

各解像度モードには、それぞれ次のような特長があります。

■ スーパーファインモード

スーパーファインモードは、超微粒子スーパーファイントナーとスーパーレーザチップ、高速 RISC プロセッサにより実現した、リアル 1200dpi の超高解像度モードです。きめ細かい解像力で文字や図形輪郭をリアルに再現できます。特に小さい文字が多く含まれるデータをプリントするのに適したモードです。



スーパーファインモードでプリントする場合は、プリント速度が約半分に低下します。



- スーパーファインモードは、LIPS プリンタドライバからのプリント時に使用可能です。その他のエミュレーションモードでは使用できません。
- スーパーファインモードでプリントする際には、処理に多くのメモリを必要とします。そのため、スーパーファインモードに設定するとデータの量や種類によっては「39 スプールメモリフル」と表示されプリントできないことがあります。このような場合は、「解像度モード」を「ファイン」に、「階調モード」を「高階調 1」に設定してプリントするか、必要に応じてオプションの拡張 RAM を増設してください。

■ ファインモード

ファインモードは、600dpi の高解像度モードです。キヤノン独自の新スーパースムージングテクノロジーにより、文字や線画などの線や階調を滑らかに再現できます。一般的な文書や表を高速に印刷する場合に適したモードです。

階調モードの種類

階調モードには、標準モード、高階調モード 1、高階調モード 2 の 3 つのモードがあり、工場出荷時は高階調モード 1 に設定されています。各モードには、それぞれ次のような特長があります。

■ 標準モード（スーパーファインモード時のみ）

解像度モードをスーパーファインモードに設定した場合、このモードでプリントされます。

■ 高階調 1 モード（ファインモード時のみ）

写真などを一般的な品質でプリントする場合に適したモードです。

■ 高階調 2 モード（ファインモード時のみ）

高階調 1 モードより高い品質でプリントする場合に適したモードです。



高階調 2 モードでプリントする際には、処理に多くのメモリを必要とします。そのため、高階調 2 モードに設定するとデータの量や種類によっては「39 スプールメモリフル」と表示されプリントできないことがあります。このような場合は、「階調モード」を「高階調 1」に設定してプリントするか、必要に応じてオプションの拡張 RAM を増設してください。

解像度モードを設定する

■ Windows からプリントする場合

解像度モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「ファイン」が選択されています。解像度モードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［解像度］で設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ Macintosh からプリントする場合

解像度モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで解像度を選択します。初期値は「ファイン」に設定されています。プリンタの操作パネルで解像度モードを設定するときは、次の手順で行います。



1 ［セットアップ］を押します。

セットアップ゜

カクチョウ キノウ →



2 ［◄］、［►］で「インジ　チョウセイ」を選択し、［実行］を押します。



印字調整グループの設定項目が表示されます。



3 ［◄］、［►］で「データショリ」を選択し、［実行］を押します。



解像度モードの設定値が表示されます。



4 ［◄］、［►］で目的の解像度モードを選択し、［実行］を押します。



解像度モードが変更されます。

階調モードを設定する

■ **Windows からプリントする場合**

階調モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「パネル優先」が選択されています。階調モードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［印字詳細］を押し、［階調］で設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ **Macintosh からプリントする場合**

階調モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ **DOS や UNIX からプリントする場合**

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで階調処理を選択します。初期値は「コウカイチョウ 1」に設定されています。プリンタの操作パネルで階調モードを設定するときは、次の手順で行います。



1 [セットアップ] を押します。

セットアップ゜
カクチョウ キノウ →



2 [◄]、[►] で「インジ チョウセイ」を選択し、[実行] を押します。

インシ゛ チョウセイ →
テ゛ータショリ →

印字調整グループの設定項目が表示されます。



3 [◄]、[►] で「カイチョウショリ」を選択し、[実行] を押します。

カイチョウショリ →
=コウカイチョウ1 →

階調モードの設定値が表示されます。







4 [◄]、[►] で階調モードを選択し、[実行] を押します。

コウカイチョウ2 →
=コウカイチョウ2 →

階調モードが変更されます。

カラーモードについて

本プリンタは、印字モードを「カラー」、「モノクロ」、「ジドウ」に設定できます。

メモ　BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、カラーモードの設定方法が異なります。詳しくは、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

カラーモードの種類

各カラーモードはそれぞれ次のような特長があります。

■ カラーモード

受信したデータがカラーの場合でもモノクロの場合でも、常にカラー処理してプリントします。「ジドウ」モードに設定していると、カラーデータの場合でも、薄い色を使用した画像などは、モノクロデータと判断されてプリントされることがありますが、このようなときにカラーモードを指定してプリントします。

■ モノクロモード

受信したデータがカラーの場合でもモノクロの場合でも、常にモノクロ処理してプリントします。カラーデータをモノクロでプリントしたいときに設定します。

■ ジドウモード

受信した印字データがカラーのときはカラー処理、モノクロのときはモノクロ処理に自動的に切り替えてプリントします。

カラーモードを設定する

■ Windows からプリントする場合

カラーモードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「カラー」が選択されています。カラーモードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［カラーモード］で設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ Macintosh からプリントする場合

カラーモードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルでカラーモードを選択します。初期値は「ジドウ」に設定されています。プリンタ操作パネルでカラーモードを設定するときは、次の手順で行います。



1 [セットアップ] を押します。

セットアップ°

カクチョウ キノウ →



2 [◄]、[►] で「インジ　チョウセイ」を選択し、[実行] を押します。

インジ゛チョウセイ →

テ゛ータショリ →

印字調整グループの設定項目が表示されます。



3 [◄]、[►] で「カラーモード」を選択し、[実行] を押します。

カラーモート゛ →

=シ゛ト゛ウ →

カラーモードの設定値が表示されます。







4 [◄]、[►] でカラーモードを選択し、[実行] を押します。

カラー →

=カラー →

カラーモードが変更されます。

動作モードについて

本プリンタは、キヤノン独自のLIPSモード、IBM PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）のESC/P エミュレーションモードの2種類の動作モードを内蔵しています。プリントデータを受信すると、プリントデータを判別し、自動的にデータに応じた動作モードに切り替えてプリントします。
このため、通常は工場出荷時の設定のままで各種パソコンに対応できますが、自動切り替えがうまくできないときや、いままで使用していたプリンタと同じ設定で使いたいときなどは、優先的に処理する動作モードを設定したり、いずれかの動作モードに固定することができます。

動作モードの種類

本プリンタは、内蔵のLIPSモード／ESC/P エミュレーションモードと、オプションのコントロールROMによるPC-9800シリーズやPS/55シリーズなどのエミュレーションモードを使用できます。

■ LIPS モード

LIPSは、キヤノンが独自に開発したページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。LIPSに対応しているアプリケーションソフト（一太郎、Lotus 1-2-3、桐など）はこのモードでプリントします。付属のプリンタドライバを組み込むと、自動的にLIPSモードでプリントされます。

■ ESC/P エミュレーションモード

IBM-PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）、AX パソコンで標準的に使用されているESC/P 準拠プリンタの動作をエミュレートする（まねをする）モードです。これらのパソコンで、LIPSに対応していないアプリケーションソフトを使用しているときはこのモードでプリントします。エプソンが提唱するESC/P-J84のコマンド体系に準拠しています。

■ その他のエミュレーションモード

PC-9800シリーズ、PS/55シリーズ、HP-GL専用プリンタをエミュレートするコントロールROMがオプションで用意されています。コントロールROMを取り付けることにより、PC-9800シリーズ、PS/55シリーズ、HP-GL対応のアプリケーションから プリントできるようになります。

メモ　コントロールROMについては、設置ガイド「第1章 設置する前に」を参照してください。

自動切り替えがうまくできないとき

本プリンタの動作モード設定を「自動選択」(工場出荷時のままの状態)で使用中に、ESC/P データが LIPS でプリントされるなど、動作モードの自動切り替えがうまくいかない場合は、プリンタを次のように設定してみてください。
次の設定を変更しても自動切り替えがうまくいかないときは、プリントデータに合った動作モードに固定してプリントしてください。



優先エミュレーション、動作モードの自動切り替えの設定、動作モードの固定は操作パネルから行います。設定方法については LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

■ 優先エミュレーションを切り替えたい動作モードに設定する

優先エミュレーションの工場出荷時の設定は「ナシ」になっています。この設定をプリントするデータに合わせて「ESC/P」や「LIPS」、コントロール ROM(オプション)のエミュレーションモードに変更します。

■ 自動切り替えの設定で不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す

自動切り替えの工場出荷時の設定は、すべての動作モードが「使う」になっています。この設定で、不要な動作モードを「使わない」に設定します。

専用プリンタと同じ動作で使う(動作モード固定)

本プリンタを使用しているパソコン専用のプリンタと同じ動作で使いたいときは、自動切り替えを解除し、動作モードを LIPS モード、ESC/P エミュレーションモード、コントロール ROM(オプション)のエミュレーションモードのいずれかに固定することができます。



- ESC/P エミュレーションモードでプリントする場合、ページフォーマットの設定が必要です。ページフォーマットについては次項目を参照してください。
- 動作モードの設定は操作パネルから行います。設定方法は LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

■ IBM-PC/AT 互換機(DOS/V パソコン)や AX パソコン

ESC/P エミュレーションモードに固定

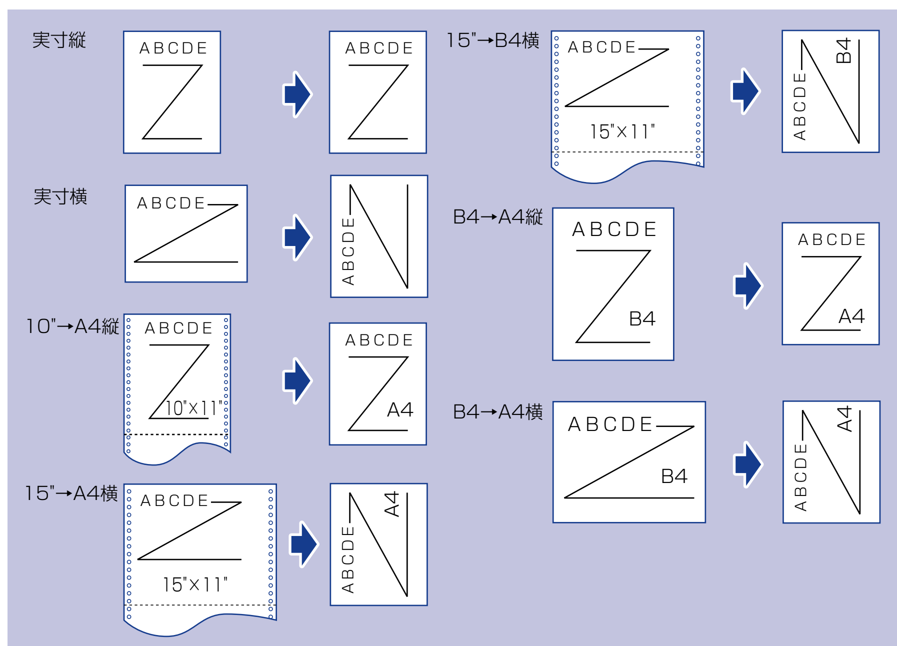
■ PC-9800 シリーズや PS/55 シリーズなどのパソコン

取り付けたコントロール ROM(オプション)のエミュレーションモードに固定

エミュレーションモードで使うとき

本プリンタを ESC/P エミュレーションモードで使用する場合、いままで ESC/P 準拠のプリンタで使用していた用紙の種類やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、次の 7 種類のページフォーマットから選択します。本プリンタを購入したまま（工場出荷時）の状態では、「実寸縦」に設定されています。

実寸縦：用紙を縦に使ってプリントします
実寸横：用紙を横に使ってプリントします
10" → A4 縦：10" × 11" の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小してプリントします
15" → A4 横：15" × 11" の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小してプリントします
15" → B4 横：15" × 11" の連続用紙用に作成したデータを B4 に縮小してプリントします
B4 → A4 縦：B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を縦に使ってプリントします
B4 → A4 横：B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を横に使ってプリントします





- 用紙サイズは「10" → A4 縦」「15" → A4 横」「B4 → A4 縦」「B4→ A4 横」では A4、「15" → B4 横」では B4 が標準ですが、給紙元が設定（給紙選択）されているときは、設定されている給紙元の用紙にプリントします。
- 10" × 11" の連続用紙のサイズは、254.0mm × 279.4mm です。15" × 11" の連続用紙のサイズは、381.0mm × 279.4mm です。

プリントを中止したいときは

パソコン側の操作でプリントを中止しても、すでにプリンタに一部データが送られている場合、プリントジョブが終わらないことがあります。そのような場合に、データを排出してプリンタ側の印刷処理を終わらせたり、プリンタ側で現在実行中の処理やすべての作業を中止することができます。

データを排出する（強制排出）

パソコン側でプリントを中止した場合や受信したデータが 1 ページ分に満たない場合には、プリンタのメモリにプリントデータが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、次のプリントができません。このようなときは、次の手順で強制的にプリントデータを排出してください。

重要

- データを排出したときは、プリント中のデータは消されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。
- エラーランプが点灯している状態では、データの排出はできません。受信したデータを消去したい場合は、ソフトリセットを行ってください。（→ P.2-62）
- オプションのハードディスクを使用している場合は、セットアップメニューの「タイムアウト」の設定を「シナイ」以外に設定してください。工場出荷時の状態の「15 ビョウ」に設定することをおすすめします。

メモ

- プリントデータがプリンタのメモリに残ったまま、またはプリントデータがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプが点灯しています。
- ジョブの「タイムアウト」が設定されているときは、設定されている時間が経過すると、1ページ分に満たないデータも自動的に排出されます。工場出荷時の状態では、ジョブの「タイムアウト」は「15 ビョウ」に設定されています。
- データ排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、ソフトリセットを行ってください。（→ P.2-62）



1 ［リセット］を押します。

リセット

ソフトリセット →

リセットメニューが表示されます。



2 ［◄］、［►］で「ハイシュツ」を選択し、［実行］を押します。

ハイシュツ →

メモリに残っているデータがプリントされます。

プリントをキャンセルする（ジョブキャンセル）

現在実行中のプリントをキャンセルしたいときは、次の操作で「ジョブキャンセル」を実行します。ジョブキャンセルは、そのときデータ受信中またはデータ処理中のジョブをキャンセルすることができます。次のプリントデータやまだデータ処理が始まっていないジョブには影響しません。

重要

- ジョブキャンセルは、データ処理をしているとき（ジョブランプ点灯または点滅中）に行ってください。ジョブランプが消灯しているときに［ジョブキャンセル］をしてもジョブキャンセルは行われません。
- すでにデータ処理が終わり印刷処理中（給紙動作が始まった状態）のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがあります。
- 本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信されたプリントデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。

メモ

ジョブキャンセルを行ったときに、「03　ジョブ　キャンセル」と表示されてもジョブがキャンセルされないことがあります。また、パスワード入力前のセキュアプリントジョブやボックスに保存するジョブはキャンセルすることはできません。セキュアプリントジョブやボックスに保存するジョブは、リモートUIで削除してください。（→リモートUIガイド）

ジョブキャンセルは、次の手順で操作します。必ずジョブランプが点灯または点滅しているとき（キャンセルしたいジョブがデータ受信中またはデータ処理中の状態）に行ってください。



1 ［ジョブキャンセル］を押します。



2 ジョブキャンセルをする場合、［実行］を押します。

キャンセル ジッコウ？

03 ジョブ キャンセル

00 インサツ カノウ　A4

「03　ジョブ　キャンセル」が表示され、処理中のプリントデータがキャンセルされます。
「00　インサツ　カノウ」が表示されたら、ジョブキャンセル完了です。

重要

「03　ジョブ　キャンセル」が表示されているときは、プリンタの操作はできません。

現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）

現在実行中の処理を中止したいときは、次の操作で「ソフトリセット」を実行します。ソフトリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

重要

- 必ずパソコン側でプリント中止の操作を行ってからプリンタ側でプリント中止（ソフトリセット）の操作を行ってください。
- ソフトリセットを行うと、そのときプリント中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。
- 他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように、この操作を行ってください。

メモ

ハードリセットを行うと、プリンタの RAM に保存されているフォームデータなどの登録ファイルはすべて消去されますが、ソフトリセットでは消去されません。



1 ［リセット］を押します。



リセットメニューが表示されます。



2 ［◄］、［►］で「ソフトリセット」を選択し、［実行］を押します。

［実行］をそのまま 3 秒以上押し続けると「ハードリセット」の操作になります。



「03　ソフト　リセット」の表示が消えたらソフトリセットが完了します。

すべての作業を中止する（ハードリセット）

何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータを消去したいときは、次の操作で「ハードリセット」を実行します。ハードリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

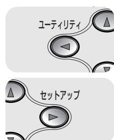
重要
- データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータは、リセット処理後に受信されます。ただし、正しくプリントされないことがあります。
- 他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように、この操作を行ってください。



1 ［リセット］を押します。



リセットメニューが表示されます。



2 ［◀］、［▶］で「ソフトリセット」を選択します。





3 ［実行］を押し続け、「ハードリセット」と表示されたら離します。

「ハードリセット」が表示されるまで（約 3 秒）押し続けます。3 秒未満の場合は、「ソフトリセット」の操作になります。



「03　ハード　リセット」の表示が消えたらハードリセットが完了します。

3
CHAPTER

給紙・排紙のしかた

この章では、本プリンタで使用できる用紙や給紙、排紙のしかたについて説明しています。

用紙について

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

使用できる用紙

本プリンタでは次の用紙を使用できます。表中の◎は片面プリントと自動両面プリントが可能、○は片面プリントのみ可能、×は不可です。

重要　幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続プリントした場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、プリント速度が段階的に遅くなります。（最終的に A5、B5 サイズの普通紙の場合で約 8ppm、B4 サイズの普通紙やハガキの場合で約 4ppm まで低下することがあります。）

用紙サイズ

用紙の種類	給紙元				
	手差しトレイ	カセット 1	カセット 2（オプション）	カセット 3（オプション）	カセット 4（オプション）
普通紙（64 ～ 105g/m²）					
A5	◎	◎	◎	◎	◎
B5*1	◎	◎	◎	◎	◎
A4*1	◎	◎	◎	◎	◎
B4*2	◎	◎	◎	◎	◎
A3*2	◎	◎	◎	◎	◎
レター *1	◎	◎	◎	◎	◎
エグゼクティブ *1	◎	◎	◎	◎	◎
リーガル *2	◎	◎	◎	◎	◎
レジャー（11 × 17）*2	◎	◎	◎	◎	◎
12 × 18*2	○	×	×	×	×
ユーザ設定サイズ	◎ *3	×	◎ *4	◎ *4	◎ *4
長尺紙 *2	○ *5	×	×	×	×
ハガキ *2 100.0mm × 148.0mm	○	×	×	×	×
往復ハガキ *1 148.0mm × 200.0mm	○	×	×	×	×
4 面ハガキ *1 200.0mm × 296.0mm	○	×	×	×	×

3

給紙・排紙のしかた

厚紙（106 ～ 220g/m²） A5 ～ 12 × 18	○	×	×	×	×
ユーザ設定サイズ	○ *3	×	×	×	×
長尺紙 *2	○ *5	×	×	×	×
ハガキ *2 100.0mm × 148.0mm	○	×	×	×	×
往復ハガキ *1 148.0mm × 200.0mm	○	×	×	×	×
4 面ハガキ *1 200.0mm × 296.0mm	○	×	×	×	×
コート紙　A3 A4	○	×	×	×	×
ラベル用紙　A4	○	○	○	○	○
ハガキ *2 100.0mm × 148.0mm	○	×	×	×	×
往復ハガキ *1 148.0mm × 200.0mm	○	×	×	×	×
4 面ハガキ *1 200.0mm × 296.0mm	○	×	×	×	×
封筒 *2 洋形 4 号 105.0mm × 235.0mm	○	×	×	×	×
洋形 2 号 114.0mm × 162.0mm	○	×	×	×	×
角形 2 号 240.0mm × 332.0mm	○	×	×	×	×

*1 横置きのみセット可能です。

*2 縦置きのみセット可能です。

*3 以下のサイズのユーザ設定用紙をセットすることができます。
・縦置きの場合：幅 98.0 ～ 312.0mm、長さ 148.0 ～ 457.2mm
・横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

以下のサイズのユーザ設定用紙（普通紙）を自動両面印刷することができます。
・縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
・横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

*4 以下のサイズのユーザ設定用紙をセットすることができます。
・縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
・横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

*5 以下のサイズの長尺紙を縦置きにセットすることができます。LIPS LX プリンタドライバからのみプリントすることができます。
・幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 457.3 ～ 1200.0mm

■ 用紙サイズの略号について

給紙カセットのサイズの表示は、次の用紙について以下のような略号で表示されます。

用紙サイズ	給紙カセットの用紙サイズ設定スイッチ
レジャー（11 × 17）	11 × 17
リーガル	LGL
レター	LTR
エグゼクティブ	EXEC
ユーザ設定サイズ *	CUSTOM

*オプションのペーパーフィーダのみ

給紙元の積載枚数

用紙の種類	給紙元				
	手差しトレイ	カセット 1	カセット 2（オプション）	カセット 3（オプション）	カセット 4（オプション）
普通紙（64g/m² の場合）	約 100 枚	約 250 枚	約 550 枚	約 550 枚	約 550 枚
厚紙（128g/m² の場合）	約 50 枚	×	×	×	×
コート紙	約 50 枚	×	×	×	×
ラベル用紙	約 40 枚	約 50 枚	約 50 枚	約 50 枚	約 50 枚
ハガキ	約 40 枚	×	×	×	×
往復ハガキ	約 40 枚	×	×	×	×
4 面ハガキ	約 40 枚	×	×	×	×
封筒	約 10 枚	×	×	×	×

排紙先の積載枚数

用紙の種類	排紙先 *
	フェースダウン排紙トレイ
普通紙（64g/m^2 の場合）	約 250 枚
厚紙（128g/m^2 の場合）	約 200 枚
コート紙	約 150 枚
ラベル用紙	約 100 枚
ハガキ	約 50 枚
往復ハガキ	約 50 枚
4 面ハガキ	約 50 枚
封筒	約 20 枚

* 設置環境や使用する用紙の種類によっては、実際の積載枚数は異なります。

■ 普通紙

本プリンタでは、A3、B4、A4、B5、A5、12 × 18、レジャー（11 × 17)、リーガル、レター、エグゼクティブ、ハガキ、往復ハガキ、4 面ハガキサイズの定形用紙、およびユーザ設定用紙、長尺紙の重さ 64 ～ 105g/m^2 の普通紙を使用できます。
定形用紙（ハガキ、往復ハガキ、4 面ハガキ以外）は、給紙カセットや手差しトレイから給紙できます。ハガキ、往復ハガキ、4 面ハガキサイズの普通紙は、手差しトレイから給紙できます。また A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11× 17)、レター、リーガル、エグゼクティブサイズは、自動両面プリントが可能です。

ユーザ設定用紙、長尺紙は、手差しトレイから給紙できます。ユーザ設定用紙は、手差しトレイから自動両面印刷が可能です。また、オプションのペーパーフィーダを装着すると、ユーザ設定用紙をカセット 2、3、4 から給紙でき、自動両面プリントが可能です。

■ 厚紙

本プリンタでは、A3、B4、A4、B5、A5、12 × 18、レジャー（11 × 17)、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙、およびユーザ設定用紙、長尺紙の重さ 106 ～ 220g/m^2 の厚紙を使用できます。厚紙は、手差しトレイから給紙し、片面プリントのみ可能です。

■ コート紙

本プリンタでは、A3、A4 サイズのコート紙を使用できます。コート紙は手差しトレイにセットします。

 重要　コート紙は、「キヤノン推奨品イメージコート A3」、「キヤノン推奨品イメージコート A4」をご使用ください。

■ ラベル用紙

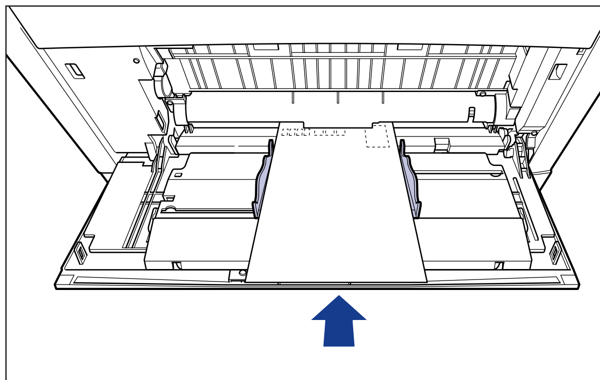
本プリンタでは A4 サイズのラベル用紙を使用できます。ラベル用紙は、給紙カセットや手差しトレイから給紙できます。

重要
- ラベル用紙は、「キヤノン推奨品ラベル用紙 A4」をご使用ください。
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - · ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
  - · 台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - · 糊がはみ出ている用紙

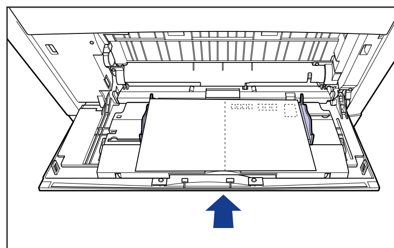
■ ハガキ / 往復ハガキ /4 面ハガキ

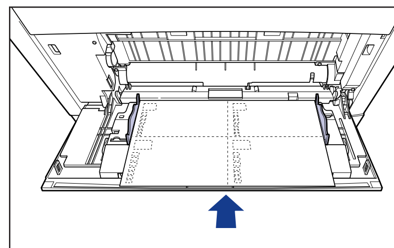
本プリンタでは、郵便ハガキ、郵便往復ハガキ、郵便４面ハガキとキヤノン推奨４面ハガキを使用できます。ハガキ、往復ハガキ、４ 面ハガキはプリント面を下にして手差しトレイにセットします。

重要
- 郵便ハガキ、郵便往復ハガキ、郵便４面ハガキ、およびキヤノン推奨の４面ハガキ以外のハガキへのプリントは、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。
- プリント可能な往復ハガキは、折り目なしのもののみです。
- ハガキがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の郵便ハガキ、郵便往復ハガキを使用することはできません。
- ハガキは横置きにはセットできません。プリントする面を下にして、必ず縦置きにセットしてください。



- 往復ハガキ、４面ハガキは縦置きにはセットできません。プリントする面を下にして、必ず横置きにセットしてください。





3

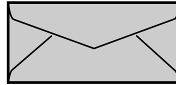
給紙・排紙のしかた

• ハガキや往復ハガキにプリントする場合、プリント速度が遅くなります。

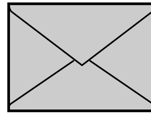
■ 封筒

本プリンタで使用できる封筒は、洋形４号、洋形２号、角形２号で次のような構造のものに限ります。封筒は宛名を書く面（貼り合わせのない面）を下にして手差しトレイにセットします。

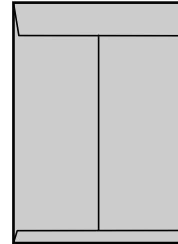
洋形4 号（105mm×235mm ）
（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）



洋形2 号（114mm×162mm ）
（キヤノンLBP用封筒Y201／推奨品）



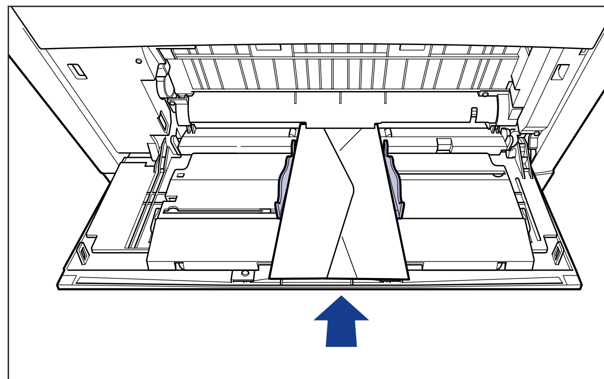
角形2 号（240mm×332mm ）



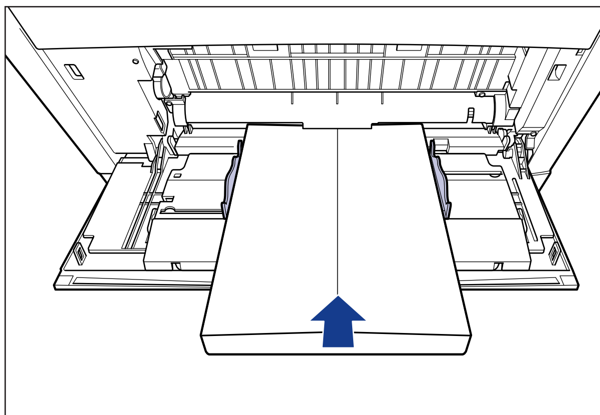
※洋形4号および洋形2号の封筒は、
短辺にふたが付いているものは使用できません。

重要

• 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  · ファスナーや留め具の付いている封筒
  · 窓付きの封筒
  · 糊付きの封筒
  · しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  · 折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  · 長方形でない封筒や不規則な形の封筒
• セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
• 裏面（貼り合わせのある面）にはプリントしないでください。
• 洋形４号、洋形２号の封筒をセットする場合は、ふたがプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。



- 角形 2 号の封筒をセットする場合は、ふたを開けたまま、底辺がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。



- 封筒にプリントする場合、プリント速度が遅くなります。



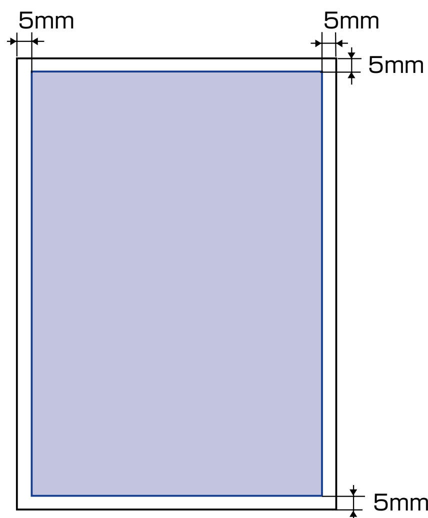
封筒にプリントした場合、しわがよる場合があります。

プリントできる範囲

本プリンタでプリントできる領域は、次の範囲です。ただし、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

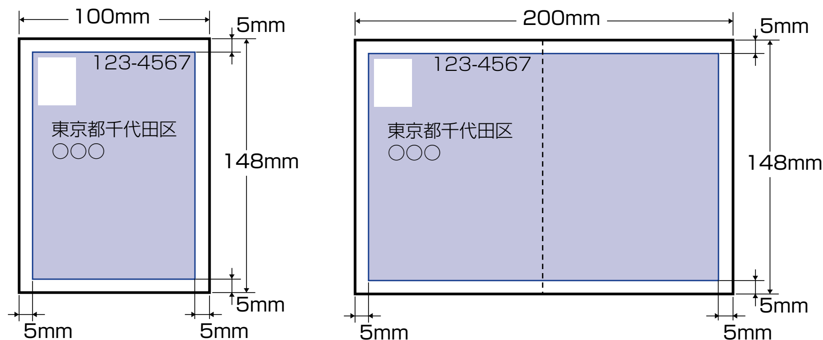
■ 普通紙 / 厚紙 / コート紙 / ラベル用紙

用紙の周囲 5mm より内側の範囲にプリントできます。



■ ハガキ / 往復ハガキ /4 面ハガキ

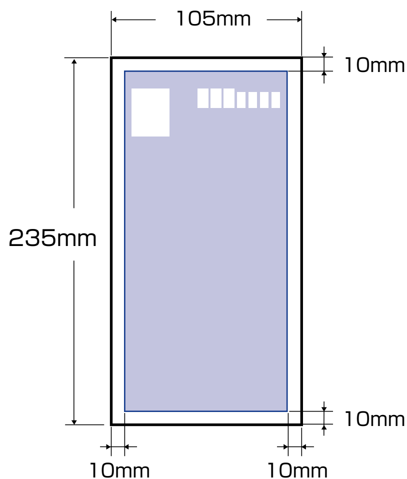
ハガキの周囲 5mm より内側の範囲にプリントできます。



■ 封筒

封筒の周囲 10mm より内側の範囲にプリントできます。
お使いのアプリケーションによっては、プリント時に位置を調整してお使いください。

（洋形4号封筒の例）



使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

重要

- 紙づまりを起こしやすい用紙
  - ･厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - ･不規則な形の用紙
  - ･湿っている用紙、濡れている用紙
  - ･破れている用紙
  - ･表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - ･バインダ用の穴やミシン目のある用紙
  - ･カールした用紙や折り目のある用紙
  - ･紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ･裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
  - ･複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
  - ･バリのある用紙
  - ･しわのある用紙
  - ･角折れのある用紙
- 高温によって変質する用紙
  - ･定着器の熱（約 190 ℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
  - ･感熱用紙
  - ･表面加工したカラー用紙
  - ･紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ･糊などがついた用紙
- プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
  - ･カーボン紙
  - ･ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - ･複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
- トナーが定着しにくい用紙
  - ･ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
  - ･紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ･繊維の粗い用紙

用紙の保管について

規格にあった用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。
用紙を保管するときは、次のことに気を付けてください。

重要
- 用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気および乾燥を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙が丸まったり折り目がつくような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所、乾燥している場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度や湿度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。

プリントの保管について

本プリンタでプリントしたプリントの取り扱いや保管するときは、次の点に気を付けてください。

重要
- クリアホルダなど PVC 素材のものといっしょに保存しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付いてしまうことがあります。
- 糊付けするときは、必ず不溶性の接着剤をご使用ください。溶解性の接着剤を使用すると、トナーが溶けてしまいます。接着剤をご使用になる場合は、不要になった印刷物で試してから使用してください。
  プリントを重ねる場合は、完全に乾いていることを確認してください。乾ききらないうちに重ねると、トナーが溶けることがあります。
- 平らな場所に保管してください。折れたりしわになったりすると、トナーが剥がれることがあります。
- 高温の場所に保管しないでください。トナーが溶けて色がにじむことがあります。
- 長期間（2 年以上）保管する場合は、バインダーなどに入れて保管してください。（長時間保管すると、用紙の変色によって、プリントが変色したように見える場合があります。）

給紙元を選択する

本プリンタは、標準状態で給紙カセット（カセット 1）と手差しトレイの合計 2 つの給紙元があります。また、オプションの 550 枚ペーパーフィーダ（カセット 2、カセット 3、カセット 4）を装着することにより、最大 5 つの給紙元を使用することが可能です。

給紙元の種類

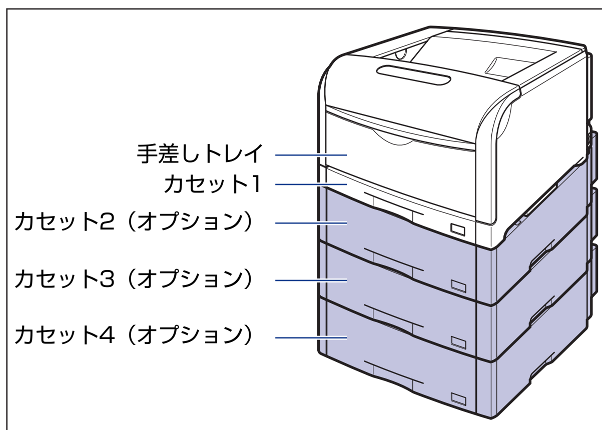
本プリンタには、次の給紙元があります。

■ **給紙元／給紙枚数**

手差しトレイ：100 枚（普通紙：64g/m^2 の場合）
カセット 1：250 枚（普通紙：64g/m^2 の場合）
カセット 2：550 枚（普通紙：64g/m^2 の場合）
カセット 3：550 枚（普通紙：64g/m^2 の場合）
カセット 4：550 枚（普通紙：64g/m^2 の場合）

■ **最大給紙枚数**

2000 枚（64g/m^2 の場合）





ペーパーフィーダは最大 3 台まで取り付けることができます。ただし、ペディスタル（ボックスタイプ）を装着した場合は、2 台までです。

給紙元の選択

給紙元の選択は、次の手順で行います。

■ Windows や Macintosh からプリントする場合

給紙元の選択は、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの初期値は［自動］に設定されており、アプリケーションソフトで用紙サイズを設定すれば、自動的に給紙元を探して給紙されます。プリント中に用紙がなくなっても他の給紙元に同じサイズの用紙があれば、自動的に切り替えて給紙されます。
給紙元を指定したい場合は、プリンタドライバで給紙元を設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

重要　BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、操作パネルで給紙元を選択します。ただし、本プリンタの給紙選択の初期値は「ジドウ」に設定されているため、操作パネルで給紙元を選択しなくても、BMLinkS プリンタドライバで設定したサイズの用紙が自動的に給紙されます。給紙元を指定して印刷したい場合は、「DOS や UNIX からプリントする場合」と同様の手順で給紙元を選択してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで給紙元を選択します。本プリンタの給紙選択の初期値は「ジドウ」に設定されています。
プリンタの操作パネルで給紙元を選択するときは、以下の手順で行います。

給紙選択

1 ［給紙選択］を押します。

キュウシ モード　→

ディスプレイに「キュウシ　モード」と表示されます。

ユーティリティ
セットアップ
実行

2 ［◄］、［►］で「キュウシモード」を選択し、［実行］を押します。

キュウシ モード　→
▼
=ジドウ　→

ユーティリティ
セットアップ
実行

3 ［◄］、［►］で給紙元を選択し、［実行］を押します。

カセット1　→
▼
=カセット1　→



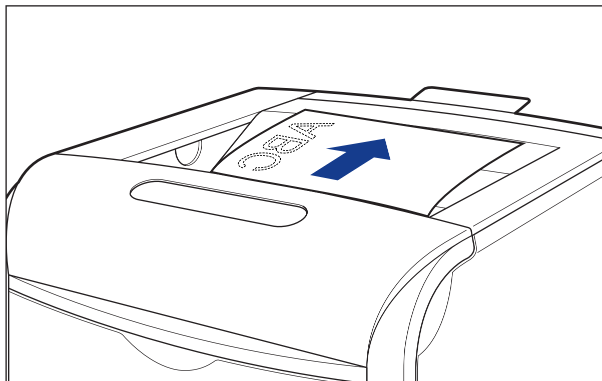
- 「カセット 2」、「カセット 3」、「カセット 4」はペーパーフィーダ装着時にのみ表示されます。
- 自動給紙選択時に、2 つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は、給紙元表示ランプの表示に関係なく、上段の給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされているほかの給紙元へ自動的に切り替わります。

排紙先について

本プリンタには、次の排紙先があります。

排紙トレイ

本体上面の排紙トレイに印字した面が下向き（フェースダウン）で排紙されます。用紙はページ順に積み重なります。



注意 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

重要
- 長尺紙は、排紙されるたびに 1 枚ずつ取り除いてください。
- 両面プリント中は排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。両面プリント中は表面をプリントしたあと一度途中まで排紙され、裏面をプリントするために再度給紙されます。

メモ 排紙トレイは、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 250 枚まで積載することができます。

給紙カセットからプリントする

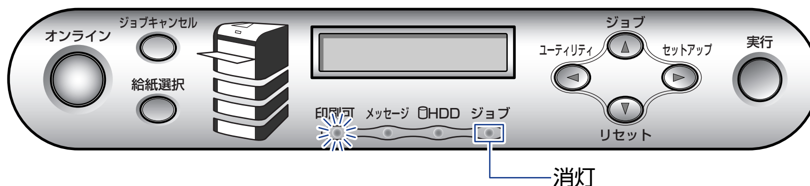
給紙カセットには、定形サイズの普通紙とラベル用紙をセットすることができます。用紙がなくなると、ディスプレイに「11　XXX ヨウシガアリマセン」と表示されたり、給紙元表示ランプが点滅し、給紙元の用紙がなくなったことを表示しますので、用紙をセットしてください。
本プリンタには、給紙カセット（カセット 1）が標準装備されています。また、オプションのペーパーフィーダを装着するとカセット 2、カセット 3、カセット 4 が追加され、ユーザ設定サイズの普通紙をセットすることができます。

用紙をセットするときの注意

用紙をセットするときは、次のいずれかの状態のときに行ってください。ジョブランプが点滅しているときはプリント処理中なので、給紙カセットを引き出さないでください。

重要　プリント中は、絶対にカバーを開けたり、給紙カセットを引き出したりしないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。

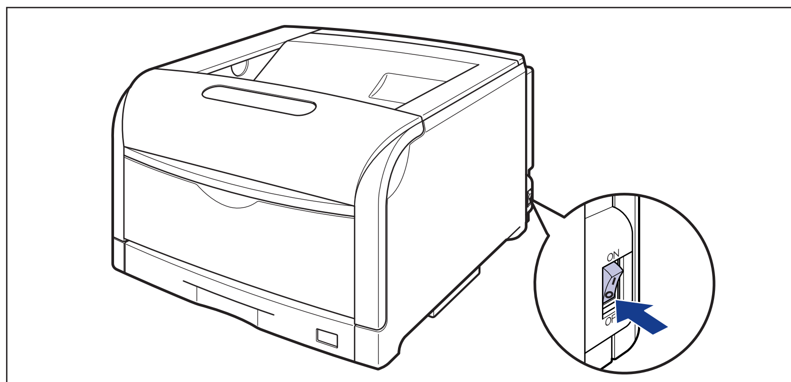
■ ジョブランプが消灯しているとき



■ 用紙がなくなったことや用紙の交換を知らせるメッセージが表示されているとき

11　A4ﾖｳｼｶﾞｱﾘﾏｾﾝ　　PC　A4ﾖｳｼ ﾆ ｺｳｶﾝ

■ 本プリンタの電源がオフのとき



給紙カセットに用紙をセットする

標準で装着されているカセット 1、オプションのペーパーフィーダ装着時のカセット 2、カセット 3、カセット 4 には、それぞれ別のサイズをセットすることができ、給紙元を自動的に切り替えて使用することができます。

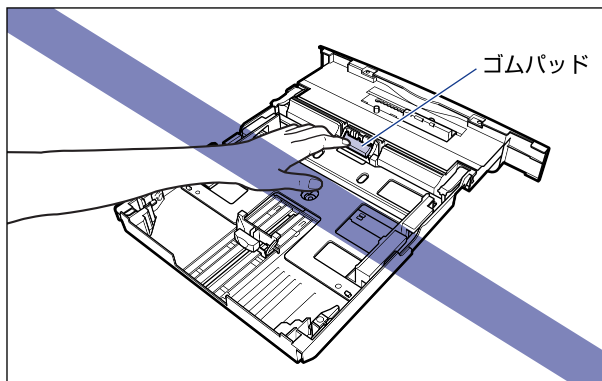
カセット 1 とオプションのカセット 2、カセット 3、カセット 4 とではセットする手順が異なりますので、次の手順で正しく用紙をセットしてください。

重要

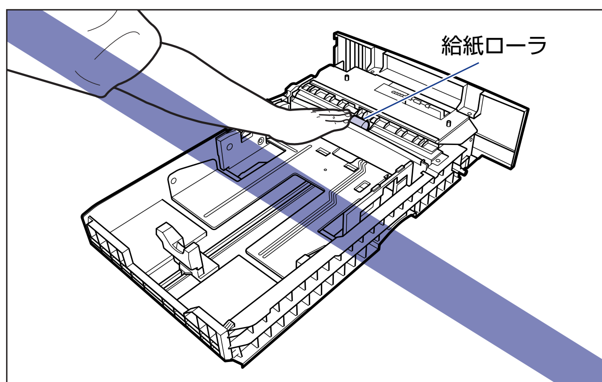
- WindowsやMacintoshから給紙カセットを使ってプリントする場合は、給紙カセットにセットされた用紙のタイプと「カセット N（N=1、2、3、4）用紙タイプ」の設定、およびプリンタドライバの「用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。プリンタの設定とプリンタドライバの設定が一致していないと「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「カセット N（N=1、2、3、4）用紙タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
  また、BMLinkS プリンタドライバやプリンタドライバを使用できない OS（MS-DOS や UNIX など）からプリントする場合は、給紙カセットにセットされた用紙のタイプと「カセット N（N = 1、2、3、4）用紙タイプ」の設定、および「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。
  詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。
- 紙づまりの原因になることがありますので、次の内容を守ってください。
  - ･ハガキ、封筒など普通紙（64 ～ 105g/m^2）、ラベル用紙以外の用紙をセットしないでください。セットできる用紙については、「用紙について」（→ P.3-2）を参照してください。
  - ･バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙をセットしないでください。
  - ･セットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。
  - ･絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

- カセット 1 の黒いゴムパッド、カセット 2、3、4 の給紙ローラには触れないでください。給紙不良の原因になります。

 · カセット 1



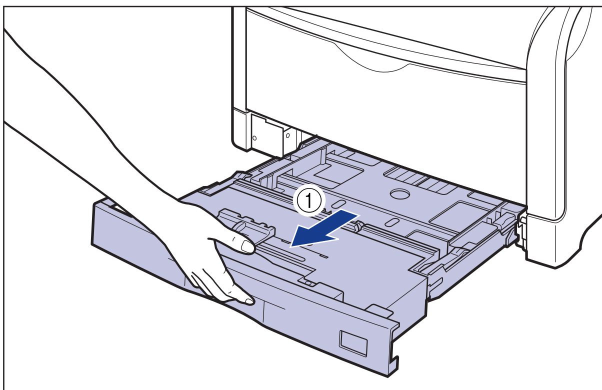
· カセット 2、3、4



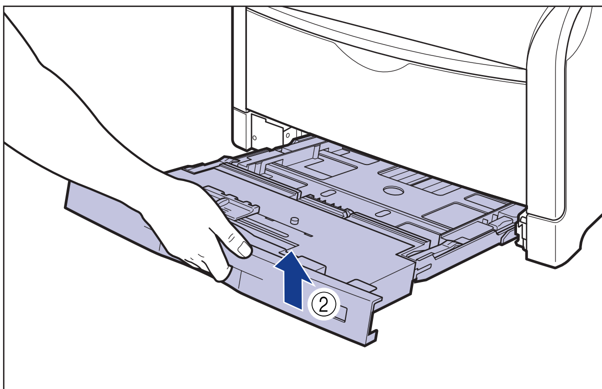
カセット１に用紙をセットする

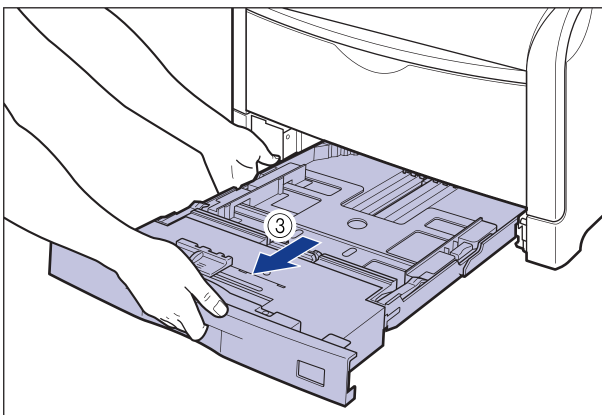
1 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。



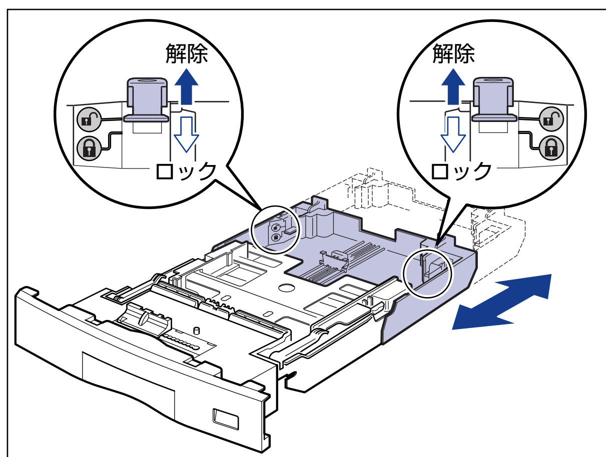



用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

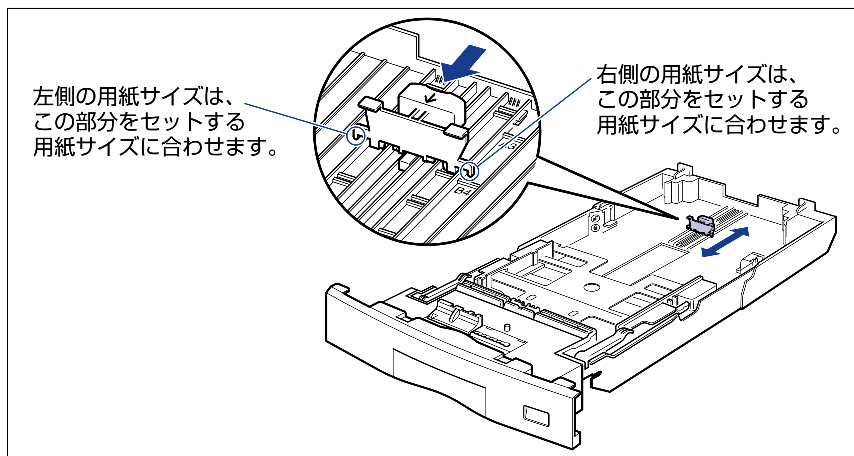

給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

2 セットする用紙に合わせて、給紙カセットの長さを調節します。

A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、給紙カセットを押し込みます。
A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、給紙カセットを引き出します。
給紙カセットの長さを調整するには、ロック解除レバーをゆっくりと持ち上げロックを解除し、給紙カセットの後部を持ってスライドさせ、ロック解除レバーを押し下げてロックします。

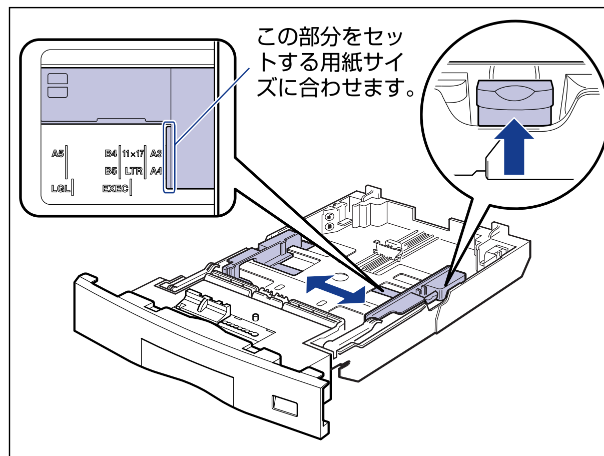


3 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせます。

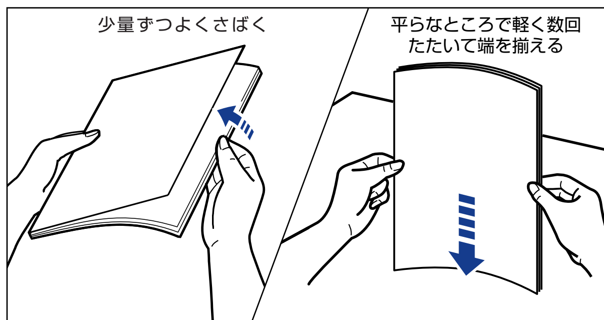


4 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズに合わせます。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。



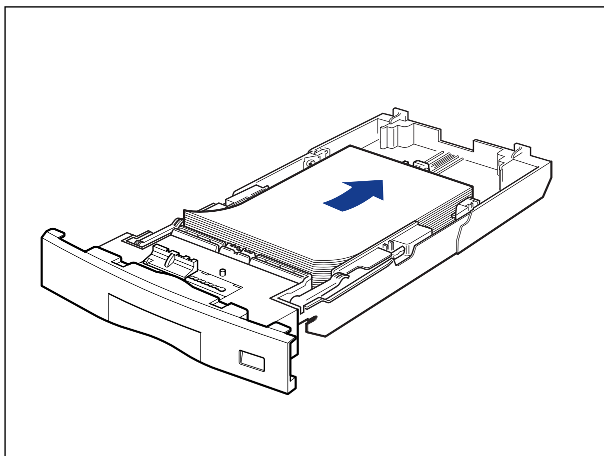
5 ラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。



⚠注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要　ラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。

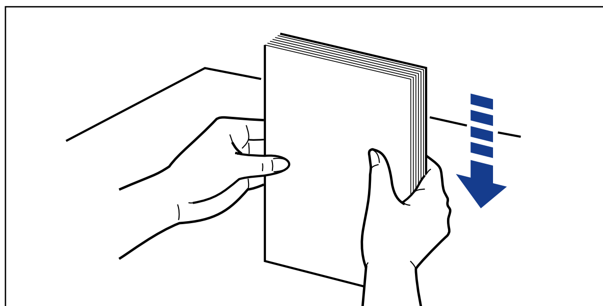
6 用紙の後端を、用紙ガイドに合わせてセットします。



⚠注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

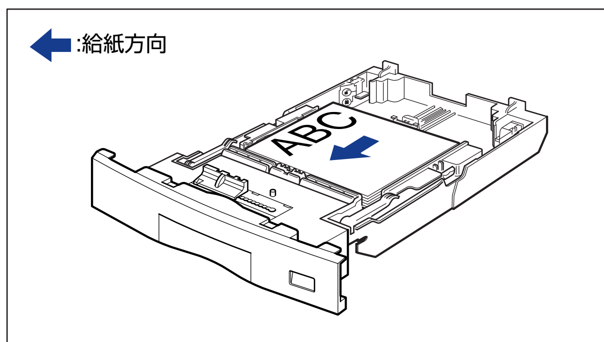


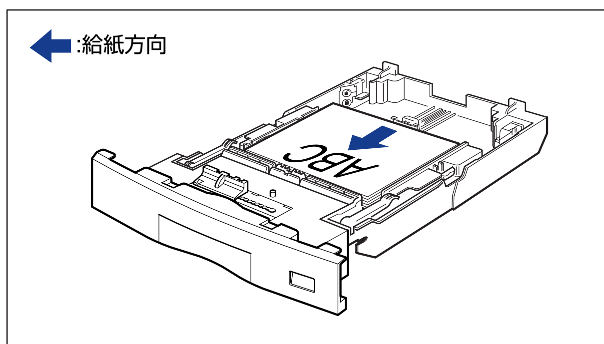
裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。



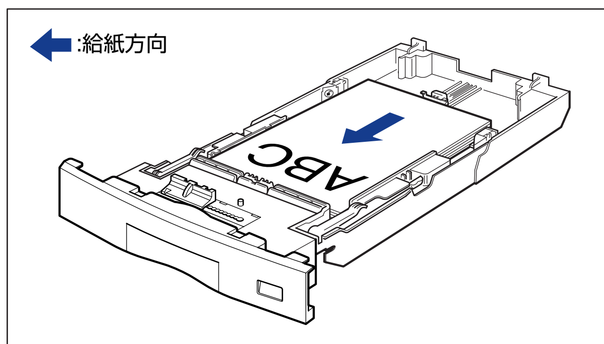


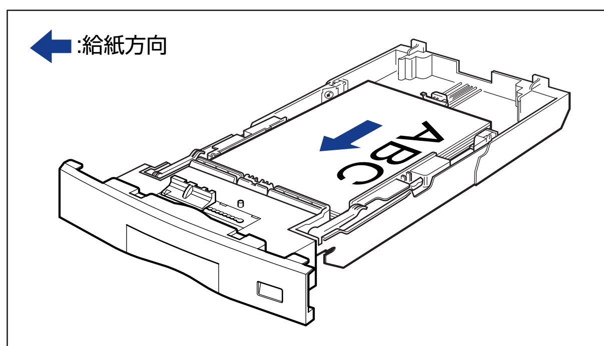
- レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。
  - A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、以下のようにセットします。





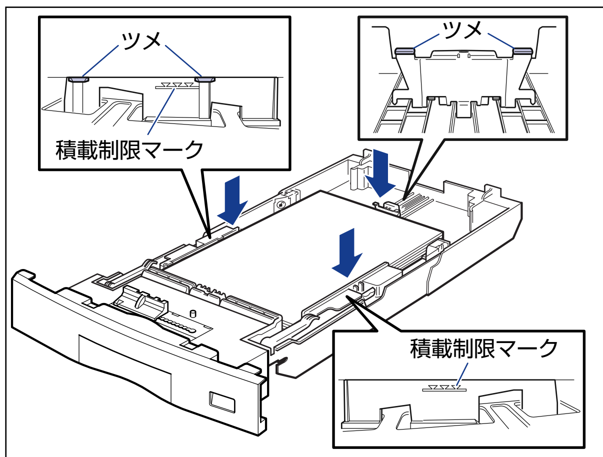
- A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、以下のようにセットします。





7 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙を押さえます。

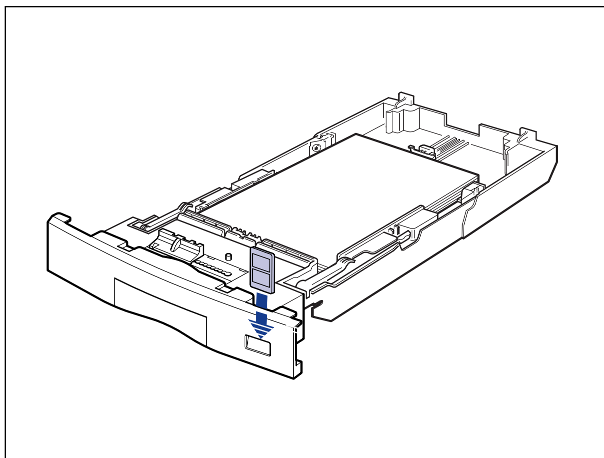
ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。





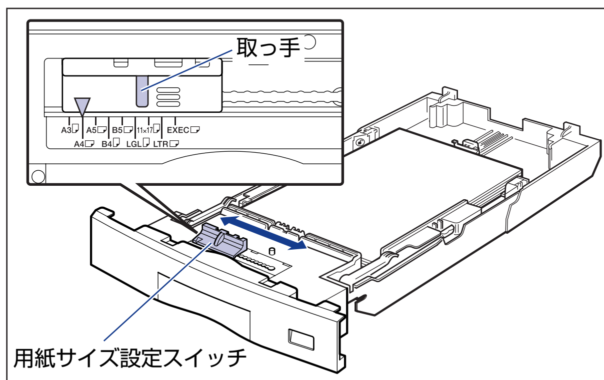
給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m² の場合）で約 250 枚、ラベル用紙で約 50 枚です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

8 用紙サイズ表示板に、セットした用紙サイズのシールを貼り、給紙カセット前面の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。



9 用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークをセットした用紙のサイズに合わせます。

工場出荷時は A4 サイズにセットされています。

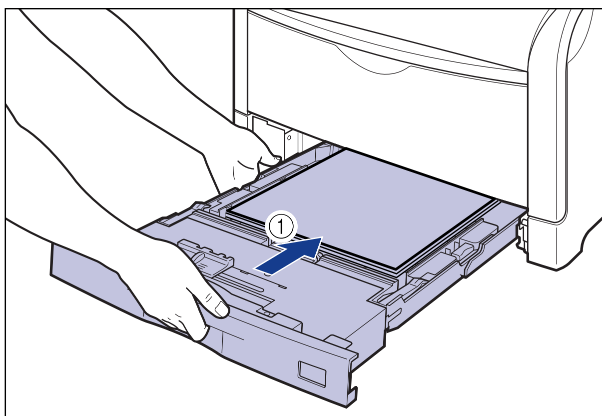




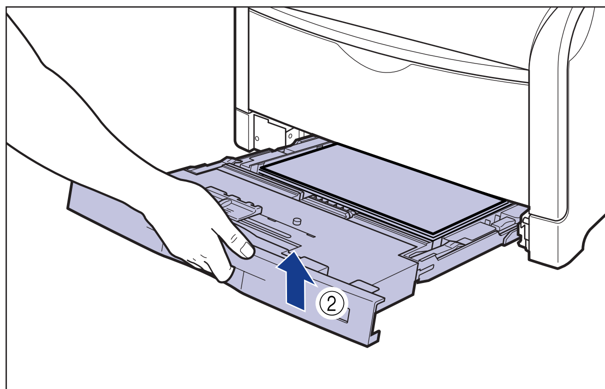
セットした用紙のサイズと用紙サイズ設定スイッチが合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタ本体にセットしてください。用紙サイズ設定スイッチが合っていないと、誤動作の原因になります。

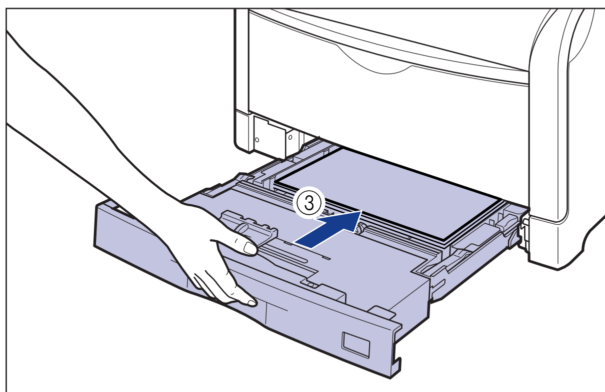
10 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

図のように給紙カセットを両手で持って、止まる位置まで差し込みます ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。

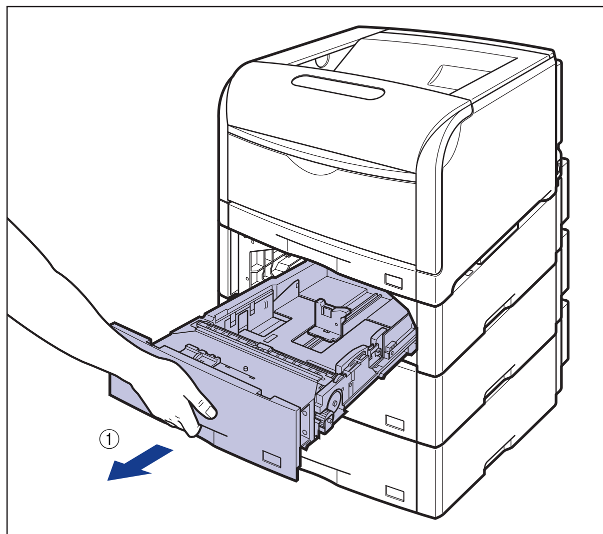




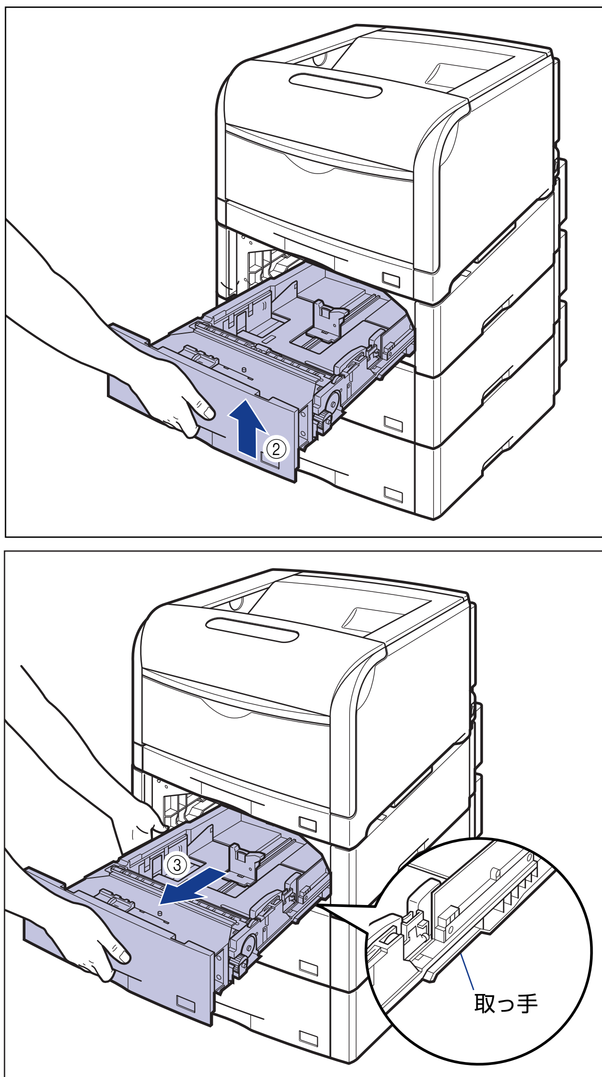
カセット２、カセット３、カセット４ に定形の用紙をセットする

1 **給紙カセットを引き出します。**

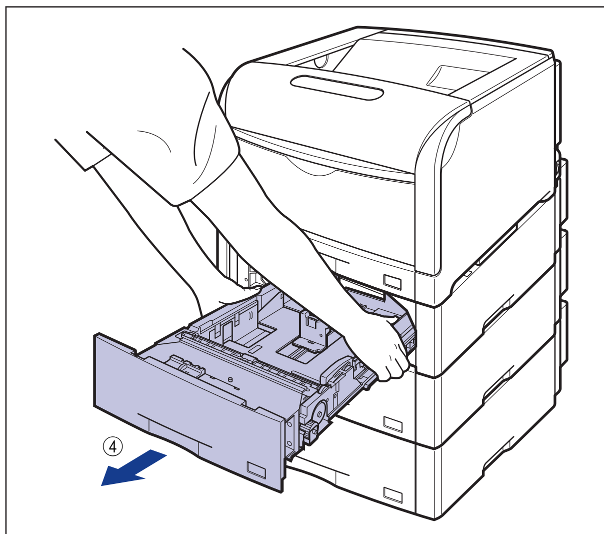
給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。



図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。



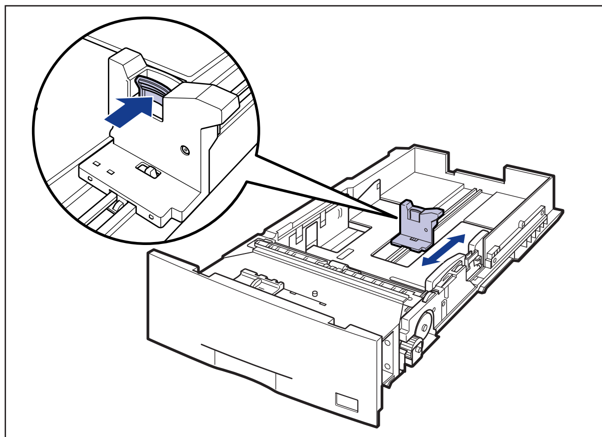


用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをペーパーフィーダから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。



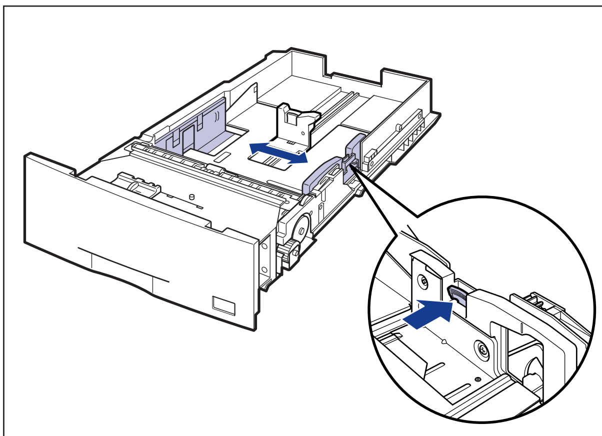
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

2 **後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせます。**

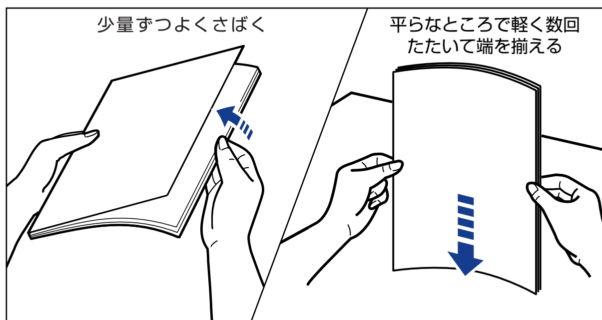


3 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズに合わせます。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。



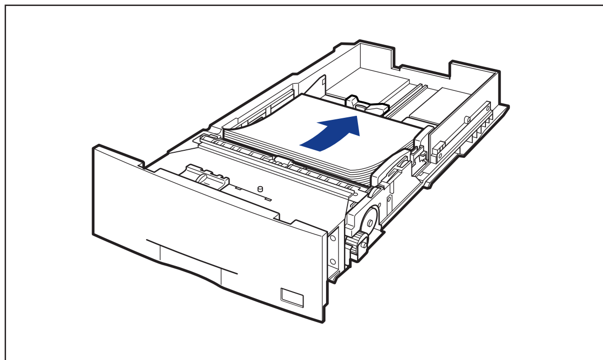
4 ラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。



注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

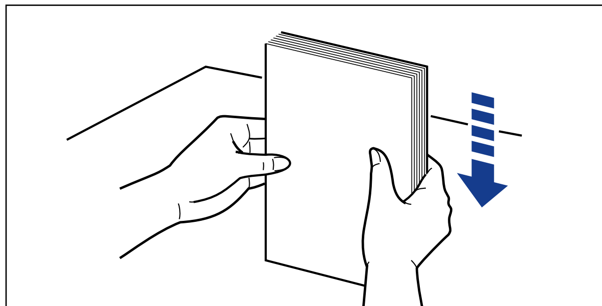
重要 ラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。

5 用紙の後端を、用紙ガイドに合わせてセットします。



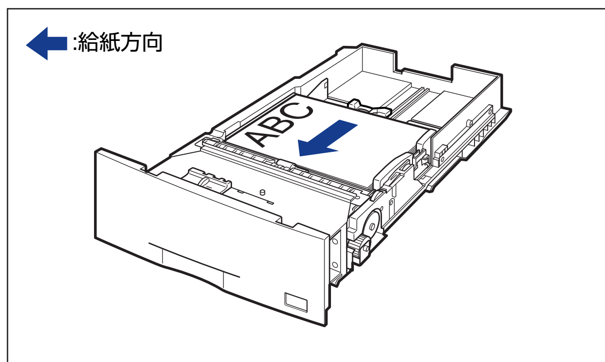

用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

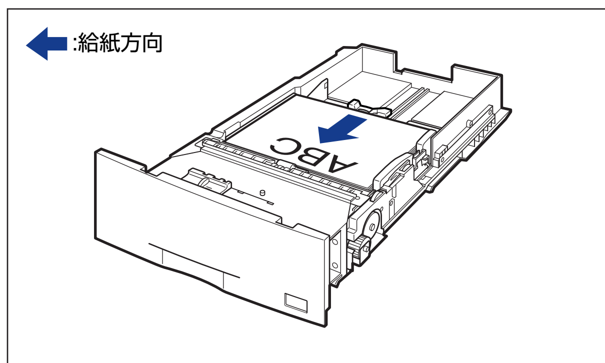

裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。



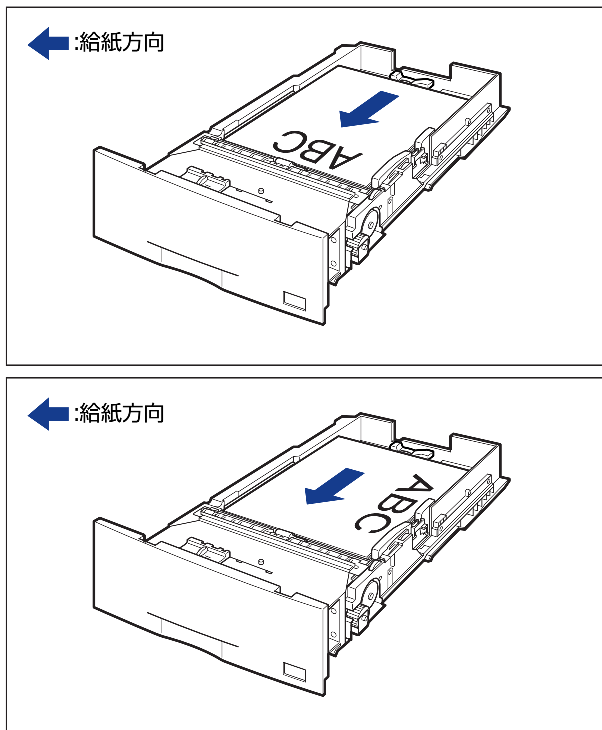

レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、以下のようにセットします。



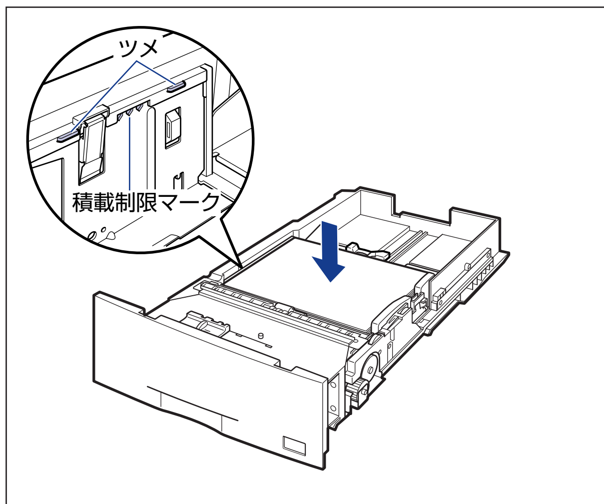


・ A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、以下のようにセットします。



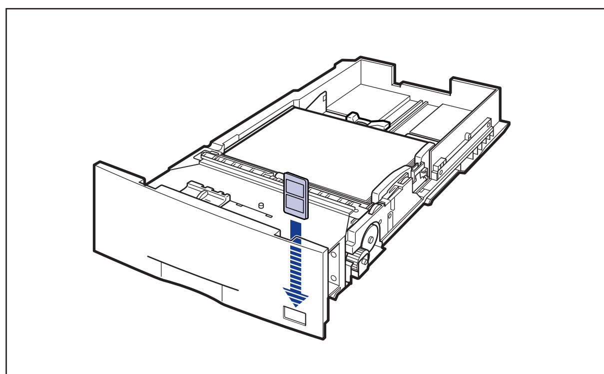
6 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙を押さえます。

ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。



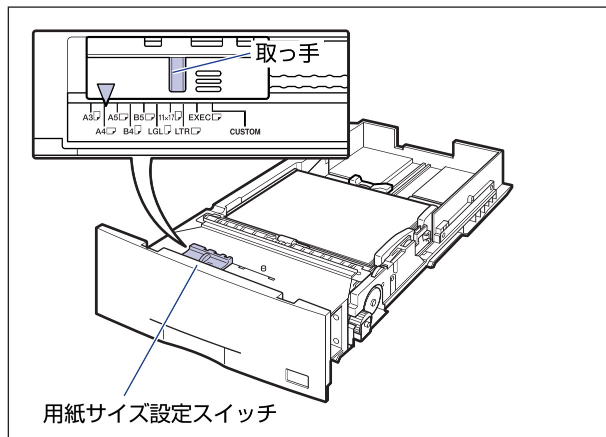
重要　給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m² の場合）で約 550 枚、ラベル用紙で約 50 枚です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

7 用紙サイズ表示板に、セットした用紙サイズのシールを貼り、給紙カセット前面の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。



8 用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークをセットした用紙のサイズに合わせます。

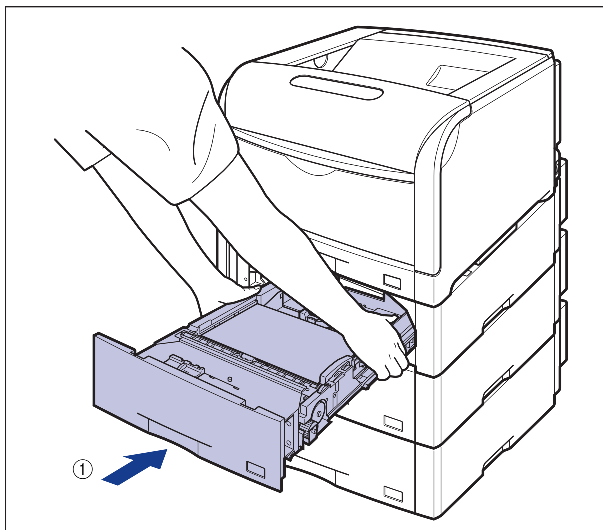
工場出荷時は A3 サイズにセットされています。

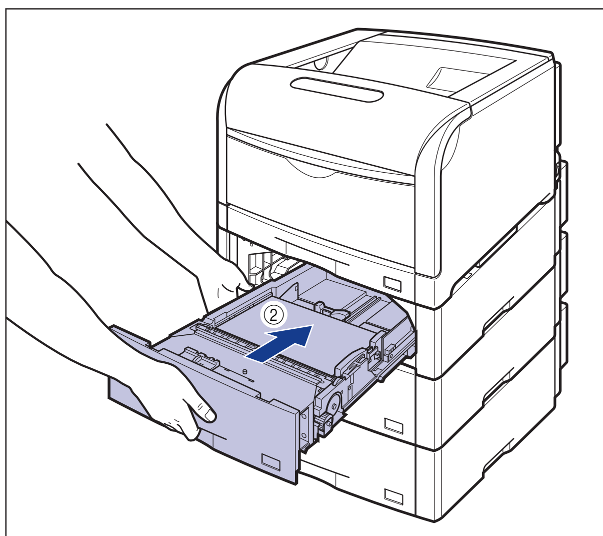


重要　セットした用紙のサイズと用紙サイズ設定スイッチが合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタ本体にセットしてください。用紙サイズ設定スイッチが合っていないと、誤動作の原因になります。

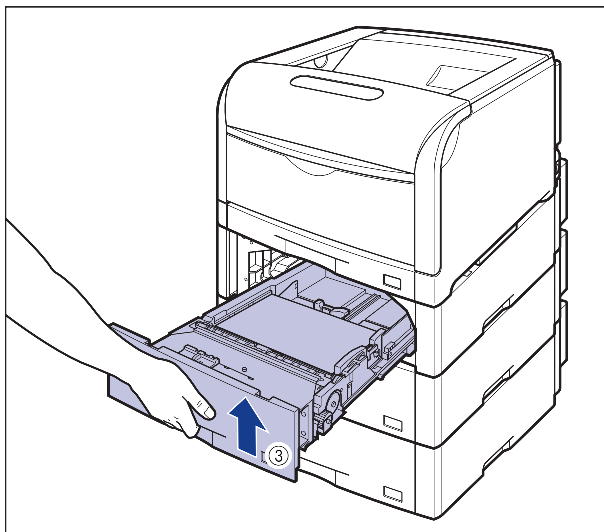
9 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

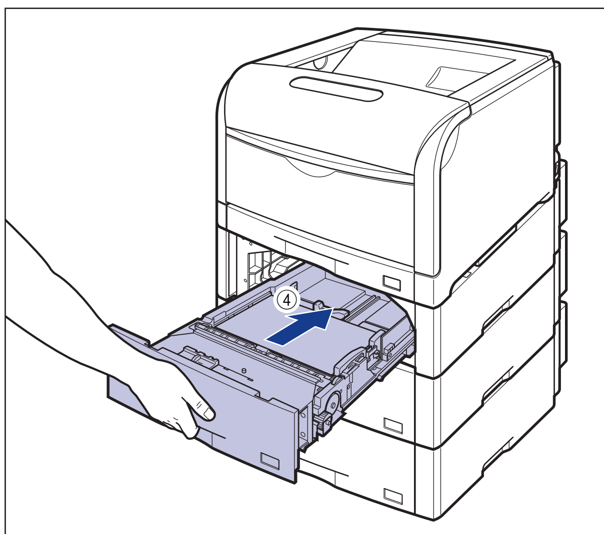
給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み ①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます ②。





給紙カセットの手前を少し持ち上げて ③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ④。






注意　給紙カセットをペーパーフィーダにセットするときは、指を挟まないように注意してください。

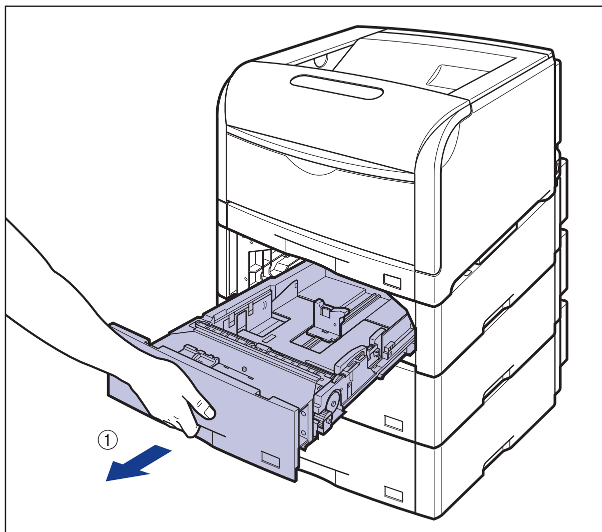
カセット 2、カセット 3、カセット 4 にユーザ設定サイズの用紙をセットする

重要

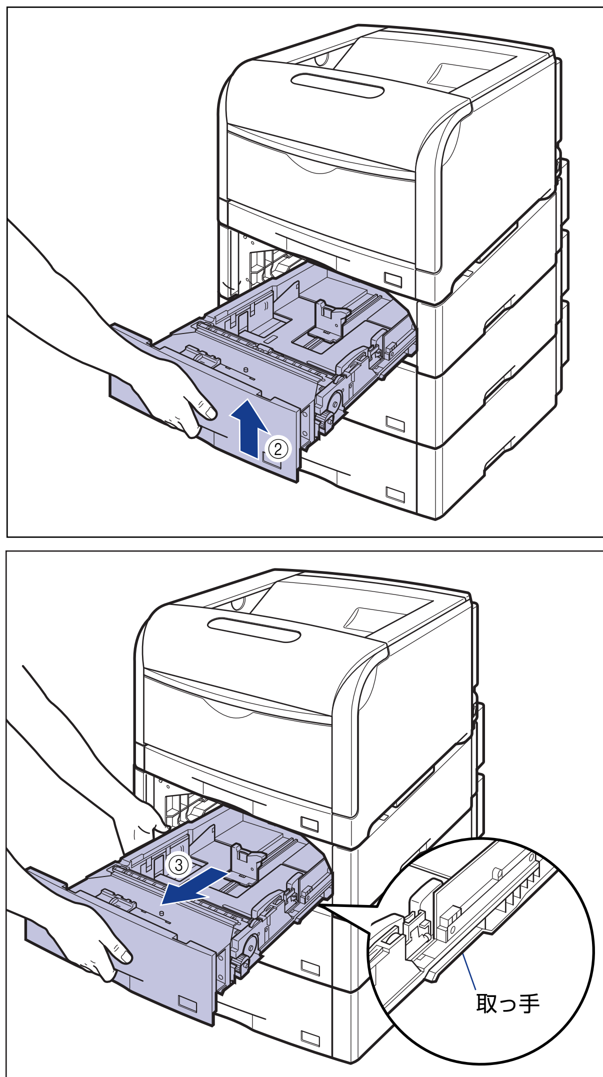
- 以下のユーザ設定サイズの用紙をセットすることができます。
  - ･縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
  - ･横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm
- ユーザ設定サイズの用紙をセットしたときは、「カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ」を以下のように設定してください。
  - ･横置きにセットした場合：「ユーザセッテイサイズ」
  - ･縦置きにセットした場合：「ユーザセッテイサイズ R」
- セットするユーザ設定用紙の向きを頻繁に変更する場合は、「カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ」を「フリー」に設定すると便利です。「カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ」を「フリー」に設定すると、用紙の向きを変更するたびに「カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ」の設定を変更する必要がありません。ただし、「フリー」に設定する場合は、以下のことに気をつけてください。
  - ･セットした用紙と、プリンタドライバの用紙サイズの設定が必ず合っていることを確認してからプリントしてください。異なっている場合は、「41　ヨウシサイズ　カクニン」のメッセージが表示されてプリントが中断されたり、紙づまりが発生したりすることがあります。必ずプリンタドライバで設定した用紙サイズとカセットにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。ただし、「特殊モード J」を「ツカウ」に設定した場合、プリンタドライバで設定した用紙サイズとカセットにセットした用紙が異なる場合でも用紙サイズのチェックを行わずにプリントします。詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。
  - ･LIPS LX プリンタドライバからの印刷時は、用紙の縦置き、横置きが可能ですが、長辺が 297.0mm 以下の定形外の用紙をプリントする場合は、横置きにセットしてください。また、LIPS LX プリンタドライバを使用しない場合は、用紙は縦置きにセットしてください。

1 給紙カセットを引き出します。

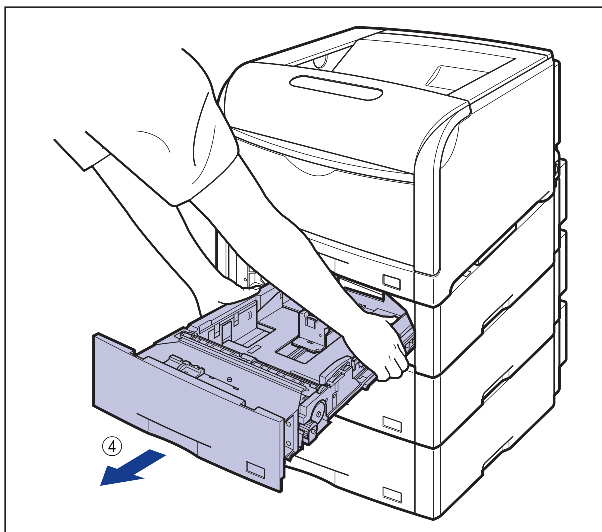
給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。



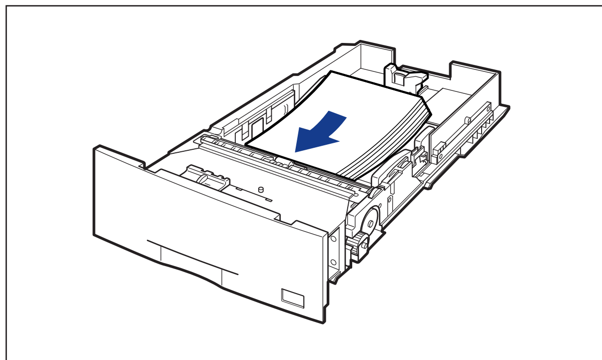
図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。



⚠注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをペーパーフィーダから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

2 用紙を給紙カセットの手前側に合わせてセットします。

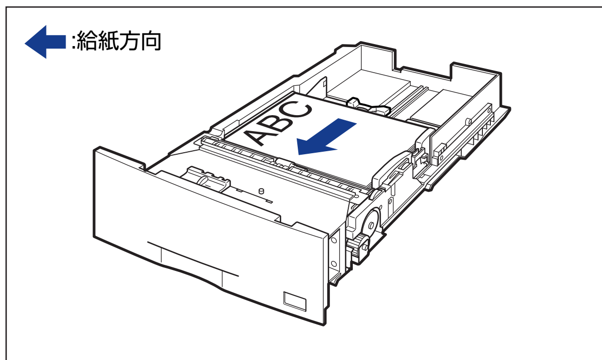


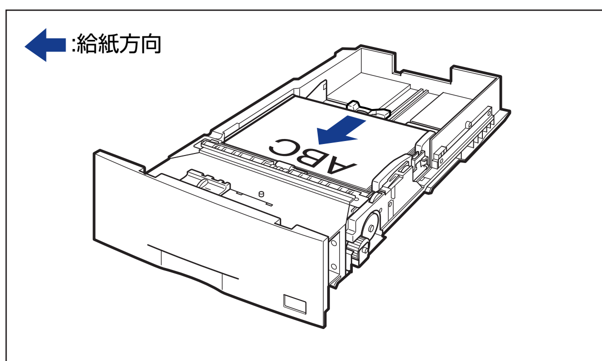
⚠注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

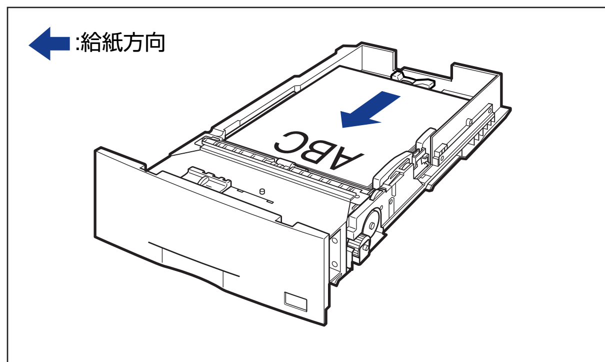


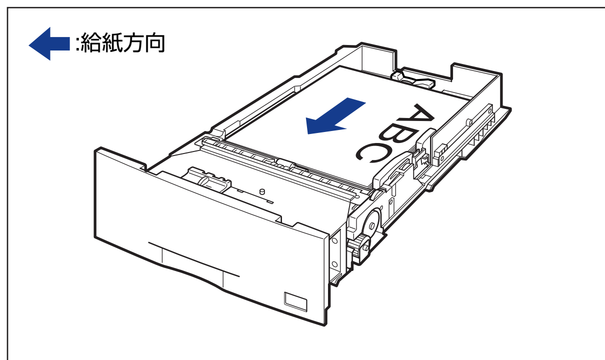
- セットアップメニューの給紙グループにある「カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ」の設定を「フリー」に設定しているときに、長辺が 297.0mm 以下の定形外の用紙をプリントする場合は、お使いのプリンタドライバにしたがって、以下のようにセットしてください。
  LIPS LX プリンタドライバを使用している場合：横置きにセット
  LIPS LX プリンタドライバを使用していない場合：縦置きにセット
- レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。
  - 横置きでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、以下のようにセットします。



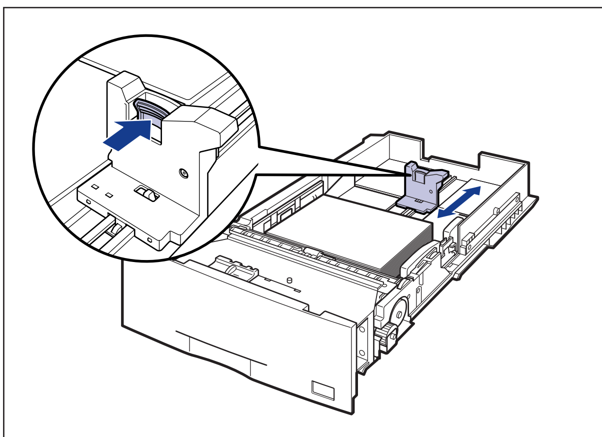


・縦置きでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、以下のようにセットします。



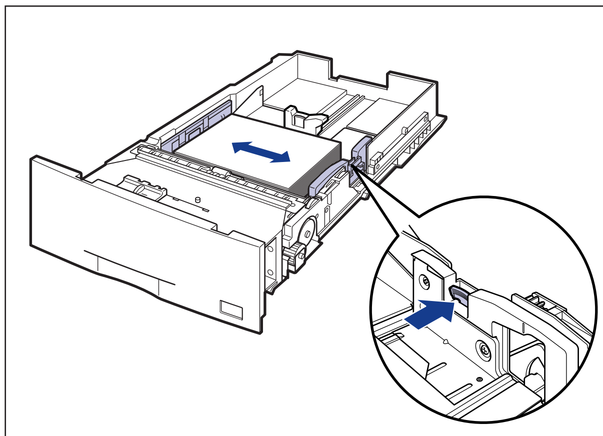


3 **後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせます。**



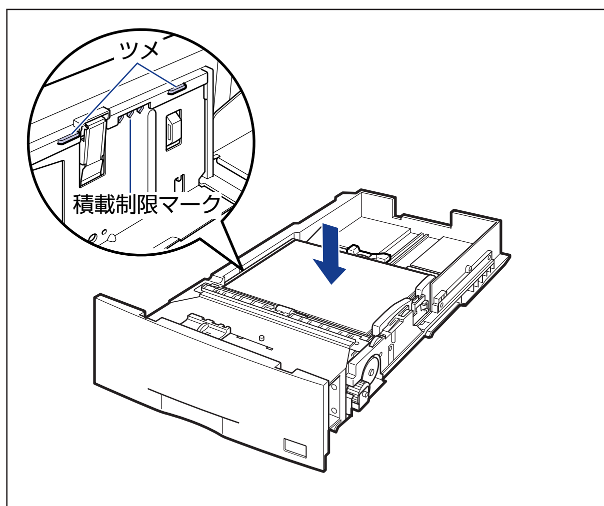
4 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズに合わせます。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。



5 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙を押さえます。

ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

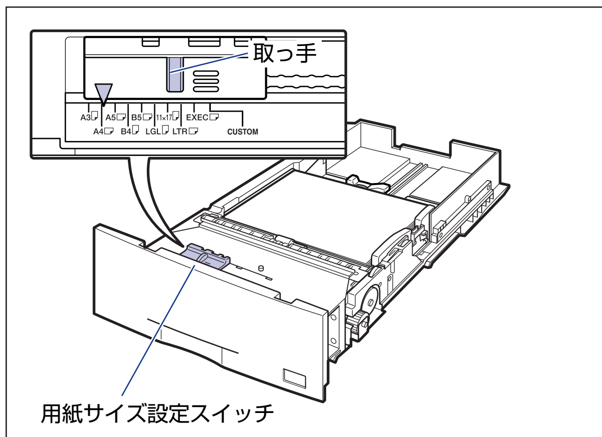




給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 550 枚です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

6 用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークを「CUSTOM」に合わせます。

工場出荷時は A3 サイズにセットされています。

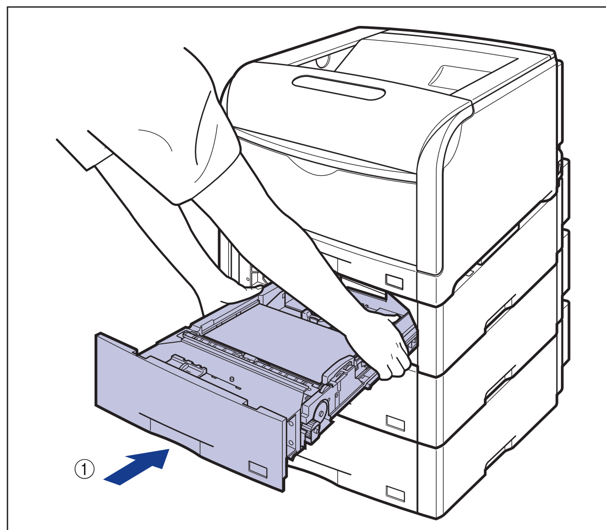


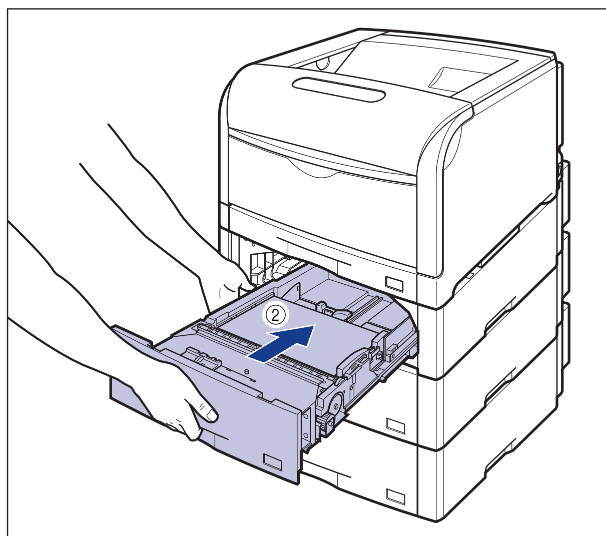


用紙サイズ設定スイッチが「CUSTOM」に合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタ本体にセットしてください。用紙サイズ設定スイッチが合っていないと、誤動作の原因になります。

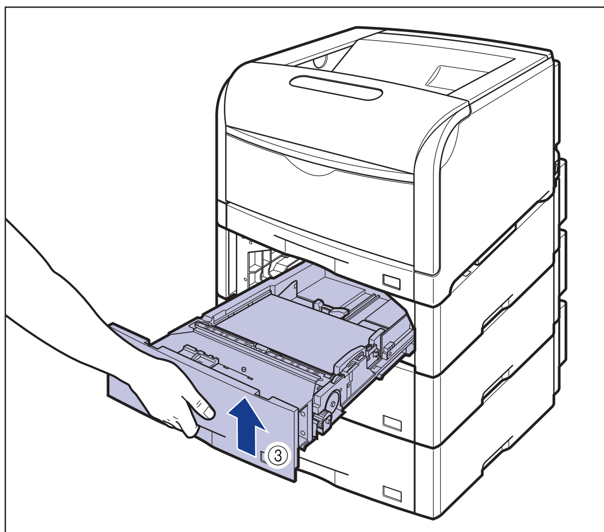
7 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

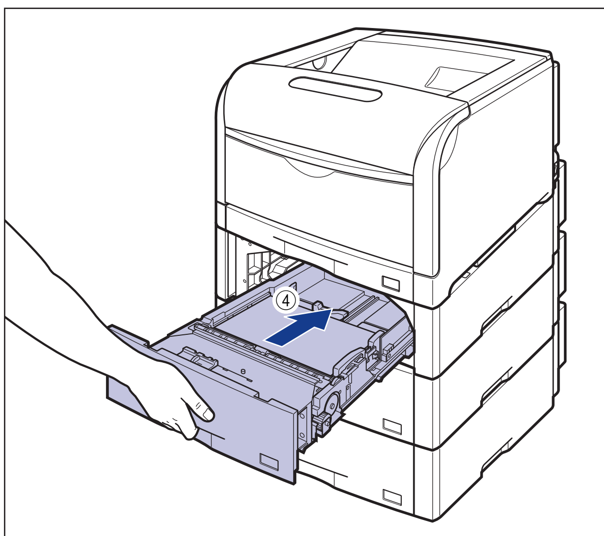
給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み ①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます ②。





給紙カセットの手前を少し持ち上げて ③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ④。







注意　給紙カセットをペーパーフィーダにセットするときは、指を挟まないように注意してください。

手差しトレイからプリントする

手差しトレイには、定形サイズと以下のユーザ設定用紙、長尺紙を普通紙で約100枚（64g/m²）までセットできます。

- ユーザ設定用紙
  縦置きの場合：幅98.0～312.0mm、長さ148.0～457.2mm
  横置きの場合：幅210.0～297.0mm、長さ148.0～297.0mm
- 長尺紙（縦置きのみ）
  幅210.0～297.0mm、長さ457.3～1200.0mm

厚紙やコート紙、ハガキ、封筒など、給紙カセットにセットできない用紙もセット可能です。手差しトレイからプリントするときは、次の項目を設定する必要があります。

重要
- 「テザシトレイ　ヨウシサイズ」と「テザシトレイ　ヨウシタイプ」の設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「テザシトレイ　ヨウシサイズ」と「テザシトレイ　ヨウシタイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。

メモ
- プリンタドライバが使用できないOSからプリントする場合は、あらかじめ給紙元を「テザシトレイ」に設定してください。（→P.3-14）
- 長尺紙は、LIPS LXプリンタドライバからのみプリントすることができます。

■ 手差しトレイに用紙をセットする（→P.3-51）

■ 手差しトレイの用紙サイズと用紙タイプを設定する（→P.3-68、3-70）

セットアップメニューの給紙グループ

- 「テザシトレイ　ヨウシサイズ」＝セットした用紙のサイズ
- 「テザシトレイ　ヨウシタイプ」＝セットした用紙のタイプ

BMLinkS プリンタドライバからプリントするときは、「テザシトレイ　ヨウシサイズ」と「テザシトレイ　ヨウシタイプ」の設定の他に、次の設定も行ってください。

セットアップメニューの給紙グループ

- 「テザシトレイ　ヨウシタイプ」＝セットした用紙のタイプ（→LIPS機能ガイド「第3章 共通セットアップメニューの設定項目」）

DOSやUNIXなど、プリンタドライバが使用できないOSからプリントするときは、「テザシトレイ　ヨウシサイズ」と「テザシトレイ　ヨウシタイプ」の設定の他に、次の設定も行ってください。

セットアップメニューの給紙グループ

- 「デフォルト　ヨウシサイズ」＝セットした用紙のサイズ（→LIPS機能ガイド「第3章 共通セットアップメニューの設定項目」）
- 「デフォルト　ヨウシタイプ」＝セットした用紙のタイプ（→LIPS機能ガイド「第3章 共通セットアップメニューの設定項目」）

■ プリンタドライバを設定する（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

LIPS プリンタドライバからプリントするときは、次の設定を行います。ここでは、Windows 版 LIPS プリンタドライバを例に説明しています。Macintosh 版プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

［ページ設定］ページ

　［出力用紙サイズ］＝セットした用紙のサイズ

［給紙］ページ

　［給紙部］＝［手差し（トレイ）］

　［用紙タイプ］＝［普通紙］：普通紙（64 ～ 105g/m^2）

　［厚紙 1］：厚紙（106 ～ 169g/m^2）

　［厚紙 2］：厚紙（170 ～ 220g/m^2）

　［ラベル用紙］：ラベル用紙

　［コート紙］：コート紙

　［封筒］：封筒

　［はがき］：ハガキ



BMLinkS プリンタドライバの用紙の設定方法については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

手差しトレイに用紙をセットする

手差しトレイに用紙をセットします。用紙の種類によってセット方法が異なりますので、それぞれの手順を参照してください。

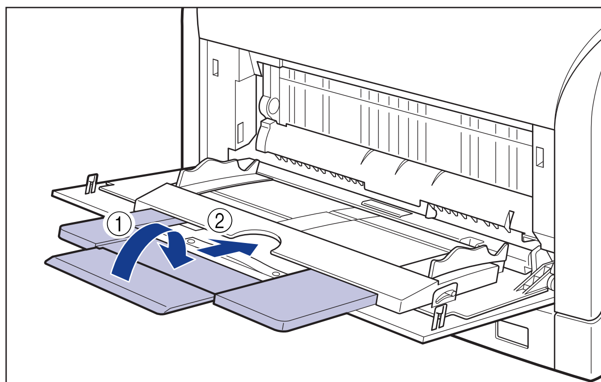
- 普通紙、厚紙、コート紙、ラベル用紙（→用紙（ハガキ、封筒以外）をセットする：P.3-52）
- ハガキ（→ハガキをセットする：P.3-58）
- 封筒（→封筒をセットする：P.3-63）

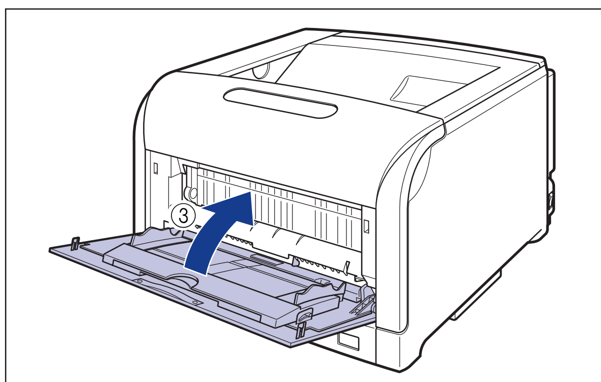


手差しトレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。手差しトレイが破損することがあります。



手差しトレイを閉めるときは、セットされている用紙を取り除いて閉めます。
手差しトレイを使わないときは、閉めておいてください。





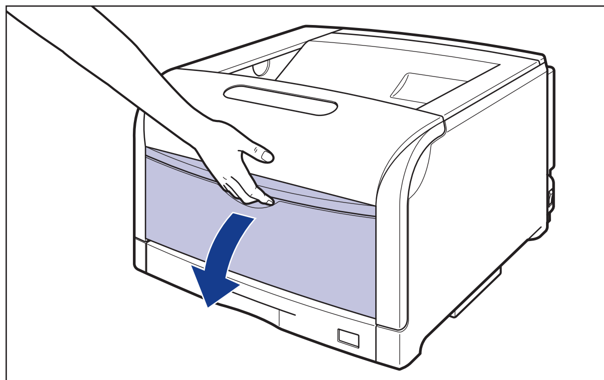
用紙（ハガキ、封筒以外）をセットする

手差しトレイに普通紙や厚紙、コート紙、ラベル用紙などをセットするときは、次の手順でセットします。

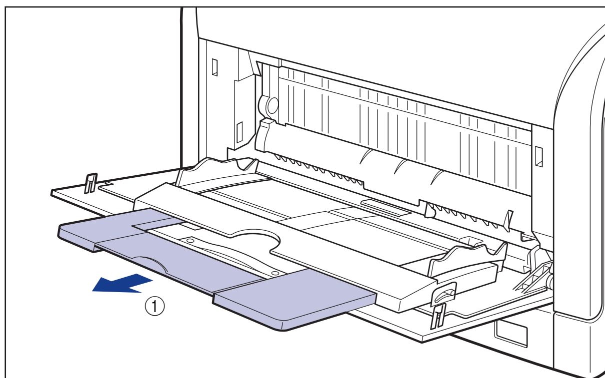
重要　周囲 5mm の範囲にはプリントできません。（LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。）

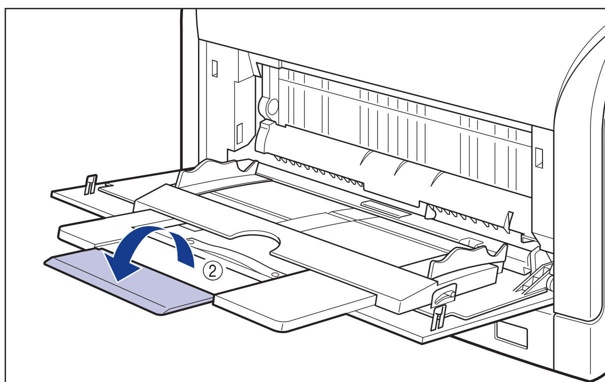
1 手差しトレイを開けます。

手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

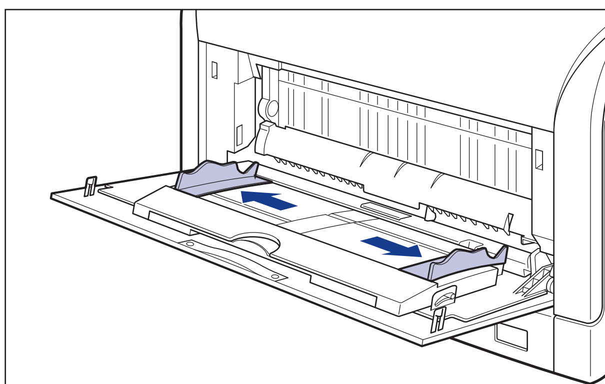


A3 や B4、長尺紙などの長いサイズの用紙をセットするときは補助トレイを引き出し ①、延長トレイを開けます ②。

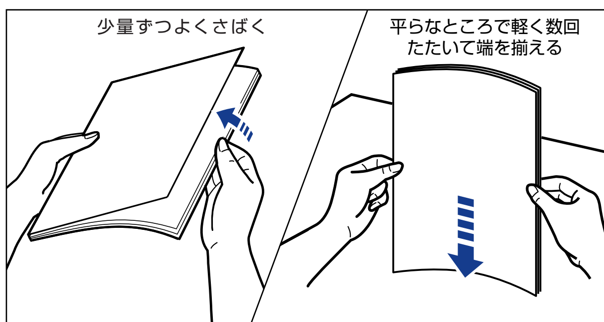




2 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。



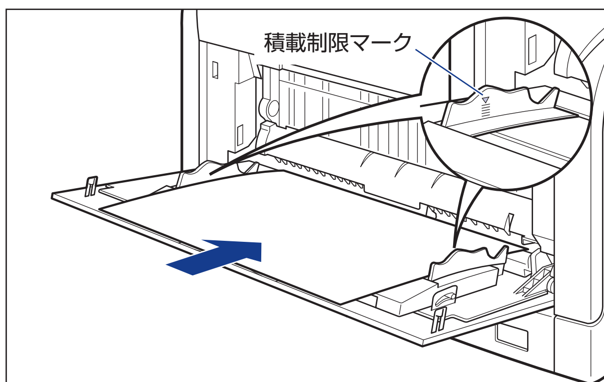
3 コート紙やラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。



注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- コート紙やラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。
- コート紙をさばいたり、揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、プリント面に触れないようにしてください。
- コート紙に手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。印字不良の原因になります。

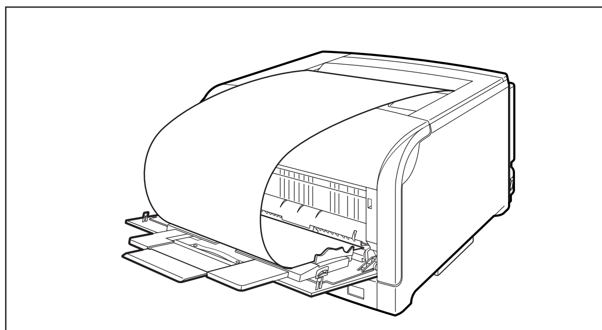
4 用紙のプリント面を下にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。



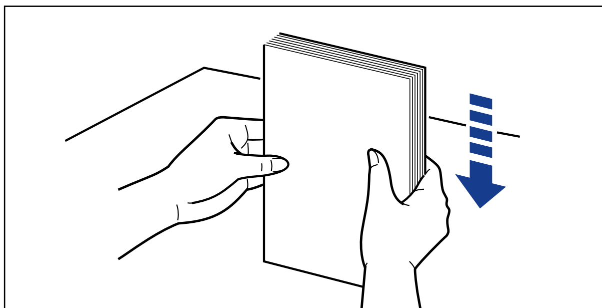
注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要

- 長尺紙をセットする場合は、1 枚ずつ図のように手差しトレイにセットします。



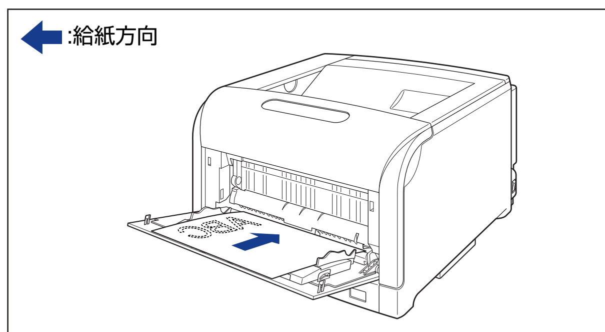
- 手差しトレイには、次の枚数までセットできます。用紙束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
  - · 普通紙　：約 100 枚（64g/m² の場合）
  - · 厚紙　：約 50 枚（128g/m² の場合）
  - · コート紙　：約 50 枚
  - · ラベル用紙　：約 40 枚
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたりカールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

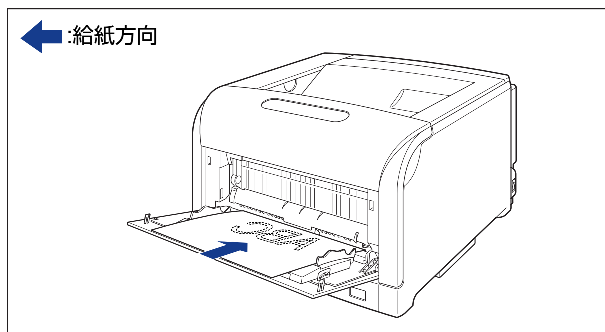


メモ

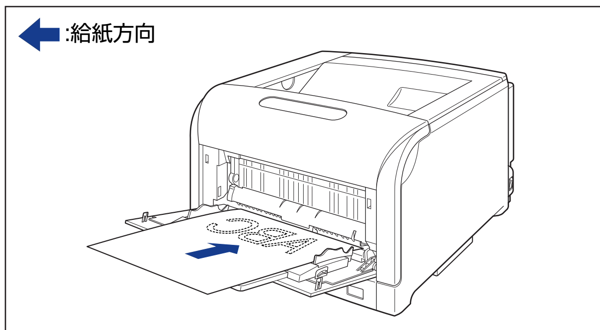
- セットアップメニューの給紙グループにある「手差しトレイ用紙サイズ」の設定を「フリー」に設定しているときに、長辺が 297.0mm 以下の定形外の用紙をプリントする場合は、お使いのプリンタドライバにしたがって、以下のようにセットしてください。
  LIPS LX プリンタドライバを使用している場合：横置きにセット
  LIPS LX プリンタドライバを使用していない場合：縦置きにセット
- レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

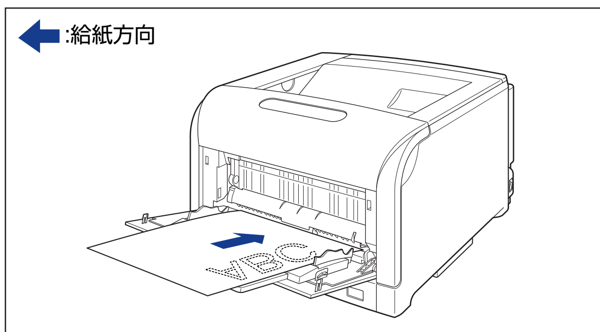
・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を下に向け、以下のようにセットします。



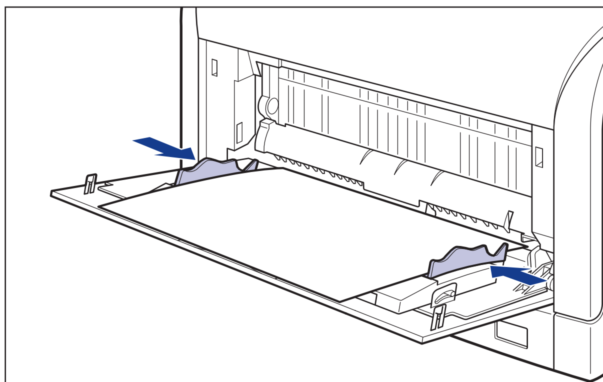


・A3、B4、12 × 18、レジャー（11 × 17)、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を下に向け、以下のようにセットします。

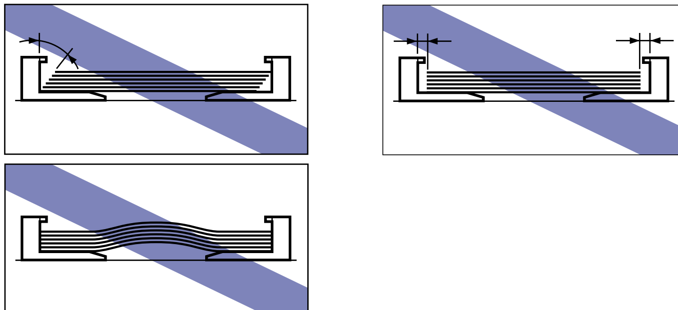




5 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。



重要
- 必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。



- プリント中は、手差しトレイの用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

次に手差しトレイの用紙サイズを設定してください（→ P.3-68）。

ハガキをセットする

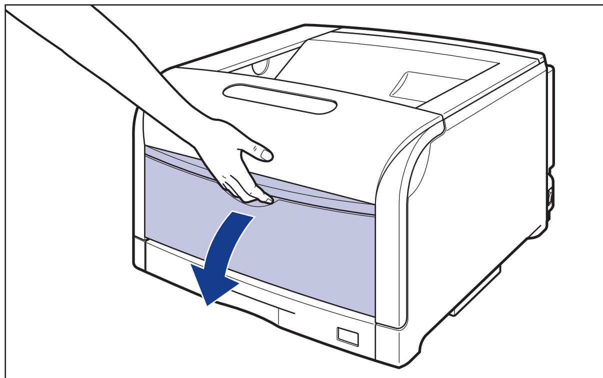
手差しトレイには、郵便ハガキ、郵便往復ハガキ、４面ハガキをセットできます。ハガキを手差しトレイにセットするときは、次の手順でセットします。

重要
- ハガキ、往復ハガキ、４面ハガキにプリントする場合は、周囲 5mm にはプリントできません。（LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。）
- 往復ハガキは、必ず折り目の付いていないものをご使用ください。
- ハガキや往復ハガキにプリントする場合は、プリント速度が遅くなります。

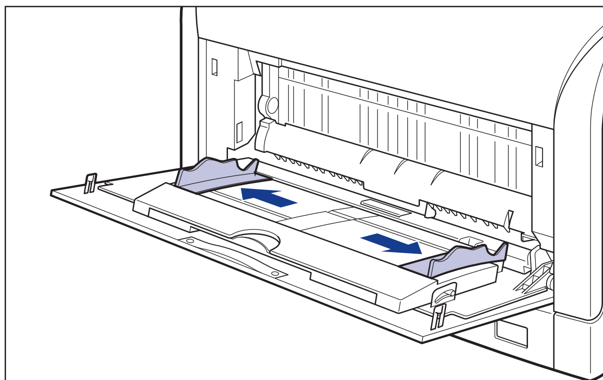
メモ
本プリンタは、ハガキ、往復ハガキ、４面ハガキサイズの普通紙（64 ～ 105g/m^2）、厚紙（106 ～ 169g/m^2）にプリントすることもできます。ハガキ、往復ハガキ、４面ハガキサイズの普通紙、厚紙にプリントする場合は、「用紙（ハガキ、封筒以外）をセットする」（→ P.3-52）を参照してください。

1 手差しトレイを開けます。

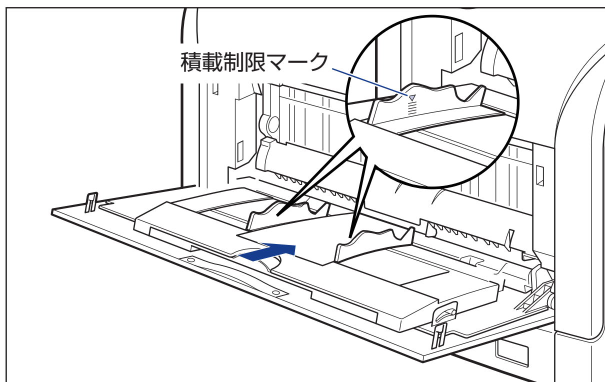
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。



2 用紙ガイドの幅をハガキの幅より少し広めにセットします。

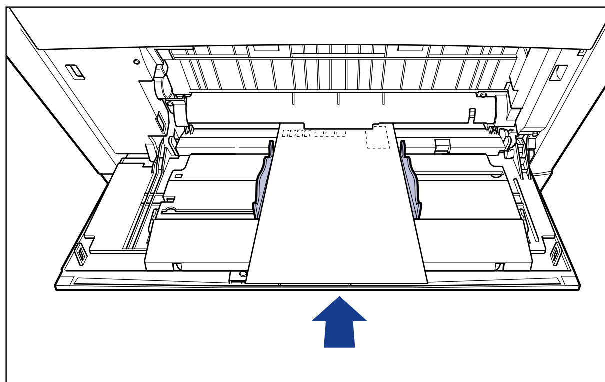


3 ハガキのプリントする面を下向きにして、図のように手差しトレイの奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

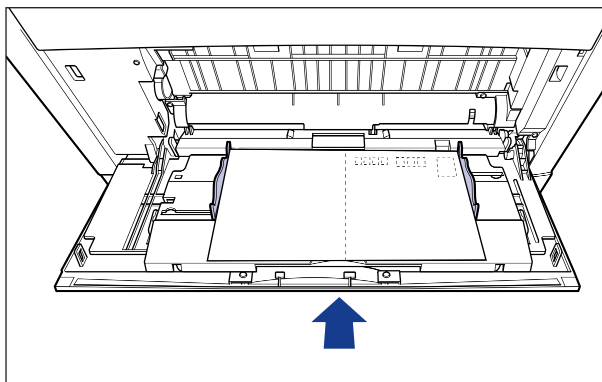


⚠注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

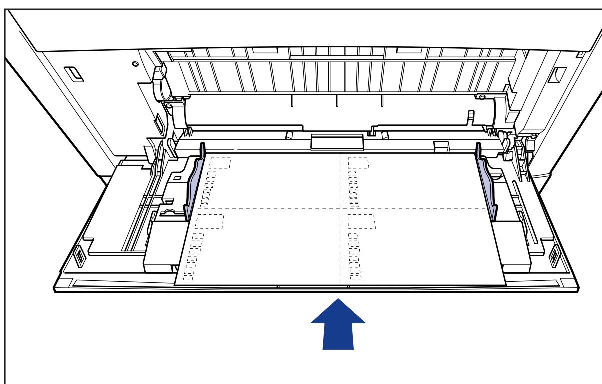
重要
- 手差しトレイには、ハガキ、往復ハガキ、4 面ハガキを約 40 枚までセットできます。ハガキ束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
- ハガキをセットする場合は、必ず縦置きで、ハガキの表面（プリントする面）を下に向け、ハガキの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。



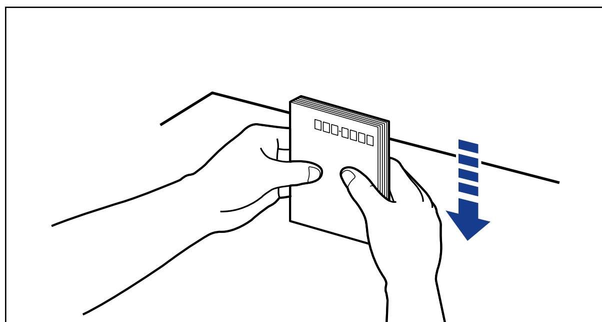
- 往復ハガキをセットする場合は、必ず横置きで、往復ハガキの表面（プリントする面）を下に向け、往復ハガキの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。



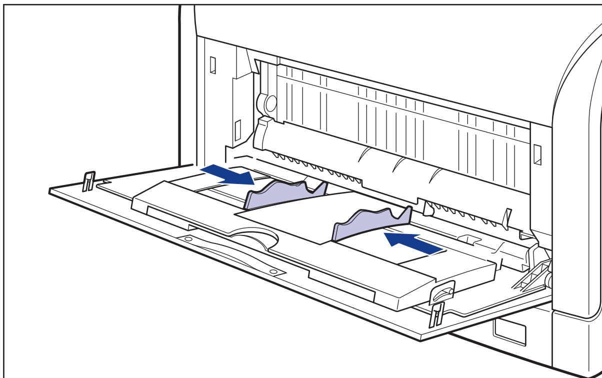
- 往復ハガキにプリントするときは、アプリケーションソフトの用紙設定と印字方向をセットする用紙の方向に合わせて設定してください。（例：Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 の場合は、「往復はがき横」を選択してください。）
- 4 面ハガキをセットする場合は、必ず横置きで、用紙の表面（プリントする面）を下に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。



- ハガキがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- 裁断状態の悪いハガキを使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、ハガキを平らな場所でよく揃えてからセットしてください。



4 用紙ガイドを、ハガキの左右にぴったりと合わせます。



重要

- 必ず用紙ガイドをハガキの幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。
- プリント中は、手差しトレイのハガキに触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

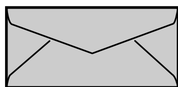
次に手差しトレイの用紙サイズを設定してください（→ P.3-68）。

封筒をセットする

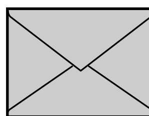
手差しトレイには、洋形４号、洋形２号、角形２号の封筒をセットできます。封筒を手差しトレイにセットするときは、次の手順でセットします。

重要
- 本プリンタで使用できる封筒は、洋形４号、洋形２号、角形２号で次のような構造のものに限ります。

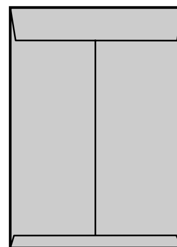
洋形4号（105mm×235mm）（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）



洋形2号（114mm×162mm）（キヤノンLBP用封筒Y201／推奨品）



角形2号（240mm×332mm）



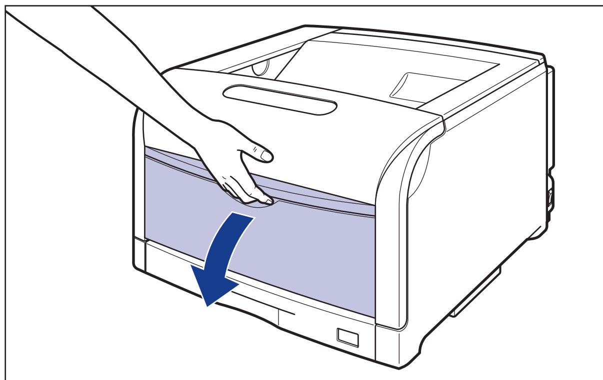
※洋形4号および洋形2号の封筒は、短辺にふたが付いているものは使用できません。

- 糊付きの封筒は使用しないでください。印字不良や故障の原因になることがあります。
- 封筒にプリントする場合は、周囲10mmにはプリントできません。（LIPSプリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。）
- 封筒にプリントする場合は、プリント速度が遅くなります。

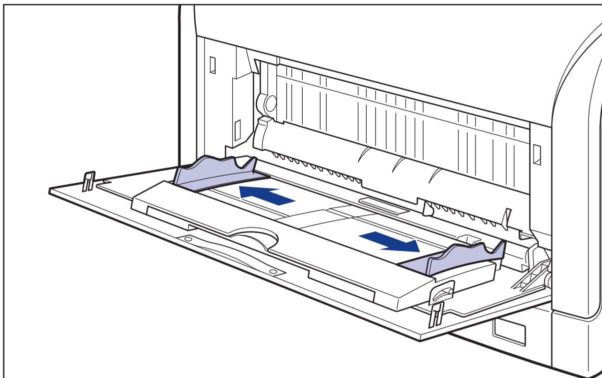
メモ　封筒にプリントした場合、しわがよる場合があります。

1 手差しトレイを開けます。

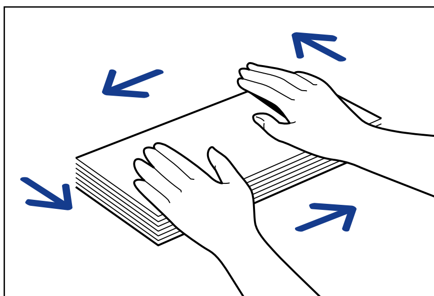
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。



2 用紙ガイドの幅を封筒の幅より少し広めにセットします。

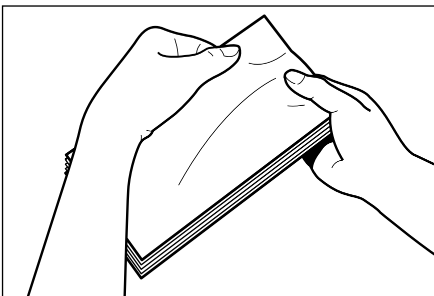


3 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。

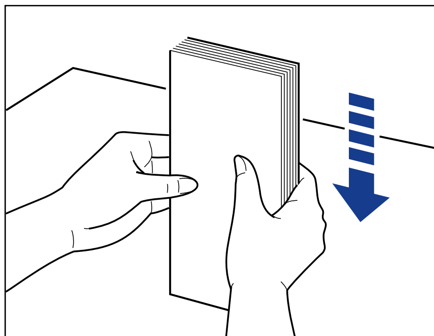


⚠注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

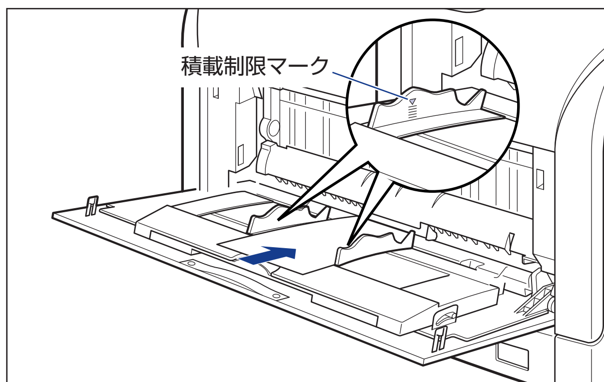
4 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。



5 封筒を平らな場所で揃えます。

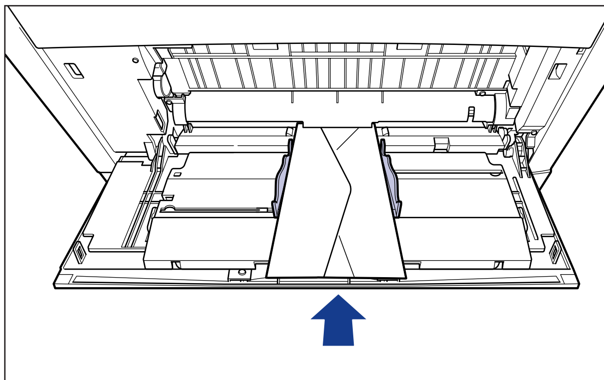


6 封筒の宛名を書く面を下向きに、ふたを閉じて左側になるようにセットし、図のように手差しトレイの奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

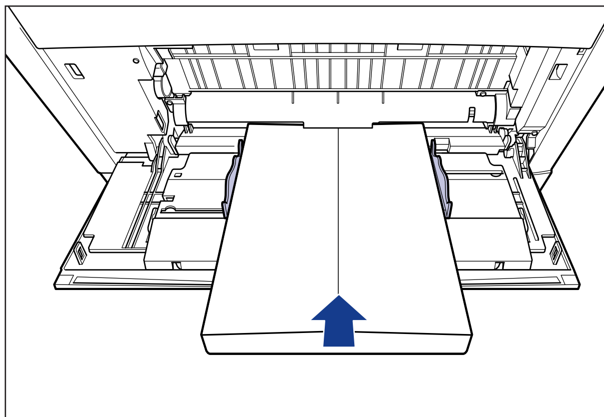


重要

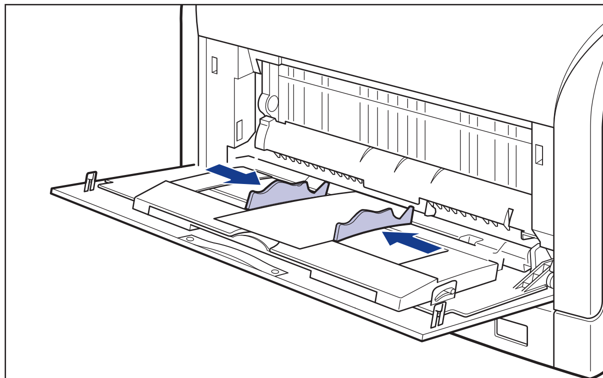
- 手差しトレイには、封筒を約 10 枚までセットできます。封筒束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）にはプリントできません。
- 洋形 4 号、洋形 2 号の封筒をセットする場合は、ふたがプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。



- 角形 2 号の封筒をセットする場合は、ふたを開けたまま、底辺がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。



7 用紙ガイドを封筒の左右にぴったりと合わせます。



重要
- 用紙ガイドと封筒の間にすき間があいたり、強く押しすぎて封筒がゆがんだりしないようにしてください。正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。
- プリント中は、手差しトレイの封筒に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

次に手差しトレイの用紙サイズを設定してください（→ P.3-68）。

手差しトレイの用紙サイズを設定する

手差しトレイに用紙をセットしたときは、操作パネルから手差しトレイの用紙サイズを設定します。定形サイズの用紙や封筒、ハガキ、往復ハガキ、4 面ハガキは、そのサイズを設定します。定形外の用紙は、「ユーザセッテイサイズ」または「ユーザセッテイサイズ R」に設定します。手差しトレイの用紙サイズ設定は、工場出荷状態で「A4」に設定されています。手差しトレイの用紙サイズの設定は、次の手順で行います。

重要

- 用紙サイズの設定は、プリンタのセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「テザシトレイ　ヨウシサイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
- 定形外の用紙をセットしたときは、「手差しトレイ用紙サイズ」を以下のように設定してください。
  - ･横置きにセットした場合：「ユーザセッテイサイズ」
  - ･縦置きにセットした場合：「ユーザセッテイサイズ R」
- 手差しトレイにセットする用紙を頻繁に変更する場合は、「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定すると便利です。「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定すると、異なるサイズの用紙をセットするたびに「手差しトレイ用紙サイズ」の設定を変更する必要がありません。ただし、「フリー」に設定する場合は、以下のことに気をつけてください。
  - ･手差しトレイにセットした用紙と、プリンタドライバの用紙サイズの設定が必ず合っていることを確認してからプリントしてください。異なっている場合は、「41　ヨウシサイズ　カクニン」のメッセージが表示されてプリントが中断されたり、紙づまりが発生したりすることがあります。必ずプリンタドライバで設定した用紙サイズと手差しトレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。ただし、「特殊モードJ」を「ツカウ」に設定した場合、プリンタドライバで設定した用紙サイズと手差しトレイにセットした用紙が異なる場合でも用紙サイズのチェックを行わずにプリントします。詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。
  - ･LIPS LX プリンタドライバからの印刷時は、用紙の縦置き、横置きが可能ですが、長辺が 297.0mm 以下の定形外の用紙をプリントする場合は、横置きにセットしてください。また、LIPS LX プリンタドライバを使用しない場合は、用紙は縦置きにセットしてください。

メモ

次の用紙は、略号で表示されます。
12 × 18：TxE、レジャー（11 × 17）：LD、リーガル：LG、レター：LT、エグゼクティブ：EX、ハガキ：HG、往復ハガキ：H2、4 面ハガキ：H4、洋形 4 号封筒：Y4、洋形 2 号封筒：Y2、角形 2 号封筒：K2、ユーザ設定サイズ：80 ～ 99、ユーザ設定サイズ縦、長尺紙：80R ～ 99R、フリー：FR



1 ［セットアップ］を押します。

セットアップ゜
↓
カクチョウ　キノウ　→







2 ［◀］、［▶］で「キュウシ」を選択し、［実行］を押します。









3 ［◀］、［▶］で「テザシトレイ　ヨウシサイズ」を選択し、［実行］を押します。

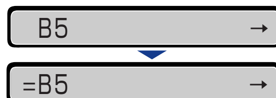








4 ［◀］、［▶］で用紙のサイズを選択し、［実行］を押します。



用紙サイズの左に「＝」が表示され、手差しトレイの用紙サイズが設定されます。

次に手差しトレイの用紙タイプを設定してください（→次項目）。

3

給紙・排紙のしかた

手差しトレイの用紙タイプを設定する

手差しトレイに用紙をセットしたときは、用紙の種類に合わせて操作パネルから「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を設定します。用紙タイプに合わせて、最適な印刷モードでプリントされます。工場出荷状態では「フツウシ」に設定されています。

用紙の種類	共通セットアップメニュー［テザシトレイ　ヨウシタイプ］の設定
普通紙（64 ～ 105g/m^2）	フツウシ *1
厚紙（106 ～ 169g/m^2）	アツガミ 1
厚紙（170 ～ 220g/m^2）	アツガミ 2
コート紙	コートシ *2
ラベル用紙	ラベルヨウシ
封筒	フウトウ
ハガキ	ハガキ

*1 「フツウシ」に設定してプリントした結果、次のような不具合があった場合は、「フツウシ L」に設定してください。
・普通紙（64g/m^2）をプリントした結果、用紙のカールが目立つ場合
・幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

*2 106～ 169g/m^2 以外のコート紙の場合は、以下の設定を行ってください。
・105 g/m^2 以下の場合：「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を「フツウシ」に設定する
・170 ～ 220 g/m^2 の場合：「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を「コートシ」にして、ユーザメンテナンスグループの「トクシュ　インジショリ」の「コートシ」を「スル」に設定する

重要

- 用紙タイプの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「テザシトレイ　ヨウシタイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
- 実際に手差しトレイにセットする用紙のタイプと「テザシトレイ　ヨウシタイプ」の設定が一致していないとエンジンに重大な障害の起こる恐れがありますので、必ず用紙のタイプを一致させてください。
- 「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙タイプとのチェックを行いません。必ず、プリンタドライバで設定した用紙タイプと手差しトレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。
- 本プリンタは、ハガキ、往復ハガキ、4 面ハガキサイズの普通紙（64 ～ 105g/m^2）、厚紙（106 ～ 169g/m^2）に印刷することができます。ハガキ、往復ハガキ、4 面ハガキサイズの普通紙（64 ～ 105g/m^2）に印刷する場合は、「フツウシ」を選択し、厚紙（106 ～ 169g/m^2）やキヤノン推奨 4 面ハガキに印刷する場合は、「アツガミ 1」を選択します。



1 [セットアップ] を押します。

セットアップ゜
↓
カクチョウ　キノウ　→







2 [◀]、[▶] で「キュウシ」を選択し、[実行] を押します。

キュウシ　→
↓
テサ゛シトレイ　ヨウシサイス゛→







3 [◀]、[▶] で「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を選択し、[実行] を押します。

テサ゛シトレイ　ヨウシタイフ゜→
↓
=フツウシ　→







4 [◀]、[▶] で用紙のタイプを選択し、[実行] を押します。

ラヘ゛ルヨウシ　→
↓
=ラヘ゛ルヨウシ　→

用紙タイプの左に「=」が表示され、手差しトレイの用紙タイプが設定されます。

Windows や Macintosh のプリンタドライバからプリントする場合は、プリンタドライバを設定してください。(→次項目)
BMLinkS プリンタドライバからプリントする場合は、「デフォルト　ヨウシタイプ」の設定を操作パネルで行った後、プリンタドライバを設定してください。
DOS や UNIX などからプリントする場合は、「デフォルト　ヨウシサイズ」および「デフォルト　ヨウシタイプ」の設定を操作パネルで行ってください。

プリンタドライバを設定する

手差しトレイの用紙にプリントするときは、プリンタドライバの［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］にセットした用紙サイズ、［給紙］ページの［給紙部］に［手差し（トレイ）］、［用紙タイプ］に用紙の種類に合わせて下記の設定値を選択します。

用紙の種類	［用紙タイプ］設定値
普通紙（64 ～ 105g/m^2）	普通紙 *1
厚紙（106 ～ 169g/m^2）	厚紙 1
厚紙（170 ～ 220g/m^2）	厚紙 2
ラベル用紙	ラベル用紙
コート紙	コート紙 *2
封筒	封筒
ハガキ	はがき

*1 ［普通紙］に設定してプリントした結果、次のような不具合があった場合は、［普通紙 L］に設定してください。
·普通紙（64g/m^2）をプリントした結果、用紙のカールが目立つ場合
·幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

*2 106 ～ 169g/m^2 以外のコート紙の場合は、以下の設定を行ってください。
·105 g/m^2 以下の場合：［用紙タイプ］を［普通紙］に設定する
·170 ～ 220g/m^2 の場合：［用紙タイプ］を［コート紙］にして、［仕上げ］-［仕上げ詳細］-［処理オプション］の順にクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスの［特殊定着モード］の設定を［モード 4］にする

プリンタドライバの設定は、Windows 2000/XP/Server 2003 用 LIPS LX プリンタドライバ Version1.25 を例にします。

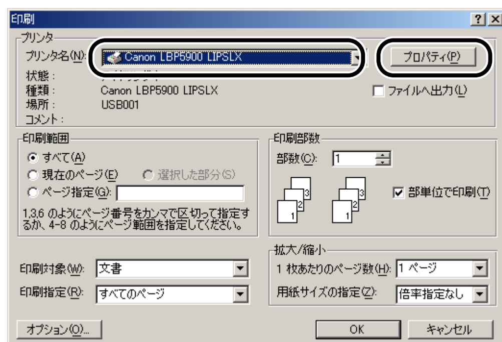
重要

- 「テザシトレイ　ヨウシサイズ」と「テザシトレイ　ヨウシタイプ」の設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「テザシトレイ　ヨウシサイズ」と「テザシトレイ　ヨウシタイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
- 本プリンタは、ハガキ、往復ハガキ、4 面ハガキサイズの普通紙（64 ～ 105g/m^2）、厚紙（106 ～ 169g/m^2）に印刷することができます。ハガキ、往復ハガキ、4 面ハガキサイズの普通紙（64 ～ 105g/m^2）に印刷する場合は、［普通紙］を選択し、厚紙（106 ～ 169g/m^2）やキヤノン推奨 4 面ハガキに印刷する場合は、［厚紙 1］を選択します。

メモ

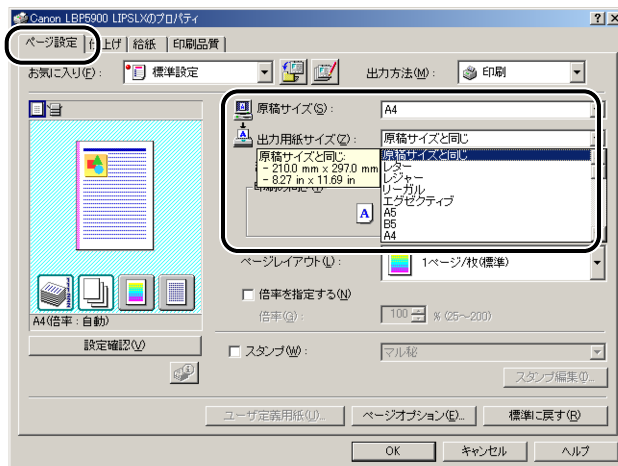
BMLinkS プリンタドライバの用紙の設定方法については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

1 アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

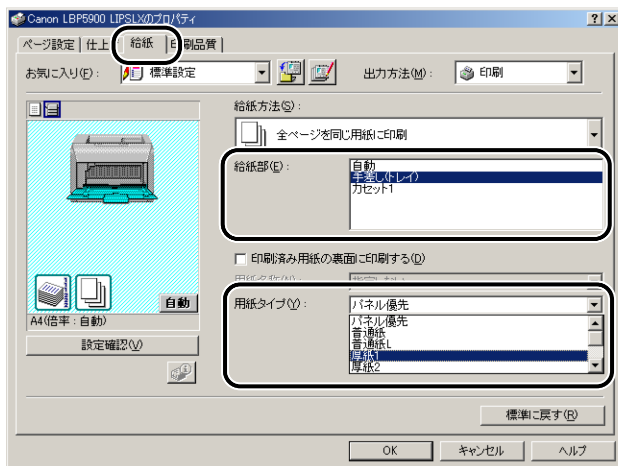


本プリンタのプロパティダイアログボックスが表示されます。

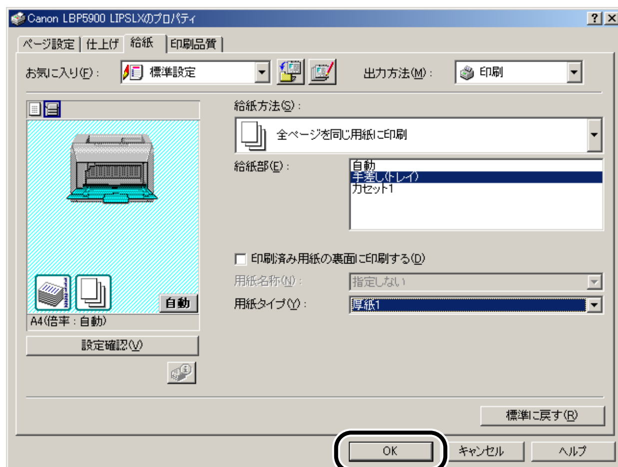
2 ［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。



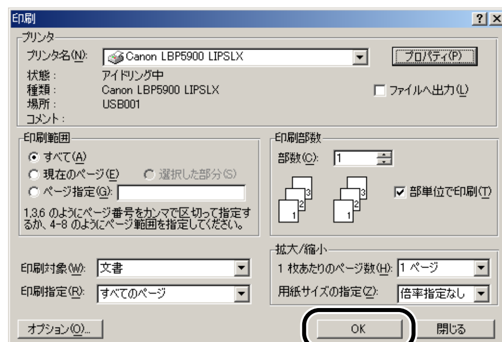
3 [給紙] ページをクリックし、[給紙部] で [手差し (トレイ)]、[用紙タイプ] で用紙のタイプを選択します。



4 [OK] をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



5 ［OK］をクリックし、印刷を実行します。



両面にプリントする

本プリンタは標準で両面プリントすることができます。自動両面プリントで使用できる用紙は、A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レジャー（11 × 17)、レター、エグゼクティブサイズの普通紙です。また、以下のユーザ設定サイズの普通紙を自動両面プリントすることもできます。

- 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
- 横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

重要

- 厚紙、コート紙、ラベル用紙、ハガキ、往復ハガキ、4 面ハガキ、封筒には、自動両面プリントできません。
- 両面プリントの設定をした状態で、奇数ページのジョブをプリントするときの最終ページのプリント面は、「特殊両面処理」（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）の設定や給紙元によって、以下のようになります。
  - ･給紙カセットからプリントする場合
    「特殊両面処理」を「スル」に設定すると、セットした用紙の上の面にプリントして排紙します。
    「特殊両面処理」を「シナイ」に設定すると、セットした用紙の下の面にプリントして排紙します。
  - ･手差しトレイからプリントする場合
    「特殊両面処理」を「スル」に設定すると、セットした用紙の下の面にプリントして排紙します。
    「特殊両面処理」を「シナイ」に設定すると、セットした用紙の上の面にプリントして排紙します。
- プレプリント紙など用紙の向きや表裏のある用紙にプリントするとき、最終ページの用紙の向きや表裏を前ページと合わせたいときは、「特殊両面処理」を「シナイ」に設定してください。
- 両面プリント中は排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。両面プリント中は表面をプリントしたあと一度途中まで排紙され、裏面をプリントするために再度給紙されます。

メモ

プリンタの RAM 容量によっては、罫線が多い文書や複雑な図・表・グラフのある文書を自動両面プリントする場合、印字品質が低下することがあります。その場合は、拡張 RAM を増設する必要があります。詳細については、設置ガイド「第 1 章 設置する前に」を参照してください。

自動両面プリントと片面プリントを切り替える

自動両面プリントするときは、次の手順で行います。

■ Windows からプリントする場合

自動両面プリントをするときは、LIPS プリンタドライバの［仕上げ］ページで［印刷方法］を［両面印刷］に設定します。LIPS プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。



BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、両面の設定方法が異なります。詳しくは、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

■ Macintosh からプリントする場合

自動両面プリントをするときは、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで設定します。
プリンタの操作パネルで自動両面プリントと片面プリントを切り替えるときは、次の手順で行います。



1 ［セットアップ］を押します。

セットアップ゜
↓
カクチョウ　キノウ　→







2 ［◄］、［►］で「キュウシ」を選択し、［実行］を押します。

キュウシ　→
↓
テサ゛シトレイ　ヨウシサイス゛→





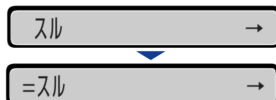


3 ［◄］、［►］で「リョウメン　インサツ」を選択し、［実行］を押します。

リョウメン　インサツ　→
↓
=シナイ　→



4 ［◀］、［▶］で「スル」を選択し、［実行］を押します。



「スル」の左に「＝」が表示され、両面印刷が設定されます。

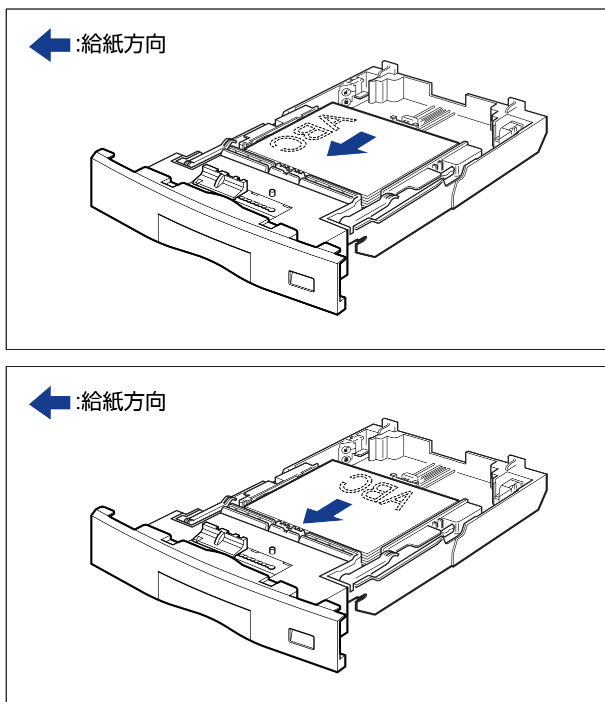
自動両面プリントするときの用紙のセットのしかた

自動両面プリントでは、裏面からプリントされますので、用紙をセットする向きが片面プリントのときと逆になります。レターヘッドなど、用紙の表裏や向きのある用紙にプリントするときは次のように用紙をセットします。

給紙カセットから給紙する場合

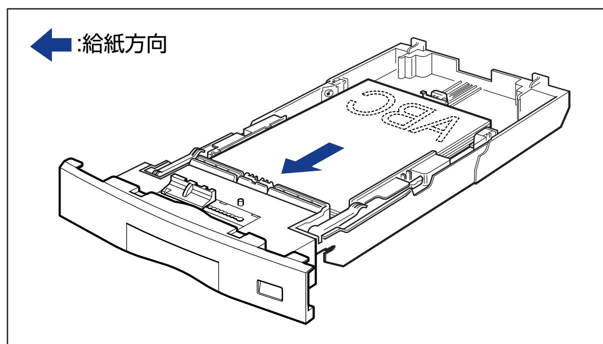
■ A4 やレターなど用紙を横置きでセットする場合

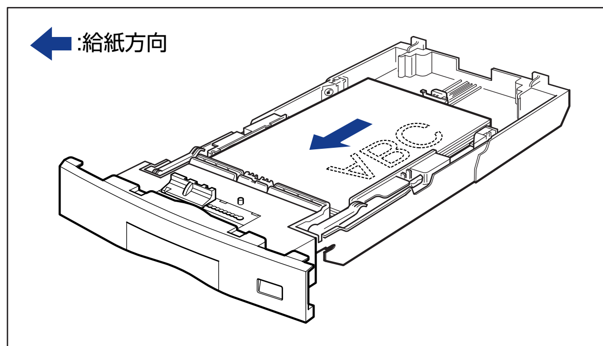
用紙の表面を下に向け、以下のようにセットします。



■ A3 や B4 など用紙を縦置きでセットする場合

用紙の表面を下に向け、以下のようにセットします。

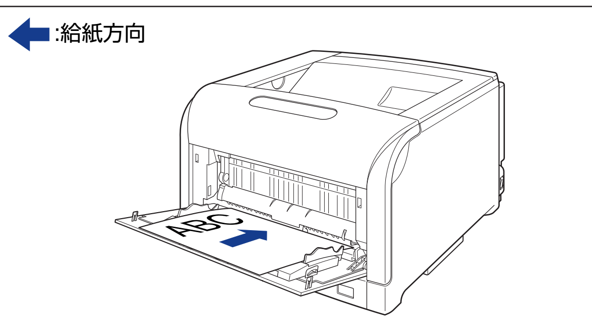


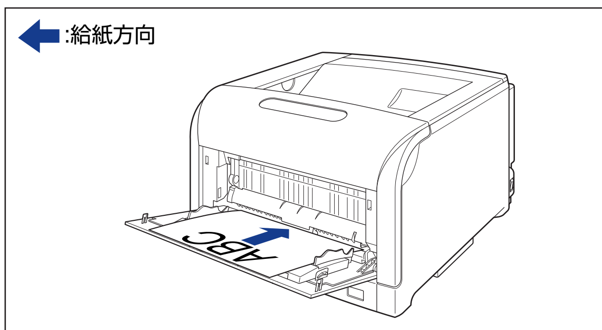


手差しトレイから給紙する場合

■ A4 やレターなど用紙を横置きでセットする場合

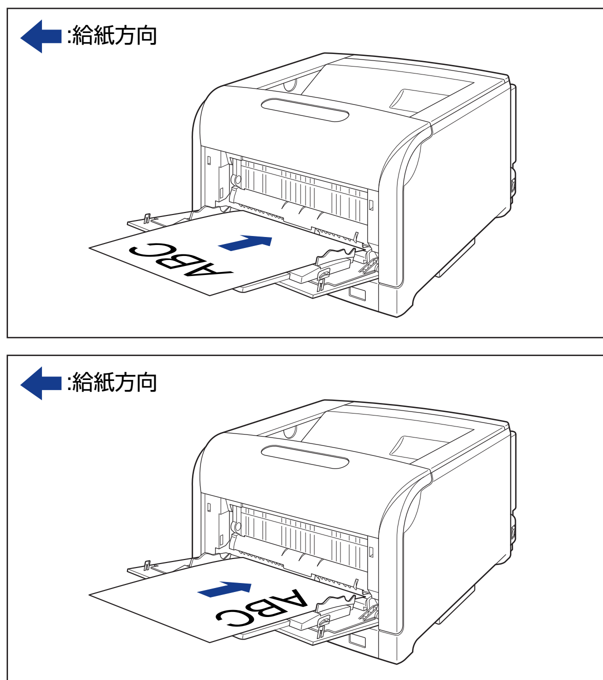
用紙の表面を上に向け、以下のようにセットします。





■ B4 や A3 など用紙を縦置きでセットする場合

用紙の表面を上に向け、以下のようにセットします。



手動で両面にプリントする

本プリンタは、裏面にプリント済みの用紙にも対応しており、自動両面プリントできない用紙にも両面プリントすることが可能です。プリント済み用紙の裏面にプリントするときは、プリンタドライバや操作パネルで設定が必要です。

重要
- 本プリンタで一度プリントした用紙の裏面にプリントする場合は、必ず「手差し両面」を「2 メンメ」に設定してプリントしてください。
- ハガキに両面プリントする場合、裏面（文書側の面）から先に「手差し両面」を「1 メンメ」に設定してプリントし、次に表面（宛名側の面）を「2 メンメ」に設定してプリントしてください。詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

■ Windows からプリントする場合

プリント済み用紙の裏面にプリントするときは、プリンタドライバの［給紙］ページで［印刷済み用紙の裏面に印刷する］をチェックします。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください

重要　BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、操作パネルで手動両面プリントの設定を行います。「DOS や UNIX からプリントする場合」と同様の手順で設定してください。

■ Macintosh からプリントする場合
プリント済み用紙の裏面にプリントするときは、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルから「手差し両面」を「2 メンメ」に設定します。
プリンタの操作パネルで裏面の設定をするには、次の手順で行います。



1 [セットアップ] を押します。









2 [◄]、[►] で「キュウシ」を選択し、[実行] を押します。









3 [◄]、[►] で「テザシ　リョウメン」を選択し、[実行] を押します。

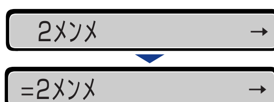








4 [◄]、[►] で「2 メンメ」を選択し、[実行] を押します。



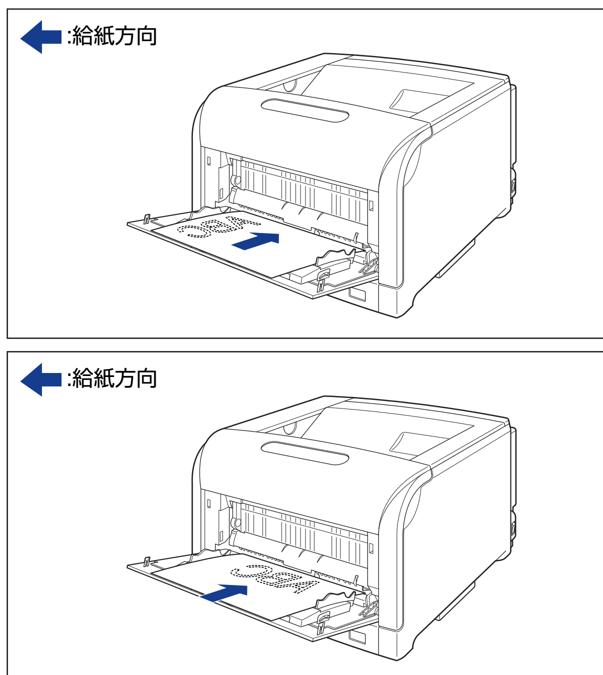
「2 メンメ」の左に「=」が表示され、裏面プリントが設定されます。

手動両面プリント時の用紙のセットのしかた

手差しトレイから裏面にプリント済みの用紙に印刷する場合は、次のように用紙をセットします。

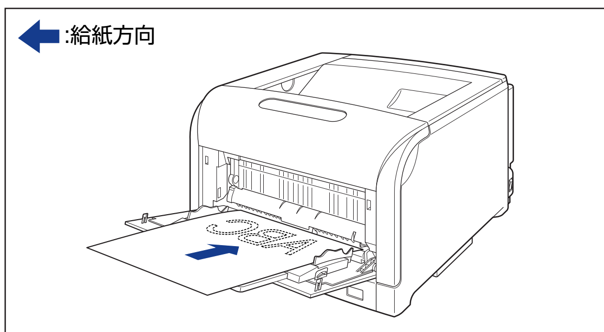
■ 手差しトレイに A4 やレターなど用紙を横置きでセットする場合

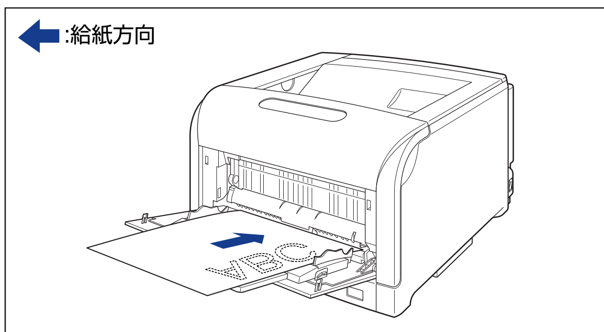
用紙の表面（プリントする面）を下に向け、以下のようにセットします。



■ 手差しトレイに A3 や B4 など用紙を縦置きでセットする場合

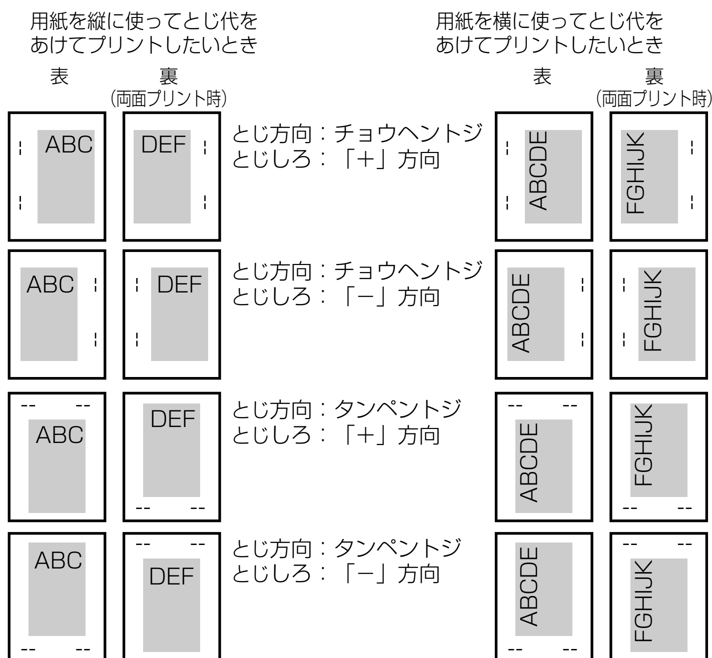
用紙の表面（プリントする面）を下に向け、以下のようにセットします。





とじしろを付けてプリントする

用紙の端にとじしろ用の余白を付けてプリントすることができます。とじしろを付けるときは、付ける位置（長手方向または短手方向）ととじしろ（最大 50 mm）を指定します。



重要　とじしろを設定した結果、用紙の印字可能領域を超えた部分はカットされます。

メモ
- プリンタドライバの場合、（+）、（−）方向の設定はとじ位置の選択で行います。
- 自動両面プリントの場合、表裏のとじ位置を自動的に合わせます。
- 縦位置補正、横位置補正の設定はとじしろの設定に関係なく有効です。このため、両面プリントで縦位置補正、横位置補正が設定されている場合、表裏のとじしろがずれることがあります。

とじしろを設定する

とじしろを設定するときは、次の手順で行います。

■ Windows からプリントする場合

とじしろは、LIPS プリンタドライバの［仕上げ］ページで［とじ方向］と［とじしろ］を設定します。LIPS プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

重要 BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、操作パネルでとじしろの設定を行います。「DOS や UNIX からプリントする場合」と同様の手順で設定してください。

■ Macintosh からプリントする場合

とじしろは、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルでとじしろを設定します。
プリンタの操作パネルでとじしろを設定するときは、次の手順で行います。



1 ［セットアップ］を押します。

セットアップ°
▼
カクチョウ　キノウ　→







2 ［◀］、［▶］で「レイアウト」を選択し、［実行］を押します。

レイアウト　→
▼
コピ°ーマイスウ　→







3 ［◀］、［▶］で「トジ　ホウコウ」を選択し、［実行］を押します。

トシ゛ホウコウ　→
▼
=チョウヘントシ゛　→

とじ方向の設定値が表示されます。



4 [◀]、[▶] で目的のとじ方向を選択し、[実行] を押します。

ミジカテ →

=ミジカテ →

選択したとじ方向が設定されます。



5 [◀]、[▶] で「トジシロ」を選択し、[実行] を押します。

トジシロ →

=0.0 →

とじしろの設定値が表示されます。



6 [◀]、[▶] で目的の数値を選択し、[実行] を押します。

数値は、[◀] または [▶] を押すたびに 0.5 mm 単位で変化します。

25.5 →

=25.5 →

設定値の左右に「=」が表示され、とじしろが設定されます。

4

CHAPTER

日常のメンテナンス

この章では、トナーカートリッジの交換や清掃のしかたなど、メンテナンスのしかたについて説明しています。

4. 日常のメンテナンス

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

「トナー　ヨウイ／コウカン」が表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。プリンタの使用中にトナーが少なくなると、ディスプレイにメッセージが表示されます。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
16 X トナー ヨウイ （XはK、Y、M、C）	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリントは継続できます ・表示された色の新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量のプリントをするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
16 X トナー コウカン （XはK、Y、M、C）	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリンタは停止します ・［オンライン］を押すとプリントは継続できます ・表示された色の新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量のプリントをするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
1G X トナー コウカン （XはK、Y、M、C）	トナーカートリッジが寿命になったとき	・「1G　K　トナー　コウカン」が表示された場合は、プリンタは停止し、継続してプリントすることはできません。 ・「1G　X　トナー　コウカン」（X=Y、M、C）が表示された場合は、モノクロプリントのみ行うことが可能です。 ・表示された色のトナーカートリッジを新品のトナーカートリッジに交換してください

*トナーが少なくなったときに「16　X　トナー　ヨウイ」と「16　X　トナー　コウカン」のどちらが表示されるかは、セットアップメニューの「警告処理」の設定によります。本プリンタの工場出荷時の状態では、「16　X　トナー　ヨウイ」が表示されるように設定されています。「警告処理」の設定については、LIPS機能ガイド「第3章共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

*メッセージの“K”はブラック、“Y”はイエロー、“M”はマゼンタ、“C”はシアンの各トナーカートリッジを表しています。



- 交換の際は、必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ
LBP5900SE	Toner Cartridge 502 Black Toner Cartridge 502 Yellow Toner Cartridge 502 Magenta Toner Cartridge 502 Cyan

- 「1G　X　トナー　コウカン」が表示されていない状態でトナーカートリッジを交換した場合は、必ずトナーカートリッジのカウンタをリセットしてください。（→ P.4-11）


本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。このページ数は、A4 サイズ、5%印字比率、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合です。トナーの消費量は、プリントする書類の内容によって異なります。図・表・グラフなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多くプリントする場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。

・ブラック（Toner Cartridge 502 Black）：約 10,000 ページ
・イエロー（Toner Cartridge 502 Yellow）：約 6,000 ページ
・マゼンタ（Toner Cartridge 502 Magenta）：約 6,000 ページ
・シアン（Toner Cartridge 502 Cyan）：約 6,000 ページ

トナーカートリッジの交換

次のメッセージが表示されたときは、表示された色のトナーカートリッジを新品のカートリッジに交換してください。

- 「1G　K　トナー　コウカン」・・・ブラックのトナーカートリッジを交換します
- 「1G　Y　トナー　コウカン」・・・イエローのトナーカートリッジを交換します
- 「1G　M　トナー　コウカン」・・・マゼンタのトナーカートリッジを交換します
- 「1G　C　トナー　コウカン」・・・シアンのトナーカートリッジを交換します

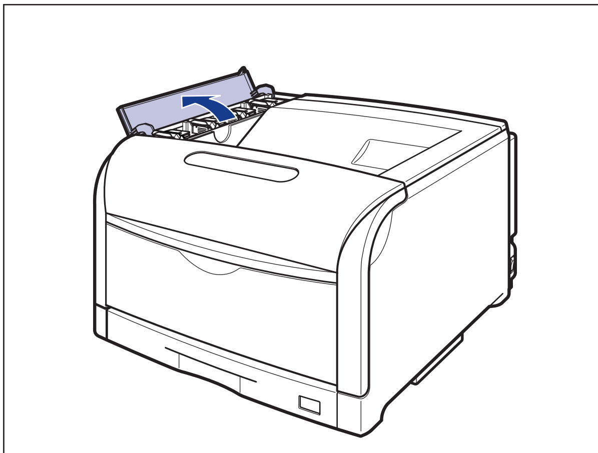

使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。


トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。


必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

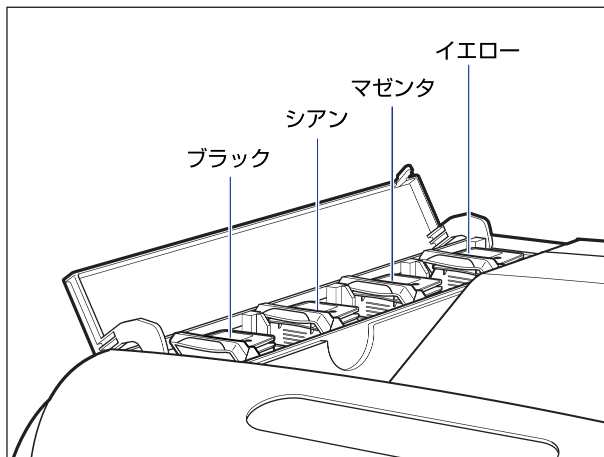

梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 **トナーカバーを開けます。**

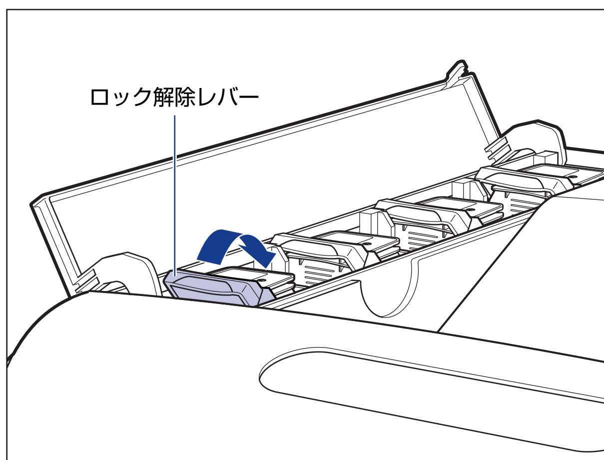




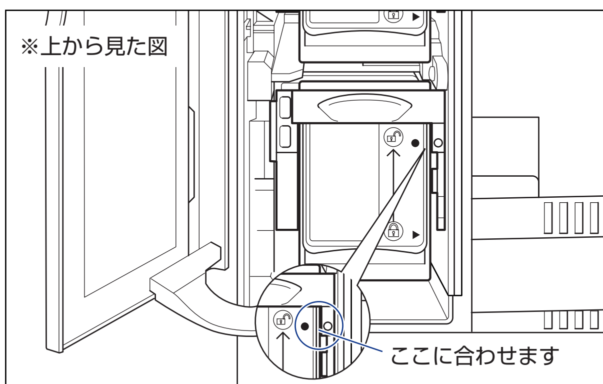
トナーカートリッジは、奥からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの順に取り付けられています。



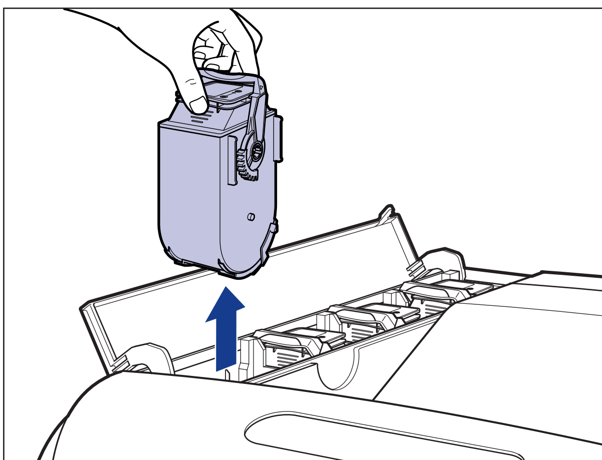
2 **交換する色のトナーカートリッジのロック解除レバーを「🔓」の位置まで倒して、ロックを解除します**



ロック解除レバーの丸マークをトナーカートリッジの丸マークに合わせます。



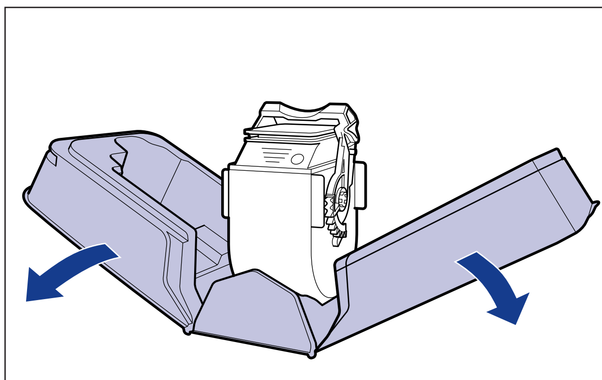
3 トナーカートリッジを本体から取り外します。



重要 トナーカートリッジが取り外せない場合は、ロック解除レバーの丸マークとトナーカートリッジの丸マークが合っているかを確認してください。無理に取り外すと故障の原因になります。

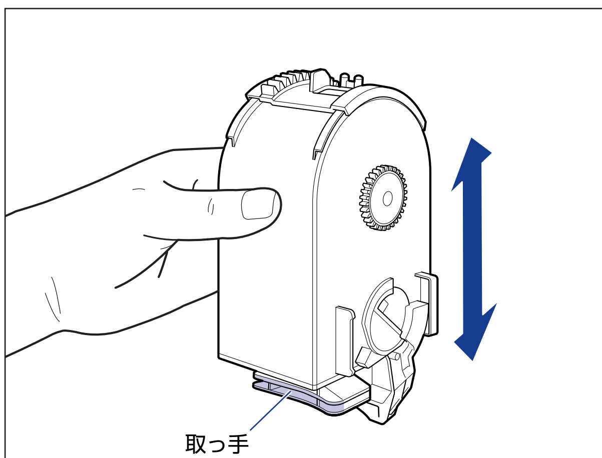
4 トナーカートリッジを箱から取り出したあと、保護パックから取り出します。

保護パックは上面の中央部を持って、左右に開きます。



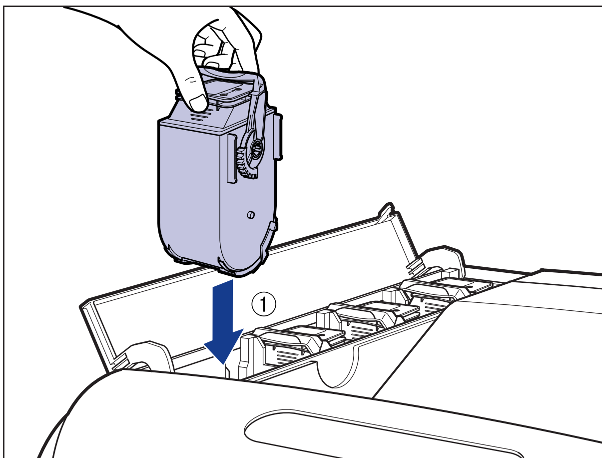

重要　トナーカートリッジが入っていた保護パックは、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

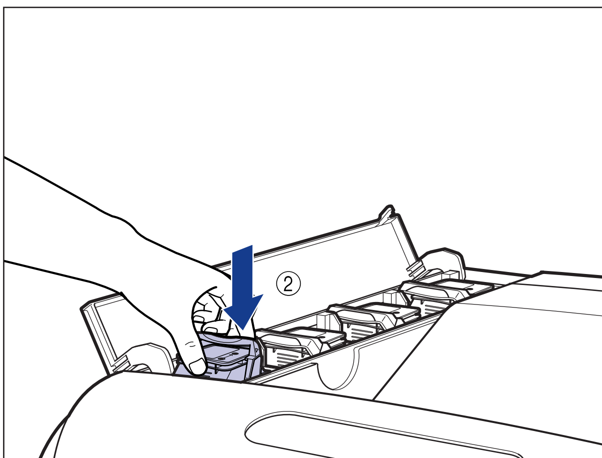
5 図のようにトナーカートリッジの取っ手部分を下側にして、上下に往復10回振って、内部のトナーを均一にならします。



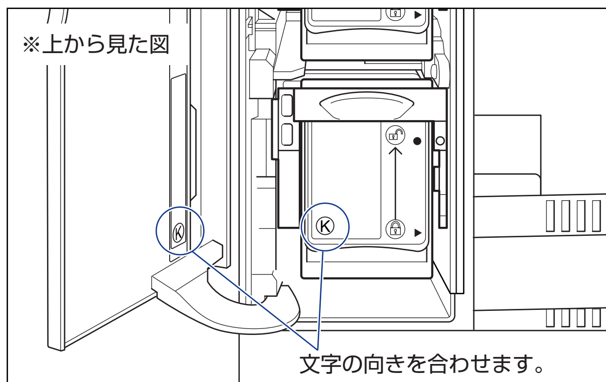

重要　トナーが均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

6 図のように取っ手を持って、トナーカートリッジを本体に挿入し ①、止まるまでゆっくりと押し込みます ②。

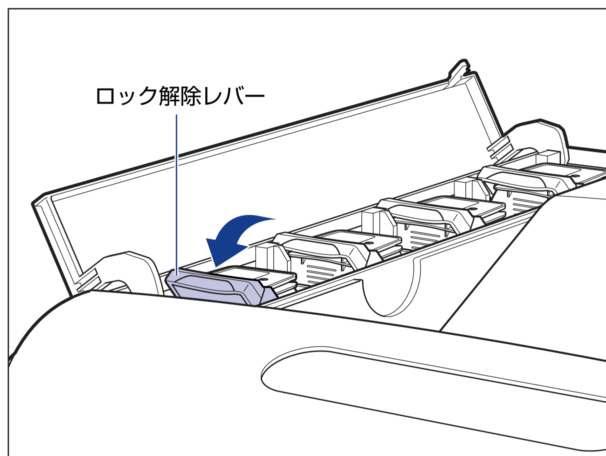




トナーカートリッジとトナーカバーにある文字の向きが合うように取り付けます。

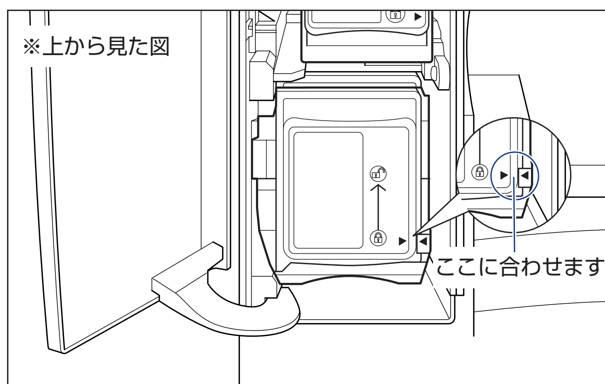


7 **ロック解除レバーを「🔒」の位置まで倒して、トナーカートリッジをロックします。**

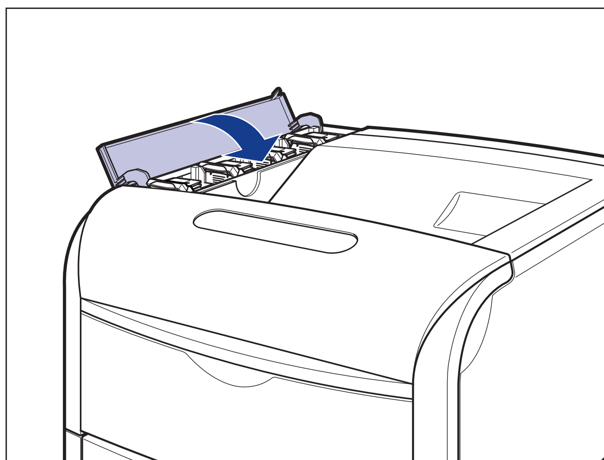


4 日常のメンテナンス

ロック解除レバーの三角マークをトナーカートリッジの三角マークに合わせます。



8 トナーカバーを閉めます。



重要

- トナーカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にトナーカバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、トナーカバーを開けたまま長時間放置しないでください。

メモ

トナーカートリッジをセットしても、「1G　X　トナー　コウカン」が消えるまで数秒時間がかかります。「1G　X　トナー　コウカン」が消えない場合は、交換したトナーカートリッジを取り出して、取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならしてから取り付けてください。

「1G　X　トナー　コウカン」が表示されていない状態で、トナーカートリッジを交換した場合は、「トナーカートリッジのカウンタをリセットする」（→ P.4-11）でカウンタのリセットを行います。

トナーカートリッジのカウンタをリセットする

「1G　X　トナー　コウカン」が表示されていない状態で、トナーカートリッジを交換した場合は、次の手順でカウンタのリセットを行います。カウンタのリセットを行わないと、トナーカートリッジの寿命が正しく検知されなくなります。

重要　この操作は「1G　X　トナー　コウカン」が表示されていない状態で、トナーカートリッジを交換した場合にのみ行ってください。



1 **［リセット］を押します。**



リセットメニューが表示されます。



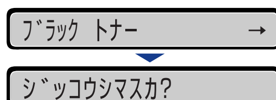
2 **［◄］、［►］で「トナー　コウカン」を選択し、［実行］を押します。**



トナーカートリッジの色が表示されます。



3 **［◄］、［►］でカウンタをリセットするトナーカートリッジを選択し、［実行］を押します。**



確認のメッセージが表示されます。



4 **［実行］を押します。**

［実行］を押さずに、［オンライン］を押すと、初期化を行いません。





トナーカートリッジのカウンタをリセットしたあと、「1G　X　トナー　コウカン」が表示された場合は、交換したトナーカートリッジを取り出して、取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならしてから取り付けてください。

使用済みトナーカートリッジ回収のお願い



キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
　キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
　使用済みトナーカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。



回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

トナーカートリッジの取り扱いのご注意

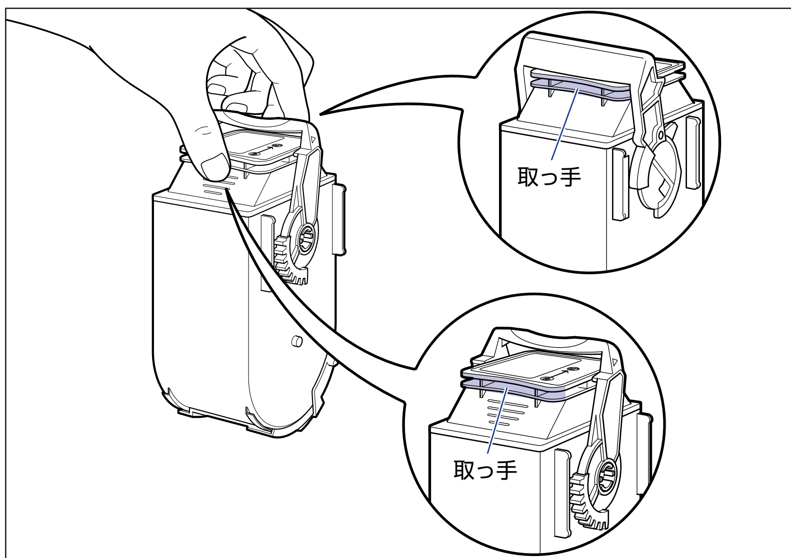
トナーカートリッジは、精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因になることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

警告 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

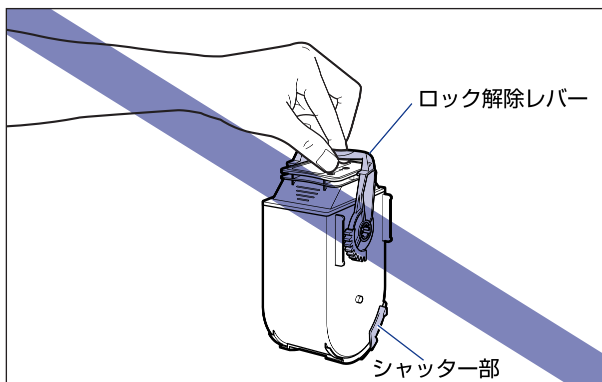
注意 トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要

- プリンタの修理のためにトナーカートリッジをプリンタから取り出したときは、すみやかにトナーカートリッジを梱包してあった保護パックに入れるか、厚い布で包んでください。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように取っ手を持って取り扱ってください。



- 図のようにトナーカートリッジのロック解除レバーを持ったり、シャッター部を触ったりしないでください。また、指定された以外の部分は、持ったり触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。



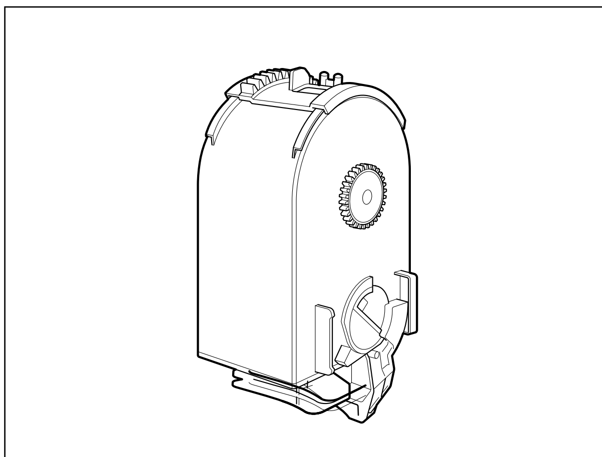
- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなど、保護パックを開封せずに 2 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に気を付けて保管してください。



- 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護パックから取り出さないください。
- メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、すみやかに梱包してあった保護パックに入れるか、厚い布で包み、以下の状態で保管してください。



- 直射日光の当たる場所は避けてください。

- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：0 ～ 35 ℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この水滴が付着する状態を結露といいます。結露はトナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

「ドラム　ヨウイ / ドラムコウカン」が表示されたときは

ドラムカートリッジは消耗品です。ドラムカートリッジが寿命に近づくと、ディスプレイに以下のメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
E0 X ﾄﾞﾗﾑ ﾖｳｲ （XはK、Y、M、C）	ドラムカートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリントは継続できます ・表示された色の新品のドラムカートリッジを用意してください ・大量のプリントをするときは、ドラムカートリッジを交換することをおすすめします
EF X ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ （XはK、Y、M、C）	ドラムカートリッジが寿命になったとき	・プリンタは停止します ・［オンライン］を押すと少しの間はそのままプリントを継続できますが、印字品質が低下することがあります ・表示された色の新品のドラムカートリッジに交換してください
98 X ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ （XはK、Y、M、C）	ドラムカートリッジが使用できなくなったとき	・プリンタは停止し、継続してプリントすることはできません ・表示された色の新品のドラムカートリッジに交換してください

*メッセージの“K”はブラック、“Y”はイエロー、“M”はマゼンタ、“C”はシアンの各ドラムカートリッジを表しています。

重要　交換の際は、必ず本プリンタ専用のドラムカートリッジを使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正ドラムカートリッジ
LBP5900SE	Drum Cartridge 502 Black Drum Cartridge 502 Yellow Drum Cartridge 502 Magenta Drum Cartridge 502 Cyan

メモ

- 本プリンタ用ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。このページ数は下記の条件でのページ数です。
  用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、連続 / 片面印刷
  ・ブラック（Drum Cartridge 502 Black）：約 50,000 ページ
  ・イエロー（Drum Cartridge 502 Yellow）：約 50,000 ページ
  ・マゼンタ（Drum Cartridge 502 Magenta）：約 50,000 ページ
  ・シアン（Drum Cartridge 502 Cyan）：約 50,000 ページ

- 2枚ずつ間隔をあけて印刷(2枚間欠印刷)を行なう場合の本プリンタ用ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、ブラック約 45,000 ページ、カラー各色約 40,000 ページとなります。この数値はカラー印刷のみを行った場合の印刷可能なページ数です。モノクロ印刷をした場合でも、各カラーのドラムカートリッジの消耗は進むため、モノクロ印刷を多く行ったときには、各カラーのドラムカートリッジの寿命が半分程度の枚数になることがあります。
- 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。

ドラムカートリッジの交換

次のメッセージが表示されたときは、表示された色のドラムカートリッジを新品のドラムカートリッジに交換してください。

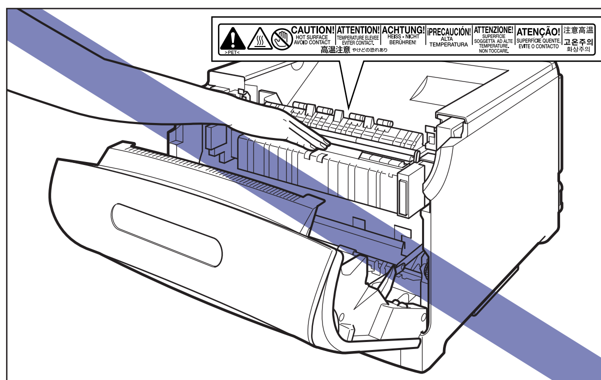
- 「EF　K　ドラムコウカン」・・・ブラックのドラムカートリッジを交換します
- 「EF　Y　ドラムコウカン」・・・イエローのドラムカートリッジを交換します
- 「EF　M　ドラムコウカン」・・・マゼンタのドラムカートリッジを交換します
- 「EF　C　ドラムコウカン」・・・シアンのドラムカートリッジを交換します

警告

- 使用済みのドラムカートリッジを火中に投じないでください。ドラムカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- ドラムカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらドラムカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

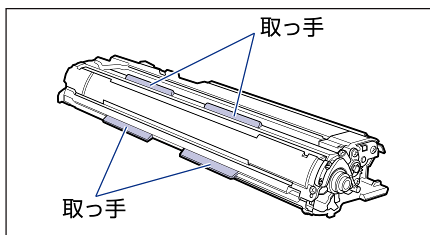
注意

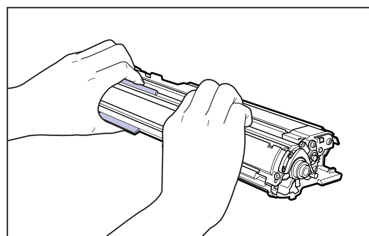
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。



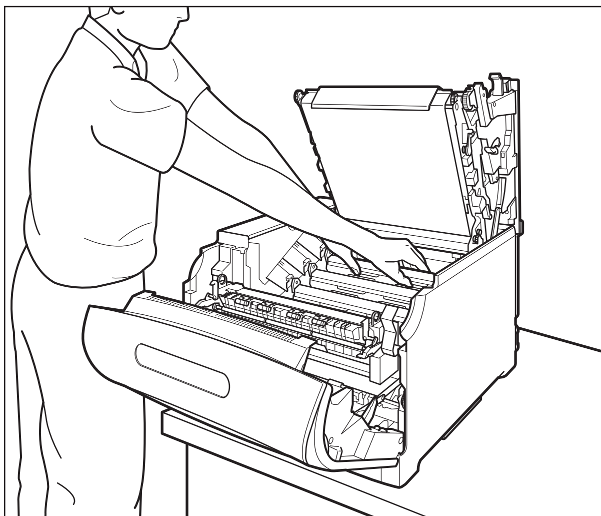
重要

- 必ず本プリンタ専用のドラムカートリッジを使用してください。
- 一度使用したドラムカートリッジを再度プリンタに取り付けないでください。ドラムカートリッジの寿命が正しく検知されなかったり、故障の原因になることがあります。
- ドラムカートリッジを取り扱う際は、図のように青色の取っ手を持って正しく取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。



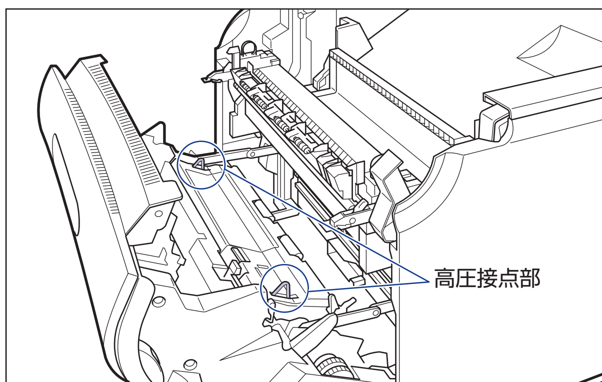


- ドラムカートリッジは、保護袋に入っています。ドラムカートリッジをセットする準備ができるまで、保護袋から取り出さないでください。
- ドラムカートリッジを取り外すときや取り付けるときは、図のようにプリンタの左側から作業を行ってください。

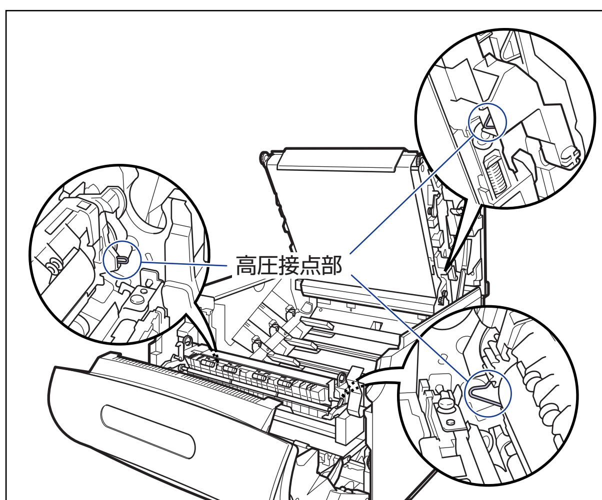


- 次の位置にある高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

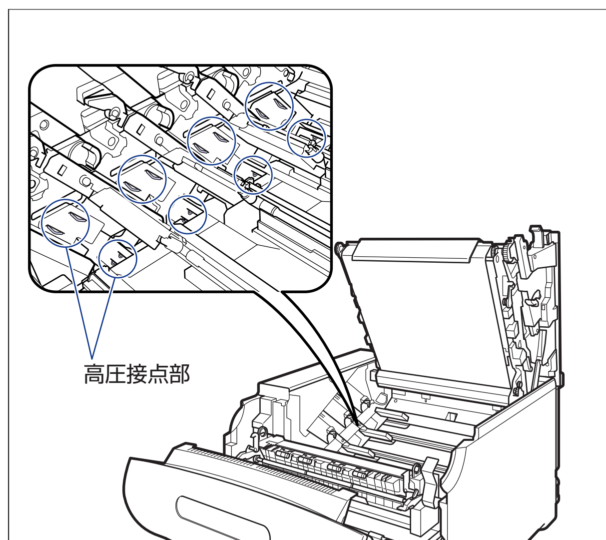
  · 前カバー内側



  · ITB ユニット右側、プリンタ内部



・ドラムカートリッジガイド部

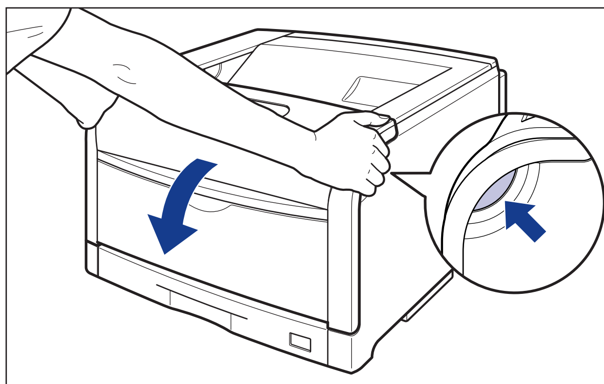




梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 前カバーを開けます。

前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

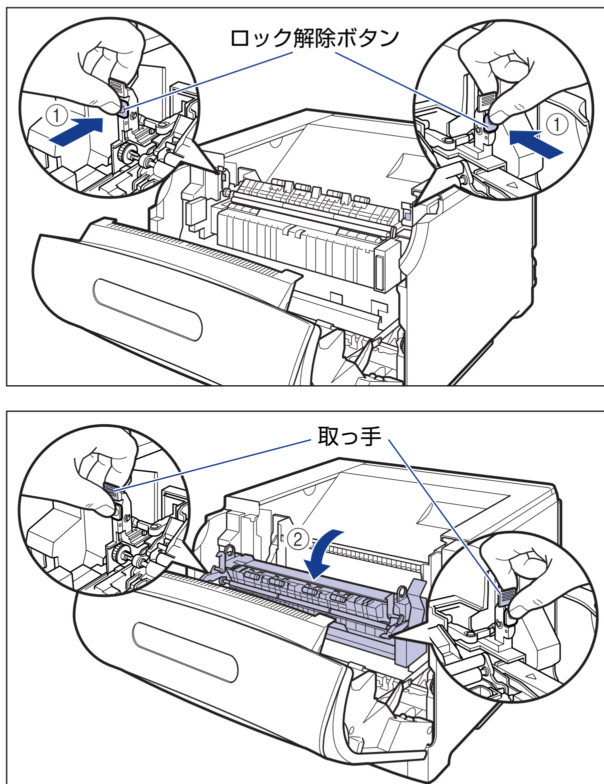




前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイと本体の給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

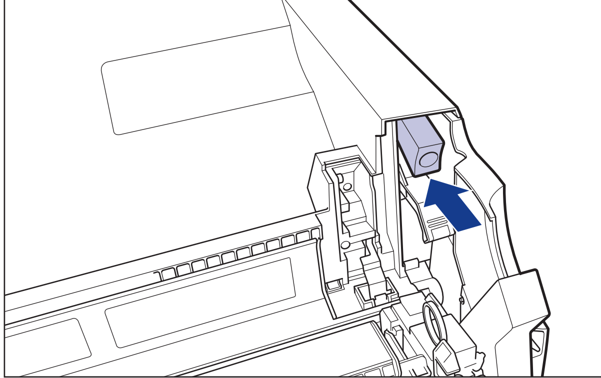
2 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

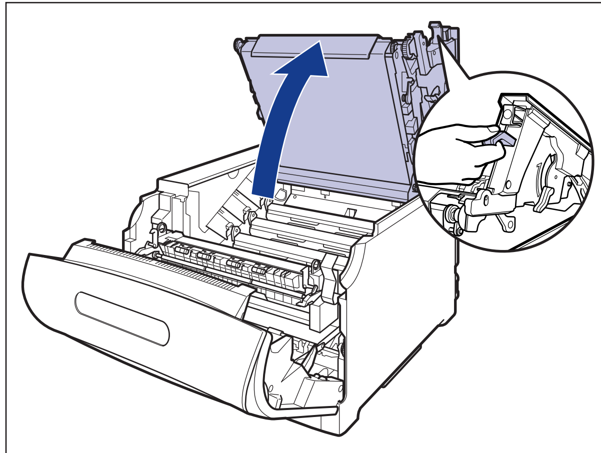


3 上カバーを開けます。

上カバーの青色のロック解除ボタンを押します。

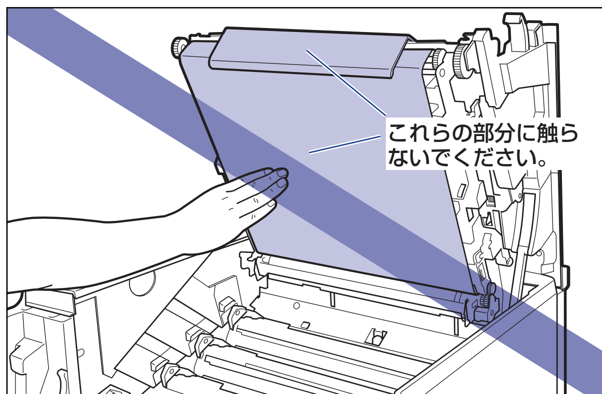


上カバーのレバーを持って、上カバーを開けます。

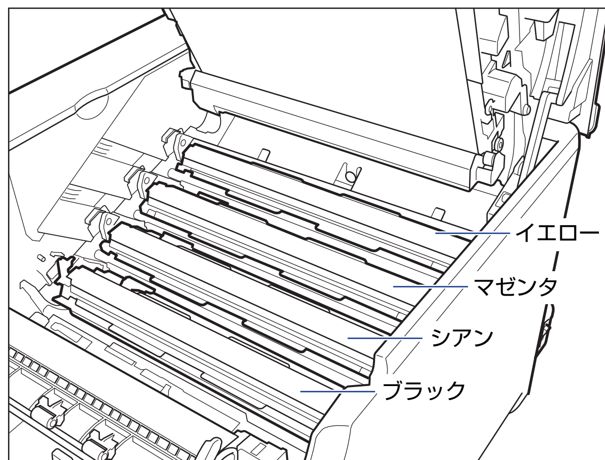


重要

- ITB ユニットの転写ベルトや ITB ユニットカバーに触れたりしないでください。転写ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。ITB ユニットの転写ベルトに触れて印字品質が低下した場合は、「ITB ユニットの転写ベルトを清掃する」(→P.4-61)を参照して、ITB ユニットの転写ベルトの清掃を行ってください。ITB ユニットの転写ベルトにトナーが付着している場合は、自動的に清掃する機能が付いていますので清掃する必要はありません。

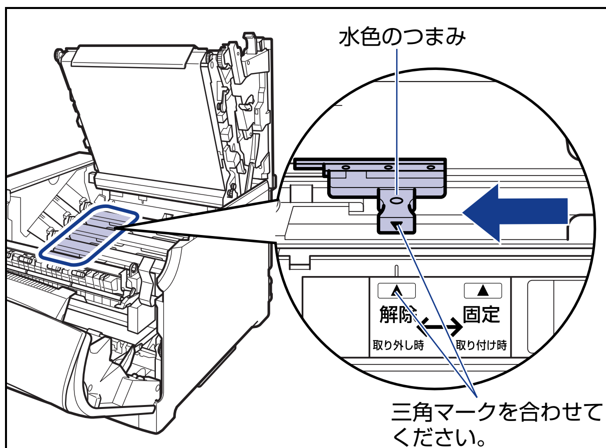


- ドラムカートリッジは、奥からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの順に取り付けられています。

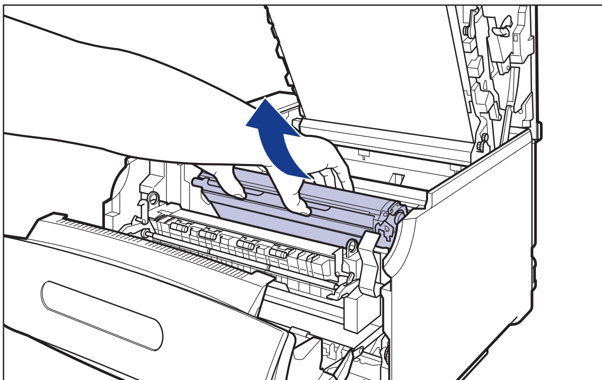


4 交換する色のドラムカートリッジの水色のつまみを「解除」の位置までスライドさせて、ロックを解除します。

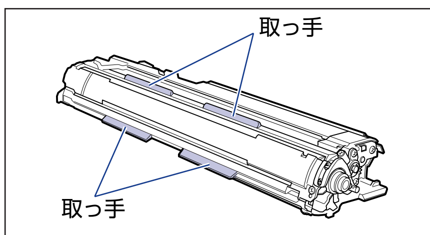
水色のつまみの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。

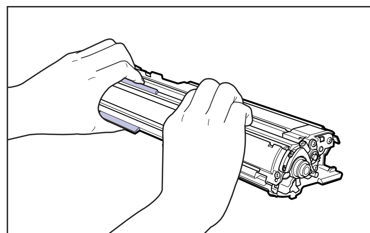


5 ドラムカートリッジを取り出します。



ドラムカートリッジは、図のように青色の取っ手を持って取り外します。





4

日常のメンテナンス

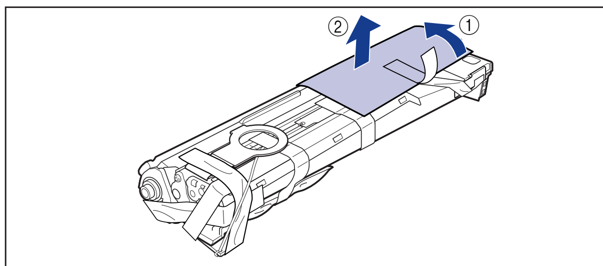
6 ドラムカートリッジを箱から取り出したあと、保護袋から取り出します。



ドラムカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、ドラムカートリッジを取り出すときに必要になります。

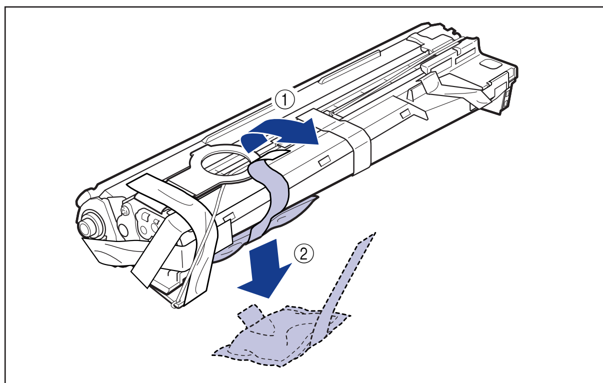
7 注意事項が記載されている用紙をドラムカートリッジから取り外して、内容をよく読みます。

用紙はテープをはがしてから ①、取り外します ②。



8 図の位置にあるテープ付き乾燥剤（1 個）を取り外します。

テープ付き乾燥剤はテープをはがしてから ①、取り外します ②。

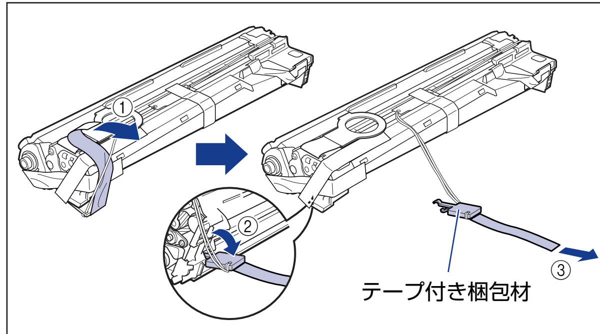




取り外した乾燥剤は、地域の条例にしたがって処分してください。

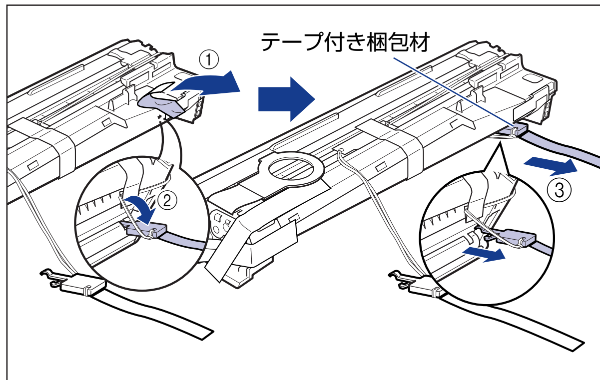
9 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

テープ付き梱包材は、テープを取り外し ①、梱包材も同時に取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから ②、取り外します ③。



10 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

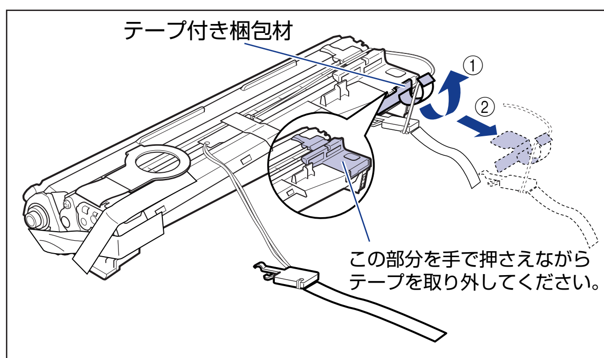
テープ付き梱包材は、テープを取り外し ①、梱包材も同時に取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから ②、取り外します ③。



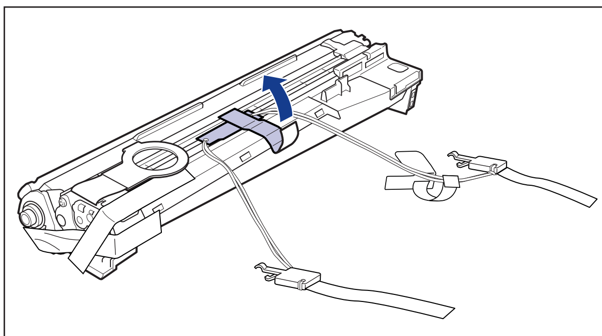
11 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

テープ付き梱包材は、テープをはがしてから ①、梱包材を引き抜いてください ②。

テープを取り外す際は、青色のシャッターを手で押さえながらゆっくりと取り外します。



12 図の位置にあるテープ（1 枚）とタグ（2 個）を取り外します。

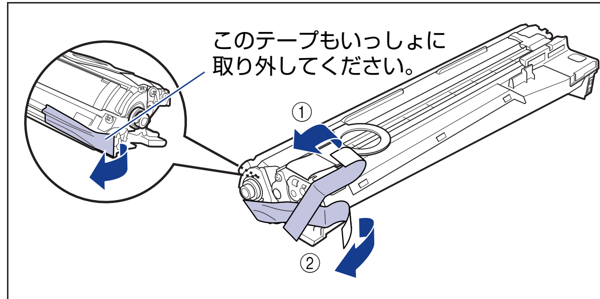




取り外した梱包材は、 地域の条例にしたがって処分してください。

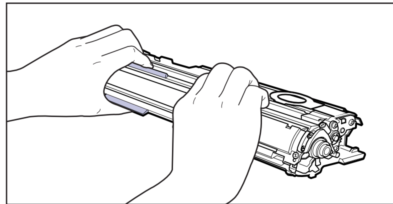
13 図の位置にあるテープ（3 枚）を ①、② の順に取り外します。

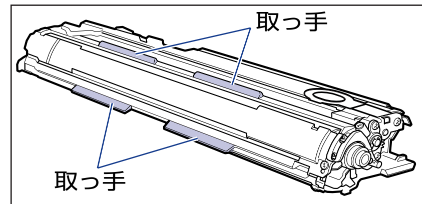
② で取り外すテープは、テープの後端にもう 1 枚のテープが貼り付いていますので、いっしょに取り外します。



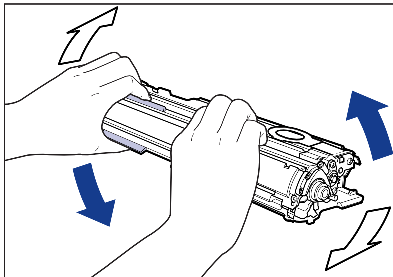
14 ドラムカートリッジの青色の取っ手を持ち、図のように往復 10 ～ 12 回振って、内部の現像剤を均一にならします。

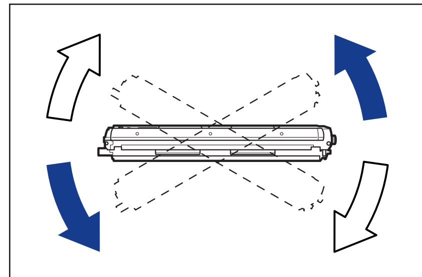
ドラムカートリッジの青色の取っ手を持ちます。





ドラムカートリッジを図のように往復 10 ～ 12 回振ります。



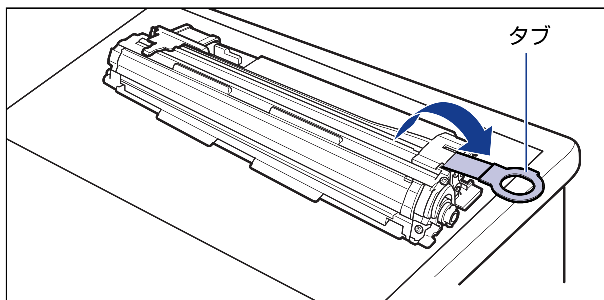




現像剤が均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

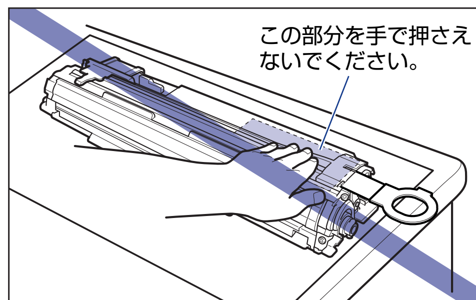
4
日常のメンテナンス

15 平らな場所に用紙などを敷いて、その上にドラムカートリッジを置き、シーリングテープのタブを図のように倒します。

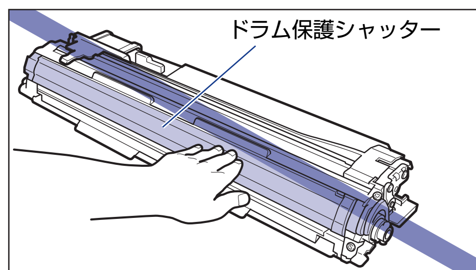




- ドラムカートリッジを置くときは、ドラムカートリッジの底面で机などを傷つけないために、用紙などをドラムカートリッジの下に敷いてください。
- シーリングテープを引き抜くときは、シーリングテープの引き出し口付近を手で押さえないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

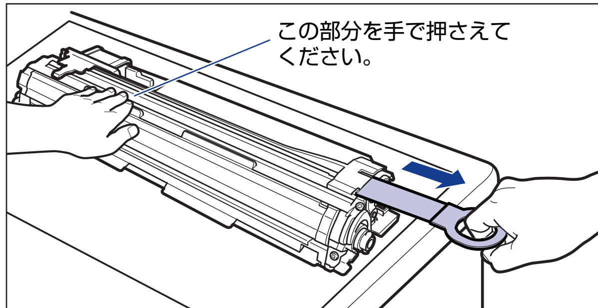


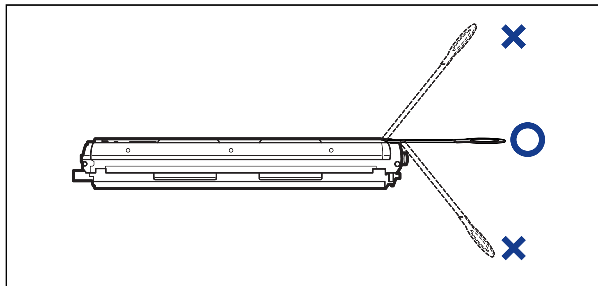
- シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。



16 ドラムカートリッジを押さえながらシーリングテープ(長さ約 70cm)をゆっくりと水平にまっすぐ引き抜きます。

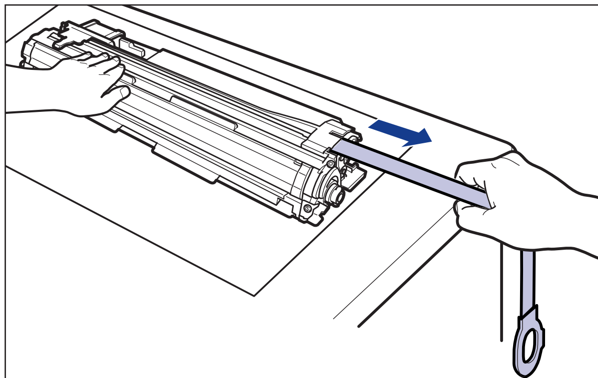
シーリングテープを引き抜く際、重くなる場合がありますが故障ではありませんので最後まで完全に引き抜きます。





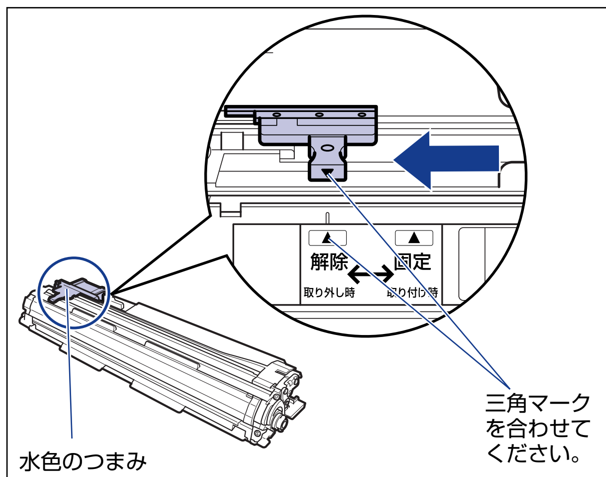
重要

- シーリングテープのタブを持って引き抜きにくい場合は、図のようにテープ部分を持って引き抜いてください。ただし、シーリングテープには、トナーが付着していますので、トナーで手が汚れることがあります。

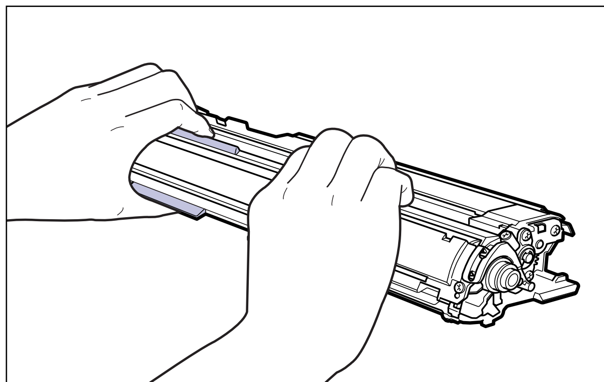


- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。
- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがドラムカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- 引き抜いたシーリングテープは、地域の条例にしたがって処分してください。

17 ドラムカートリッジをセットする前に、図のように水色のつまみの三角マークとラベルの「解除」の三角マークの位置を同じ位置に合わせてください。



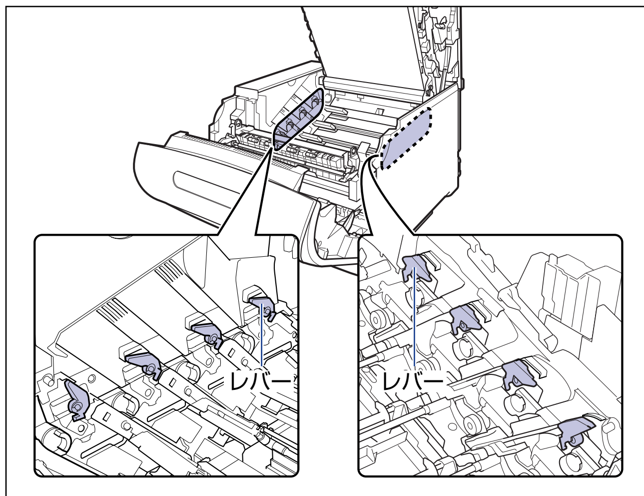
ドラムカートリッジをセットするときは、図のように青色の取っ手を持ちます。



4

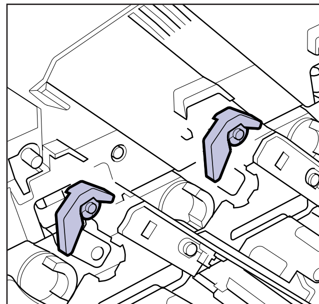
日常のメンテナンス

18 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように正しい位置にあるか確認します。

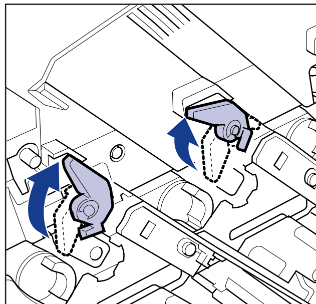


正しい位置にレバーがないとドラムカートリッジを取り付けることはできません。図のようにレバーを正しい位置まで押し上げます。

●正しくない位置

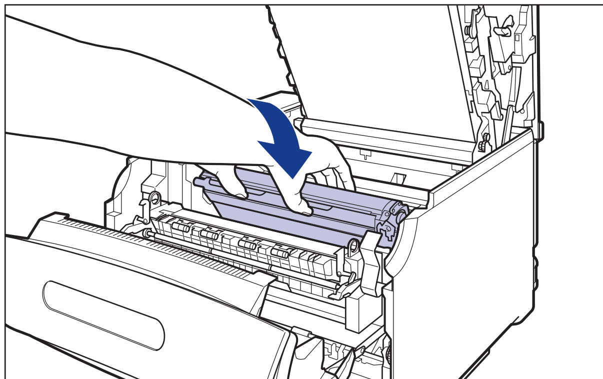


●正しい位置



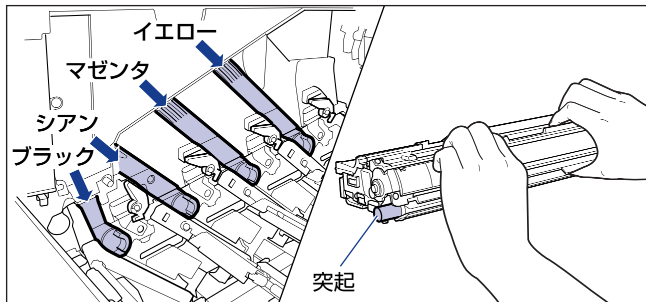
19 ドラムカートリッジを本体に取り付けます。

ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けます。

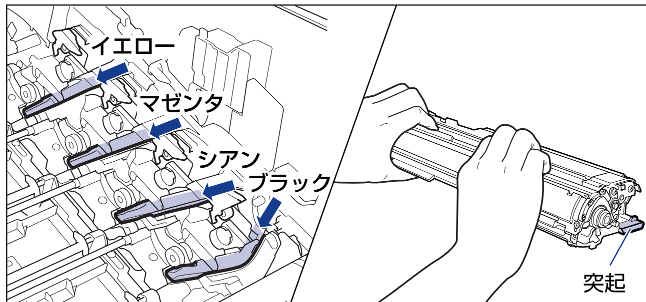


図のようにドラムカートリッジの左右の突起をドラムカートリッジガイドに挿入します。

●ドラムカートリッジガイド（左）



●ドラムカートリッジガイド（右）





ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けてください。確実に取り付けないと、印字不良の原因になります。

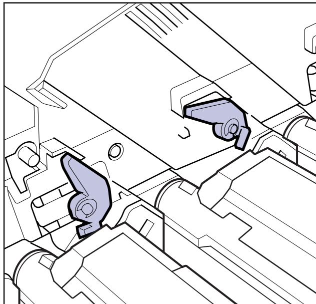
4

日常のメンテナンス

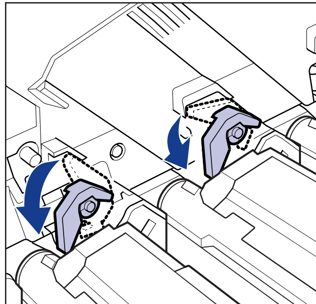
20 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように正しい位置にあるか確認します。

左右のレバーが正しい位置にあることを確認してください。正しい位置になっていない場合は、手でレバーを正しい位置に動かしてください。

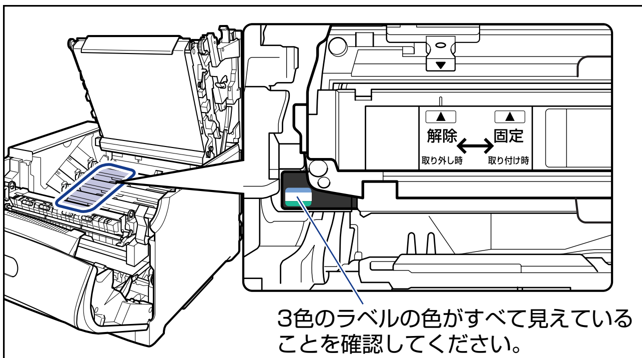
●正しくない位置



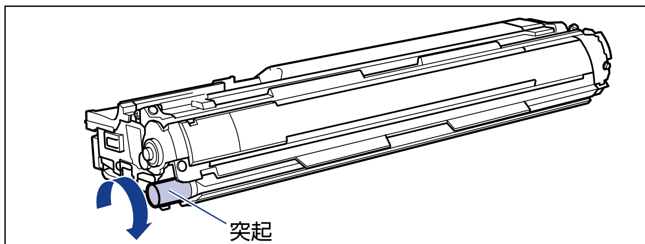
●正しい位置



21 ドラムカートリッジの突起部のラベルが見えていることを確認します。

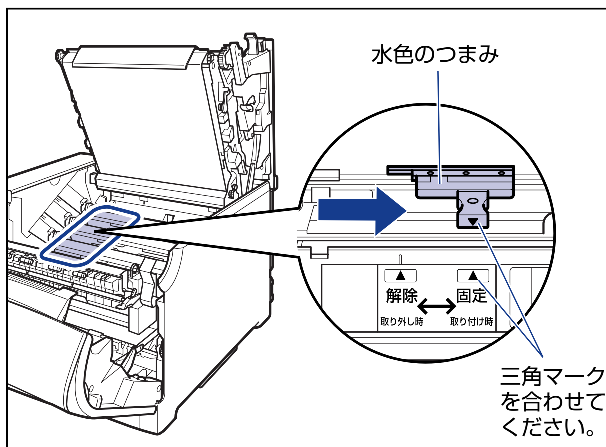


3 色のラベルの色すべてが手前に見えない場合は、一度取り出して、突起を矢印の方向にカチッと止まるまで回してから、取り付け直してください。



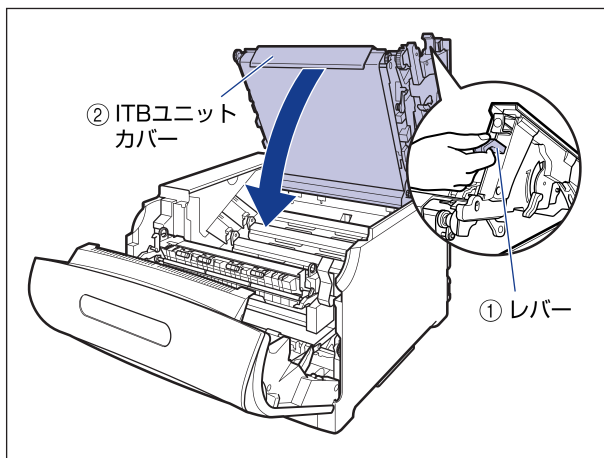
22 取り付けた色のドラムカートリッジの水色のつまみを「固定」の位置までスライドさせて、ドラムカートリッジを固定します。

水色のつまみの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。



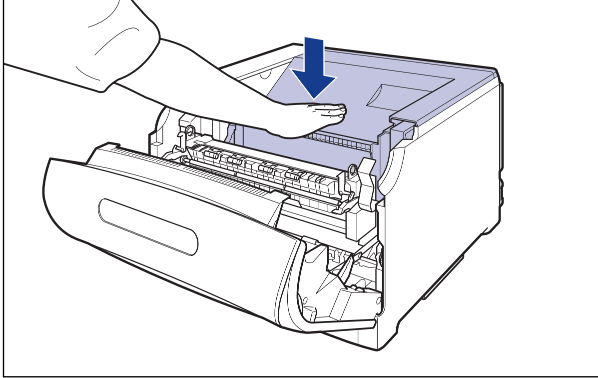
23 上カバーを閉めます。

プリンタの上カバーはレバーを持って ①、ゆっくりと閉めます。
上カバーを勢いよく閉めると、ITB ユニットカバー ② が元の位置に戻らず、プリンタが破損する原因になります。

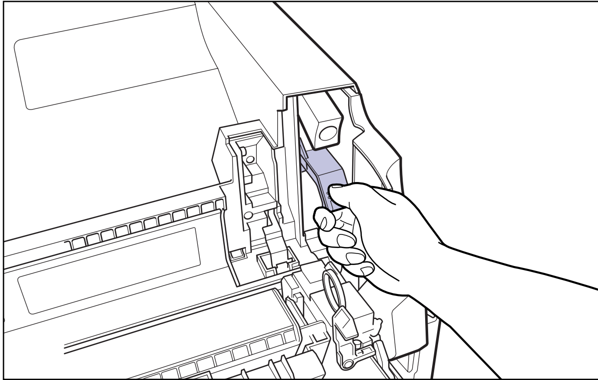


4
日常のメンテナンス

図のように上カバーの「PUSH」と記載されている部分を押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。



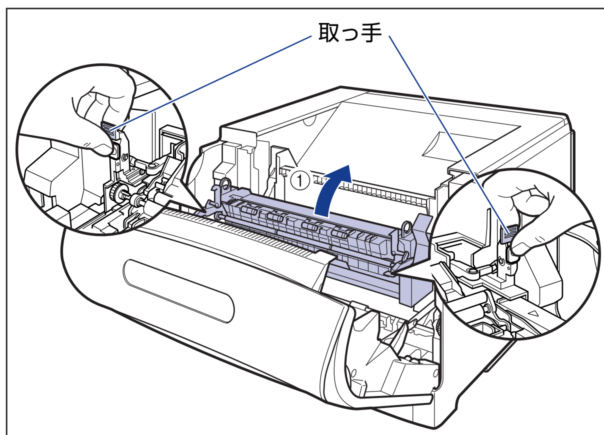
図のようにレバーを持って、上カバーが開かないことを確認します。

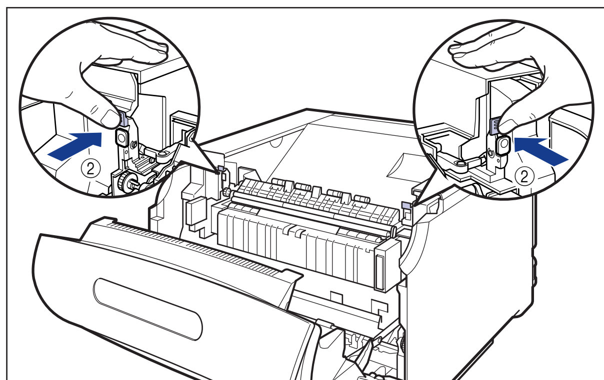




上カバーは突き当たるまで確実に閉めてください。確実に閉めないと、印字不良の原因になります。

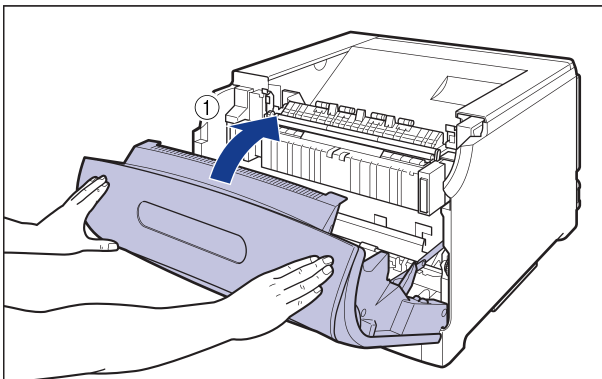
24 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

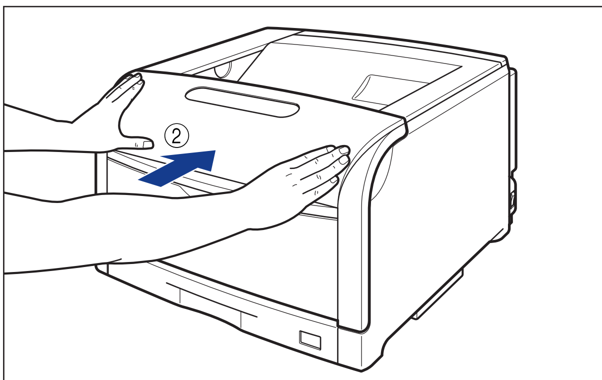




25 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。






注意 前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

使用済みドラムカートリッジ回収のお願い



キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
使用済みドラムカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。



回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

ドラムカートリッジ取り扱いのご注意

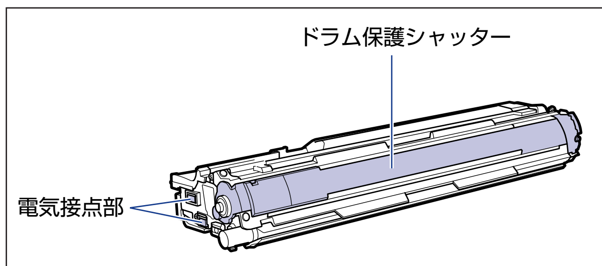
ドラムカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因になることがあります。ドラムカートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

警告
- 使用済みのドラムカートリッジを火中に投じないでください。ドラムカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- ドラムカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらドラムカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

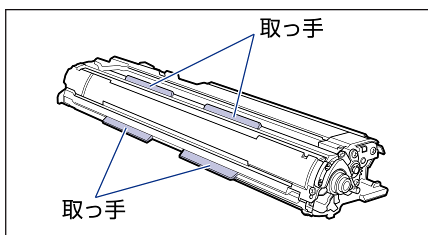
注意
トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

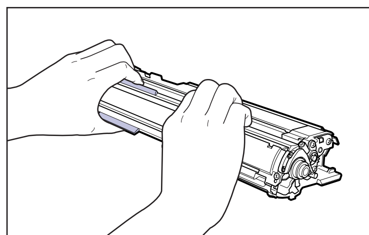
重要

- 内部の感光ドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、電気接点部など指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

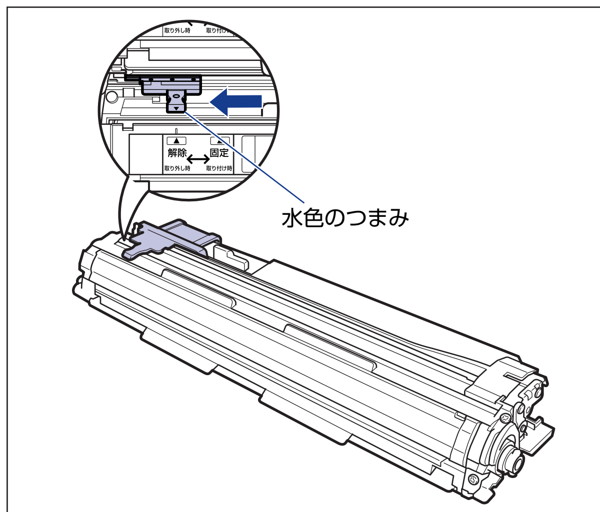


- ドラムカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。
- ドラムカートリッジをディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置に近付けないでください。
- ドラムカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近付けないでください。データ破損などの原因になることがあります。
- プリンタの修理のためにドラムカートリッジをプリンタから取り出したときは、すみやかにドラムカートリッジを梱包してあった保護袋に入れてください。
- ドラムカートリッジを取り扱う際は、図のように青色の取っ手を持って正しく取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。





- ドラムカートリッジを取り扱う際は、水色のつまみが「解除」の位置にあることを確認してください。



- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- ドラムカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のドラムカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなどは、保護袋を開封せずに 2 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。

ドラムカートリッジの保管について

交換用にお求めになったドラムカートリッジや、修理時に取り出したドラムカートリッジは、次のような点に気を付けて保管してください。


重要

- 新品のドラムカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないください。
- メンテナンスなどのために使用中のドラムカートリッジを取り出したときは、すみやかに梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んで保管してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：0 ～ 35 ℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってドラムカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この、水滴が付着する状態を結露といいます。結露はドラムカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。



定着器を交換する

定着器の交換方法について説明しています。

「テイチャクキ　ヨウイ」が表示されたときは

定着器のカウンタが規定値になると、ディスプレイに「E5　テイチャクキ　ヨウイ」のメッセージが表示されます。そのままでもプリントすることはできますが、印字品質が低下してきます。「E5　テイチャクキ　ヨウイ」が表示され印字品質が低下したときは、新しい定着器への交換をおすすめします。定着器は定期交換部品ですが、お客様での交換が可能です。



交換の際は、必ず本プリンタ専用の定着器を使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正定着器
LBP5900SE	FUSER KIT UM-98F



本プリンタ用の定着器（キヤノン純正品）の寿命は、A4 サイズを片面印刷した場合で約 150,000 ページです。

定着器の交換

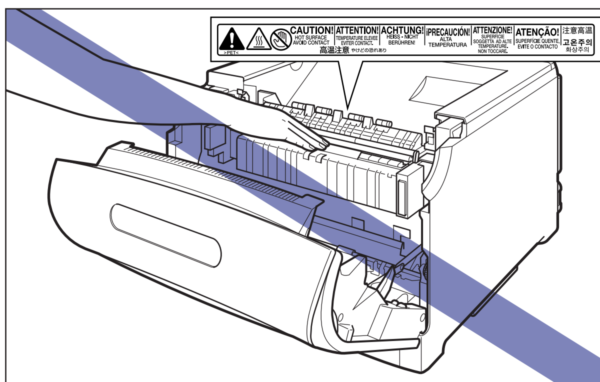
「E5　テイチャクキ　ヨウイ」のメッセージが表示されたときは、次の手順で新しい定着器と交換してください。



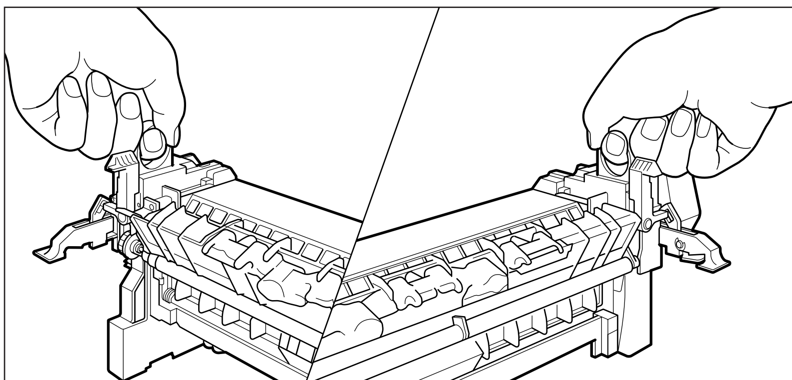
製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。



- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器を交換するときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。



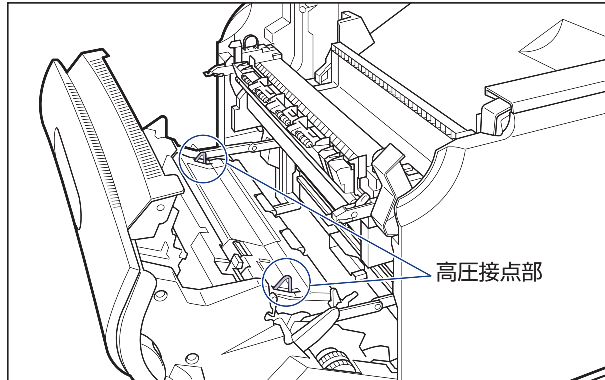
- 定着器は約 2.9kg あります。定着器を持つときは、左右の取っ手を両手でしっかりと持ってください。足などの上に落とすとけがの原因になることがあります。





- 定着器の交換後は、カウンタのリセットを行ってください。
  ·「定着器のカウンタをリセットする」（→ P.4-52）
- 定着器のローラなど、指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。印字品質の低下や故障の原因になります。

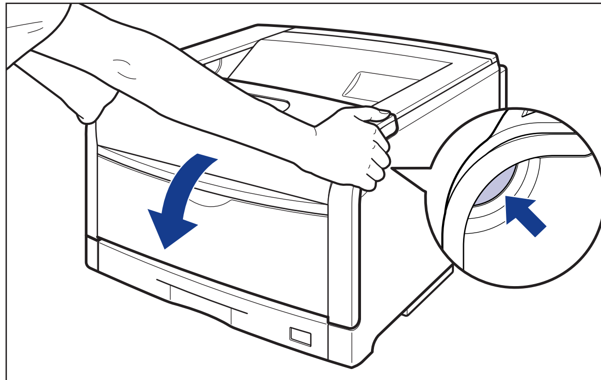
• 前カバー内側にある高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。




梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 前カバーを開けます。

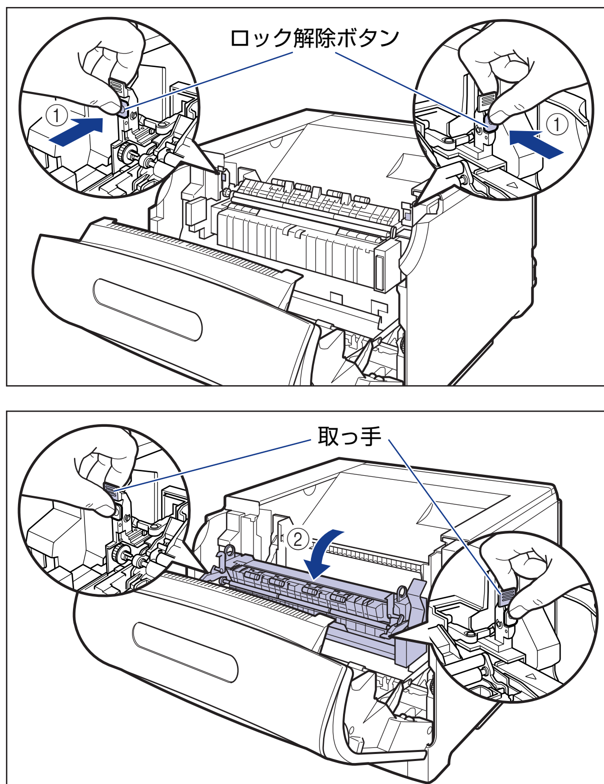
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。



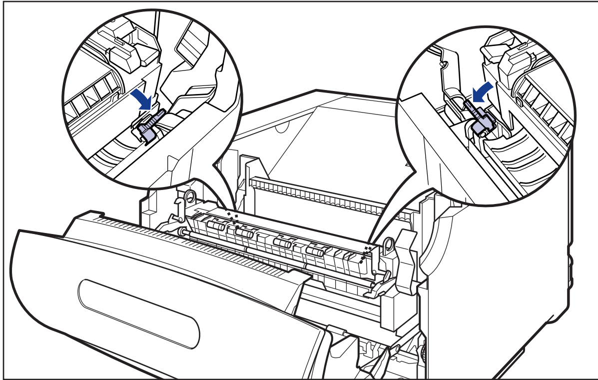

前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイと本体の給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

2 定着器を手前に倒します。

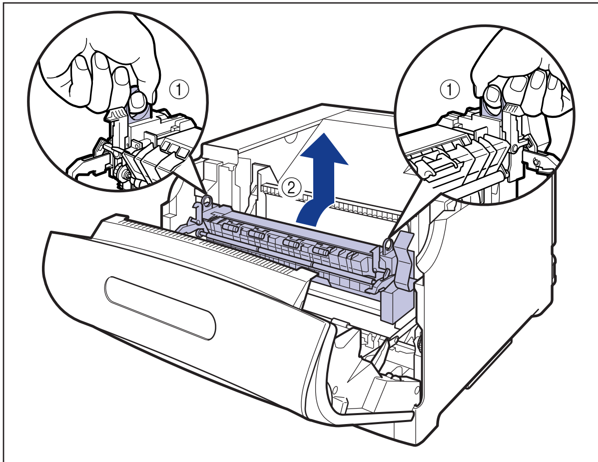
図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。



3 定着器裏側の左右にあるロック解除レバーを矢印の方向へ倒し、ロックを解除します。



4 定着器の左右にある青色の取っ手に指をかけ ①、少し奥側に倒して、定着器を取り外します ②。

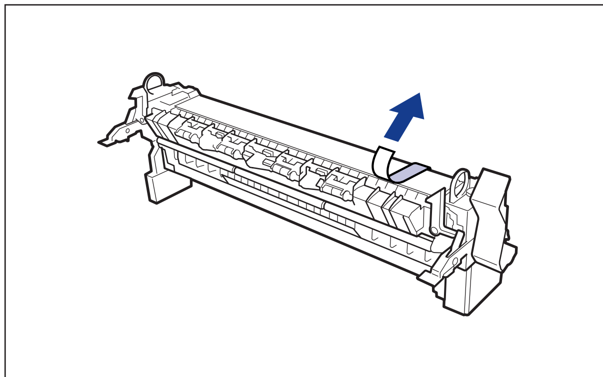




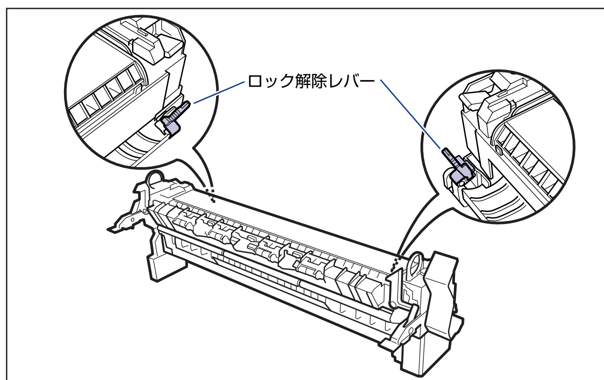
取り外した使用済みの定着器は、同封の送付伝票にて発送頂くか、お買い求めの販売店または最寄りのキヤノンマーケティングジャパン営業拠点にお持ちください。

5 新しい定着器を保護袋から取り出します。

6 定着器に貼られているテープを取り外します。

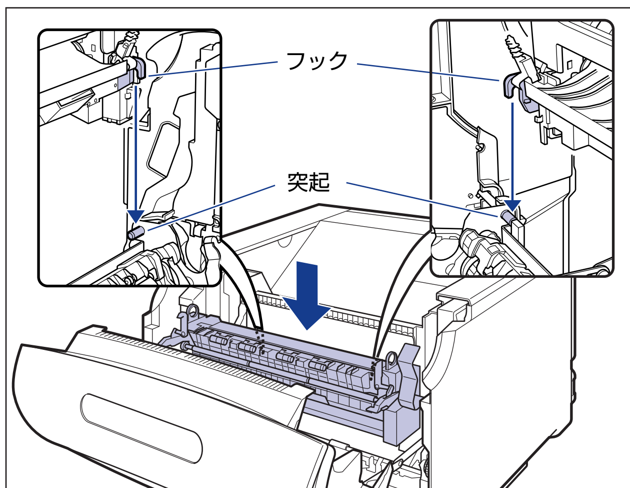


定着器裏側の左右にあるロック解除レバーが、図のように倒れていることを確認してください。

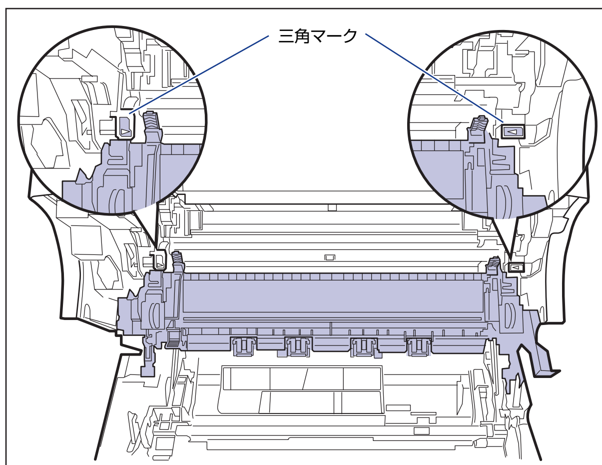


7 定着器をプリンタに取り付けます。

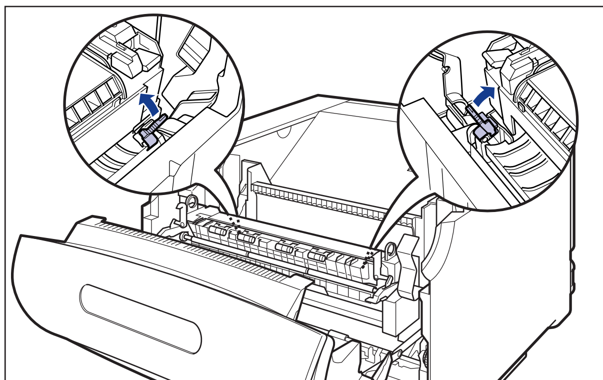
図のように定着器のフックをプリンタの突起に掛けます。



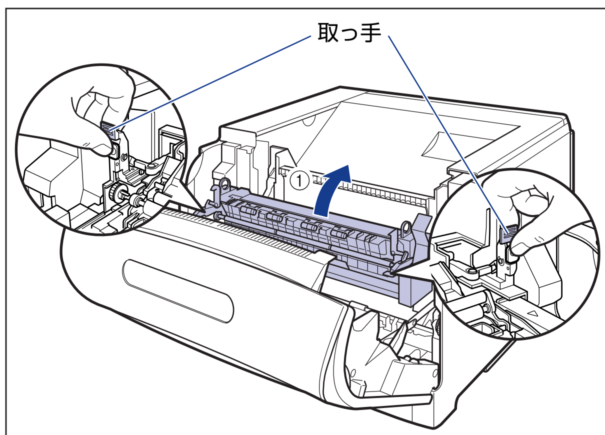
フックは三角マークの内側にある突起に掛けます。正しく取り付けられていることを確認してください。

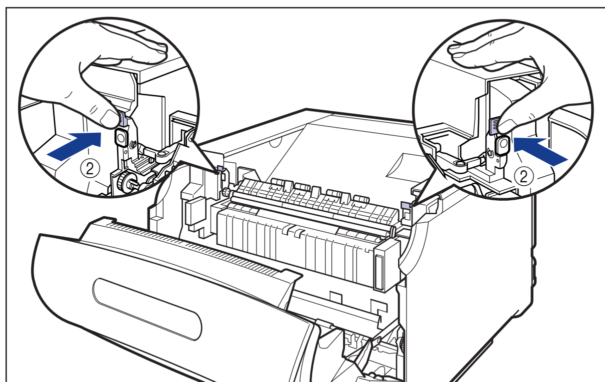


8 定着器裏側の左右にあるロック解除レバーを矢印の方向へ倒し、ロックします。



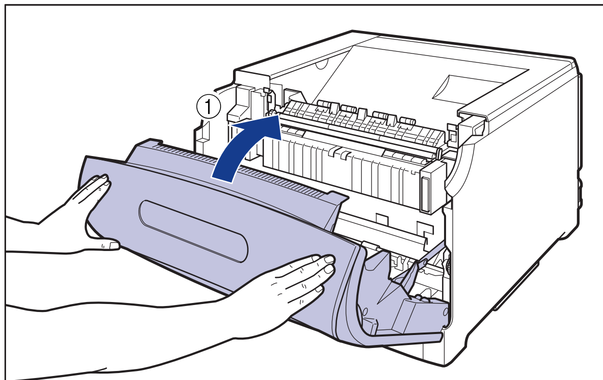
9 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

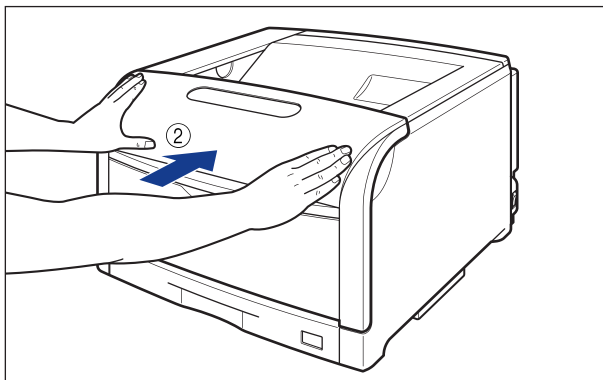




10 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。





⚠注意 前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

定着器を交換したあと、「定着器のカウンタをリセットする」（→ P.4-52）の手順にしたがって、定着器のカウンタをリセットしてください。

定着器のカウンタをリセットする

定着器を交換したあとは、操作パネルに表示されている「E5　テイチャクキ　ヨウイ」を消すために、次の手順でカウンタのリセットを行います。

 重要　この操作は定着器の交換時にのみ行ってください。定着器を交換しないで行うと、カウンタが正しく動作しなくなり、プリンタが故障する原因になります。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



2 ［セットアップ］を押します。

セットアップ゜

カクチョウ　キノウ　→



3 ［◄］、［►］で「ユーザメンテナンス」を選択し、［実行］を押します。

ユーザ゛メンテナンス　→

インシ゛　イチ　チョウセイ　→

ユーザメンテナンスグループの設定項目が表示されます。



4 ［◄］、［►］で「カウンタ　ショキカ」を選択し、［実行］を押します。

カウンタ　ショキカ　→

テイチャクキ

カウンタ初期化の設定項目が表示されます。



5 ［実行］を押します。

テイチャクキ

シ゛ッコウシマスカ?

確認のメッセージが表示されます。



6 [実行] を押します。

[実行] を押さずに、[オンライン] を押すと、初期化を行いません。

ショキカ チュウ

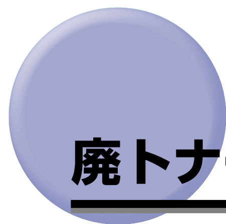


ショキカ シュウリョウ



7 [オンライン] を押します。

オンラインランプが点灯し、ディスプレイに表示されていた「E5　テイチャクキ　ヨウイ」が消えます。



廃トナー容器を交換する

廃トナー容器の交換方法について説明しています。

「ハイトナーヨウキ　ヨウイ / コウカン」が表示されたときは

廃トナー容器がいっぱいになると、ディスプレイにメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
E1　ハイトナーヨウキ　ヨウイ	廃トナー容器の交換時期が近づいたとき	・プリントは継続できます ・新品の廃トナー容器を用意してください
E1　ハイトナーヨウキ　コウカン	廃トナー容器がいっぱいになったとき	・プリンタは停止します ・新品の廃トナー容器に交換してください

重要

- 交換の際は、必ず本プリンタ専用の廃トナー容器を使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正廃トナー容器
LBP5900SE	廃トナーボックス WT-98B

- 「E1　ハイトナーヨウキ　ヨウイ」や「E1　ハイトナーヨウキ　コウカン」のメッセージが表示された廃トナー容器は、プリンタから取り外した後は、再びセットすることはできません。廃トナーがあふれる恐れがありますので、必ず新しい廃トナー容器と交換してください。

メモ

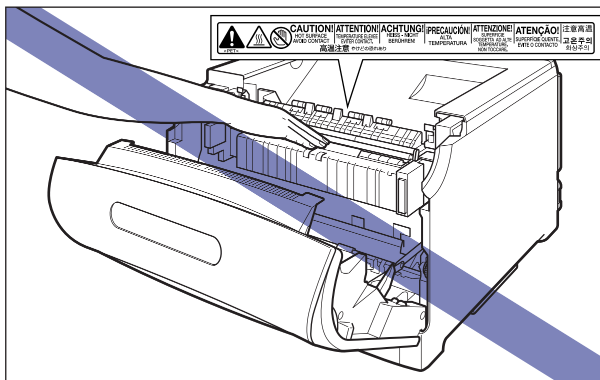
- 本プリンタ用廃トナー容器(キヤノン純正品)は、約6,200ページでいっぱいになります。このページ数は下記の条件でのページ数です。
  用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定、2枚間欠 / 片面印刷
- 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。

廃トナー容器の交換

「E1　ハイトナーヨウキ　コウカン」のメッセージが表示されたときは、次の手順で新しい廃トナー容器と交換してください。

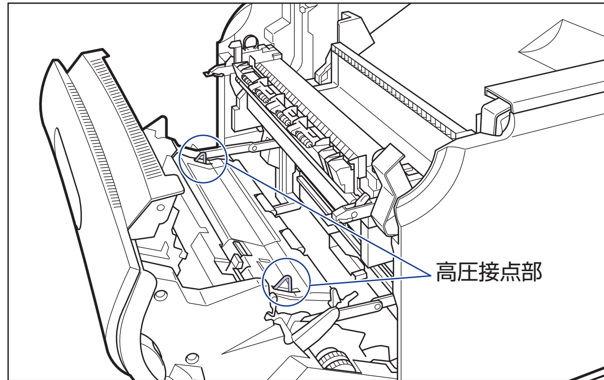
警告
- 使用済みの廃トナー容器を火中に投じないでください。廃トナー容器のトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

注意
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。



重要
- 必ず本プリンタ専用の廃トナー容器を使用してください。
- 「E1　ハイトナーヨウキ　ヨウイ」や「E1　ハイトナーヨウキ　コウカン」のメッセージが表示された廃トナー容器は、プリンタから取り外した後は、再びセットすることはできません。廃トナーがあふれる恐れがありますので、必ず新しい廃トナー容器と交換してください。
- 廃トナーは再利用できません。新しいトナーと混ぜないでください。

- 前カバー内側にある高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

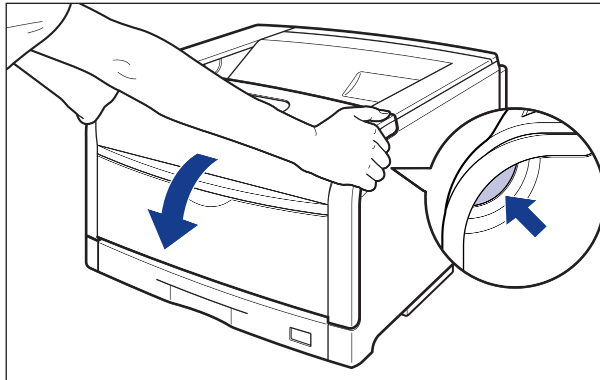




梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 前カバーを開けます。

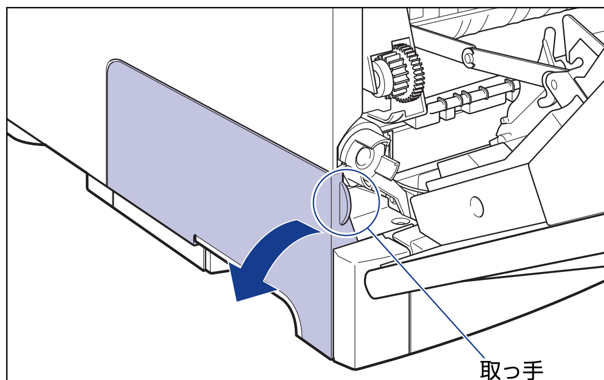
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。



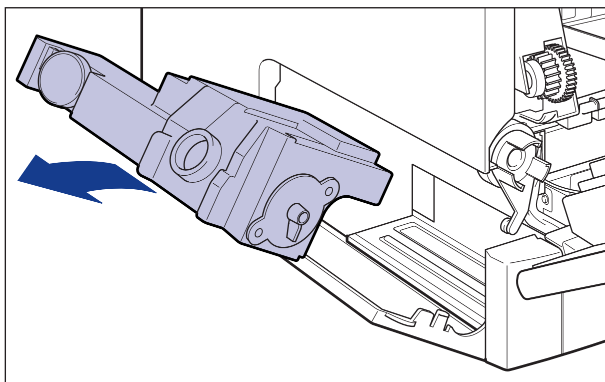


前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイと本体の給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

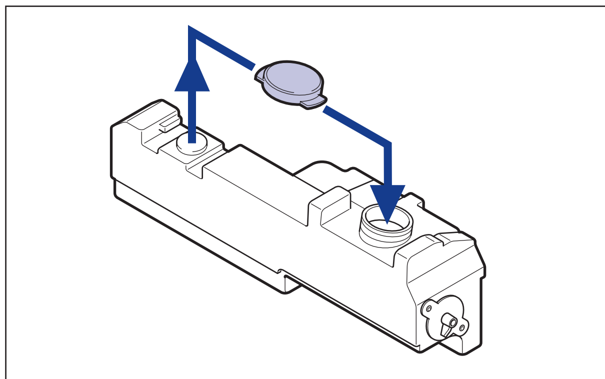
2 廃トナーカバーの取っ手を持って、廃トナーカバーを開けます。



3 廃トナー容器を取り外します。

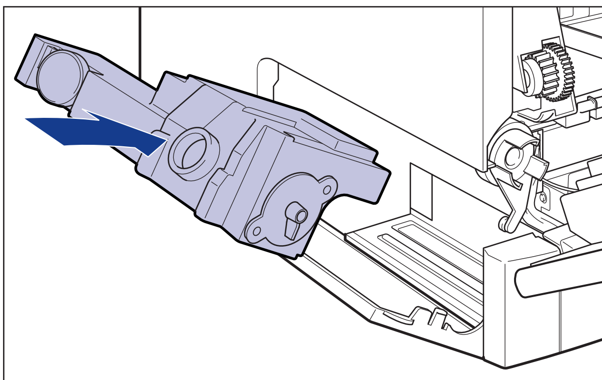


4 付属のふたを廃トナー容器に取り付けます。

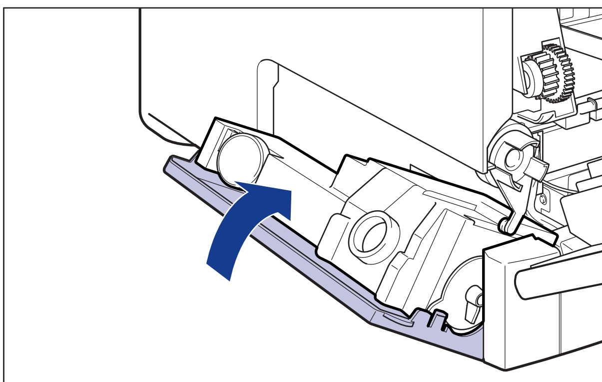


5 新しい廃トナー容器を保護袋から取り出します。

6 廃トナー容器を取り付けます。

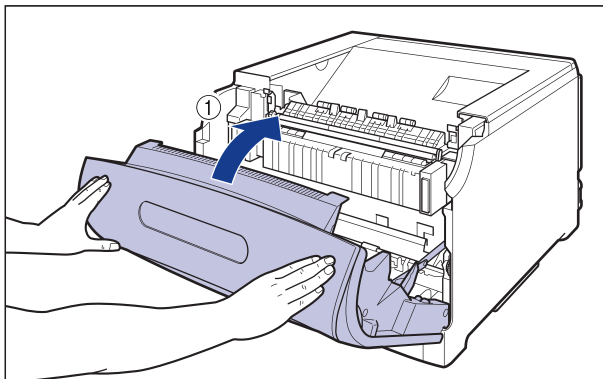


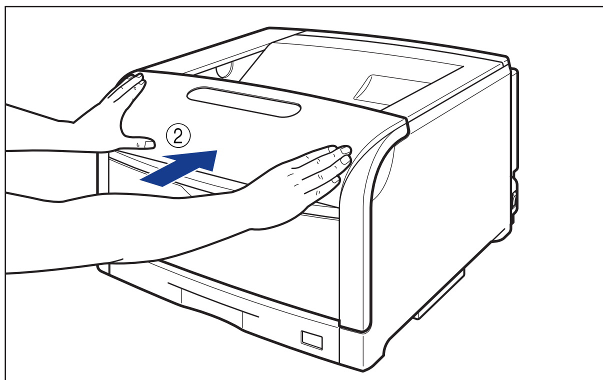
7 廃トナーカバーの取っ手を持って、廃トナーカバーを閉めます。



8 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。







前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

4

日常のメンテナンス

使用済み廃トナー容器回収のお願い



キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済み廃トナー容器の回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済み廃トナー容器を下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
使用済み廃トナー容器の数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。



回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

4

日常のメンテナンス

ITB ユニットの転写ベルトを清掃する

ITB ユニットの転写ベルトに触れて印字品質が低下した場合は、以下の手順にしたがって、ITB ユニットの転写ベルトの清掃を行ってください。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



2 ［セットアップ］を押します。

セットアップ゜

カクチョウ キノウ →



3 ［◀］、［▶］で「ユーザメンテナンス」を選択し、［実行］を押します。

ユーザ゛メンテナンス →

インシ゛ イチ チョウセイ →

ユーザメンテナンスグループの設定項目が表示されます。



4 ［◀］、［▶］で「クリーニング」を選択し、［実行］を押します。

クリーニング゛ →

01 クリーニング゛チュウ

ディスプレイに「01　クリーニングチュウ」と表示され、ITB ユニットの転写ベルトの清掃を開始します。



- クリーニングの実行には、約 130 秒かかります。
- クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

印字位置を調整する

特定の給紙元からの印字位置がずれている場合に操作パネルから印字位置を調整することができます。

重要 印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ 両面プリント時の 2 面目の画像の向きは、プリントする用紙の向きや「とじ方向」の設定によって変わりますので、印字位置の調整をするときは気を付けてください。

印字位置の確認

印字位置プリントをプリントし、調整する方向と位置を確認します。

重要 両面プリントの印字位置を調整する場合は、あらかじめ「両面印刷」（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）を「スル」に設定しておきます。

1 ［給紙選択］を押します。

両面プリントの印字位置を調整する場合は任意の給紙元を選択します。

キュウシ センタク



キュウシ モート゛ →

2 ［◀］、［▶］で「キュウシ　モード」を選択し、［実行］を押します。

キュウシ モート゛ →



=シ゛ト゛ウ →

3 ［◀］、［▶］で印字位置を確認したい給紙元を選択し、［実行］を押します。

カセット1 →



=カセット1 →



00 インサツ カノウ A4





4 プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。



5 ［ユーティリティ］を押します。

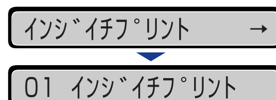




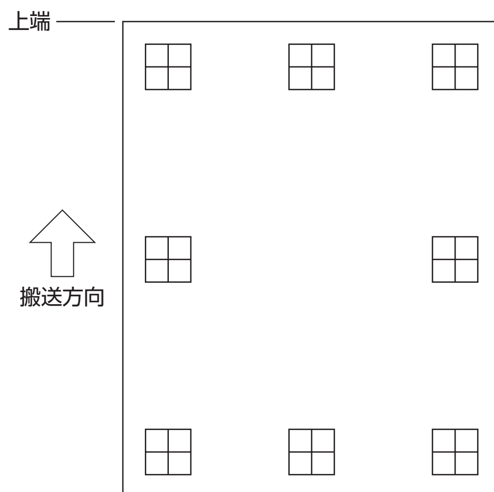




6 ［◀］、［▶］で「インジイチプリント」を選択し、［実行］を押します。



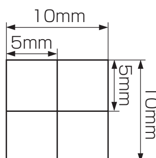
以下のような印字位置プリントがプリントされます。排紙された用紙の先端が、印字位置プリントの上端になります。



次にプリント結果を見て、「印字位置の調整」（→ P.4-64）で、調整する方向と位置を設定します。

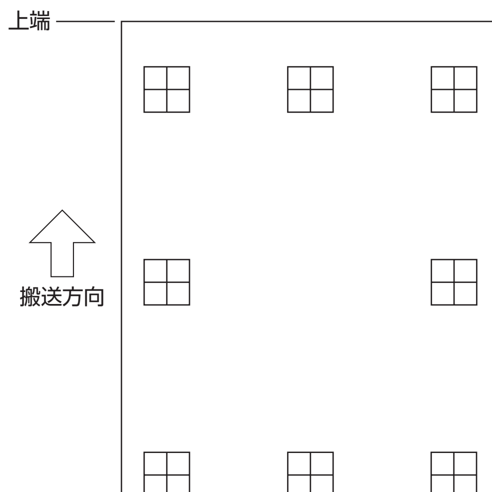
印字位置の調整

印字位置プリントのプリント結果を見て、調整する方向と位置を設定します。
プリントされた用紙に印字された"田"は以下の数値で形成されています。



※用紙の端からそれぞれ5mm（封筒は10mm）

ここでは例として、給紙元をカセット 1 に選択し、以下の印字位置プリントがプリントされた場合の設定を行います。
この場合、上方向に -5.0mm の印字位置の調整を行います。



重要　「タテイチホセイ（リョウメン）」、「ヨコイチホセイ（リョウメン）」は、両面プリント時の 1 ページ目の印字位置を設定します。両面プリント時の 2 ページ目はそれぞれの給紙元の設定にしたがいます。

メモ　印字位置が調整できる範囲は、-5.0mm ～ +5.0mm です。



1　**［オンライン］を押します。**

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

4
日常のメンテナンス



2 ［セットアップ］を押します。

```
セットアップ゜
カクチョウ キノウ →
```



3 ［◀］、［▶］で「ユーザメンテナンス」を選択し、［実行］を押します。

```
ユーザ゛メンテナンス →
インシ゛ イチ チョウセイ →
```

ユーザメンテナンスグループの設定項目が表示されます。



4 ［◀］、［▶］で「インジ　イチ　チョウセイ」を選択し、［実行］を押します。

```
インシ゛ イチ チョウセイ →
タテイチホセイ(トレイ) →
```

印字調整の設定項目が表示されます。



5 ［◀］、［▶］で印字位置を調整する給紙元と方向を選択し、［実行］を押します。

```
タテイチホセイ(カセット1) →
=0.0 →
```



6 ［◀］、［▶］で目的の数値を設定し、［実行］を押します。

印字調整プリントのプリント結果を見て、調整する数値を選択します。

［▶］を押すたびに設定値が +0.1mm ずつ増え、［◀］を押すたびに設定値が -0.1mm ずつ減ります。また、［▶］あるいは［◀］から指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。

```
 -5.0 →
=-5.0 →
```

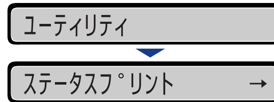
設定値の左に「=」が表示され、印字位置が設定されます。



7 ［オンライン］を押して、オンライン状態にします。



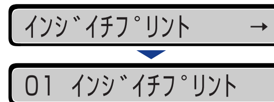
8 ［ユーティリティ］を押します。







9 ［◄］、［►］で「インジイチプリント」を選択し、［実行］を押します。



設定変更された印字位置がプリントされます。プリント結果を見て、印字位置の確認をします。
さらに印字位置の調整を行う場合は、手順１～９を繰り返します。

プリンタの外部を清掃する

本プリンタの最良の印字品質を保つために、定期的に本体外部や吸排気口を清掃してください。本プリンタの清掃は、故障や感電事故を避けるため、次の点に気を付けて清掃を行ってください。

警告

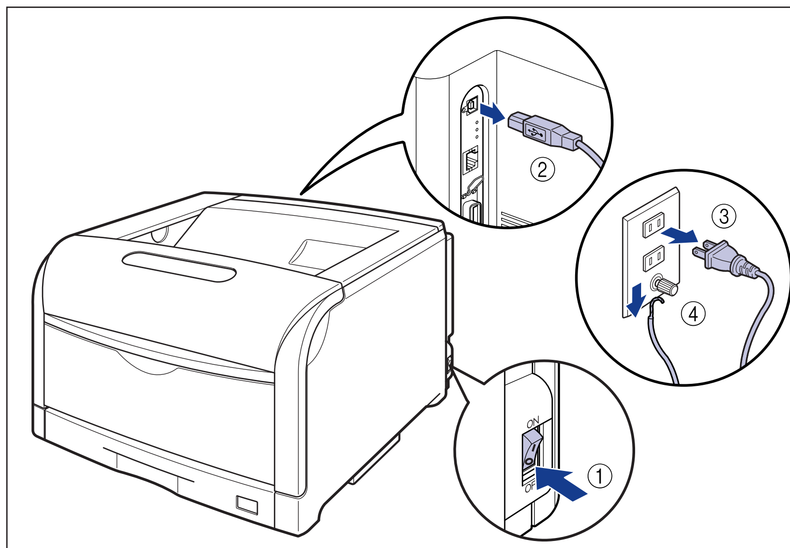
- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

重要

- 本体のプラスチックが変質したり、ひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。
- 本プリンタには、 注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。

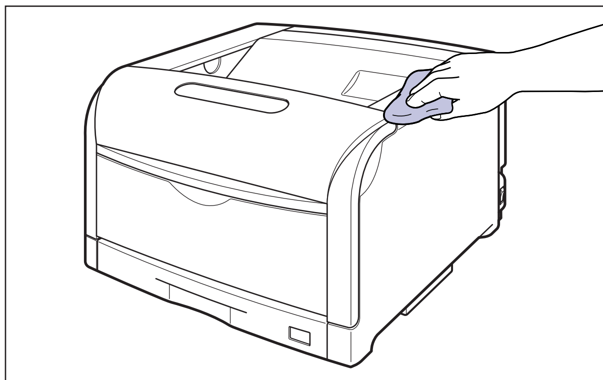
1 電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。

ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。
ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見てプリント中でないことを確認してください。



2 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れをふき取ります。

中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤をふき取ってください。



3 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。

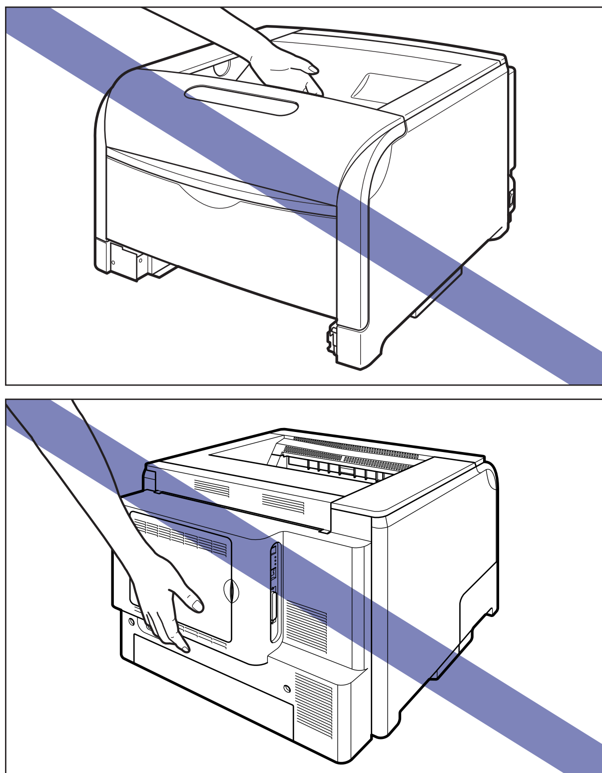
4 完全に乾いたら、アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続し、USB ケーブルを接続します。

プリンタを移動する

メンテナンスや移転などで本プリンタを移動するときは、必ず以下の内容を守り、手順にしたがって移動させてください。

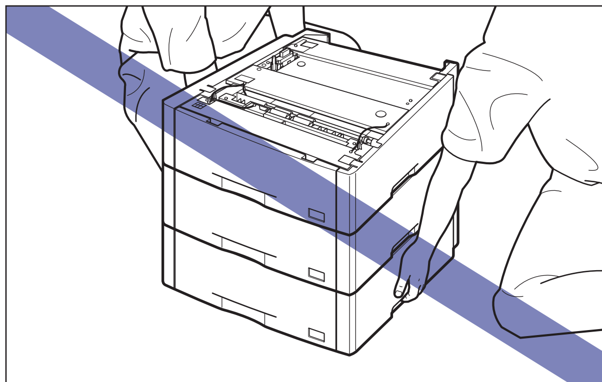
警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

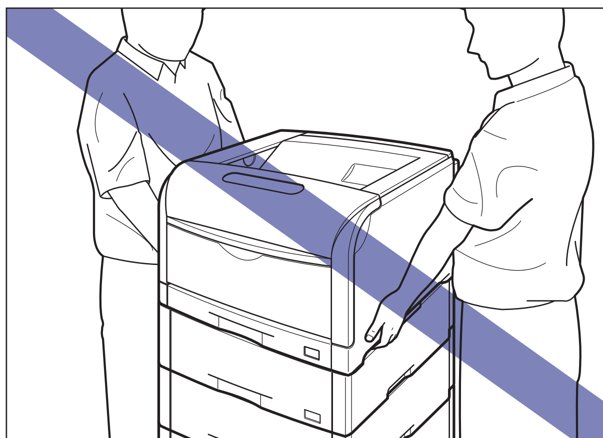
注意
- 本プリンタは、給紙カセットを取り付けていない状態で約 50.3kg（本体：約 41.4kg/ トナーカートリッジ× 4：約 1.3kg ／ドラムカートリッジ× 4：約 7.6kg）あります。必ず 4 人以上で、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に前カバーや手差しトレイなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。



- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。

• ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。





 重要　必ず前カバーや手差しトレイが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。

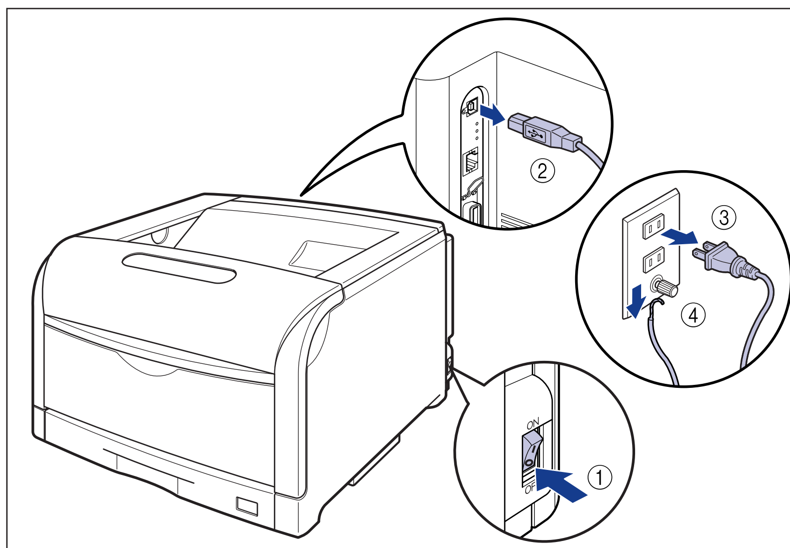
 メモ　設置場所については、設置ガイド「第 1 章 設置する前に」を参照してください。

本体を移動する

本プリンタの本体のみを移動するときは、次の手順で正しく持ち運んでください。

1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**

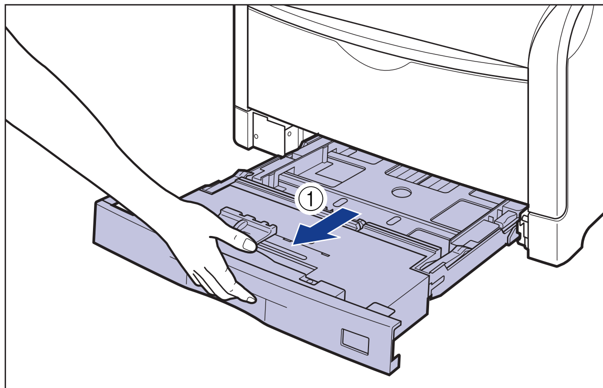
ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。
ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見てプリント中でないことを確認してください。



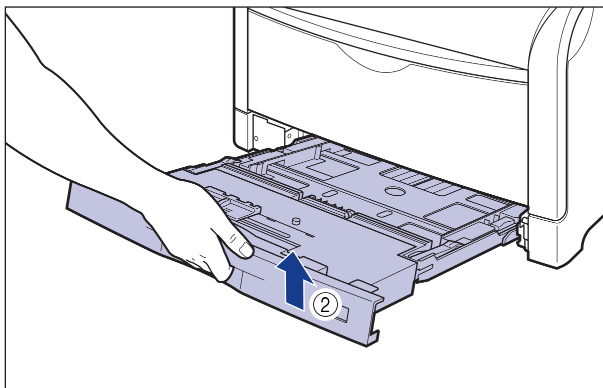
2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

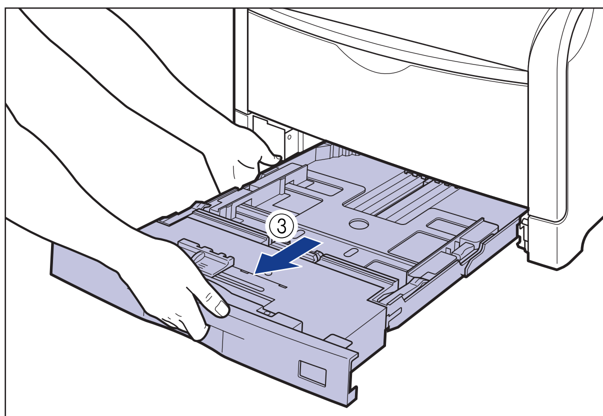
3 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。



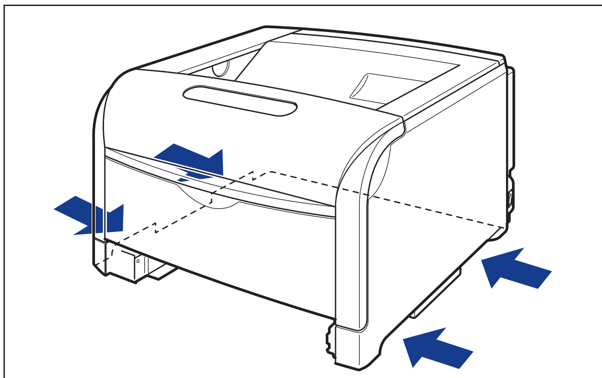


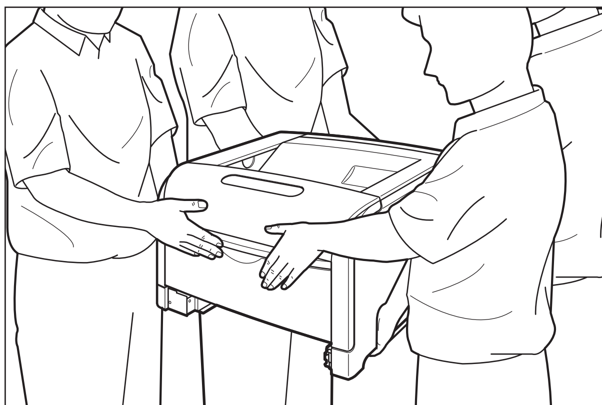


給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

4 プリンタ本体を設置場所から移動します。

プリンタ本体下部にある運搬用取っ手に４人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。







オプションのペーパーフィーダが取り付けられていたときは、プリンタを移動場所に運ぶ前にペーパーフィーダを移動場所に設置します。取り付けかたについては、設置ガイド「第３章 オプション品の取り付け」を参照してください。

5 移動場所にゆっくりとおろします。



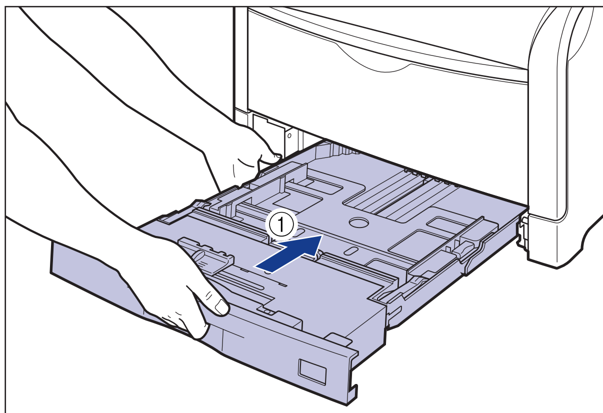
プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。



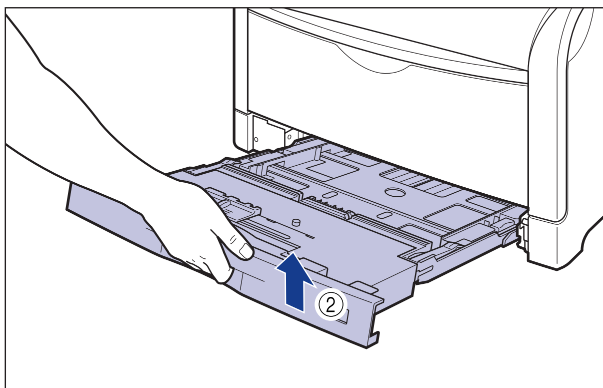
設置場所には、オプション品の取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。

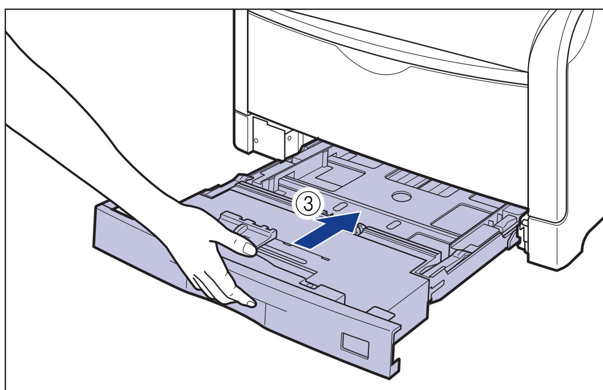
4 日常のメンテナンス

6 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。





7 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

9 USB ケーブルを接続します。

●プリンタを輸送するときは

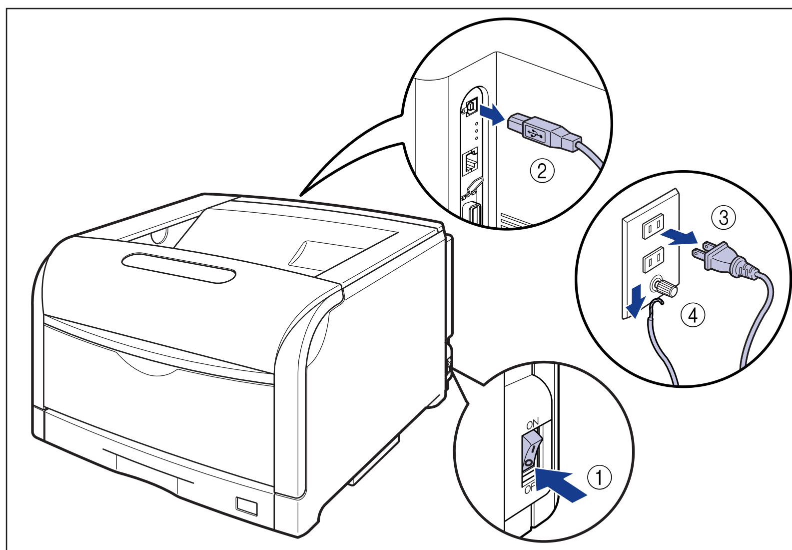
移転、引越しなどでプリンタを輸送するときは、輸送中の破損や故障を避けるため、トナーカートリッジとドラムカートリッジを取り外し、購入時に入っていたパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包してください。
本プリンタが入っていたパッケージや梱包材がないときは、適した大きさの段ボールに、適当な梱包材を入れてしっかりと梱包してください。

ペディスタルごと移動する

本プリンタにペディスタルを装着しているときは、次の手順で正しく移動してください。

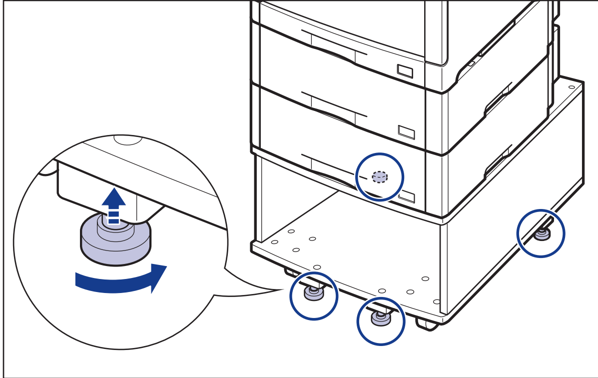
1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**

ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。
ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見てプリント中でないことを確認してください。



2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

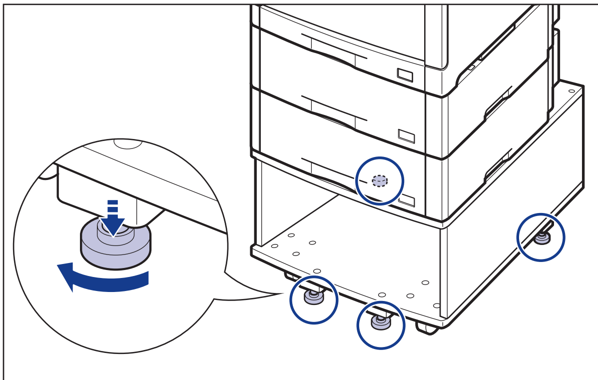
3 アジャスタを矢印の方向に回して上に突き当たるまで縮めます。



4 必ず４人以上で前後を支え、転倒しないように慎重に押して運びます。

5 アジャスタを矢印の方向に回して固定します。

アジャスタが均等に床に着くまで下ろし、しっかりと固定します。



6 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

7 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

8 USB ケーブルを接続します。

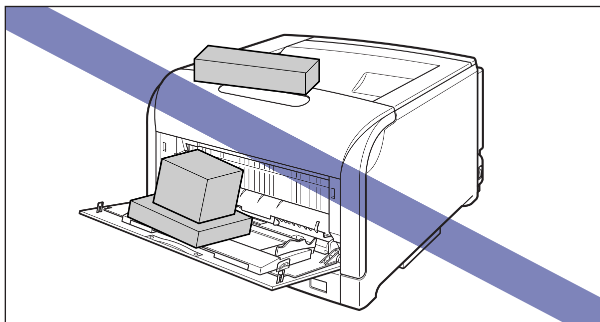
プリンタの取り扱いについて

本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下の内容をよくお読みいただき、気を付けて取り扱ってください。

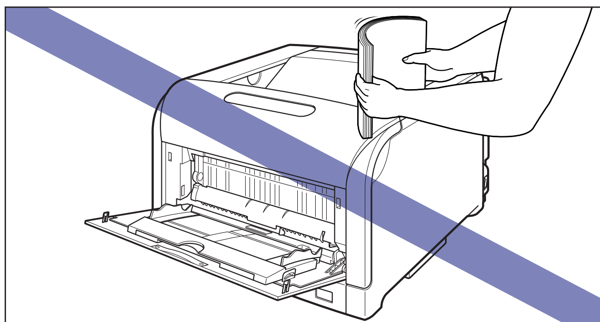
注意 万一、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、受信したデータや記録保存したデータが消失することがあります。ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

重要

- 本プリンタの取り扱いについては、「安全にお使いいただくために」（→ P.xiii）もお読みください。
- プリンタやトレイ、カバーなどの上に重いものを置かないでください。プリンタが破損する原因になります。

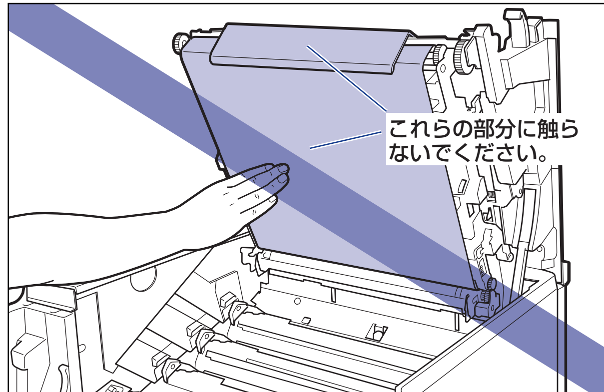


- 各カバーは、必要以上の時間開けたままにしないでください。直射日光や強い光が当たると、プリントの品質が低下する原因になります。
- プリント中に振動を与えないでください。プリントの品質が低下することがあります。



- プリント中は、絶対にプリンタのカバーを開けないでください。故障の原因になります。
- 前カバーや手差しトレイなどプリンタの各カバーは、ていねいに開閉してください。プリンタ破損の原因になります。
- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源スイッチをオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。

- 長期間使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 化学薬品を使用している場所では、使用・保管しないでください。
- ITBユニットの転写ベルトやITBユニットカバーに触れたりしないでください。転写ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。ITBユニットの転写ベルトに触れて印字品質が低下した場合は、「ITB ユニットの転写ベルトを清掃する」(→P.4-61)を参照して、ITBユニットの転写ベルトの清掃を行ってください。ITBユニットの転写ベルトにトナーが付着している場合は、自動的に清掃する機能が付いていますので清掃する必要はありません。

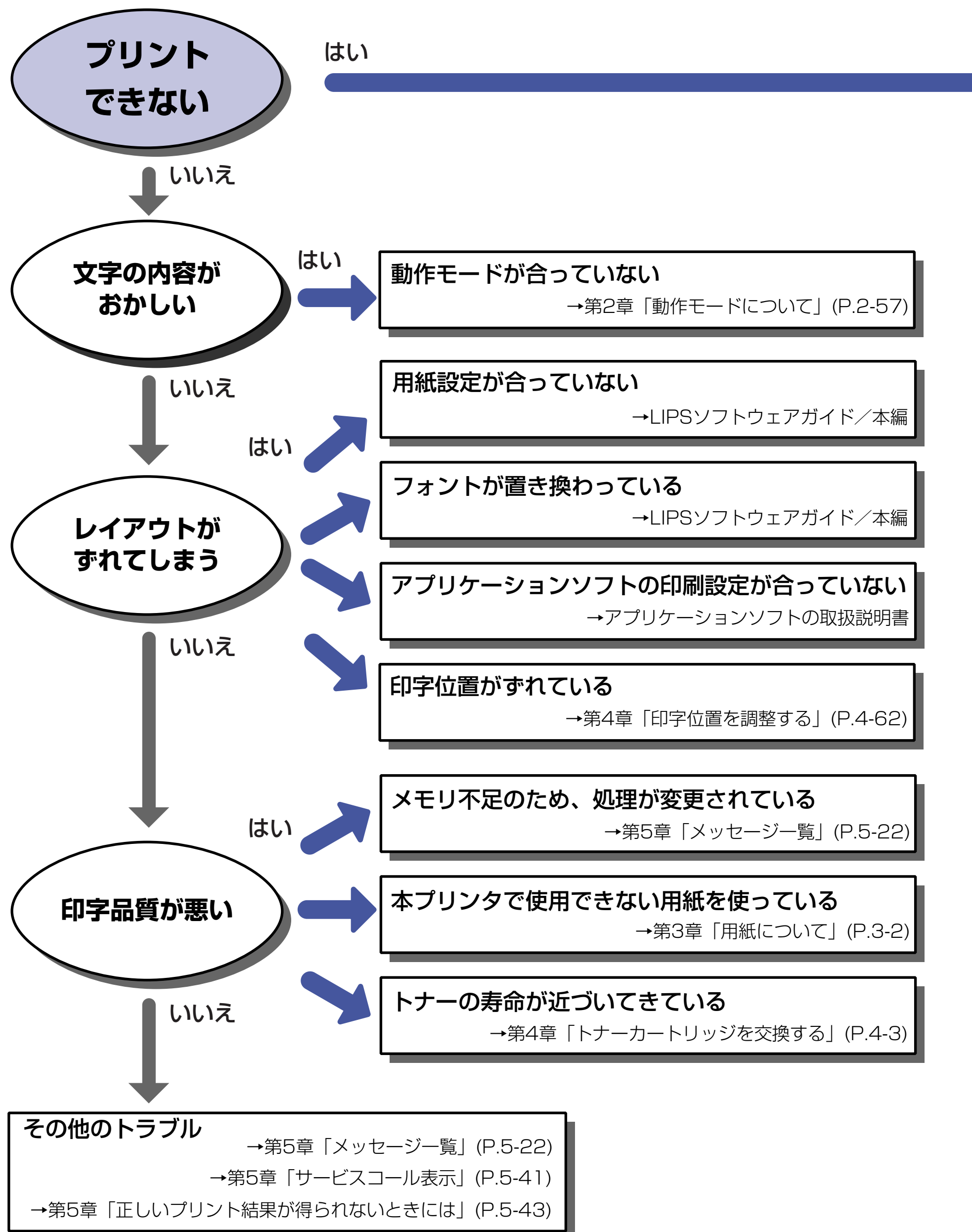


5
CHAPTER

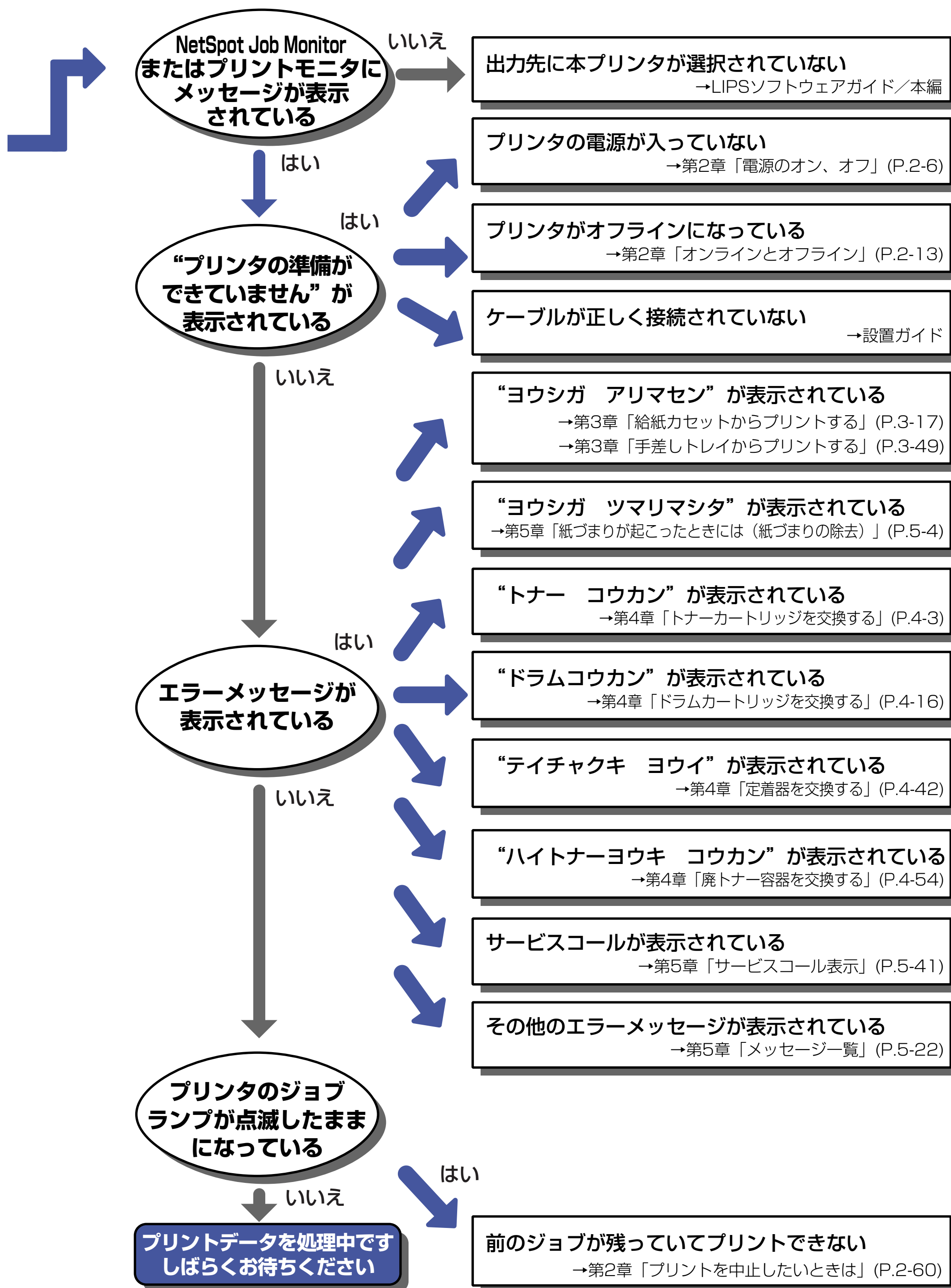
困ったときには

この章では、紙づまりが起こったときやエラーメッセージが表示されたときの対処のしかたについて説明しています。

トラブル解決マップ



プリントできない
はい
いいえ
文字の内容がおかしい
はい
動作モードが合っていない
→第2章「動作モードについて」(P.2-57)
いいえ
用紙設定が合っていない
→LIPSソフトウェアガイド／本編
はい
フォントが置き換わっている
→LIPSソフトウェアガイド／本編
レイアウトがずれてしまう
アプリケーションソフトの印刷設定が合っていない
→アプリケーションソフトの取扱説明書
いいえ
印字位置がずれている
→第4章「印字位置を調整する」(P.4-62)
メモリ不足のため、処理が変更されている
→第5章「メッセージ一覧」(P.5-22)
はい
印字品質が悪い
本プリンタで使用できない用紙を使っている
→第3章「用紙について」(P.3-2)
トナーの寿命が近づいてきている
→第4章「トナーカートリッジを交換する」(P.4-3)
いいえ
その他のトラブル
→第5章「メッセージ一覧」(P.5-22)
→第5章「サービスコール表示」(P.5-41)
→第5章「正しいプリント結果が得られないときには」(P.5-43)


NetSpot Job Monitor
またはプリントモニタに
メッセージが表示
されている
いいえ
出力先に本プリンタが選択されていない
→LIPSソフトウェアガイド／本編
はい
プリンタの電源が入っていない
→第2章「電源のオン、オフ」(P.2-6)
はい
“プリンタの準備が
できていません”が
表示されている
プリンタがオフラインになっている
→第2章「オンラインとオフライン」(P.2-13)
ケーブルが正しく接続されていない
→設置ガイド
いいえ
“ヨウシガ　アリマセン”が表示されている
→第3章「給紙カセットからプリントする」(P.3-17)
→第3章「手差しトレイからプリントする」(P.3-49)
“ヨウシガ　ツマリマシタ”が表示されている
→第5章「紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）」(P.5-4)
“トナー　コウカン”が表示されている
→第4章「トナーカートリッジを交換する」(P.4-3)
はい
エラーメッセージが
表示されている
“ドラムコウカン”が表示されている
→第4章「ドラムカートリッジを交換する」(P.4-16)
“テイチャクキ　ヨウイ”が表示されている
→第4章「定着器を交換する」(P.4-42)
いいえ
“ハイトナーヨウキ　コウカン”が表示されている
→第4章「廃トナー容器を交換する」(P.4-54)
サービスコールが表示されている
→第5章「サービスコール表示」(P.5-41)
その他のエラーメッセージが表示されている
→第5章「メッセージ一覧」(P.5-22)
プリンタのジョブ
ランプが点滅したまま
になっている
はい
いいえ
プリントデータを処理中です
しばらくお待ちください
前のジョブが残っていてプリントできない
→第2章「プリントを中止したいときは」(P.2-60)

紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）

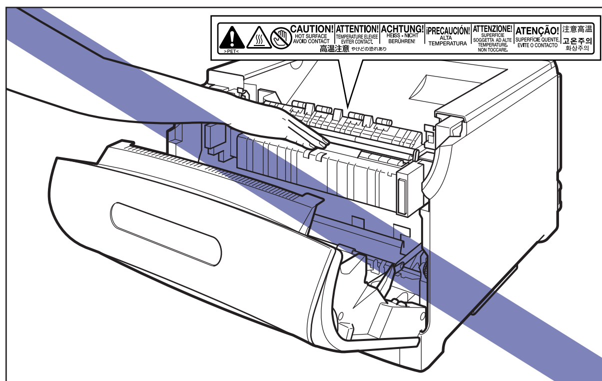
プリント中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「13　ヨウシガ　ツマリマシタ」というメッセージが表示されます。紙づまりが起こったときは、次の手順でつまった用紙を取り除き、プリントを再開します。手順通り用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

紙づまりの除去手順

用紙がつまったときは、最初にメッセージを確認してから、手順にしたがって用紙を取り除きます。

⚠警告　製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

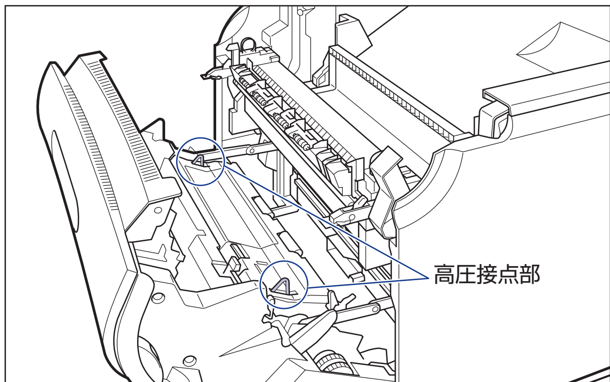
⚠注意
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。紙づまりの処理をするときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。



- 紙づまりの処理をするときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください、温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。
- 紙づまりの処理がすべて終了したら、排紙部にあるローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

重要

- つまっている用紙を取り除くときは、本プリンタの電源をオンのままで作業を行ってください。電源をオフにすると、プリント中のデータが消去されてしまいます。
- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。
- 前カバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、前カバーを一度開閉してください。
- 前カバー内側にある高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。



プリンタ本体の紙づまり

1 ディスプレイに表示されているメッセージをすべて確認します。

メッセージが 1 つずつ順に表示されますので、すべてを確認してください。
メッセージはカバーを開けると表示されなくなりますので、必要に応じてメモに書きとめておいてください。

13 ヨウシガ ツマリマシタ

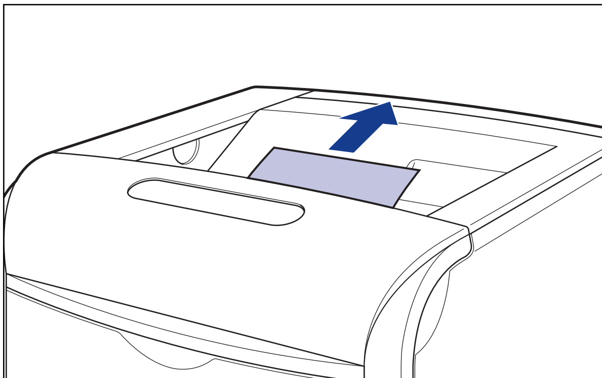


マエカバー エリア

メッセージは紙づまりが起きた場所を示しており、次の種類があります。

ディスプレイメッセージ	紙づまり位置
「カセット1　エリア」	カセット１
「カセット2　エリア」	カセット２（ペーパーフィーダ装着時のみ）
「カセット3　エリア」	カセット３（ペーパーフィーダ装着時のみ）
「カセット4　エリア」	カセット４（ペーパーフィーダ装着時のみ）
「マエカバー　エリア」	前カバー内部
「リョウメンユニット　エリア」	前カバー内側（両面搬送部）

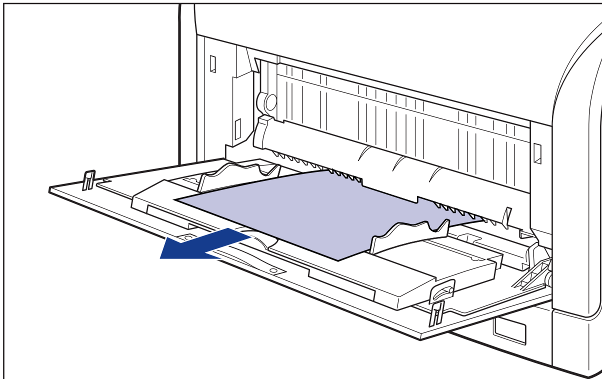
2 排紙トレイをチェックし、用紙がつまっていたら、取り除きます。



重要　つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

メモ　取り除いた用紙に定着していないトナーが付着している場合、次にプリントする用紙にトナーの汚れが付くことがあります。

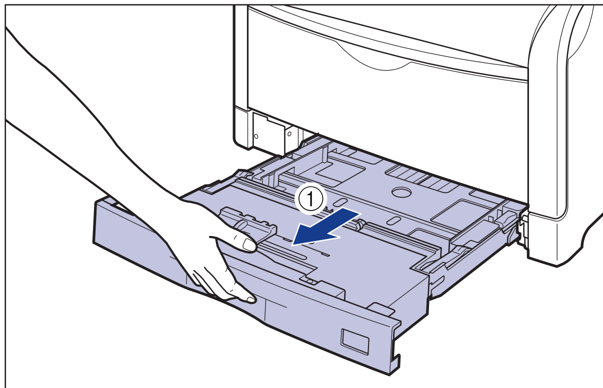
3 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイにつまっている用紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。



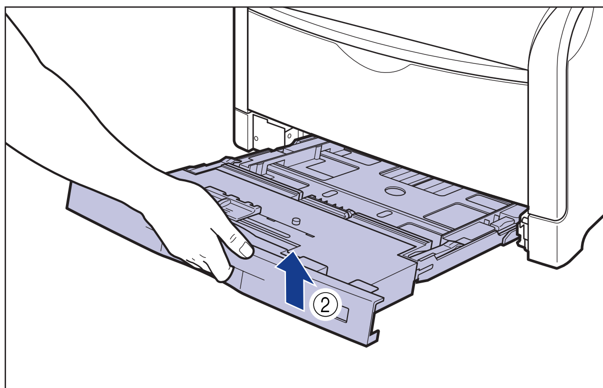
重要　つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

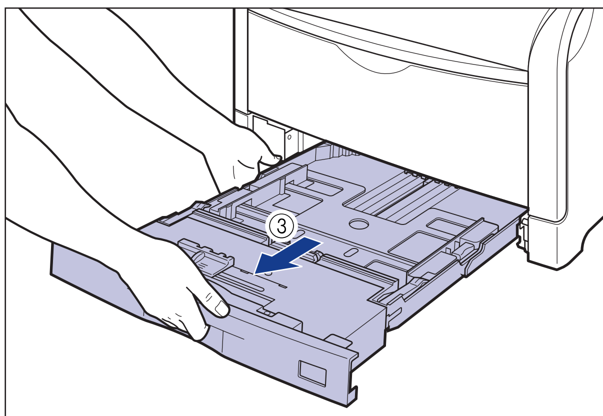
4 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。



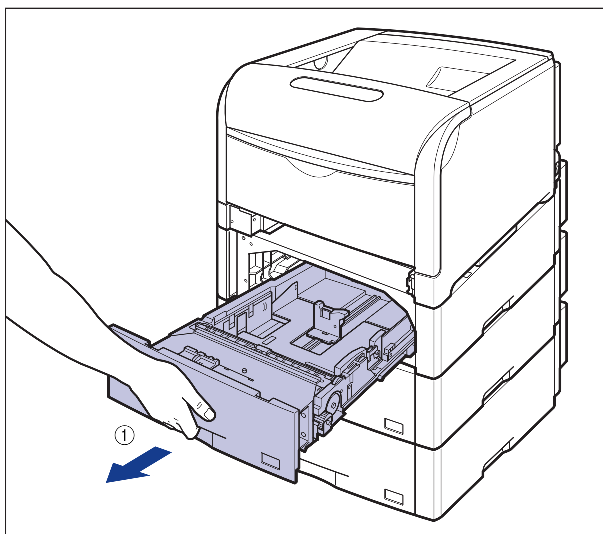




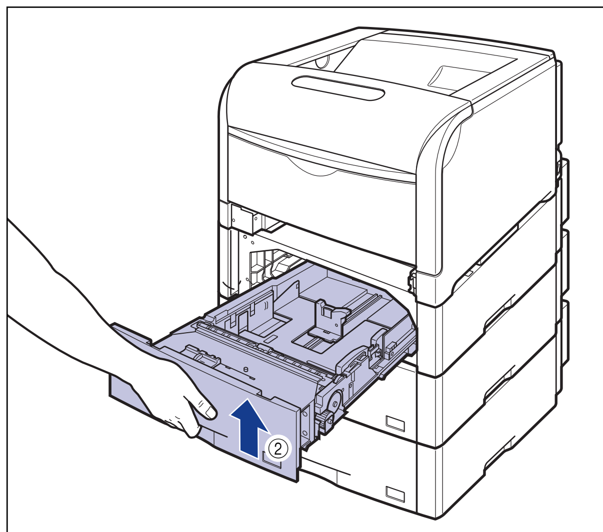
給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

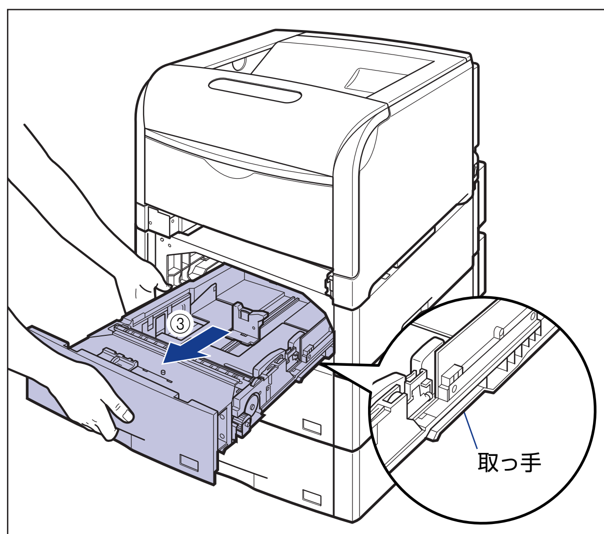
5 ペーパーフィーダが装着されている場合は、上段からすべての給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

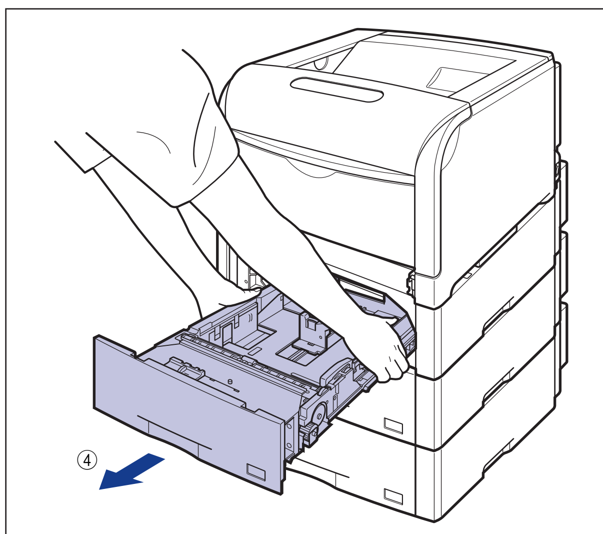


給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。





図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

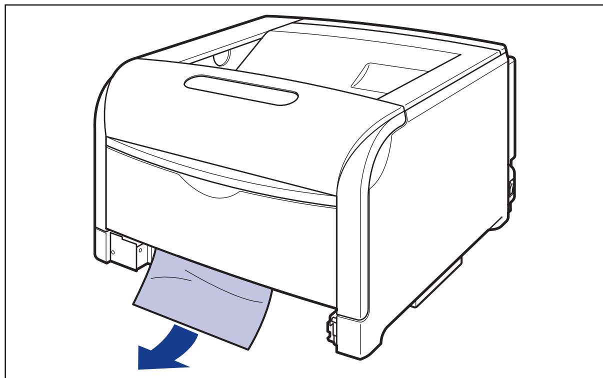


重要

- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

6 用紙を押し下げるように、つまっている用紙を取り除きます。

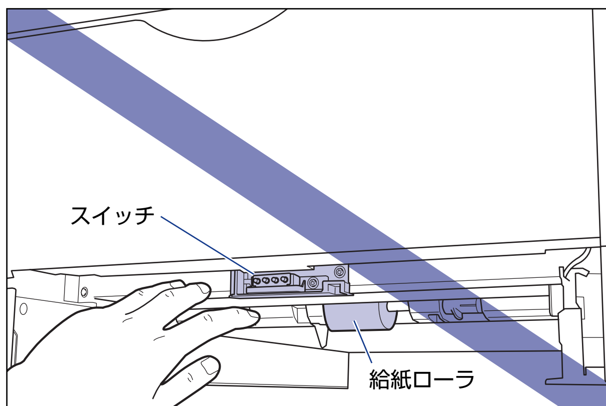
プリンタの場合



ペーパーフィーダの場合

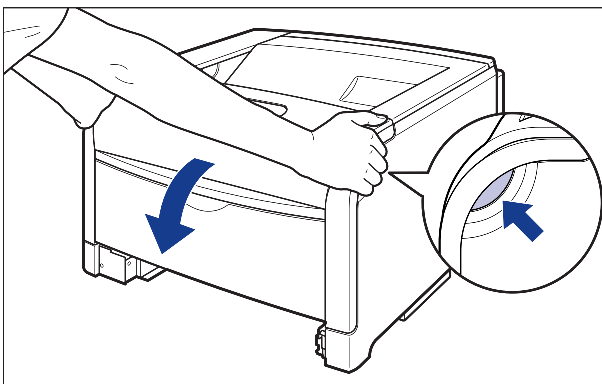


重要
- つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。
- プリンタ下部の給紙ローラやスイッチには、絶対に触れないでください。故障や動作不良の原因になります。



7 前カバーを開けます。

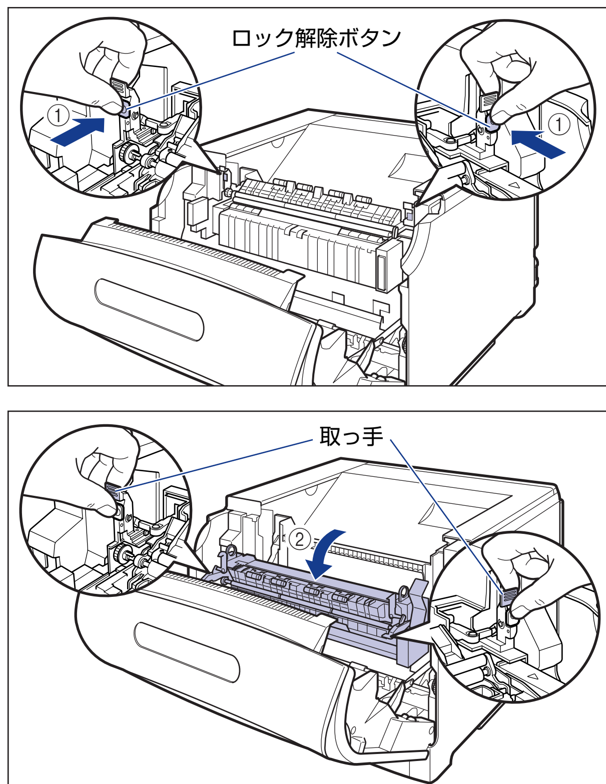
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。



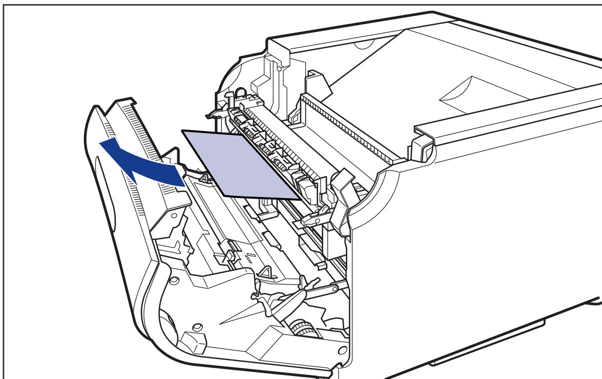
重要　前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイが閉まっていることを確認してください。

8 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

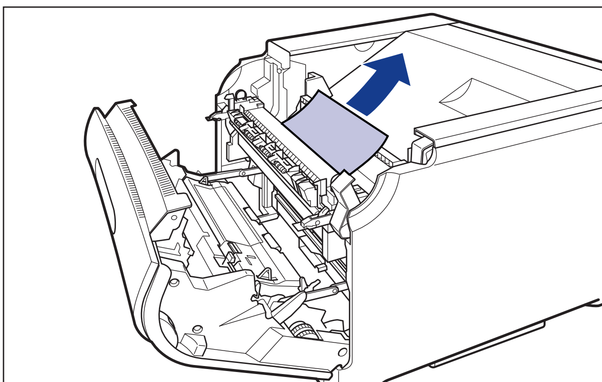


9 定着器の手前側から、つまっている用紙を取り除きます。



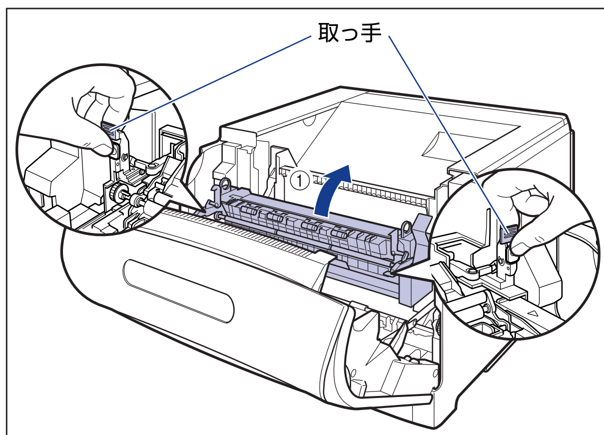
重要　つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、ゆっくりと強く引いて取り除いてください。それでも、つまった用紙が取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

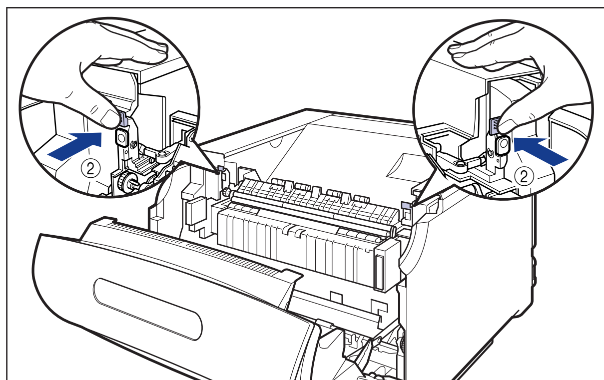
10 定着器の奥側から、つまっている用紙を取り除きます。



重要　定着していないトナーが飛び散らないように、ゆっくりと強く引いてつまっている用紙を取り除きます。

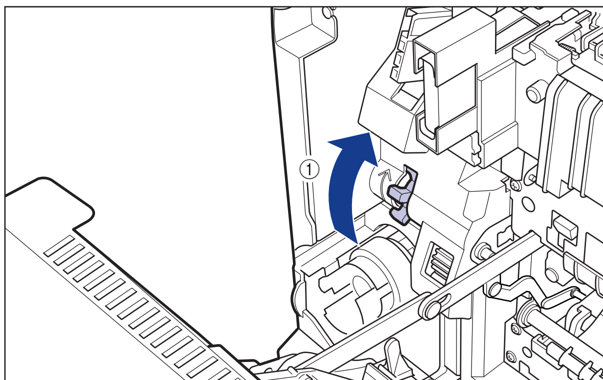
11 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。



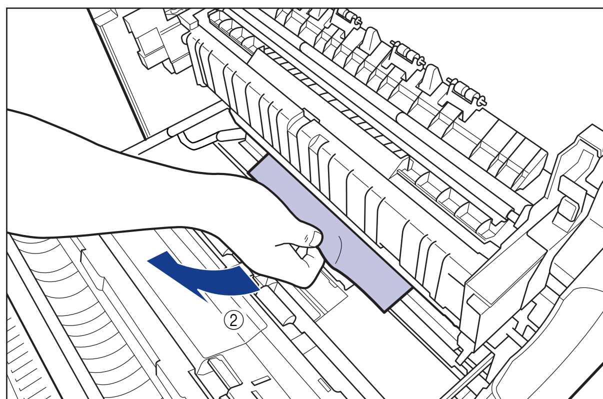


12 定着器の下側につまっている用紙を取り除きます。

図のように定着器の左側にあるダイヤルを矢印の方向に回し、つまっている用紙を送り出します ①。



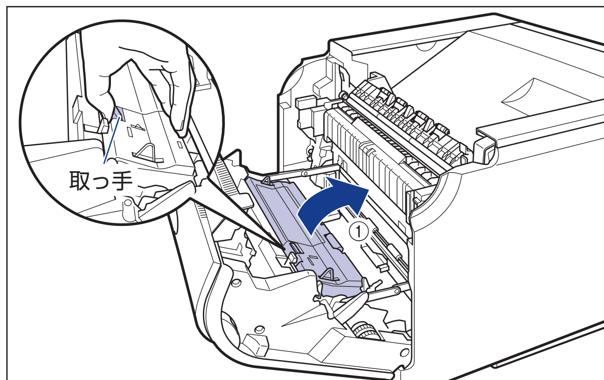
図のようにつまっている用紙を取り除きます ②。

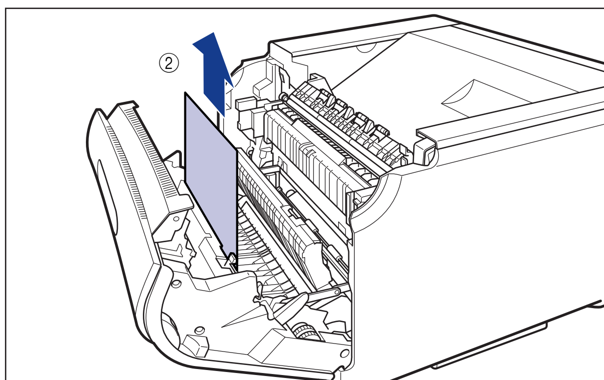




用紙が奥につまっている場合がありますので、ダイヤルをよく回して、用紙を送り出してください。

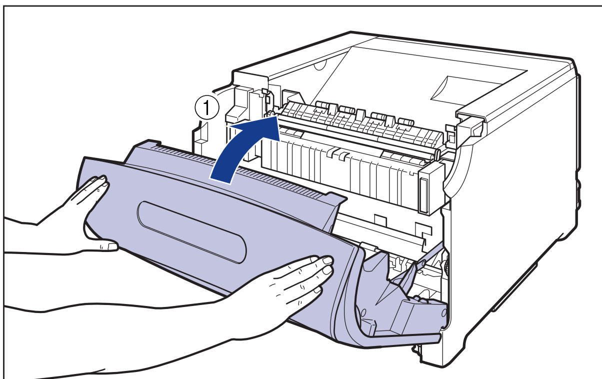
13 両面印刷して紙づまりが起こった場合は、図のように前カバー内側の取っ手を持って両面搬送部のカバーを開け ①、つまっている用紙を取り除きます ②。

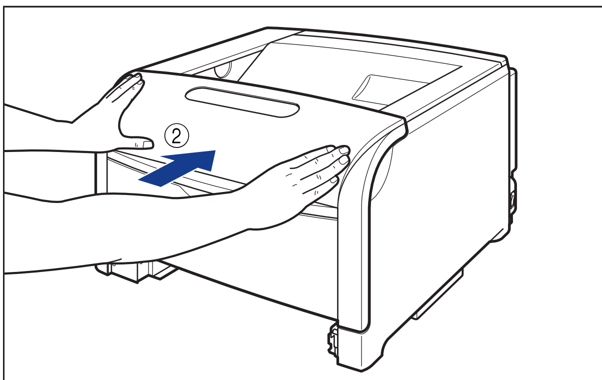




14 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。



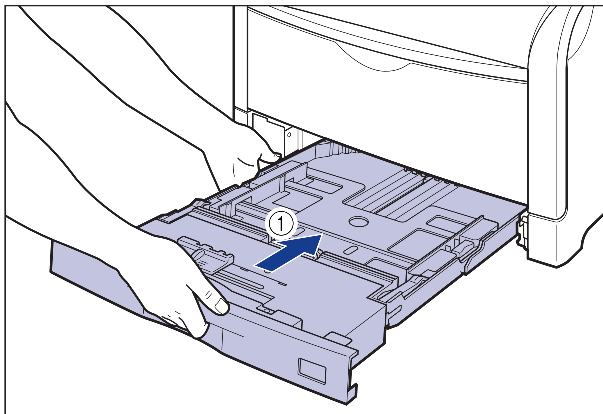




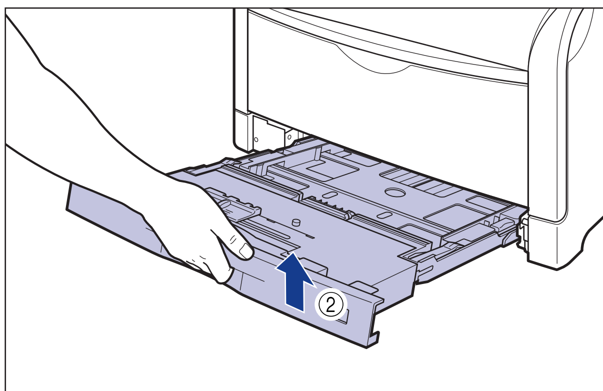
注意 前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

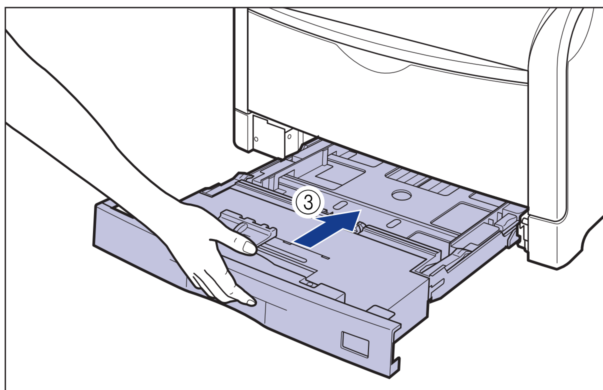
15 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

図のように給紙カセットを両手で持って、止まる位置まで差し込みます ①。



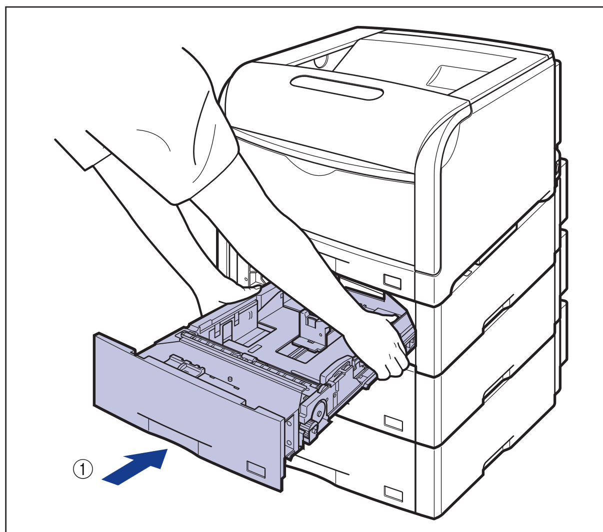
給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。

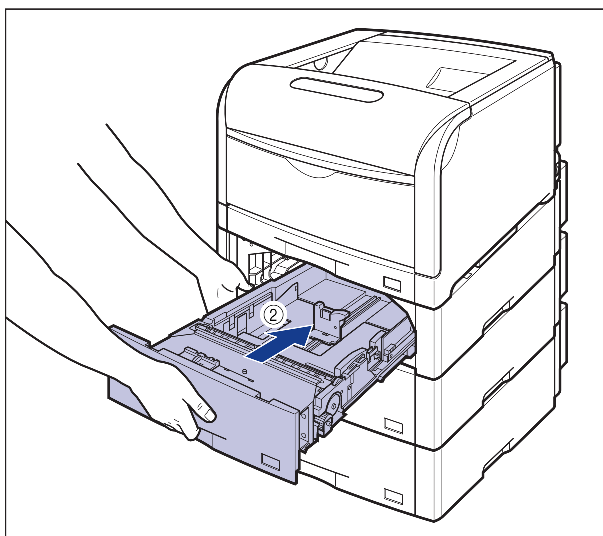




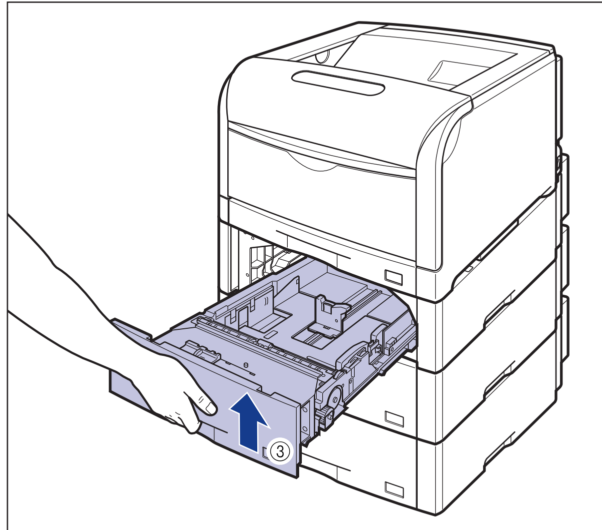
16 ペーパーフィーダが装着されている場合は、上段からすべての給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

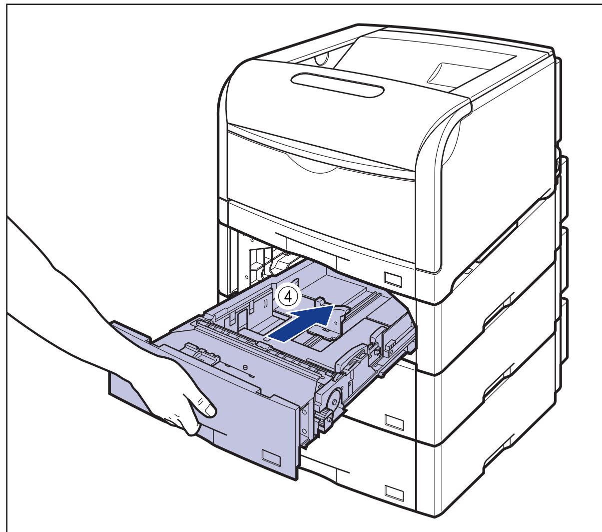
給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み ①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます ②。





給紙カセットの手前を少し持ち上げて ③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ④。







給紙カセットをペーパーフィーダにセットするときは、指を挟まないように注意してください。

手順通りに紙づまりの除去を行っても、前カバー内部で紙づまりが起こっていることを示すメッセージが消えないときは、定着器の下側に用紙が残っている可能性があります。手順 12 にしたがって、ダイヤルをよく回して、つまっている用紙を送り出して取り除いてください。

メッセージ一覧

プリンタの使用中に、何らかの理由でプリントが不可能な状態（エラー状態）になると、ブザーが鳴り、メッセージランプが点灯してディスプレイにトラブル内容を示すエラーメッセージを表示します。また、プリントに支障はないが何らかの処置が必要な状態（警告状態）になると、ディスプレイに警告メッセージを表示します。
これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。

メモ

- 複数の警告状態が同時に発生しているときは、警告メッセージを交互に表示します。
- エラー状態と警告状態が同時に発生しているときは、警告メッセージは表示されません。
- （警告メッセージ）の付いているメッセージは、共通セットアップメニューの「警告表示」を「シナイ」に設定すると警告状態が発生している場合でも、メッセージは表示されません。
- <エラースキップ可>のマークが付いているメッセージは、[オンライン]を押すとエラーを回避（エラースキップ）してプリントを継続できますが、プリントデータが欠落したり、正しくプリントされなかったりします。処理を中止したいときは、ソフトリセットの操作を行い、原因を取り除いてから、[オンライン]を押して再度プリントしなおしてください。また、このマークが付いているメッセージは、共通セットアップメニューの「自動エラースキップ」を「スル」に設定すると自動的にエラースキップさせることもできます。

5

困ったときには

E nnn-nnnn（n は数字）

原　因　プリンタの内部機構にトラブルが発生した

処　置　「サービスコール表示」（→ P.5-41）の指示にしたがって、処置してください。

OF　オプション　カクニン

原因 1　オプションのペーパーフィーダが正しく取り付けられていない

処　置　電源をいったんオフにし、ペーパーフィーダを正しく取り付けてから電源をオンにしなおしてください。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

原因 2　本プリンタの電源がオンになっているときに、オプションのペーパーフィーダが脱着された

処　置　電源をいったんオフにし、ペーパーフィーダを脱着してから電源をオンにしなおしてください。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

原因 3　オプションのペーパーフィーダ接続部の接触不良が起きている

処　置　電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

原因４ 本プリンタ用ではないペーパーフィーダが取り付けられた

処　置 電源をいったんオフにし、本プリンタ用のペーパーフィーダを取り付けてから電源をオンにしなおしてください。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

11　XXX ヨウシガアリマセン（XXX は用紙サイズ略号）

原　因 給紙元にアプリケーションソフトから指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「ジドウ」のときはすべての給紙元、固定のときは設定されている給紙元）

処置１ 用紙を補給またはセットしてください。

処置２ ［給紙選択］を押して、同じ用紙サイズまたは大きい用紙サイズの他の給紙元を選択してください。（→給紙元を選択する：P.3-13）

12　カバーガ　アイテイマス

原　因 前カバーまたは上カバーが開いている

処　置 ディスプレイに表示されたカバーをしっかりと閉めます。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。

メモ 一つのカバーを閉めてもまだこのメッセージが表示される場合は、他のカバーが開いています。他のカバーをチェックして、すべて閉めてください。

13　ヨウシガ　ツマリマシタ

原　因 内部で紙づまりを起こしている

処　置 紙づまりを除去し、給紙カセットやカバーを元に戻してください。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（→紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）：P.5-4）

重要
- 紙づまりが複数の場所で同時に起こった場合、ディスプレイに紙づまりの位置を交互に表示します。
- どのカバーも開けずに紙づまりを取り除いた場合は、必ず前カバーを一度開閉してから、［オンライン］を押してください。

14　トナー／カバー　カクニン

原因１ Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない

処　置 表示された色のトナーカートリッジをセットする、または正しくセットしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.4-3）

原因２　トナーカバーが開いている

処　置　トナーカバーをしっかりと閉めます。

重要　トナーカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にトナーカバーを閉めると故障の原因になります。

16　X　トナー　ヨウイ（X は K または Y、M、C）　（警告メッセージ）

原　因　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命が近づいている

処　置　少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量にプリントするときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換します。交換したあと、交換した色のトナーカートリッジのカウンタをリセットしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.4-3）

16　X　トナー　コウカン（X は K または Y、M、C）

原　因　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命がきた

処　置　［オンライン］を押します。少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量にプリントするときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換します。交換したあと、交換した色のトナーカートリッジのカウンタをリセットしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.4-3）

18　キュウシ　エラー

原　因　手差しトレイや給紙カセットから給紙できない用紙サイズまたは用紙タイプの用紙が指定されている

処置１　給紙元を指定している場合は、［給紙選択］を押して、「給紙モード」を「ジドウ」に設定してください。

処置２　［給紙選択］を押して、指定した用紙サイズ／用紙タイプがセット可能な給紙元を選択し、用紙をセットしてください。

処置３　セットアップメニューの給紙グループの「デフォルト用紙サイズ」と「デフォルト用紙タイプ」の設定を給紙元にセット可能な用紙に変更してください。

処置４　［オンライン］を押し、現在選択されている給紙元からプリントします。ただし、印字品質が低下することがあります。

18　カセット１　ナシ

原　因　カセット１がセットされていない

処置１　カセット１をセットしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17）

処置２　［給紙選択］を押して、手差しトレイを選択してください。（→給紙元を選択する：P.3-13）

18　カセット２　ナシ

原　因　カセット２がセットされていない

処置１　カセット２をセットしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17）

処置２　［給紙選択］を押して、手差しトレイを選択してください。（→給紙元を選択する：P.3-13）

18　カセット３　ナシ

原　因　カセット３がセットされていない

処置１　カセット３をセットしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17）

処置２　［給紙選択］を押して、手差しトレイを選択してください。（→給紙元を選択する：P.3-13）

1G　X　トナー　コウカン（X は K または Y、M、C）

原因１　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命がきた

処　置　表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジと交換します。（→トナーカートリッジを交換する　：P.4-3）

原因２　（新しいトナーカートリッジに交換しても、メッセージが表示される場合）トナーカートリッジの底にトナーが固まっている

処　置　交換したトナーカートリッジを取り出して、取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならしてから取り付けてください。

23　ダウンロードメモリフル　＜エラースキップ可＞

原　因　オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした

処置１　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、オーバーフローしたデータは登録されません。

処置 2 リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加し、データを登録しなおしてプリントします。

- ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。
- オプションの拡張RAM を取り付ける。（→設置ガイド「第３章 オプション品の取り付け」）

26　システムメモリ　フル　<エラースキップ可>

原　因 システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した

処置 1 ［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

処置 2 リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加します。

- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。
- オプションの拡張RAM を取り付ける。（→設置ガイド「第３章 オプション品の取り付け」）

27　ジョブカイシ　エラー　<エラースキップ可>

原　因 指定したエミュレーションが存在しない

処置 1 ［オンライン］を押し、次のプリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータはプリントされません。

処置 2 本プリンタに内蔵のエミュレーションを指定します。

処置 3 オプションのコントロール ROM を取り付けてエミュレーションを追加します。（→設置ガイド「第３章 オプション品の取り付け」）

30　メモリ　フル　<エラースキップ可>

原因 1 システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した

処　置 ［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

原因 2　(電源のオン時に本エラーが発生した場合)メモリの構成が変更された(拡張 RAM が取り外された) ために NVRAM に設定されているメモリの容量を確保できなかった

処置 1　[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、メモリ構成の変更により正しくプリントされないことがあります。

重要　「30　メモリ　フル」が発生した時点で、NVRAM のメモリの構成が確保可能な値 * に書き換えられます。(*：RIP Once、ハードディスクは工場出荷時の値に戻ります。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

処置 2　電源をオフにした後、メモリの構成を変更前の構成に戻して(取り外した RAM を取り付けて) プリントしなおします。(→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」)

処置 3　セットアップメニューのインタフェースグループで「拡張受信バッファ」を「ツカワナイ」に設定し、プリントしなおします。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

31　カイゾウド　テイカ　<エラースキップ可>

原　因　処理に必要なメモリが不足した

処置 1　[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加し、データを登録しなおしてプリントします。

- ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす (メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください)。
- オプションの拡張RAM を取り付ける。(→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」)

32　リョウメンインサツ　エラー　<エラースキップ可>

原因 1　自動両面プリントできない用紙を指定した

処　置　本プリンタの給紙元選択とパソコンのプリント用紙サイズの選択を定形サイズに設定して、プリントしなおします。

原因 2　自動両面プリントするためのメモリが確保できない

処　置　次のような方法で RAM の空き容量を増加し、プリントしなおします。

- 登録されているデータを削除する。
- オプションの拡張RAM を取り付ける。(→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」)

原因 3　自動両面プリントできない用紙サイズの両面データを受信した

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、両面のデータを片面ずつ2 ページに分けてプリントします。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、自動両面プリント可能な用紙サイズに変更して、プリントしなおします。

33　ワークメモリ　フル　<エラースキップ可>

原　因　各動作モード専用のワークメモリが確保できない

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

重要　［オンライン］を押してプリントを継続する場合、登録済みのオーバレイやマクロなどのデータが削除されることがありますので、気を付けてください。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加し、プリントしなおします。

- ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは、すべて消去されますので気を付けてください）。
- オプションの拡張 RAM を取り付ける。ただし、LIPS LX プリンタドライバ以外からのジョブは、拡張 RAM を取り付けても問題が解決しない場合があります。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

35　トウロクテーブル　フル　<エラースキップ可>

原　因　1 つのジョブの中にあるドキュメント数が 16 を超えた

処　置　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したジョブはプリントされません。

36　カイチョウテイカ　<エラースキップ可>

原　因　データが複雑、あるいは多量すぎて処理ができなかった

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、カラー時、600dpi 多値から 600dpi2 値に階調処理を低下してプリントします。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加し、プリントしなおします。

- ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは、すべて消去されますので気を付けてください）。
- オプションの拡張RAM を取り付ける。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

38　ガシツ　テイカ　＜エラースキップ可＞

原　因　データが複雑すぎてスーパーファインモードで処理できない

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、解像度を下げてプリントします。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「データ処理」を「ファイン」に設定してプリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 3　リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「階調処理」を「コウカイチョウ 1」に設定してプリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 4　スーパーファインモードでプリントしたいときは、リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加します。

- ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは、すべて消去されますので気を付けてください）。
- オプションの拡張RAM を取り付ける。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）」

39　スプールメモリフル　＜エラースキップ可＞

原　因　スプールメモリが不足したため、プリントできない

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページはプリントされません。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、用紙サイズを小さく設定して、プリントしなおします。

処置 3　リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「階調処理」を「コウカイチョウ 1」に設定し、プリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 4　セットアップメニューの給紙グループで「両面印刷」が「スル」に設定してある場合は「シナイ」に設定し、プリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 5　セットアップメニューの印字調整グループで「中間調」の設定を変更してプリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 6　オプションの拡張 RAM を取り付けてプリントしなおします。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

41　ヨウシサイズ　カクニン

原因 1　実際に手差しトレイにセットした用紙サイズと、パソコンまたは操作パネルから設定した「手差しトレイ用紙サイズ」の設定が違っている

処　置　「手差しトレイ用紙サイズ」とセットした用紙のサイズを合わせ［オンライン］を押してください。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

原因 2　LIPS LX プリンタドライバを使用している場合で、セットアップメニューの給紙グループにある「手差しトレイ用紙サイズ」または「カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ」の設定が「フリー」のときに、長辺が 297.0mm 以下の定形外の用紙を縦置きにセットして、印刷した

処　置　横置きにセットしてプリントしなおします。

原因 3　セットアップメニューの拡張機能グループの「特殊モード J」が「ツカワナイ」に設定されている。

処　置　「特殊モード J」の設定を「ツカウ」に設定して再度プリントしなおします。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

52　イメージモード　エラー　　＜エラースキップ可＞

原　因　イメージモードでプリント中に、対応していない形式のデータを受信した

処置 1　［オンライン］を押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

処置 2　イメージデータ形式に対応したプリンタドライバでプリントしなおします。

53　セキュアプリント　エラー　　＜エラースキップ可＞

原因 1　LBP5900SE 用でないプリンタドライバからセキュアプリントの設定をしたデータが送られてきた

処　置　リセットメニューでソフトリセットをしてプリントデータを削除します。

原因 2　ハードディスクが使用できない状態のときにセキュアプリントのデータを受信した

処　置　［オンライン］を押してプリントをキャンセルしたあと、セットアップメニューの拡張機能グループで「ハードディスク」を「ツカウ」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

原因 3　セキュアプリントとして保存できるジョブ数を超えた（保存可能なセキュアプリントのジョブ数は、64 個までです。）

処　置　［オンライン］を押してプリントをキャンセルしたあと、不要なセキュアプリントジョブを削除してから、プリントしなおします。

原因4 セキュアプリントとして保存できるジョブの容量を超えた（保存可能な容量は、セキュアプリントジョブ、保存ジョブ、停止中のジョブを合わせて 4GB までです。ただし、ユーザメンテナンスグループの「セキュアプリント形式」を「PDL」に設定している場合は 1.88GB までになります。）

処　置 [オンライン] を押してプリントをキャンセルしたあと、停止ジョブを再開したり、不要なセキュアプリントジョブを削除してから、プリントしなおします。

53　ホゾン　エラー　<エラースキップ可>

原因1 ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない

処　置 [オンライン] を押すと、プリントデータを無視して、印刷可能な状態に戻ります。

原因2 保存できるジョブ数を超えた

処置1 [オンライン] を押すと、プリントデータを無視して、印刷可能な状態に戻ります。

処置2 ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

原因3 保存できるジョブの容量を超えた

処置1 [オンライン] を押すと、プリントデータを無視して、印刷可能な状態に戻ります。

処置2 ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

53　テイシ　エラー　<エラースキップ可>

原　因 停止できるジョブの容量を超えた

処　置 [オンライン] を押すと、停止中のジョブが再開されます。

55　ハードディスク　エラー　<エラースキップ可>

原　因 ハードディスクにエラーが発生した

処置1 自動的に再フォーマットされます。

処置2 [オンライン] を押すと、ハードディスクを使用しない設定で起動します。ただし、ハードディスクを使用する機能ではプリントできません。

処置3 お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

56　ハードディスク　エラー

原　因　ハードディスクにエラーが発生した

処　置　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「HDD メンテナンス」でフォーマットを実行してください。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクの交換が必要になります。お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

57　RIP　Once　エラー　＜エラースキップ可＞

原因 1　ハードディスクの容量が不足して、RIP　Once（リップワンス）による複数部数プリントを継続できなくなった

処置 1　複数のジョブに分割してプリントしなおします。

処置 2　セットアップメニューの拡張機能グループで「RIP　Once（リップワンス）」を「ツカワナイ」に設定してからハードリセットしてください。（RIP Once（リップワンス）の機能は使えなくなります。）（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 3　［オンライン］を押すと、1 部のみプリントされます。

原因 2　［編集＋プレビュー］モードでプリント時に、処理できるプリント部数を超えた

処置 1　すべてのプリントジョブを本プリンタ用のプリンタドライバを使ってプリントしなおします。

処置 2　一度にプリントするページ数を減らし、複数回に分けてプリントしなおします。

58　ジョブメモリ　フル　＜エラースキップ可＞

原　因　ジョブを処理するためのハードディスクや RAM の空き容量が不足している

処置 1　一度に複数のジョブを処理していた場合は、［オンライン］を押してプリントをキャンセルしたあと、他のジョブが終了するのを待ってプリントしなおします。

処置 2　ジョブの容量が大きい場合、ジョブを分割してプリントします。

59　ジョブジュシンエラー　＜エラースキップ可＞

原　因　ジョブ受信中に解析不可能なデータを受信したかタイムアウトが発生した

処置 1　［オンライン］を押してプリントをキャンセルしたあと、プリントしなおします。

処置 2　ご使用のネットワークに問題が発生している可能性があります。ご使用のネットワークの状態を確認してください。

60　カギカンリ　エラー１

原　因　鍵管理関係のファイルが壊れている

処　置　セットアップメニューのインタフェースグループで「標準ネットワーク」→「リモート UI 設定」→「SSL」を選択し、「オフ」であることを確認してください。その後プリンタを再起動し、リモート UI から鍵と証明書の再生成および SSL の設定を行ってください。鍵管理および SSL の設定を行ったあと、再度プリンタを再起動してください。（→リモート UI ガイド「第３章リモート UI のいろいろな機能」）

60　デコード　エラー

原　因　暗号化セキュアプリントのデータを解析できなかった

処　置　リセットメニューでソフトリセットしたあと、プリントしなおします。

61　インサツセッテイ　エラー

原　因　長尺紙をスーパーファインモードでプリントした

処置１　リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「データ処理」を「ファイン」に設定してプリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第３章共通セットアップメニューの設定項目」）

処置２　［オンライン］を押し、次のプリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータはプリントされません。

98　X　ドラムコウカン（X は K または Y、M、C）

原　因　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジが使用できなくなった

処　置　表示された色のドラムカートリッジを取り出し、新しいドラムカートリッジと交換します。（→ドラムカートリッジを交換する：P.4-16）

A4　nn　ERROR（nn は２桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

A5　nn　ERROR（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

D0　nn　ERROR（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

D1　ブンカツメモリ　フル

原　因　分割印刷モード時に分割印刷用バッファがオーバーフローした

処置 1　リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL セットアップメニューの「分割印刷」を「シナイ」、「拡大／縮小」を「ジドウ」に設定し、出力用紙サイズを指定してプリントしなおします。ただし、作図データは拡大／縮小されてプリントされます。（→ HP-GL ユーザーズガイド）

処置 2　「エラースキップ」をして、プリントを継続します。ただし、オーバーフローしたデータは正しくプリントされません。

D1　リプロットバッファフル

原　因　リプロットバッファがオーバーフローした

処置 1　リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL のリプロットバッファに保存するデータ数を 54206 バイト以内に設定し、プリントしなおします。（→ HP-GL ユーザーズガイド）

処置 2　「エラースキップ」をして、プリントを継続します。ただし、オーバーフローしたデータは正しくプリントされません。

D1　ポリゴンバッファフル

原　因　ポリゴンバッファがオーバーフローした

処置 1　リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL のポリゴンバッファに保存するデータ数を 40882 バイト以内に設定し、プリントしなおします。（→ HP-GL ユーザーズガイド）

処置2　「エラースキップ」をして、プリントを継続します。ただし、オーバーフローしたデータは正しくプリントされません。

D7　nn　ERROR（nnは2桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

D8　レイアウト　エラー

原　因　メモリ不足によりページをレイアウトできない

処置1　LIPS LXドライバの［グラフィックモード］の設定を「イメージモード」にしてプリントしなおしてください。（→ LIPS LXプリンタドライバのヘルプ）

処置2　リセットメニューでソフトリセットをしたあと、空きメモリを増やすためにハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおしてプリントしなおします。（プリンタが受信したメモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください。）

処置3　「エラースキップ」をして、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

D8　バージョン　エラー

原　因　本プリンタに対応していないバージョンのLIPS LXプリンタドライバからジョブを送信した

処置1　LIPS LXプリンタドライバのバージョンを本プリンタで対応しているバージョンに変更し、プリントしなおしてください。

処置2　「エラースキップ」をして、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

D8　シンタックス　エラー

原　因　LIPS LXプリンタドライバを使用してプリントしたときに、不正なデータが送られた

処置1　［オンライン］を押し、次のプリントを継続します。ただし、エラーが発生したページ以降はプリントされません。

処置2　プリントするデータを確認して、プリントしなおしてください。

D8　nn　ERROR（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

D9　IMG　データ　エラー

原　因　TIFF または JPEG データの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている

処　置　「エラースキップ」をして、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページ以降はプリントされません。

D9　IMG　サンショウ　エラー

原　因　TIFF または JPEG データの処理中に何らかの異常を検出した

処置 1　IMAGING 専用セットアップメニューの「印字保証」を「スル」に設定してプリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 6 章 IMAGING 専用セットアップメニューの設定項目」）

処置 2　リセットメニューでソフトリセットをしたあと、ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおしてプリントしなおします。（プリンタが受信したメモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください。）

処置 3　「エラースキップ」をして、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページ以降はプリントされません。

D9　nn　ERROR（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

E0　X　ドラム　ヨウイ（X は K または Y、M、C）　（警告メッセージ）

原　因　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジの寿命が近づいている

処　置　少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しいドラムカートリッジを準備してください。大量にプリントするときは、表示された色のドラムカートリッジを取り出し、新しいドラムカートリッジに交換します。（→ドラムカートリッジを交換する：P.4-16）

E1　ハイトナーヨウキ　ナシ

原　因　廃トナー容器がセットされていない、または正しくセットされていない

処　置　廃トナー容器をセットする、または正しくセットしてください。（→廃トナー容器を交換する：P.4-54）

E1　ハイトナーヨウキ　ヨウイ　（警告メッセージ）

原　因　廃トナー容器の交換時期が近づいている

処　置　少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しい廃トナー容器を準備してください。

E1　ハイトナーヨウキ　コウカン

原　因　廃トナー容器がいっぱいになった

処　置　新しい廃トナー容器に交換します。（→廃トナー容器を交換する：P.4-54）

E2　X　ドラム　ナシ（X は K または Y、M、C）

原　因　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない

処　置　表示された色のドラムカートリッジをセットする、または正しくセットしてください。（→ドラムカートリッジを交換する：P.4-16）

E5　テイチャクキ　ヨウイ　（警告メッセージ）

原　因　定着器の寿命が近づいている

処　置　少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しい定着器を準備してください。

E7　テイチャクキ　カクニン

原　因　定着器が取り付けられていない、または正しく取り付けられていない

処　置　定着器を取り付ける、または正しく取り付けてください。（→定着器を交換する：P.4-42）

EF　X　ドラム　コウカン（X は K または Y、M、C）　<エラースキップ可>

原　因　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジの寿命がきた

処　置　［オンライン］を押します。少しの間はそのままプリントを継続できますが、印字品質が低下することがあります。新しいドラムカートリッジに交換してください。交換したあと、オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押します。（→ドラムカートリッジを交換する：P.4-16）

EM　サーバセッテイ　エラー　（警告メッセージ）

原　因　E メール印刷時、POP3 サーバに接続できなかった、あるいは POP3 サーバの設定が正しくない

処　置　リモート UI もしくは N/W ステータスプリントでエラーの詳細を確認してください。詳しくは、「E メール印刷ができなかったときには」（→ P.2-41）を参照してください。

EM　E メールアクセス　エラー　（警告メッセージ）

原　因　POP3 サーバのハードディスクにエラーがあるため、POP3 サーバに接続できなかった

処　置　POP3 サーバのハードディスクのエラーを解消してください。

F2　フォント　ミジッソウ　<エラースキップ可>

原　因　オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、プリント時に消去されていた

処置 1　［オンライン］を押すと、間引き描画でプリントを継続します。

処置 2　メモリに再度フォントを登録しなおすか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、プリントしなおします。

F9-nn　チェックプリンタ（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリントデータ処理中にトラブルが発生した

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

FF　フォント　フル　＜エラースキップ可＞

原　因　登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。

処置 2　LIPS のコマンドをプログラミングしてプリントしたときは、不要な文字セットを消去してからプリントしなおします。（➞プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス 4.2」）

FM　サイズ　エラー　＜エラースキップ可＞

原　因　擬似スケーラブル可能な大きさを超えた文字がある

処　置　「エラースキップ」をして、プリントを継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しくプリントされません。

FM　ザヒョウテン　エラー　＜エラースキップ可＞

原　因　擬似スケーラブルの輪郭座標点の点数が最大値を越えた文字がある

処　置　「エラースキップ」をして、プリントを継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しくプリントされません。

HF　ハードディスク　フル　＜エラースキップ可＞

原　因　ハードディスクの空き容量が足りなくなった

処置 1　［オンライン］を押すと、現在行っている処理を無視して、印刷可能な状態に戻ります。

処置 2　ハードディスクに保存してあるデータのうち、不要なデータを削除してください。

PC　XXX ヨウシニ　コウカン（XXX は用紙サイズ略号）

原　因　アプリケーションソフトで設定したサイズの用紙が、プリンタの給紙カセットや手差しトレイにセットされていない、もしくは、違う用紙サイズの給紙元が選択されている

処置 1　選択されている給紙カセットにアプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定したサイズの用紙をセットしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17）

処置 2　手差しトレイの場合は手差しトレイ用紙サイズを確認し、アプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定した用紙サイズと合っていない場合は正しく設定してください。（→手差しトレイからプリントする：P.3-49）

処置 3　［給紙選択］で、サイズの合った用紙がセットされている給紙カセットを選択してください。（→給紙元を選択する：P.3-13）

処置 4　［オンライン］を押し、セットされている用紙に強制的にプリントしてください。手差しトレイの場合、手差しトレイ用紙サイズの設定が自動的にアプリケーションソフトの設定に切り替わります。

重要　「PC　XXX ヨウシニ　コウカン」のメッセージが表示されているときに上カバーを開けると、メッセージの表示が消えることがありますが、必ず表示されていたメッセージにしたがって用紙を交換してください。

サービスコール表示

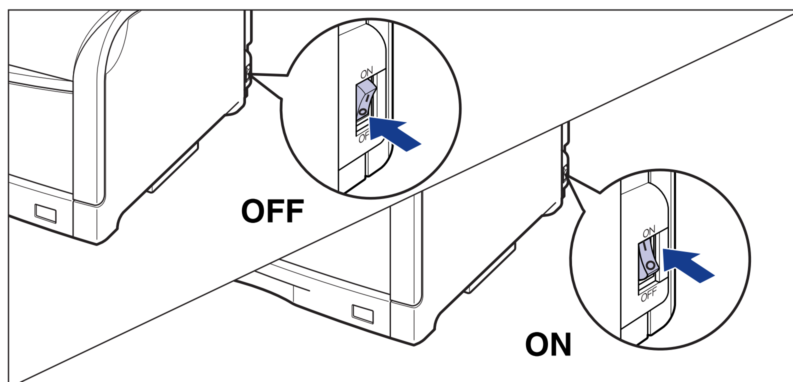
プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、次のようなサービスコールが表示されます。

メッセージ	原因	処置
Ennn-nnnn (nは英数字)	プリンタ内部機構にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。数回電源を入れなおしてもメッセージが消えない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
E001-nnnn E003-nnnn (nは英数字)	プリンタの定着器にトラブルが発生した。	次の手順2以降にしたがって、お買い求めの販売店にご連絡ください。

5

困ったときには

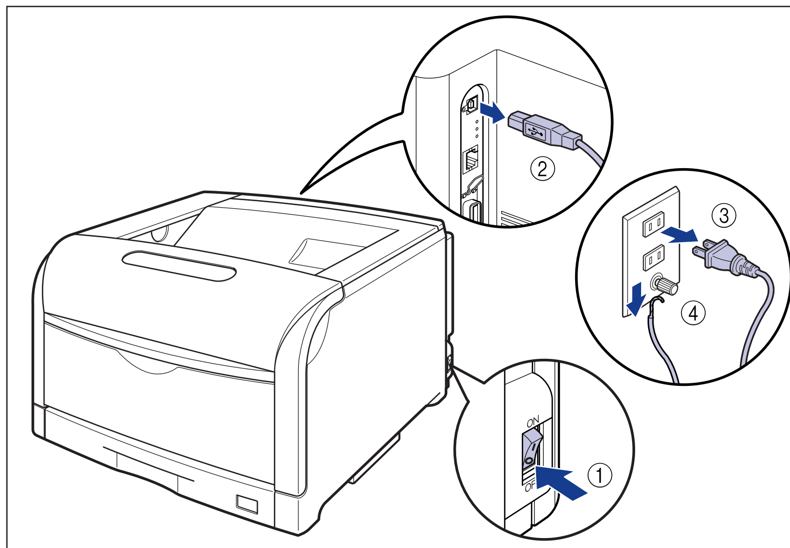
1 電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。



メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 ディスプレイに表示されている 8 桁の英数字とメッセージを書きとめます。

3 電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。



4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状およびメモしたコードナンバー（8 桁の英数字）をお知らせください。



不明な点がありましたら、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

5

困ったときには

正しいプリント結果が得られないときには

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

重要

- ディスプレイにメッセージが表示されたときは、「メッセージ一覧」（→ P.5-22）、「サービスコール表示」（→ P.5-41）を参照してください。
- 紙づまりの場合は、「紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）」（→ P.5-4）を参照してください。
- ここに記載されていない症状が起こったときや、記載されている処置を行っても直らないとき、原因がどうしてもわからないときは、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

メモ

- ここでは、LIPSプリンタドライバの操作方法で説明しています。BMLinkSプリンタドライバをお使いの場合で、ここに記載されていない症状が起こったときは、BMLinkS プリンタドライバに添付の「ユーザーズマニュアル」に記載されている「6. トラブルシューティング」を参照してください。
- BMLinkS プリンタドライバをお使いの場合、「処置」に記載されているプリンタドライバの設定は行えません。

電源やプリンタ動作のトラブル

電源が入らない

原因 1 電源プラグが電源コンセントから抜けている

処　置 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

原因 2 延長コードを使用したりタコ足配線をしている

処　置 壁の電源コンセントに直接電源プラグを差し込みます。

原因 3 ブレーカが落ちている

処　置 配電盤のブレーカをオンにします。

原因 4 電源コード内部で断線している

処　置 同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。

プリンタが動かない

原因 1 オフラインになっている

処　置 ［オンライン］を押し、オンラインランプを点灯します。（→オンラインとオフライン：P.2-13）

原因２ メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置 ［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（➞プリントを中止したいときは：P.2-60）

原因３ インタフェースケーブルが外れている

処　置 インタフェースケーブルをパソコンおよびプリンタ本体のインタフェース接続部にしっかりと接続します。（➞設置ガイド「第２章 プリンタの設置」）

原因４ 本プリンタやオプション品に故障がある

処　置 ディスプレイのメッセージを見て、処置します。（➞メッセージ一覧：P.5-22、サービスコール表示：P.5-41）

プリントサーバのランプがすべて消灯している

原因１ LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している

処置１ LAN ケーブルを一度取り外し、接続しなおします。

処置２ 他の LAN ケーブルに交換し、接続しなおします。

原因２ ハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続している

処置１ ハブの“X”マークのあるポートに接続しなおします。

処置２ ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“X”側に切り替えます。

原因３ クロスタイプの LAN ケーブルを使っている。

処置１ ストレートタイプの LAN ケーブルと交換します。

処置２ クロスタイプの LAN ケーブルをハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続します。ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は“=”側にします。

メモ クロスタイプの LAN ケーブルとは、プリンタとコンピュータを直接接続する場合に使用するケーブルのことです。

原因４ ハブと通信できない

処置１ ハブの電源がオンになっていることを確認します。

処置２ 接続したハブの通信速度に合わせてプリントサーバの通信設定をします。（➞LIPS 機能ガイド「第３章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置３ ハブを交換します。

原因５ プリントサーバのハードウェアに異常がある

処　置 お買い求めの販売店に状況を連絡してください。

プリントが途中で止まってしまった

原　因　メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置　［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→プリントを中止したいときは：P.2-60）

操作パネルのランプがつかない

原因 1　電源がオンになっていない

処　置　電源をオンにしてください。

原因 2　スリープモードになっている

処　置　プリントデータを送るか、操作パネルのキーをどれか押すとプリント可能な状態に戻ります。

操作パネルのキーが機能しない

原因 1　メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置　［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します。（→プリントを中止したいときは：P.2-60）

原因 2　キーロック機能が働いている（キーを押すとピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「キー　ロック　チュウ」と表示される）

処　置　リモート UI からキーロック機能を解除します。プリンタの管理者にご連絡ください。

プリントするたびに紙づまりが起こる

原因 1　給紙カセットや手差しトレイにセットした用紙が積載制限を超えている

処　置　用紙を積載制限の範囲内まで減らし、プリントしなおしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17、手差しトレイからプリントする：P.3-49）

原因 2　給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない

処　置　用紙を正しくセットしなおし、プリントしなおしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17、手差しトレイからプリントする：P.3-49）

原因 3　給紙カセットや手差しトレイに使用できない用紙がセットされている

処　置　使用できる用紙に交換し、プリントしなおしてください。（→用紙について：P.3-2）

原因4 LIPS LX プリンタドライバを使用している場合で、セットアップメニューの給紙グループにある「手差しトレイ用紙サイズ」または「カセットN（N=2、3、4）用紙サイズ」の設定が「フリー」のときに、長辺が 297.0mm以下の定形外の用紙を縦置きにセットして、印刷した

処　置 横置きにセットしてプリントしなおします。

原因5 紙づまり処理が不完全である

処　置 紙づまりを除去し、プリントしなおしてください。（→紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）：P.5-4）

ハードディスクが使えない

原因1 セットアップメニューの拡張機能グループの「ハードディスク」が「ツカワナイ」に設定されている

処　置 「ハードディスク」を「ツカウ」に設定してからハードリセットしてください。（→LIPS 機能ガイド「第3章共通セットアップメニューの設定項目」）

原因2 ハードディスクエラーが発生した

処　置 セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「HDD　メンテナンス」でフォーマットを実行してください。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクを交換してください。（→LIPS機能ガイド「第3章共通セットアップメニューの設定項目」）

原因3 ハードディスクが正しく装着されていない

処　置 電源をオフにし、ハードディスクが正しく取り付けられているか確認してください。（→設置ガイド「第3章オプション品の取り付け」）

原因4 ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない

処　置 ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

ジョブが保存できない

原因1 ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない

処　置 ［オンライン］を押すと、プリントデータを無視して印刷可能な状態に戻ります。合計 2GB を超えるデータを保存することはできません。

原因2 保存できるジョブ数を超えた

処置1 ［オンライン］を押すと、プリントデータを無視して、印刷可能な状態に戻ります。同時に保存できるのは、100 個までです。

処置2 ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

原因３　保存できるジョブの容量を超えた

処置１　［オンライン］キーを押すと、プリントデータを無視して、印刷可能な状態に戻ります。2GB を超えるプリントを保存することはできません。

処置２　ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

幅の狭い用紙を連続でプリントした場合に、プリント速度が遅くなる

原　因　プリント条件や「小サイズ特殊処理 2」の設定によっては、このような現象が発生することがある

処　置　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「小サイズ特殊処理 2」を「1」もしくは「2」に設定してプリントしなおします。ただし、プリント速度を優先するため、印字品質が低下することがあります。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章セットアップメニューの設定項目」）

プリント結果のトラブル

意味不明の半角文字がプリントされる

原因１　動作モードの自動切り替えがうまく働かなかった

処　置　動作モードを目的のエミュレーションに固定してプリントしなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因２　LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定が違っている

処　置　LIPS　専用セットアップメニューの漢字コードの設定をパソコンで使用している漢字コードに正しく合わせてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）

原因３　付属の Windows 用 LIPS プリンタドライバをインストールせずに Windows からプリントした

処　置　付属の Windows 用 LIPS プリンタドライバをインストールし、プリントしなおしてください。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編「第 2 章 Windows から印刷するには」）

原因４　DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない

処　置　DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定を、本プリンタと互換性のあるプリンタに再設定します。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編「第 4 章 DOS から印刷するには」）

原因５　コントロールROMをセットして使用中に、動作モードの自動切り替えができなかった

処　置　動作モードを、プリンタ本体にセットしたコントロール ROM のエミュレーションに固定し、インタフェースの設定を、パソコンと接続しているインタフェースに固定してプリントしなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第３章 共通セットアップメニューの設定項目」）

指定した書体と違う書体で印字される

原　因　Windows 用 LIPS IV プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えが設定されている

処　置　Windows 用 LIPS IV プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えを正しく設定しなおし、プリントしなおしてください。（→プリンタドライバのヘルプ）

白紙のページがプリントされない

原　因　LIPS4 セットアップメニューまたは LIPS LX セットアップメニューの「白紙節約」が「ツカウ」になっている

処　置　白紙のページをプリントするときは、「白紙節約」を「ツカワナイ」に設定します。（→ LIPS 機能ガイド「第４章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）

最後のページがプリントできない

原　因　パソコンからデータの終わりを表すコマンドが送られて来ない（ジョブランプが点灯している）

処　置　[オンライン] を押してオフラインの状態にし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します（印刷機能のないアプリケーションソフトでプリントした場合、最後のページのデータが１ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます）。（→プリントを中止したいときは：P.2-60）

データが用紙をはみだした

原因１　LIPS LX プリンタドライバを使用している場合で、セットアップメニューの給紙グループにある「手差しトレイ用紙サイズ」または「カセットＮ（N=2、3、4）用紙サイズ」の設定が「フリー」のときに、長辺が 297.0mm 以下の定形外の用紙を縦置きにセットして、印刷した

処　置　横置きにセットしてプリントしなおします。

原因２　データのサイズより小さな用紙をセットした

処　置　データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小プリントをしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第４章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）

原因 3 用紙をセットする位置が合っていない

処　置 用紙を正しくセットし、プリントしなおしてください。(→給紙カセットからプリントする：P.3-17、手差しトレイからプリントする：P.3-49)

原因 4 余白なしで、用紙いっぱいのデータをプリントした

処置 1 データの周囲に 5mm 以上（封筒は 10mm 以上）の余白を取ってプリントしなおしてください（用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲にはプリントできません)。(→アプリケーションソフトの取扱説明書)

処置 2 LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックすると、印字領域を広げてプリントします。ただし、データの周囲が欠けて印字されることがあります。

原因 5 ESC/P モードの「ページフォーマット」の設定が合っていない

処　置 ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、プリントしなおしてください。(→ LIPS 機能ガイド)

原因 6 ESC/P モードの「用紙位置」の設定が合っていない

処　置 ESC/P モードの「用紙位置」を正しく設定し、プリントしなおしてください。(→ LIPS 機能ガイド)

原因 7 セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている

処　置 セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。(→印字位置を調整する：P.4-62)

印字位置がずれてしまう

原因 1 セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」が設定されている

処　置 セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」の設定を「0」に設定し、プリントしなおします。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

原因 2 アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない

処　置 アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントしなおしてください。(→アプリケーションソフトの取扱説明書)

原因 3 ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない

処　置 ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントしなおしてください。(→ LIPS 機能ガイド)

原因４　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている

処　置　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。（→印字位置を調整する：P.4-62）

印字位置がだんだんずれていく

原　因　ESC/P　モードを使用しているときに、ページフォーマットの設定とアプリケーションソフトで設定した用紙の種類が合っていない

処　置　アプリケーションソフトの用紙の種類とページフォーマットの設定を合わせてプリントしなおします。（→動作モードについて：P.2-57）

ページの途中から次ページに分かれてプリントされる

原因１　アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない

処　置　1 ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してからプリントしなおします。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）

原因２　セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」が「ジドウセンタク」に設定されているときに、セットアップメニューのインタフェースグループの「タイムアウト」の設定秒数が短すぎる

処　置　セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」を「ジドウセンタク」以外に設定するか、「タイムアウト」の設定秒数を十分に長くします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

縮小されてプリントされる

原因１　縮小プリントの設定がされている

処置１　LIPS セットアップメニューの「拡大／縮小」を「シナイ」にしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）

処置２　プリンタドライバの「拡縮率」の設定を確認してください。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

原因２　ESC/P モードで使用しているときに、ページフォーマットが「B4 → A4 タテ」「B4 → A4 ヨコ」に設定されている

処　置　ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、プリントしなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 5 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」）

用紙にしわがよる

原因 1 給紙カセットに用紙が正しくセットされていない

処　置 給紙カセットに用紙を正しくセットしてください。(→給紙カセットからプリントする：P.3-17)

原因 2 手差しトレイに用紙を斜めにセットした

処　置 手差しトレイにまっすぐに用紙をセットしてください。(→手差しトレイからプリントする：P.3-49)

原因 3 用紙が吸湿している

処　置 未開封の新しい用紙と交換してください。

原因 4 定着器の寿命が近づいている

処　置 ステータスプリントをプリントして、定着器のカウンタ数値を確認し、以前に定着器を交換したときの枚数から約 150,000 枚増えている場合、定着器を交換してください。(→定着器を交換する：P.4-42)

用紙がカールする

原因 1 適切な用紙を使用していない

処　置 本プリンタで使用できる用紙と交換してください。(→用紙について：P.3-2)

原因 2 用紙タイプの設定がセットした用紙にあっていない

処　置 プリンタドライバの用紙タイプを「普通紙　L」に設定してプリントしなおしてください。(→プリンタドライバのヘルプ)

用紙が真っ白で何もプリントされない

原因 1 用紙が重なって送られた

処　置 給紙カセットや手差しトレイの用紙を、よく揃えてからセットしなおしてください。コート紙、ラベル用紙の場合は、よくさばいてセットしなおしてください。(→給紙カセットからプリントする：P.3-17、手差しトレイからプリントする：P.3-49)

原因 2 プリンタ内部でトラブルが発生している

処置 1 ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置 2 処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

印字品質のトラブル

用紙が特定の色で塗られて何もプリントされない

原因 1 ドラムカートリッジが劣化、あるいは損傷している

処　置 「印字不良が起こったときには」（→ P.5-59）を参照して、処置してください。

メモ 「印字不良サンプル」（→ P.5-81）にサンプルを掲載しています。

原因 2 プリンタ内部でトラブルが発生している

処置 1 ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置 2 処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

白いすじが入る

原　因 ドラムカートリッジが劣化、あるいは損傷している

処　置 「印字不良が起こったときには」（→ P.5-59）を参照して、処置してください。

メモ 「印字不良サンプル」（→ P.5-81）にサンプルを掲載しています。

色すじが入る

原　因 プリンタに何らかの不具合がある、または ITB ユニットが劣化、あるいは損傷している

処　置 「印字不良が起こったときには」（→ P.5-59）を参照して、処置してください。

メモ 「印字不良サンプル」（→ P.5-81）にサンプルを掲載しています。

部分的に白く抜ける

原因 1 適切な用紙を使用していない

処　置 使用できる用紙に交換し、プリントしなおしてください。（→用紙について：P.3-2）

原因 2 用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置 新しい用紙に交換し、プリントしなおしてください。（→用紙について：P.3-2）

原因 3　ドラムカートリッジが劣化している

処　置　「印字不良が起こったときには」（→ P.5-59）を参照して、処置してください。

メモ　「印字不良サンプル」（→ P.5-81）にサンプルを掲載しています。

プリントしない部分に残像が現れる

原因 1　プリントする用紙が適当でない

処　置　用紙を取り替えてプリントしてください。（→用紙について：P.3-2）

原因 2　ドラムカートリッジが劣化している

処　置　「印字不良が起こったときには」（→ P.5-59）を参照して、処置してください。

メモ　「印字不良サンプル」（→ P.5-81）にサンプルを掲載しています。

印字が全体的にうすい、濃い

原因 1　トナー濃度の設定が適当でない

処　置　セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因 2　セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」が「ツカウ」に設定されている

処　置　セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」を「ツカワナイ」に設定してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

印字ムラが出る

原因 1　ドラムカートリッジが劣化している

処　置　「印字不良が起こったときには」（→ P.5-59）を参照して、処置してください。

メモ　「印字不良サンプル」（→ P.5-81）にサンプルを掲載しています。

原因 2　用紙が湿っている、あるいは乾燥している

処　置　適切な用紙に交換し、プリントしなおしてください。（→用紙について：P.3-2）

スーパーファインモードでプリント時に画像が粗くなったまたは正しくプリントできなかった

原　因　データが複雑、あるいは多量すぎてスーパーファインモードで処理できなかった

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、解像度を下げてプリントします。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、解像度を下げてプリントしなおします。

処置 3　スーパーファインモードでプリントしたいときは、［リセット］を押してソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加します。

- ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは、すべて消去されますので気を付けてください）。
- オプションの拡張RAM を取り付ける。（→設置ガイド「第３章 オプション品の取り付け」）

定着性が悪い

原因 1　用紙の種類により、定着性が悪い場合がある

処　置　プリンタドライバで［グレー補償］を以下のいずれかに設定します。
［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタン［処理オプション］ボタンを順にクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

- イメージのみ
- テキストとイメージ
- グラフィックスとイメージ
- すべて

原因 2　プリンタ内部でトラブルが発生している

処置 1　ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置 2　処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

同時に使用している他の LBP5900SE と色が合わない

原因 1 工場出荷時の K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナー濃度に若干のバラツキがある

処　置 K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナー濃度を微調整します。（→カラーバランスを調整したいときには：P.5-85）

重要 トナー濃度を変更すると、すべてのカラープリントに影響を与えます。通常は、工場出荷時の設定（9）のままでご使用ください。

原因 2 4 色のトナーカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはドラムカートリッジが劣化している

処置 1 「トナー　ヨウイ」または「トナー　コウカン」のメッセージが表示されている色のトナーカートリッジを新品に交換します。（→トナーカートリッジを交換する：P.4-3）

処置 2 「印字不良が起こったときには」（→ P.5-59）を参照して、処置してください。

色ズレにより正しい色（指定した色）でプリントされない、カラーの文字がぼけて見える

原因 1 ドラムカートリッジが正しくセットされていない

処　置 ドラムカートリッジが正しくセットされているか確認してください。（→ドラムカートリッジを交換する：P.4-16）

原因 2 4 色のトナーカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはドラムカートリッジが劣化している

処置 1 「トナー　ヨウイ」または「トナー　コウカン」のメッセージが表示されている色のトナーカートリッジを新品に交換します。（→トナーカートリッジを交換する：P.4-3）

処置 2 「印字不良が起こったときには」（→ P.5-59）を参照して、処置してください。

原因 3 適切な用紙を使用していない

処　置 使用できる用紙に交換し、プリントしなおします。（→用紙について：P.3-2）

細い線や塗りつぶしパターンの色が指定した色でプリントされない、または消えてしまう

原因 1 色やパターンの組み合わせにより、再現されない場合がある

処置 1 アプリケーションソフトで色を調整して、プリントしなおします。

処置 2 アプリケーションソフトでパターンを変更して、プリントしなおします。

原因 2 網点のパターンにより、色が違って見える

処置 1 濃い色に変更して、プリントしなおします。

処置 2 用紙の送り方向を変えてセットし、プリントしなおします。

網かけパターンが正しい色（指定した色）でプリントされない

原　因 プリントデータの網かけパターンとプリンタのディザパターンが干渉している

処置 1 アプリケーションソフトで網かけパターンの設定をしないで、プリントしなおします。

処置 2 プリンタドライバで［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［階調］や［色調］に変更します。
［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

処置 3 プリンタドライバで［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［誤差拡散］に変更します。
［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

写真などのプリントでディスプレイの色とプリントの色が異なる

原　因 画面（RGB）とプリンタ（YMC）で色の調整方法が異なるため、プリントでは、画面の色が忠実に再現できない場合がある

処置 1 プリンタドライバで［イメージ］の［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定します。
［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

処置 2 プリンタドライバで［ガンマ補正］を調整します。
［ガンマ補正］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

グラデーションのかかった図形をプリントした場合に、グラデーションにすじが入る

原　因 図形の「すじ」のグレーの色の部分に、グレー補償が効いている

処　置 プリンタドライバで［グレー補償］を［使わない］に設定します。
［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタン、［処理オプション］ボタンを順にクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

Windows からの出力で「すじ」が入ったり、部分的に色味が異なる図形がプリントされる、または塗りつぶしなしの図形が透過されずに正しい色でプリントされない

原　因 拡大／縮小印刷により重ね合わせた部分がずれた、あるいはアプリケーションで複雑な重ね合わせを指定した

処　置 プリンタドライバで以下の設定を行います。
［印刷品質］ページで［お気に入り］から［ビットマップ展開］を選択し、［印刷品質］の［設定］ボタンをクリックして、［モード詳細］を［高品質］に設定します。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

カラーの文字がぼけて見える

原　因 カラーの文字に太いフォントを使用している

処置 1 細めのフォントを使用して、プリントしなおします。

処置 2 プリンタドライバで［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定します。
［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

濃度の濃い部分の色に光沢ムラ／スジ／キズがある

原　因 ドラムカートリッジが劣化、あるいは損傷している、または定着器に不具合がある

処　置 「印字不良が起こったときには」（→ P.5-59）を参照して、処置してください。

メモ　「印字不良サンプル」（→ P.5-81）にサンプルを掲載しています。

塗りつぶしパターンとパターンの枠線を同じ色に指定しても、正しい色（指定した色）でプリントされない

原　因　細い線をきれいにプリントするために、枠線の線幅によって特殊処理が行われることがある

処置 1　プリンタドライバで［テキスト］と［グラフィックス］の［マッチング方法］の設定を同じにします。
［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

処置 2　プリンタドライバで［ガンマ補正］の設定を調整します。
［ガンマ補正］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

プリントした用紙の裏が汚れる

原　因　セットされている用紙サイズよりも大きなサイズのプリントデータを送った

処　置　プリントデータがセットされている用紙サイズに合っているか確認する

幅の狭い用紙から幅の広い用紙へ切り替えてプリントした場合に、用紙の両端に一度印字した文字や画像の残像が印字される

原　因　プリント条件や「小サイズ特殊処理　1」の設定によっては、このような現象が発生することがある

処　置　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「小サイズ特殊処理 1」を「-1」もしくは「-2」に設定してプリントしなおします。ただし、印字品質を優先するため、プリント速度が遅くなることがあります。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章セットアップメニューの設定項目」）

印字不良が起こったときには

印字不良サンプル（→ P.5-81）に掲載しているような印字不良が発生した場合は、以下の項目を順に参照して、印字不良を解決してください。

1. プリンタ内部を清掃して、キャリブレーションを行う（→ P.5-59）
2. テストチャート 1 をプリントする（→ P.5-77）
3. テストチャート 2 をプリントする（→ P.5-79）

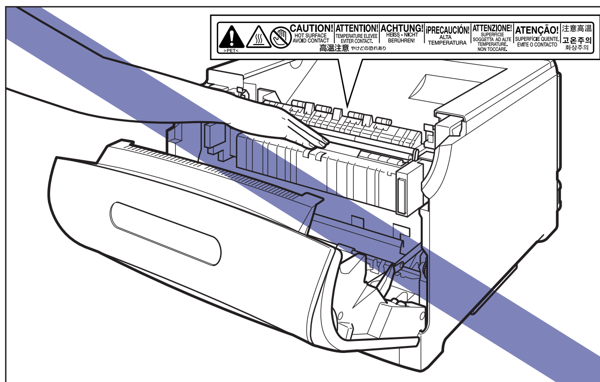
重要　操作パネルのディスプレイにエラーメッセージやサービスコールが表示されている場合は、「メッセージ一覧」（→ P.5-22）、「サービスコール表示」（→ P.5-41）を参照してください。

プリンタ内部を清掃する

印字品質にトラブルが発生し、「印字不良サンプル」（→ P.5-81）に掲載しているようなプリント結果になった場合は、以下の手順でプリンタの内部を清掃し、キャリブレーションを行います。

警告　製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

注意　プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。プリンタ内部を清掃するときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。

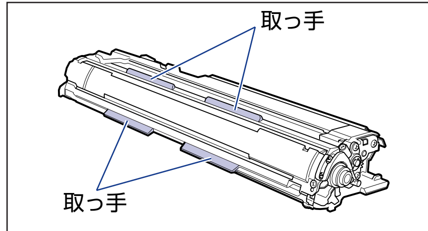


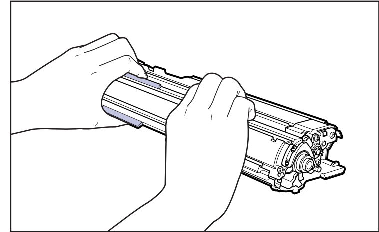
5

困ったときには

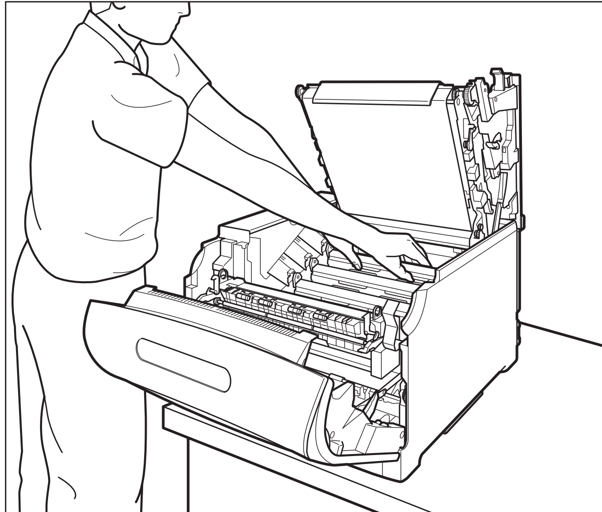
重要

- ドラムカートリッジを取り扱う際は、図のように青色の取っ手を持って正しく取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。



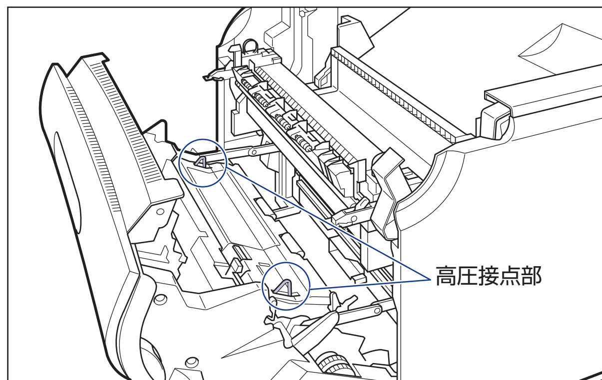


- ドラムカートリッジを取り外すときや取り付けるときは、図のようにプリンタの左側から作業を行ってください。

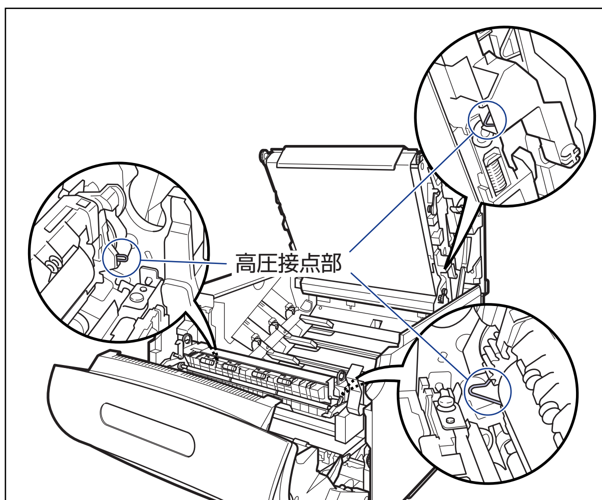


- 次の位置にある高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

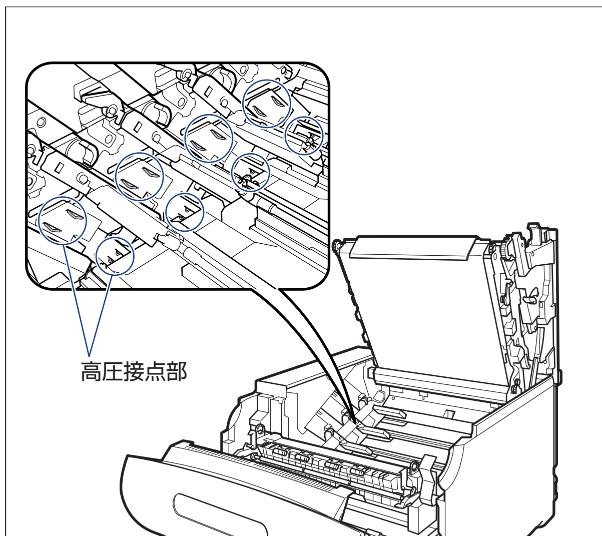
·前カバー内側



・ITB ユニット右側、プリンタ内部

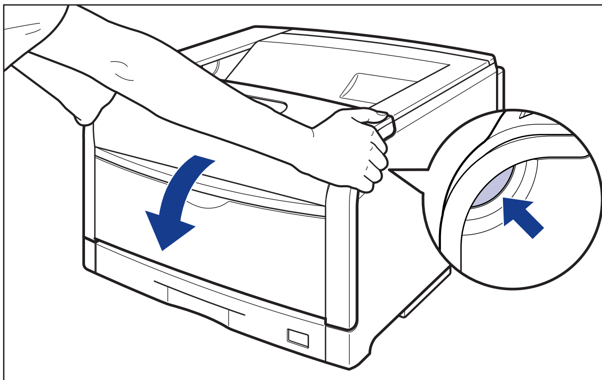


・ドラムカートリッジガイド部



1 前カバーを開けます。

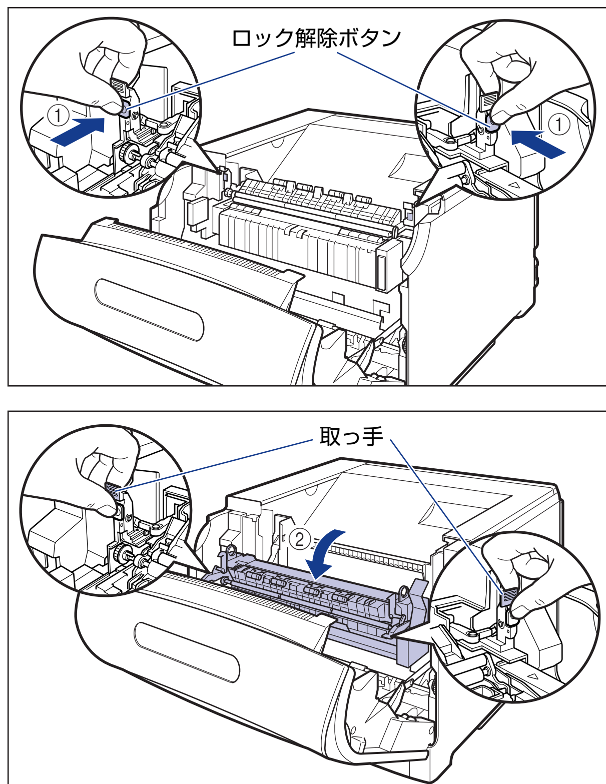
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。



重要　前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイと本体の給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

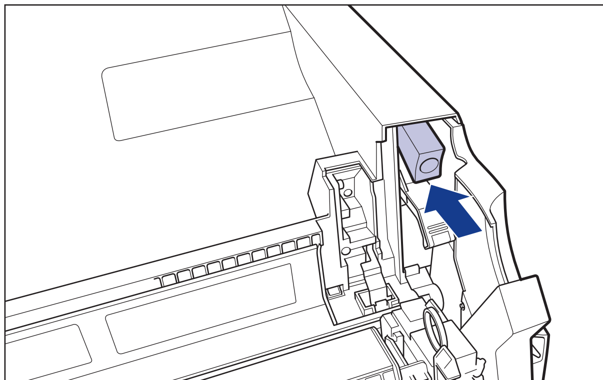
2 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

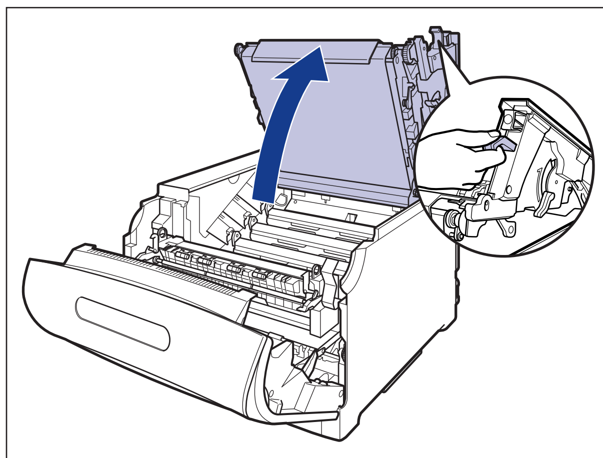


3 上カバーを開けます。

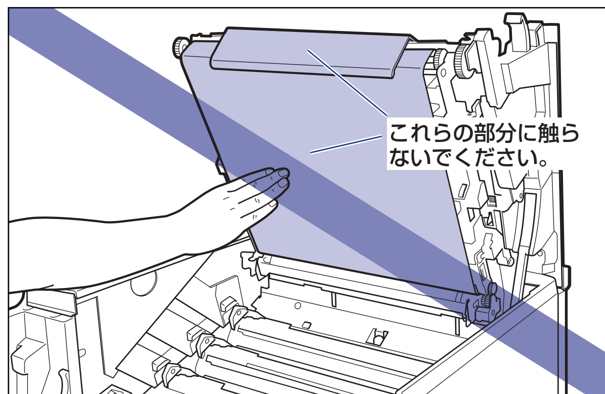
上カバーの青色のロック解除ボタンを押します。



上カバーのレバーを持って、上カバーを開けます。

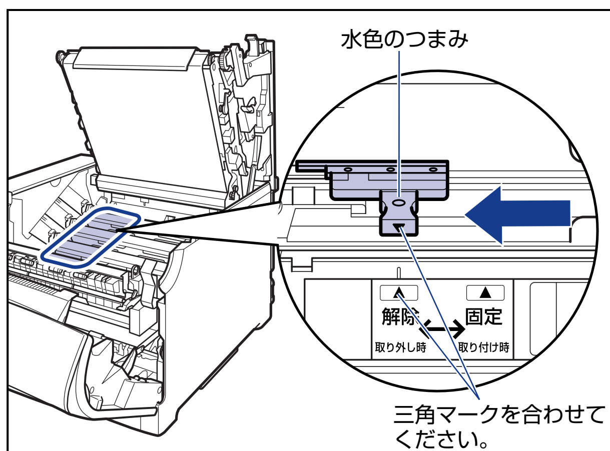


重要　ITB ユニットの転写ベルトや ITB ユニットカバーに触れたりしないでください。転写ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。ITB ユニットの転写ベルトに触れて印字品質が低下した場合は、「ITB ユニットの転写ベルトを清掃する」（→P.4-61）を参照して、ITB ユニットの転写ベルトの清掃を行ってください。ITB ユニットの転写ベルトにトナーが付着している場合は、自動的に清掃する機能が付いていますので清掃する必要はありません。

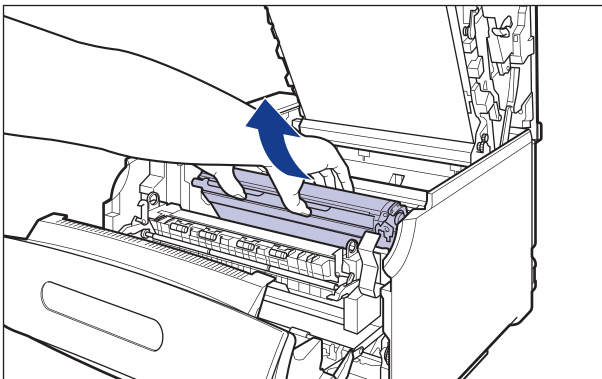


4 すべてのドラムカートリッジの水色のつまみを「解除」の位置までスライドさせて、ロックを解除します。

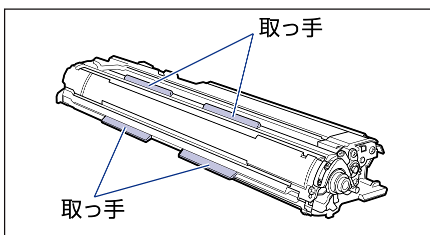
水色のつまみの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。

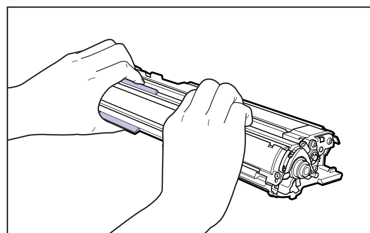


5 すべてのドラムカートリッジを取り出します。



ドラムカートリッジは、図のように青色の取っ手を持って取り外します。



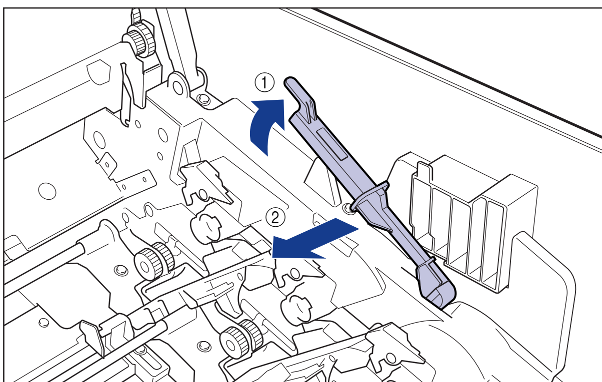




取り出したドラムカートリッジは、すみやかにドラムカートリッジを梱包してあった保護袋に入れてください。

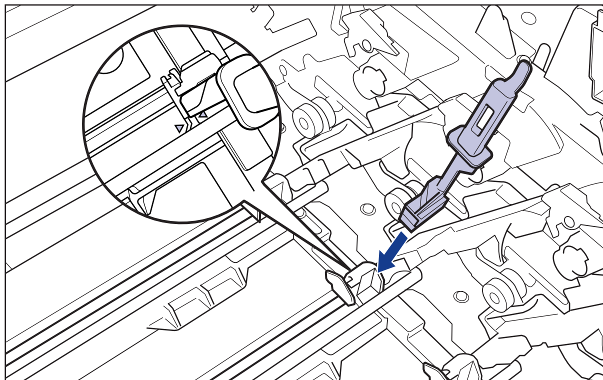
6 プリンタ内部の右側にある清掃ブラシを取り外します。

図のように清掃ブラシの後端を持ち上げてから ①、横に引き抜きます ②。



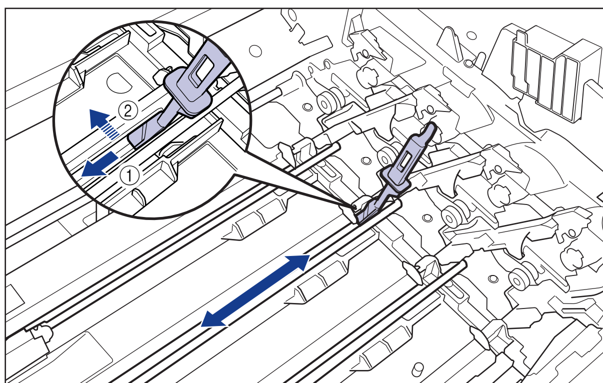
7 清掃ブラシをスロットに差し込みます。

清掃ブラシとプリンタの三角マークが合うように差し込みます。

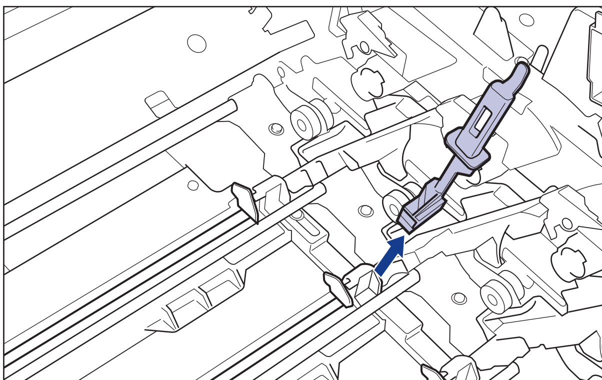


8 スロットに沿って清掃ブラシを数回往復させます。

清掃ブラシを移動させると ①、カバーが自動的に開きます ②。

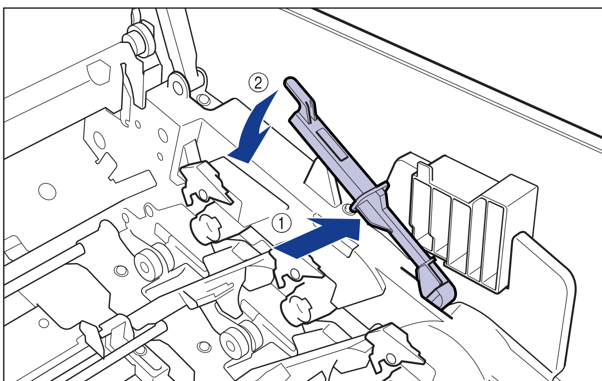


9 清掃ブラシをスロットから引き抜きます。

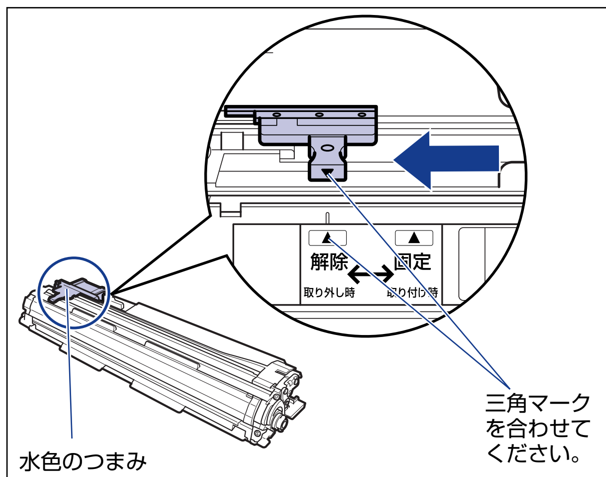


手順７～９を繰り返し、各色のスロットを清掃します。

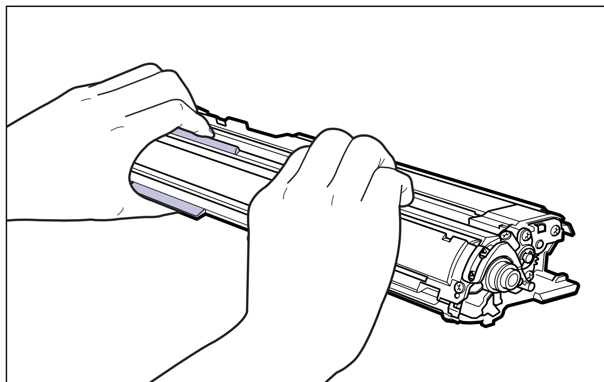
10 清掃ブラシを元の位置に戻します。



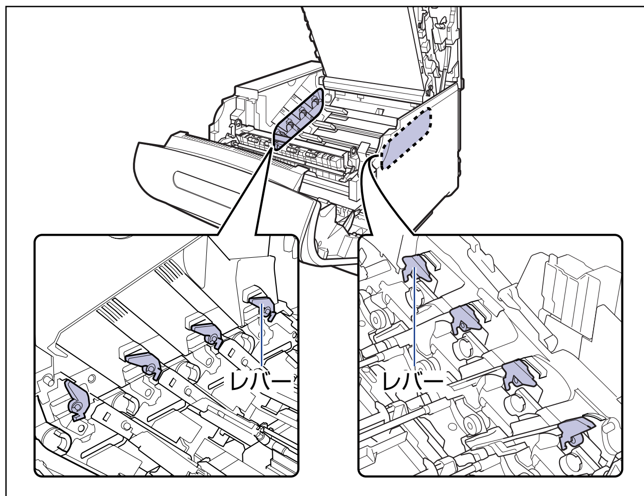
11 ドラムカートリッジをセットする前に、図のように水色のつまみの三角マークとラベルの「解除」の三角マークの位置を同じ位置に合わせてください。



ドラムカートリッジをセットするときは、図のように青色の取っ手を持ちます。

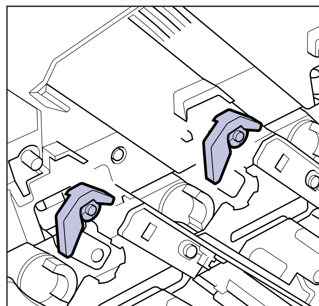


12 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように正しい位置にあるか確認します。

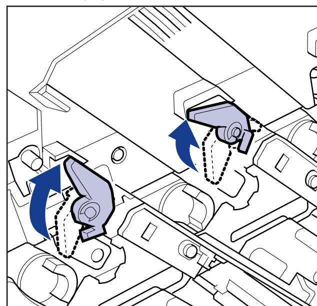


正しい位置にレバーがないとドラムカートリッジを取り付けることはできません。図のようにレバーを正しい位置まで押し上げます。

●正しくない位置

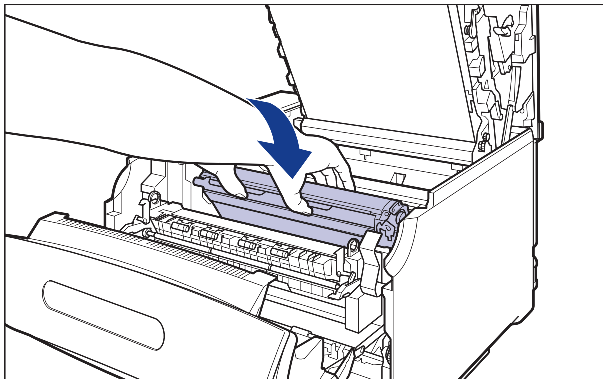


●正しい位置



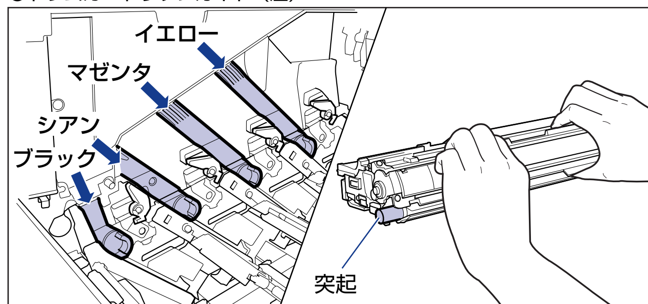
13 ドラムカートリッジを本体に取り付けます。

ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けます。

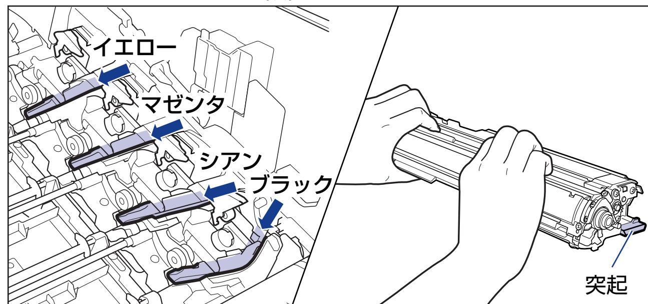


図のようにドラムカートリッジの左右の突起をドラムカートリッジガイドに挿入します。

●ドラムカートリッジガイド（左）



●ドラムカートリッジガイド（右）



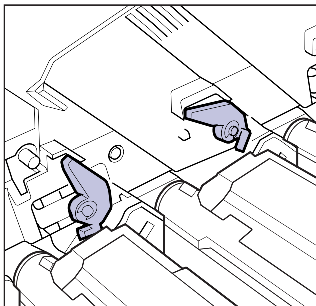


ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けてください。確実に取り付けないと、印字不良の原因になります。

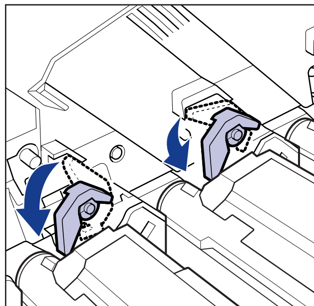
14 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように正しい位置にあるか確認します。

左右のレバーが正しい位置にあることを確認してください。正しい位置になっていない場合は、手でレバーを正しい位置に動かしてください。

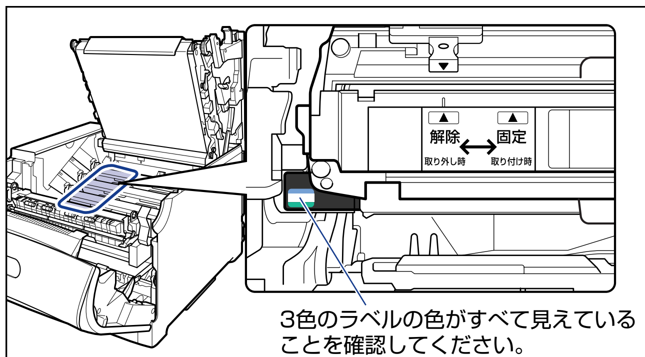
●正しくない位置



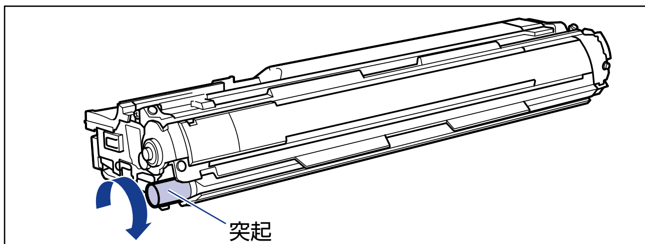
●正しい位置



15 ドラムカートリッジの突起部のラベルが見えていることを確認します。

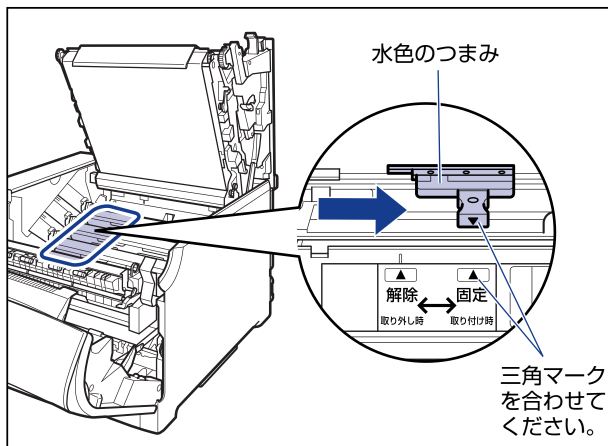


3 色のラベルの色すべてが手前に見えない場合は、一度取り出して、突起を矢印の方向にカチッと止まるまで回してから、取り付け直してください。



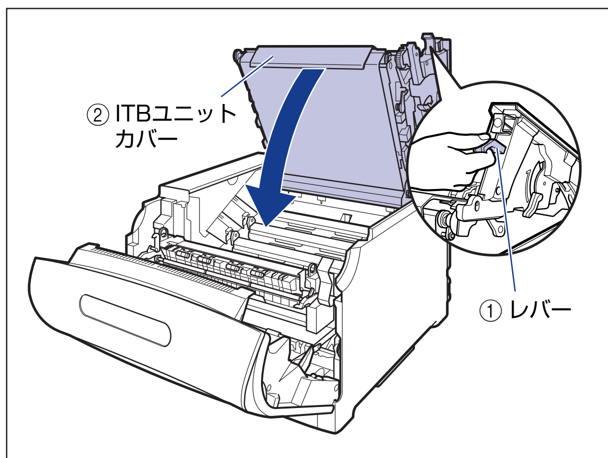
16 取り付けた色のドラムカートリッジの水色のつまみを「固定」の位置までスライドさせて、ドラムカートリッジを固定します。

水色のつまみの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。

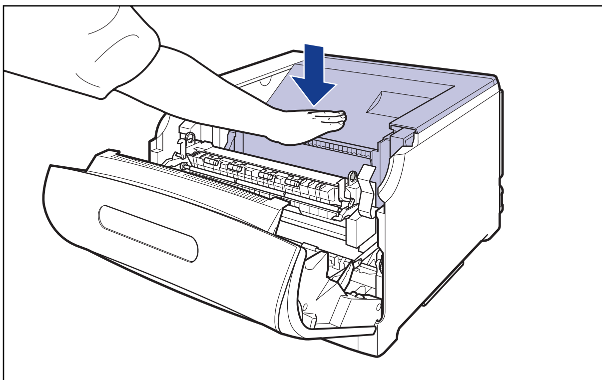


17 上カバーを閉めます。

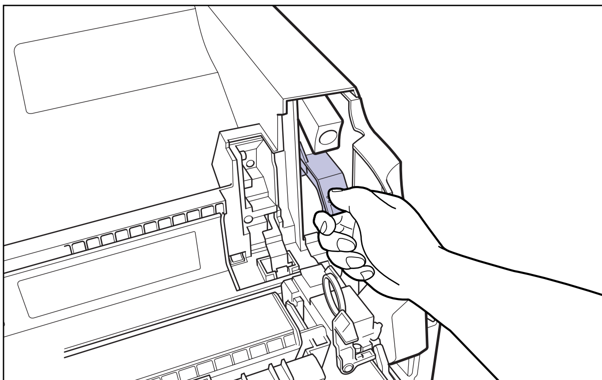
プリンタの上カバーはレバーを持って ①、ゆっくりと閉めます。
上カバーを勢いよく閉めると、ITB ユニットカバー ② が元の位置に戻らず、プリンタが破損する原因になります。



図のように上カバーの「PUSH」と記載されている部分を押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。



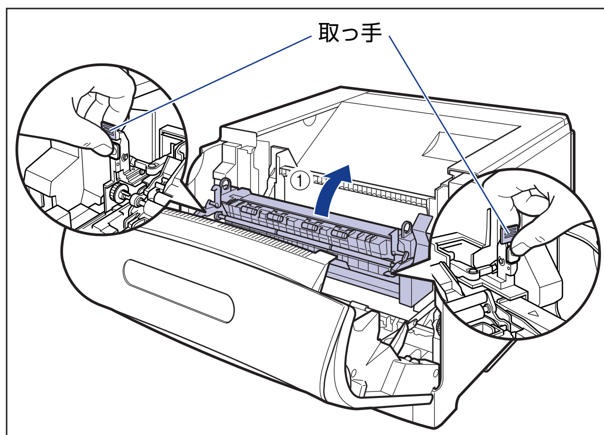
図のようにレバーを持って、上カバーが開かないことを確認します。

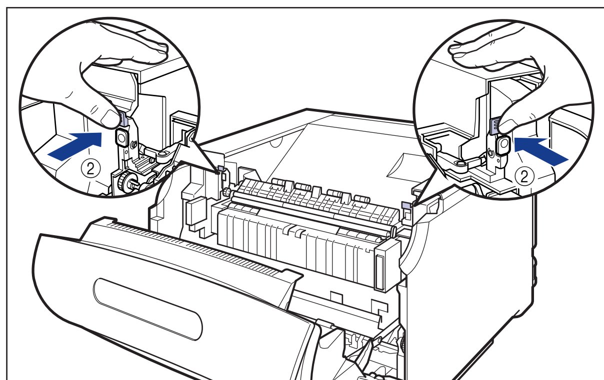




上カバーは突き当たるまで確実に閉めてください。確実に閉めないと、印字不良の原因になります。

18 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。



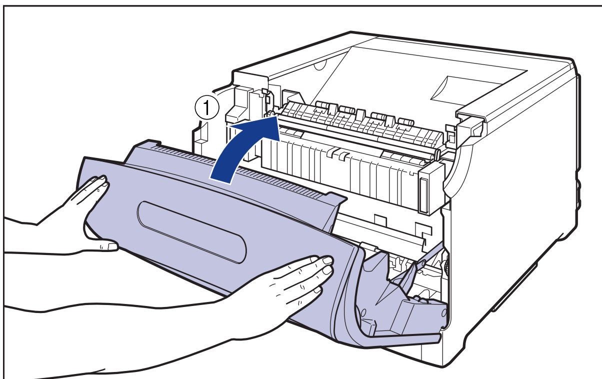


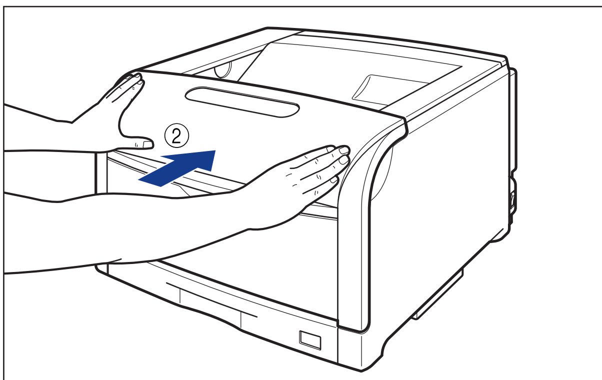
5

困ったときには

19 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。





プリンタ内部の清掃が終わったら、次の手順でキャリブレーションを行います。



前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。



20 プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合は、［オンライン］を押します。



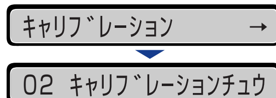
21 ［ユーティリティ］を押します。

ユーティリティ

ステータスプリント →



22 ［◀］、［▶］で「キャリブレーション」を選択し、［実行］を押します。



キャリブレーションが実行されます。キャリブレーションの実行中は、印刷可ランプとオンラインランプが点滅します。
キャリブレーションが終了すると、ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」や「00　LIPS」、「00　ESC/P」と表示されます。

メモ　キャリブレーションの実行には、約60秒かかります。

23 キャリブレーションが終わったら、印字不良が発生したプリントデータを再度プリントします。

印字不良が解決した場合は、そのままプリンタをご使用いただけます。印字不良が解決しなかった場合は、続いて「テストチャート1をプリントする」(→P.5-77)を行ってください。

テストチャート 1 をプリントする

テストチャート 1 は、印字不良の原因がドラムカートリッジかどうかを判断するときにプリントします。テストチャート 1 は、以下の手順でプリントします。

メモ　テストチャート 1 は、A4 サイズの用紙 8 枚にプリントされます。A4 サイズの用紙をセットしてください。



1 プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合は、［オンライン］を押します。

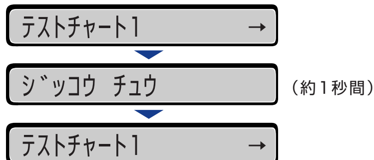


2 ［ユーティリティ］を押します。





3 ［◀］、［▶］で「テストチャート 1」を選択し、［実行］を押します。

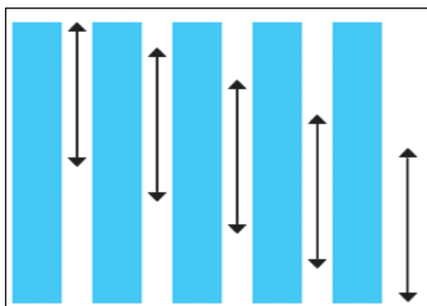


（約 1 秒間）

テストチャート 1 がプリントされます。

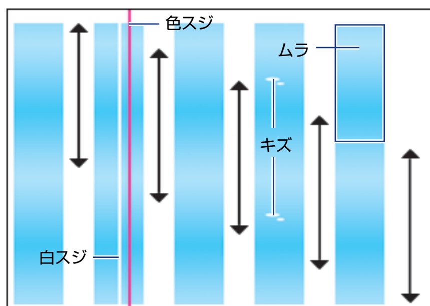
4 プリントしたテストチャート1に以下のようなキズやムラ、スジがないかを確認します。

●不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合



すべてのテストチャート 1 に不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合は、続いて「テストチャート 2 をプリントする」（→ P.5-79）を行ってください。

●不具合（キズやムラ、スジなど）がある場合



すべての色のテストチャート 1 に不具合（キズやムラ、スジなど）があり、印字不良が発生したプリントのキズやムラ、スジと位置や特長が同じであった場合は、続いて「テストチャート 2 をプリントする」（→ P.5-79）を行ってください。
特定の色のテストチャート 1 にのみ不具合（キズやムラ、スジなど）があり、印字不良が発生したプリントのキズやムラ、スジと位置や特長が同じであった場合は、以下の処置を行ってください。

• テストチャート 1 に白いスジがあった場合：お買い求めの販売店へご連絡ください。

- テストチャート 1 に白いスジがなかった場合：不具合（キズやムラ、スジなど）があった色のドラムカートリッジを交換します。ドラムカートリッジの交換については、「ドラムカートリッジを交換する」（→ P.4-16）を参照してください。ドラムカートリッジを交換しても、印字不良が解決しなかった場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

テストチャート 2 をプリントする

テストチャート 2 は、印字不良の原因が定着器かどうかを判断するときにプリントします。テストチャート 2 は、以下の手順でプリントします。

メモ　テストチャート 2 は、A4 サイズの用紙 1 枚にプリントされます。A4 サイズの用紙をセットしてください。



1 プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合は、［オンライン］を押します。



2 ［ユーティリティ］を押します。

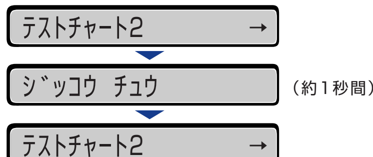








3 ［◀］、［▶］で「テストチャート 2」を選択し、［実行］を押します。



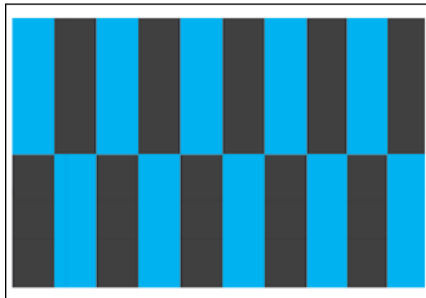
テストチャート 2 がプリントされます。

5

困ったときには

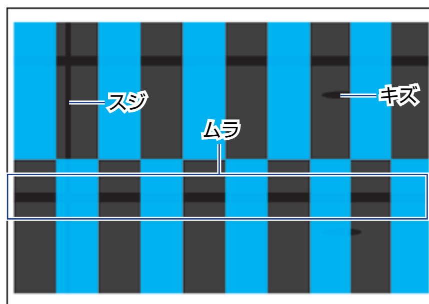
4 プリントしたテストチャート2に以下のようなキズやムラ、スジがないかを確認します。

●不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合



テストチャート２に不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合は、プリンタに何らかの不具合がある可能性があります。お買い求めの販売店へご連絡ください。

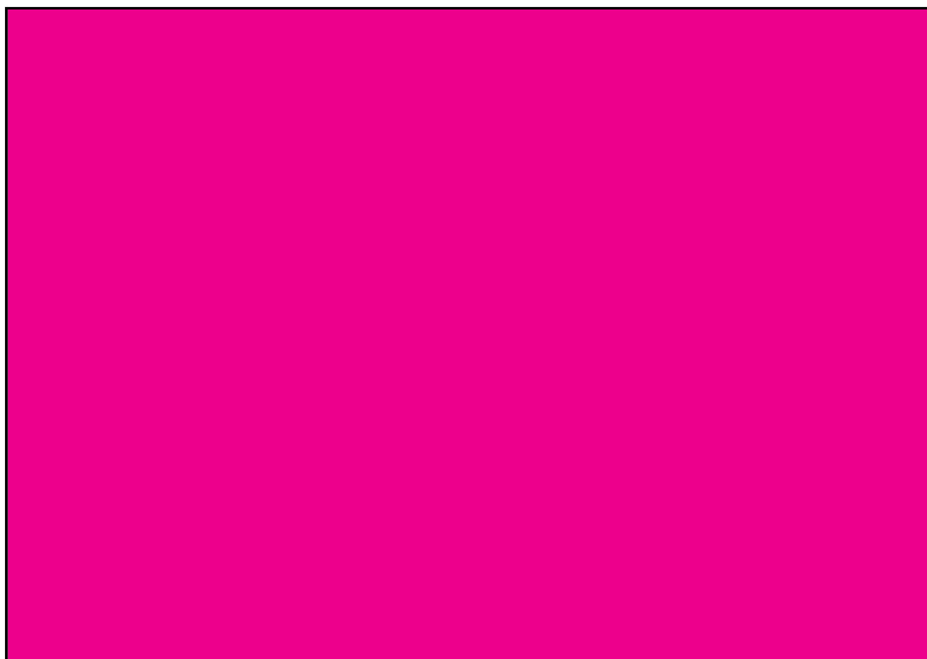
●不具合（キズやムラ、スジなど）がある場合



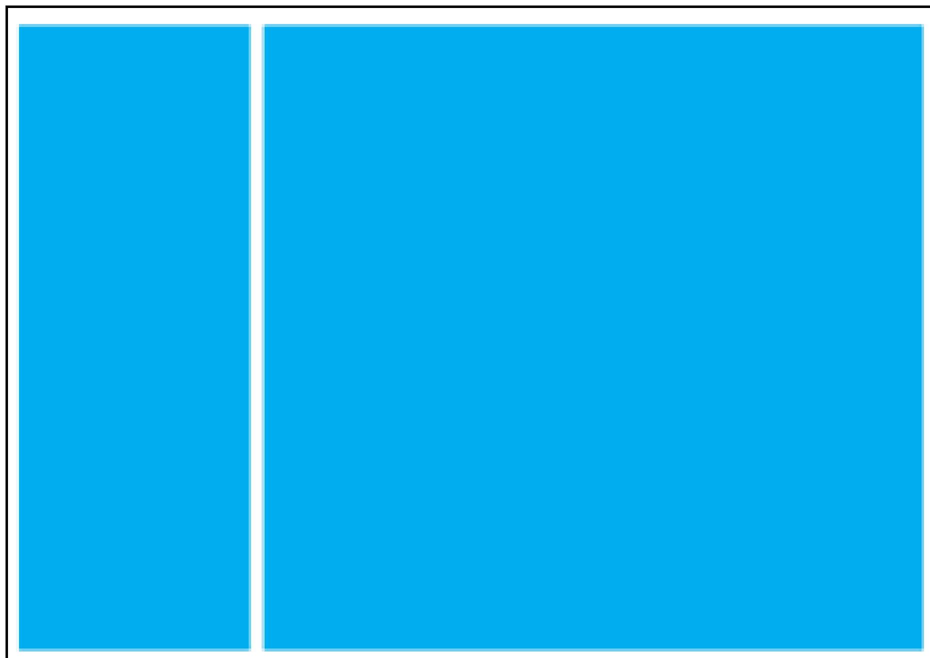
テストチャート２に不具合（キズやムラ、スジなど）がある場合は、定着器を交換します。定着器の交換については、「定着器を交換する」（→ P.4-42）を参照してください。定着器を交換しても、印字不良が解決しなかった場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

印字不良サンプル

■ 用紙が特定の色で塗られて何もプリントされない



■ 白いすじが入る



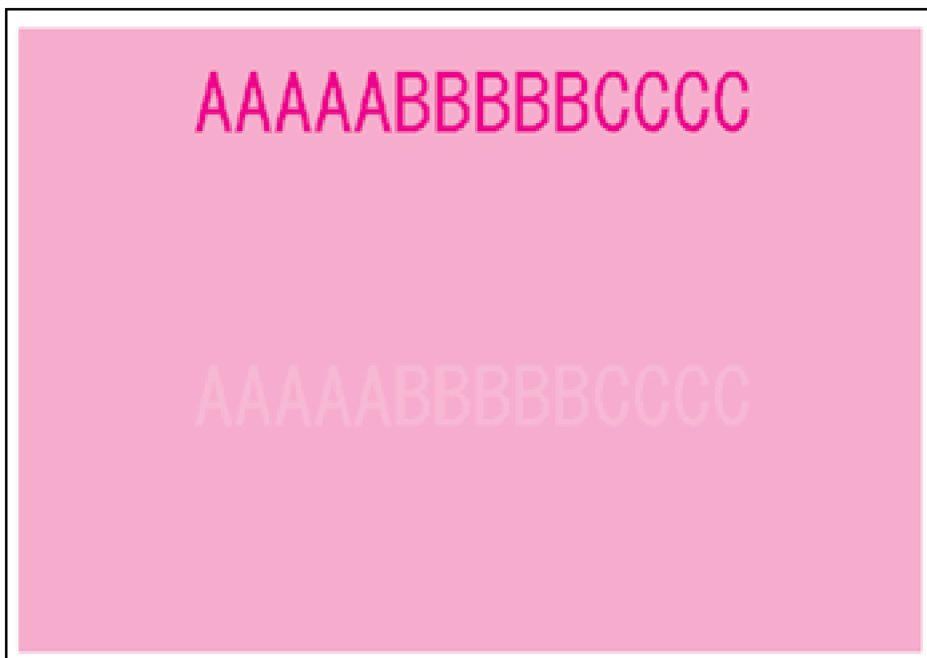
■ 色すじが入る



■ 部分的に白く抜ける



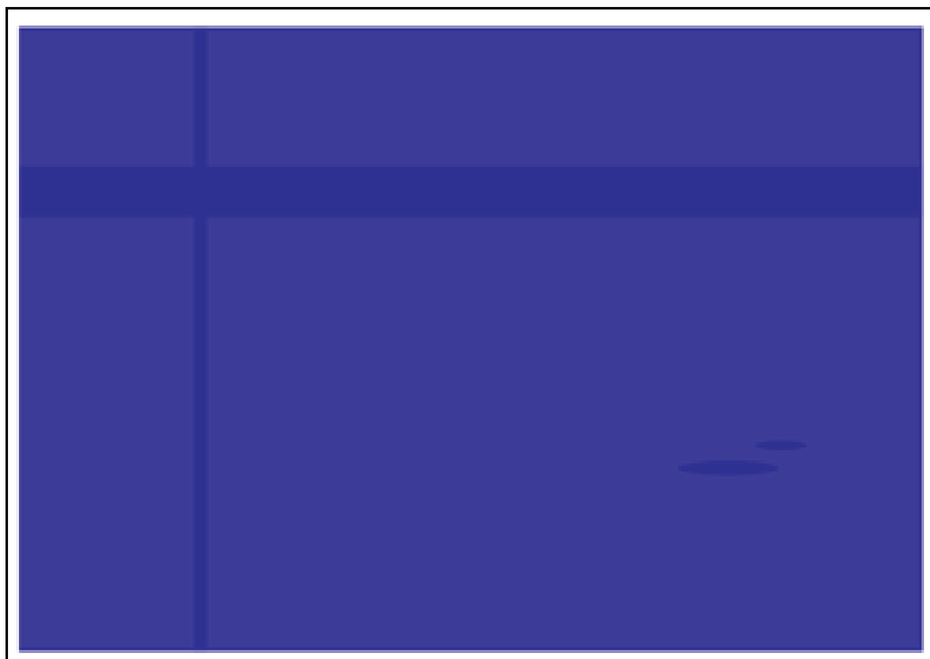
■ プリントしない部分に残像が現れる



■ 印字ムラが出る



■ 濃度の濃い部分の色に光沢ムラ／スジ／キズがある



カラーバランスを調整したいときには

プリント結果が全体に赤っぽかったり、青っぽかったり、カラーバランスが適切でないときは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のトナー濃度をそれぞれ調節し、補正することができます。トナー濃度は、1 〜 16 の範囲で設定でき、工場出荷時には標準的な濃度（9）に設定されています。
操作パネルのキーで設定するときは、次の手順で操作します。



トナー濃度を調節するときは、少しずつ調節し、パソコンから問題のあったプリントデータを再度プリントして結果を確認してください。どうしてもうまく調節できないときは、工場出荷時の値（9）に戻し、お買い求めの販売店へご相談ください。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



2 ［セットアップ］を押します。





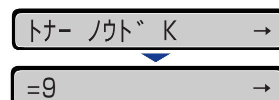
3 ［◀］、［▶］で「インジ　チョウセイ」を選択し、［実行］を押します。



印字調整グループの設定項目が表示されます。



4 ［◀］、［▶］で目的の色の「トナー　ノウド」を選択し、［実行］を押します。



トナー濃度の設定値が表示されます。



5 ［◀］、［▶］で濃度を選択し、［実行］を押します。

1 にすると一番薄い濃度、16 にすると一番濃い濃度になります。

6 →



=6 →

設定値の左に「=」が表示され、濃度が設定されます。

プリンタの機能を確認したいときには

本プリンタは、メニューの設定値などを確認できるステータスプリントの機能を備えています。プリンタの準備や接続が終了したあと、プリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

ステータスプリント

ステータスプリントでは、プリンタで現在使用できる機能や、メニュー設定値の一覧などがプリントされます。ステータスプリントを行うときは、次の手順で操作します。

メモ
- ステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。他の用紙サイズでもプリントできますが、拡大または縮小されたり、一部がカットされたり、片寄ってプリントされることがあります。
- プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、ステータスプリントにも反映されます。例えば、自動両面プリントが設定されている場合は、ステータスプリントも両面に 2 ページ分プリントされます。ただし、コピー枚数は無視され、常に 1 枚の用紙がプリントされます。



1 プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。



2 ［ユーティリティ］を押します。

ユーティリティ



ステータスプリント 

ディスプレイに「ステータスプリント」と表示されます。



3 ［実行］を押します。

ステータスプリント 



ジッコウ チュウ（約1秒間）



ステータスプリント 

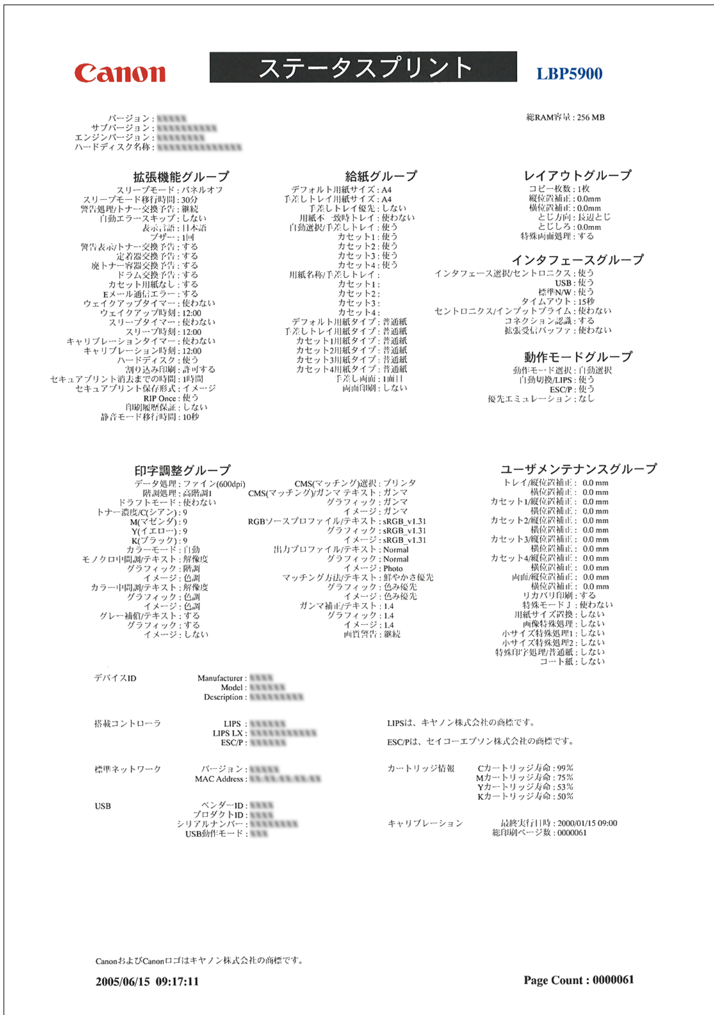
ステータスプリントがプリントされます。

4 ステータスプリントのプリント内容を確認します。

ステータスプリントを行うと、次のようにプリントされます。ステータスプリントでは、現在使用できる機能や、プリンタ機能メニューで設定されている設定値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェアやハードウェアのバージョン名、プリント枚数などを確認できます。プリント枚数は、ステータスプリントの右下にある「Page Count」で確認できます。



ここに掲載されているステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したステータスプリントとは、内容が異なることがあります。



Canon　ステータスプリント　LBP5900

バージョン :
サブバージョン :
エンジンバージョン :
ハードディスク名称 :

総RAM容量 : 256 MB

拡張機能グループ

スリープモード : パネルオフ
スリープモード移行時間 : 30分
警告処理/トナー交換予告 : 継続
自動エラースキップ : しない
表示言語 : 日本語
ブザー : 1回
警告表示/トナー交換予告 : する
定着器交換予告 : する
廃トナー容器交換予告 : する
ドラム交換予告 : する
カセット用紙なし : する
Eメール通信エラー : する
ウェイクアップタイマー : 使わない
ウェイクアップ時刻 : 12:00
スリープタイマー : 使わない
スリープ時刻 : 12:00
キャリブレーションタイマー : 使わない
キャリブレーション時刻 : 12:00
ハードディスク : 使う
割り込み印刷 : 許可する
セキュアプリント消去までの時間 : 1時間
セキュアプリント保存形式 : イメージ
RIP Once : 使う
印刷履歴保証 : しない
静音モード移行時間 : 10秒

給紙グループ

デフォルト用紙サイズ : A4
手差しトレイ用紙サイズ : A4
手差しトレイ優先 : しない
用紙不一致時トレイ : 使わない
自動選択/手差しトレイ : 使う
カセット1 : 使う
カセット2 : 使う
カセット3 : 使う
カセット4 : 使う
用紙名称/手差しトレイ :
カセット1 :
カセット2 :
カセット3 :
カセット4 :
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
手差しトレイ用紙タイプ : 普通紙
カセット1用紙タイプ : 普通紙
カセット2用紙タイプ : 普通紙
カセット3用紙タイプ : 普通紙
カセット4用紙タイプ : 普通紙
手差し両面 : 1面目
両面印刷 : しない

レイアウトグループ

コピー枚数 : 1枚
縦位置補正 : 0.0mm
横位置補正 : 0.0mm
とじ方向 : 長辺とじ
とじしろ : 0.0mm
特殊両面処理 : する

インタフェースグループ

インタフェース選択/セントロニクス : 使う
USB : 使う
標準N/W : 使う
タイムアウト : 15秒
セントロニクス/インプットプライム : 使わない
コネクション認識 : する
拡張受信バッファ : 使わない

動作モードグループ

動作モード選択 : 自動選択
自動切換/LIPS : 使う
ESC/P : 使う
優先エミュレーション : なし

印字調整グループ

データ処理 : ファイン(600dpi)
階調処理 : 高階調1
ドラフトモード : 使わない
トナー濃度/C(シアン) : 9
M(マゼンダ) : 9
Y(イエロー) : 9
K(ブラック) : 9
カラーモード : 自動
モノクロ中間調/テキスト : 解像度
グラフィック : 階調
イメージ : 色調
カラー中間調/テキスト : 解像度
グラフィック : 色調
イメージ : 色調
グレー補償/テキスト : する
グラフィック : する
イメージ : しない

CMS(マッチング)選択 : プリンタ
CMS(マッチング)/ガンマ テキスト : ガンマ
グラフィック : ガンマ
イメージ : ガンマ
RGBソースプロファイル/テキスト : sRGB_v1.31
グラフィック : sRGB_v1.31
イメージ : sRGB_v1.31
出力プロファイル/テキスト : Normal
グラフィック : Normal
イメージ : Photo
マッチング方法/テキスト : 鮮やかさ優先
グラフィック : 色み優先
イメージ : 色み優先
ガンマ補正/テキスト : 1.4
グラフィック : 1.4
イメージ : 1.4
画質警告 : 継続

ユーザメンテナンスグループ

トレイ/縦位置補正 : 0.0 mm
横位置補正 : 0.0 mm
カセット1/縦位置補正 : 0.0 mm
横位置補正 : 0.0 mm
カセット2/縦位置補正 : 0.0 mm
横位置補正 : 0.0 mm
カセット3/縦位置補正 : 0.0 mm
横位置補正 : 0.0 mm
カセット4/縦位置補正 : 0.0 mm
横位置補正 : 0.0 mm
両面/縦位置補正 : 0.0 mm
横位置補正 : 0.0 mm
リカバリ印刷 : する
特殊モードＪ : 使わない
用紙サイズ置換 : しない
画像特殊処理 : しない
小サイズ特殊処理1 : しない
小サイズ特殊処理2 : しない
特殊印字処理/普通紙 : しない
コート紙 : しない

デバイスID　Manufacturer :
Model :
Description :

搭載コントローラ　LIPS :
LIPS LX :
ESC/P :

LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。

ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。

標準ネットワーク　バージョン :
MAC Address :

カートリッジ情報　Cカートリッジ寿命 : 99%
Mカートリッジ寿命 : 75%
Yカートリッジ寿命 : 53%
Kカートリッジ寿命 : 50%

USB　ベンダーID :
プロダクトID :
シリアルナンバー :
USB動作モード :

キャリブレーション　最終実行日時 : 2000/01/15 09:00
総印刷ページ数 : 0000061

CanonおよびCanonロゴはキヤノン株式会社の商標です。

2005/06/15 09:17:11　Page Count : 0000061

6
CHAPTER

付録

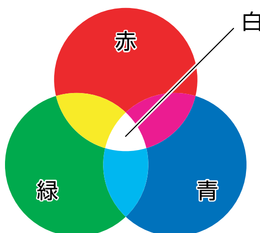
この章では、カラーのしくみ、おもな仕様、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内、索引などを記載しています。

カラープリントのしくみ

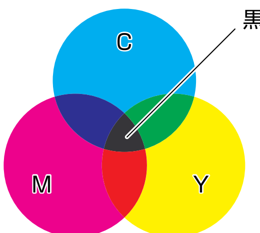
ここでは、色についての基礎知識や、本プリンタのカラープリントのしかたなどを説明します。

光の 3 原色と色の 3 原色

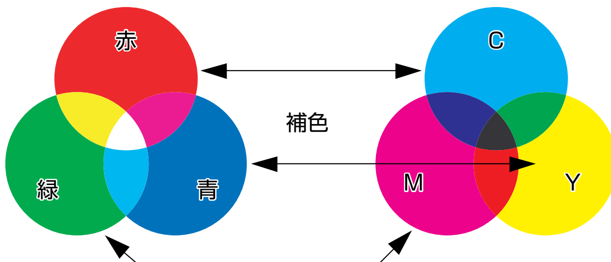
パソコンのディスプレイなどで見える色は、赤、緑、青の光の 3 原色で表現されます。光の 3 原色は、赤と緑と青の 3 色をすべて混合すると白になります（加法混色）。



カラープリンタは、光の 3 原色ではなく、絵の具などと同じ色の 3 原色で色を表現します。色の 3 原色は、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）で、3 色をすべて混合すると黒になります（減法混色）。



そして、光の 3 原色と色の 3 原色は、互いに補色の関係になっています。
光の赤は色のシアンと、緑はマゼンタと、青はイエローと補色関係です。

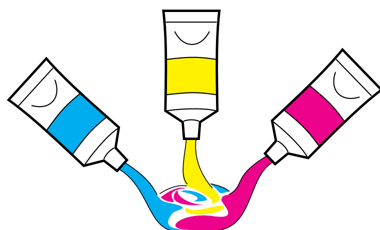


6

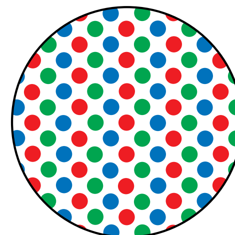
付録

色を表現する方法

絵の具でいろいろな色を作るには、パレットで混ぜ合わせます。ディスプレイやプリンタでは、絵の具のように混ぜ合わせることができませんので、色の点の集まりで色を表現します。

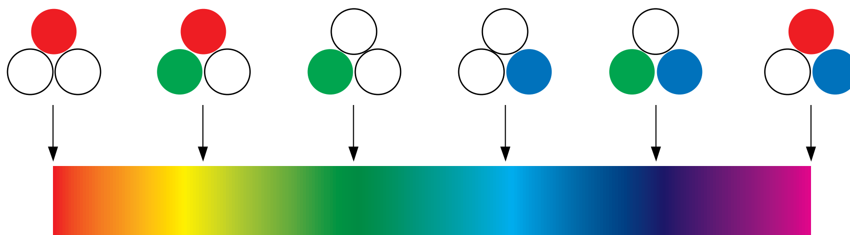


絵の具



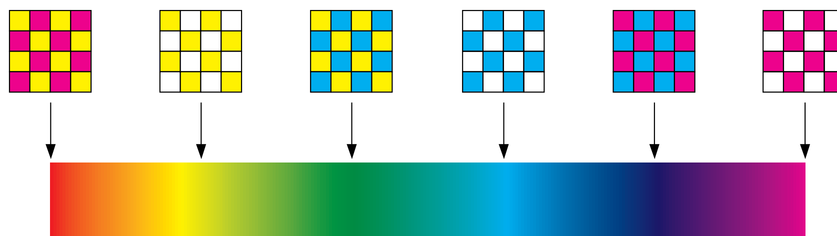
ディスプレイやプリンタ

ディスプレイの場合、R（赤）、G（緑）、B（青）の 3 つの点の光の強弱でいろいろな色を表現します。



カラーバー

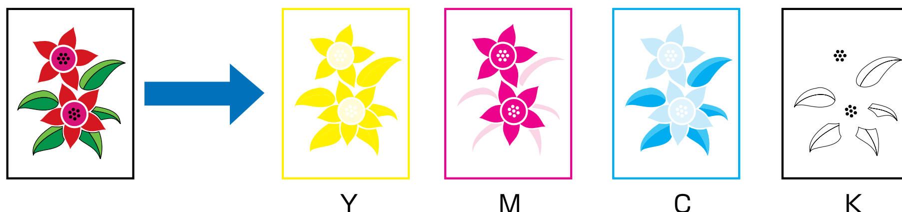
プリンタの場合、トナーの色に強弱を付けることはできません。このため、ディスプレイより多くの点を使い、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）に K（ブラック）を加えた色の組み合わせでいろいろな色を表現します。そして、この点が小さければ小さいほど高解像度のカラープリントが可能になります。



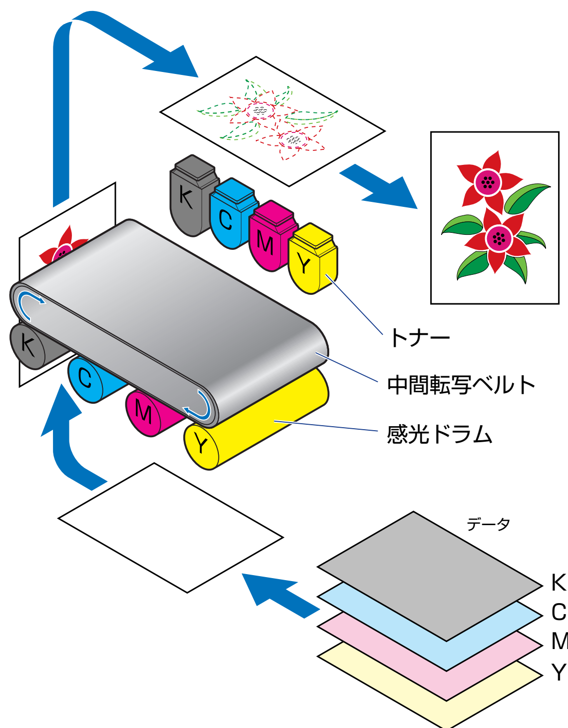
カラーバー

カラープリントのしくみ

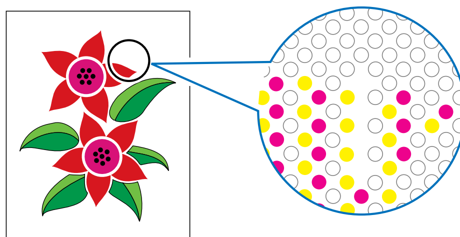
カラープリンタは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の細かな点の集まりで画像の形や色を表現します。
このため、プリンタに入力された画像データは、Y、M、C、K の４色に分解されます。



そして、これらのデータをそれぞれの別のカートリッジで現像して、中間転写ベルトに転写され、トナーが用紙に転写されます。



トナーが用紙に転写されると、定着器を通り、排紙されます。



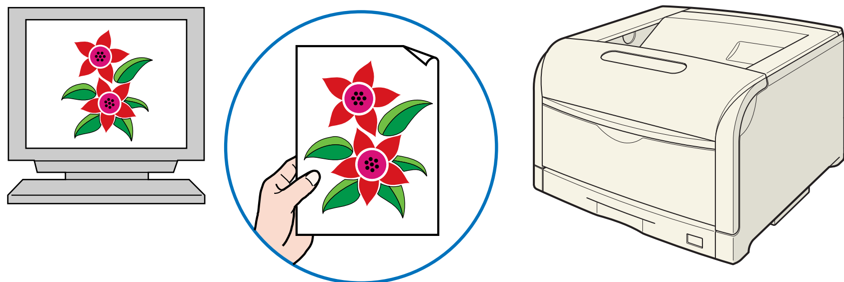
より美しく快適にカラープリントするために

カラープリントが思った色にならなかったり、画質が低下したり、プリントに長時間かかったりしたのではプリンタの能力も半減です。ちょっとした調整や気遣いで、プリンタの能力を 100% 活用しましょう。

■ ディスプレイの色補正をする

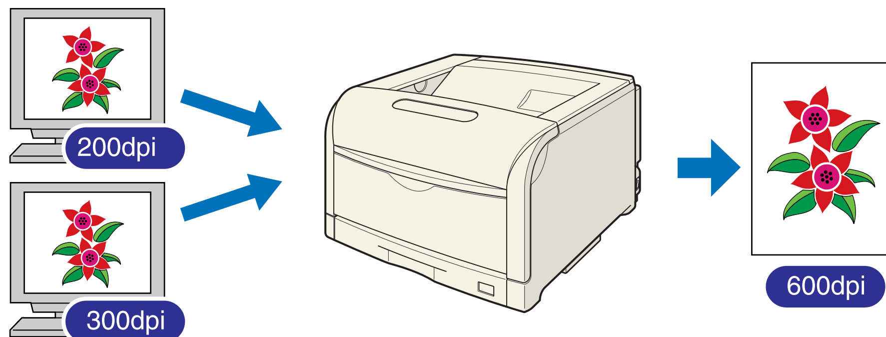
ディスプレイに見えている色が正しい色とは限りません。ディスプレイに見えている色を基準にカラープリントをしても、ディスプレイの表示色が狂っていると、プリントの色とは違ってきます。

アプリケーションソフトに付属しているカラーサンプルや色補正ツールなどを使い、ディスプレイの表示色とプリントの色が近づくように補正します。



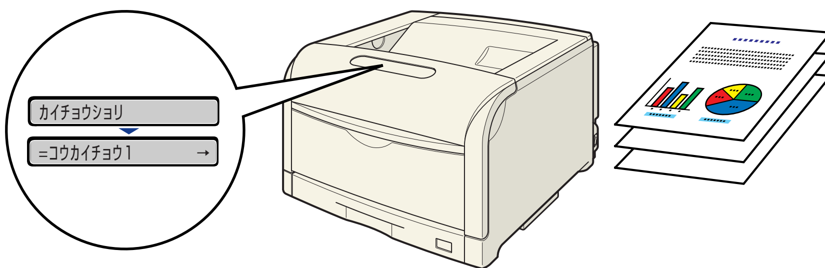
■ 解像度を合わせる

プリントするデータの解像度をどんなに高くしても、プリンタの解像度以上の画質は得られません。プリントするサイズで 600dpi あれば十分です。データの解像度が高すぎると、プリント処理に時間がかかるばかりでなく、データの容量も大きくなります。逆に、データの解像度が低すぎると十分な画質が得られません。
画像処理のアプリケーションソフトなどで、プリントするデータの寸法や解像度を調べ、300 または 200dpi 解像度にしておきます。



■ プリントの内容に応じてプリントモードを選択する

文章や簡単な図形が中心の報告書やプレゼン資料、カラーを使っていないモノクロのデータなど高画質を必要としない文書は、標準の階調（階調モード 1）でプリントします。これらのモードに切り替えることにより、高速にプリントできます。カラー写真や複雑なイラストなどをきれいにプリントするときは、高階調（高階調モード 2）でプリントします。データに応じてモードを使い分けることで、効率的にプリントできます。



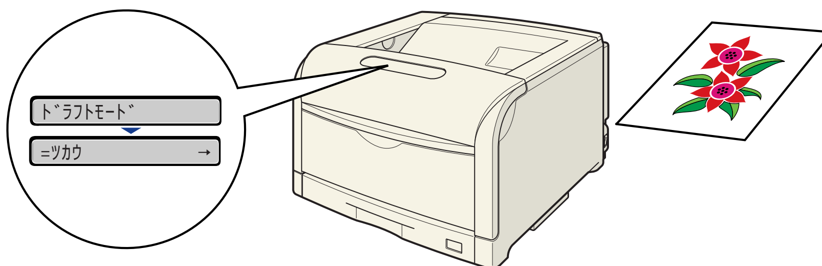


階調の設定方法については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

6 付録

■ 文字やレイアウトの確認はドラフトモードを利用する

原稿の内容やレイアウトのチェックをするとき、プリントの文字や配置だけわかればよい場合は、ドラフトモードでプリントします。ドラフトモードでプリントすることで、トナーの消費を大幅に節約できます。





ドラフトモードの設定方法については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

6

付録

おもな仕様

■ ハードウェアの仕様

<table>
<tr><td colspan="2">形式</td><td>デスクトップ型ページプリンタ</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリント方式</td><td>電子写真方式（オンデマンド定着）</td></tr>
<tr><td colspan="2">解像度</td><td>1200dpi(スーパーファインモード) ／ 600dpi(ファインモード)</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリント速度　普通紙 (64 ～ 105g/m²)</td><td>A4 連続プリント時　30 ページ／分
* プリント速度は、用紙サイズや用紙タイプ、プリント枚数、定着モードの設定により段階的に遅くなることがあります。（これは熱による故障などを防止するための安全機能が働くためです。）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ウォームアップ時間（20 ℃）</td><td>0 秒
・電源オン時は 30 秒以下
・スリープモード 2（プリンタスリープモード）時は 30 秒以下</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファーストプリント時間</td><td>A4 プリント時
モノクロ　約 7.5 秒
カラー　約 9 秒
* 出力環境によって異なる場合があります。（最大 19 秒以下）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">用紙サイズ</td><td>カセット 1</td><td>A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ
最大積載枚数　約 250 枚　(64g/m²)</td></tr>
<tr><td>カセット 2（オプション）</td><td rowspan="3">・定形サイズ
A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ
・ユーザ設定サイズ
縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm
最大積載枚数　約 550 枚　(64g/m²)</td></tr>
<tr><td>カセット 3（オプション）</td></tr>
<tr><td>カセット 4（オプション）</td></tr>
<tr><td>手差しトレイ</td><td>・定形サイズ
A3、B4、A4、B5、A5、12 × 18、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ、ハガキ、往復ハガキ、4 面ハガキ、封筒洋形 4 号、封筒洋形 2 号、封筒角形 2 号
・ユーザ設定サイズ
縦置きの場合：幅 98.0 ～ 312.0mm、長さ 148.0 ～ 457.2mm
横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm
・長尺紙
幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 457.3 ～ 1200.0mm
最大積載枚数　約 100 枚　(64g/m²)</td></tr>
</table>

自動両面プリント	・定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17)、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ユーザ設定サイズ 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm 横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm
排紙方式	フェースダウン
排紙積載枚数	排紙トレイ　約 250 枚（64g/m^2）
稼働音（ISO9296 に基づく公表騒音放出値）	音響パワーレベル スタンバイ時：暗騒音（4.0B 以下） プリント時：6.6B 以下 音圧レベル（バイスタンダ位置） スタンバイ時：25db［A］以下 プリント時：52db［A］以下
使用環境（プリンタ本体のみ）	動作環境温度 10 ～ 30 ℃ 湿度 10 ～ 80%RH（結露しないこと）
電源	100V ± 10%（50 / 60Hz ± 2Hz）
消費電力（20 ℃時）	動作時平均　約 493W*[1] スタンバイ時平均　約 25W*[1] パネルオフモード（スリープモード 1）時平均　約 25W*[1] プリンタスリープモード（スリープモード 2）時平均　約 9W*[1] 最大 1300W*[2] 以下 *[1] 本体標準状態での値です。 *[2] この値は起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

消耗品	**トナーカートリッジ**	・キヤノン純正品 Toner Cartridge 502 Black（ブラック） プリント可能ページ数　約 10,000 ページ * * A4サイズ、5%印字比率、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合
		・キヤノン純正品 Toner Cartridge 502 Yellow（イエロー） ・キヤノン純正品 Toner Cartridge 502 Magenta（マゼンタ） ・キヤノン純正品 Toner Cartridge 502 Cyan（シアン） プリント可能ページ数　約 6,000 ページ * * A4サイズ、5%印字比率、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合
	ドラムカートリッジ	・キヤノン純正品 Drum Cartridge 502 Black（ブラック） ・キヤノン純正品 Drum Cartridge 502 Yellow（イエロー） ・キヤノン純正品 Drum Cartridge 502 Magenta（マゼンタ） ・キヤノン純正品 Drum Cartridge 502 Cyan（シアン） プリント可能ページ数　約 50,000 ページ *1*2*3 *1 このページ数は下記の条件でのページ数です。 用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、連続 / 片面印刷 *2 2 枚ずつ間隔をあけて印刷（2 枚間欠印刷）を行なう場合の本プリンタ用ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、ブラック約 45,000 ページ、カラー各色約 40,000 ページとなります。この数値はカラー印刷のみを行った場合の印刷可能なページ数です。 モノクロ印刷をした場合でも、各カラーのドラムカートリッジの消耗は進むため、モノクロ印刷を多く行ったときには、各カラーのドラムカートリッジの寿命が半分程度の枚数になることがあります。 *3 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。
	定着器	キヤノン純正品 FUSER KIT UM-98F プリント可能ページ数　約 150,000* ページ *A4 サイズ片面プリントの場合
	廃トナー容器	キヤノン純正品廃トナーボックス WT-98B*1*2 *1 本プリンタ用廃トナー容器（キヤノン純正品）は、約 6,200 ページでいっぱいになります。 このページ数は下記の条件でのページ数です。 用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定、2 枚間欠 / 片面印刷 *2 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。

質量	**プリンタ本体および同梱品**	プリンタ本体 （トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは除く）....... 約 52kg トナーカートリッジ（ブラック）...................................... 約 0.4kg トナーカートリッジ（イエロー、マゼンタ、シアン）.... 約 0.3kg ドラムカートリッジ... 約 1.9kg 定着器 .... 約 2.9kg 廃トナー容器 .... 約 0.2kg
	消耗品、定期交換部品およびオプション品	トナーカートリッジ（ブラック）（キヤノン純正品）.. 約 0.4kg*[1] トナーカートリッジ（シアン、イエロー、マゼンタ） （キヤノン純正品）... 約 0.3kg*[1] ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）....................... 約 1.9kg*[2] 定着器（キヤノン純正品）... 約 2.9kg*[3] 廃トナー容器（キヤノン純正品）.................................. 約 0.2kg*[4] ペーパーフィーダユニット PF-98（カセット含む）....... 約 11kg ペディスタル（ボックスタイプ）...................................... 約 24kg ペディスタル（キャスタタイプ）..................................... 約 8.7kg *[1] トナーカートリッジは以下のキヤノン純正品の場合 Toner Cartridge 502 Black Toner Cartridge 502 Yellow Toner Cartridge 502 Magenta Toner Cartridge 502 Cyan *[2] ドラムカートリッジは以下のキヤノン純正品の場合 Drum Cartridge 502 Black Drum Cartridge 502 Yellow Drum Cartridge 502 Magenta Drum Cartridge 502 Cyan *[3] 定着器は以下のキヤノン純正品の場合 FUSER KIT UM-98F *[4] 廃トナー容器は以下のキヤノン純正品の場合 廃トナーボックス WT-98B

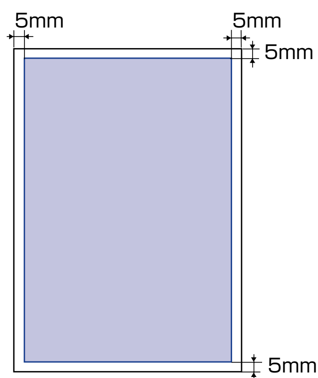
■ コントローラの仕様

CPU	PowerPC 750CXr（400MHz*） * 上限とする周波数の値です。
メモリ（RAM）容量	標準 128MB オプションの拡張 RAM により、最大 384MB まで拡張可能
ホストインタフェース	パラレルコネクタ（IEEE1284 準拠）× 1 個 USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）× 1 個 LAN コネクタ（10BASE-T/100BASE-TX）× 1 個
ユーザインタフェース	LCD16 桁× 1 段 LED ランプ 10 個 操作キー 8 個
RAM スロット	1
ROM スロット	1
拡張ボードスロット	1

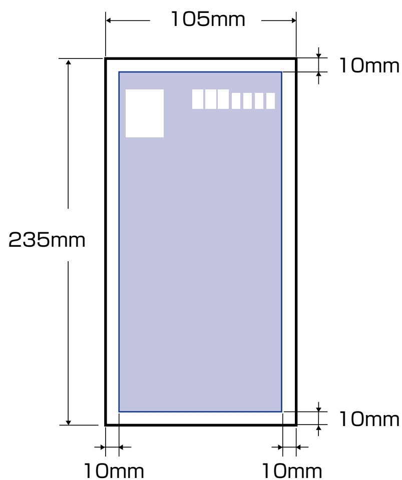
■ ソフトウェアの仕様

内蔵コントロールコマンド	LIPS II+ ／ LIPS III ／ LIPS IV ／ LIPS LX	
エミュレーションコマンド	内蔵	ESC/P
	オプション	N201（標準 N201）、I5577、HP-GL 商品名：CR-HIT
内蔵スケーラブルフォント	平成明朝体 TMW3*、平成角ゴシック体 TMW5*、ラインプリンタボールド、ガーランド * これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。 Courier、Dutch、Swiss、Symbol	
有効印字領域	上下左右とも周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲には印字できません。（LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。） * 用紙いっぱいにデータがある場合、「印字領域を広げて印刷する」にチェックしてプリントしても、データの周囲が欠けて印字されることがあります。その場合はプリンタドライバでデータが欠けないように縮小率を設定し、プリントしなおしてください。	

●普通紙、厚紙、コート紙、ラベル用紙、ハガキ、往復ハガキ、4面ハガキ



●封筒　（洋形4号の例）



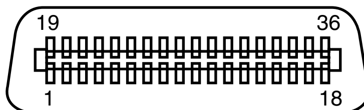
6
付録

インタフェース仕様

パラレルインタフェース（IEEE1284 準拠）

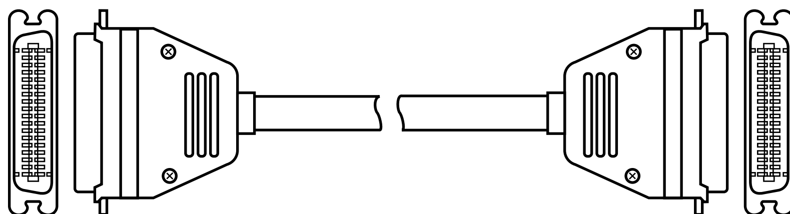
■ 信号線とピン配置

ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	STROBE	19	GND(STROBE)
2	DATA0	20	GND(DATA0)
3	DATA1	21	GND(DATA1)
4	DATA2	22	GND(DATA2)
5	DATA3	23	GND(DATA3)
6	DATA4	24	GND(DATA4)
7	DATA5	25	GND(DATA5)
8	DATA6	26	GND(DATA6)
9	DATA7	27	GND(DATA7)
10	ACK	28	GND(PERROR, SELECT, ACK)
11	BUSY	29	GND(BUSY, FAULT)
12	PERROR	30	GND(AUTOFD, SELECT IN, INIT)
13	SELECT	31	INIT
14	AUTOFD	32	FAULT
15	AUXOUT1	33	AUXOUT2
16	Logic GND	34	AUXOUT3
17	Chassis GND	35	AUXOUT4
18	Peripheral Logic High	36	SELECT IN



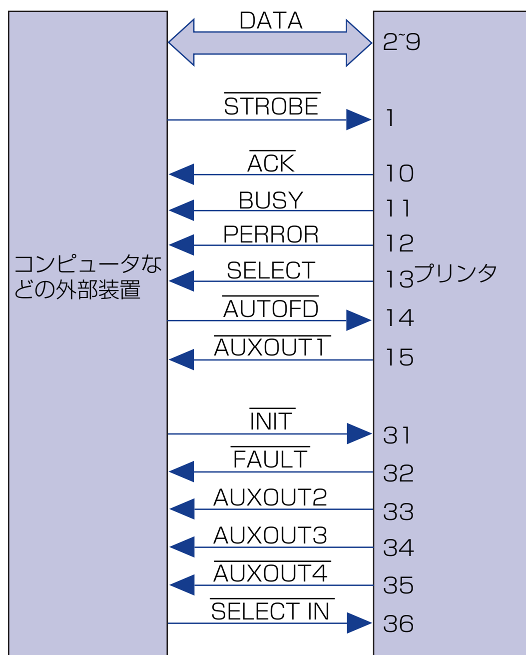
メモ　「AUXOUT」は、拡張用の信号出力で、現在は未使用です。

■ コネクタおよびケーブル



コネクタ：第一電子工業　57FE-30360 または相当品。
ケーブル：シールドケーブル（最長 3m）。

■ 結線図



索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

設置サービスのご案内

本プリンタの設置は、設置ガイドおよびユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。

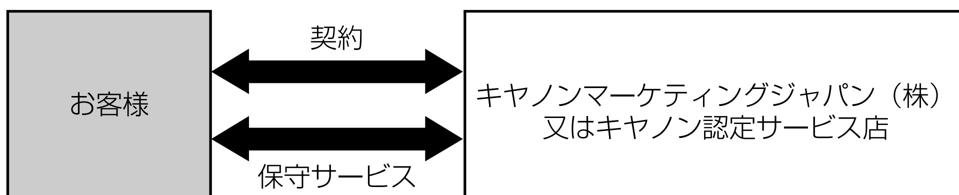
保守サービスのご案内

■ **ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために**

このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



キヤノン保守契約制度のメリット

■ **都度の修理料金は不要**

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ **保守点検の実施**

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

■ 簡単登録

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ 電話一本

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ 固定料金

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。

キヤノンサービスパックの登録有効期間は、本体ご購入後 90 日以内となります。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

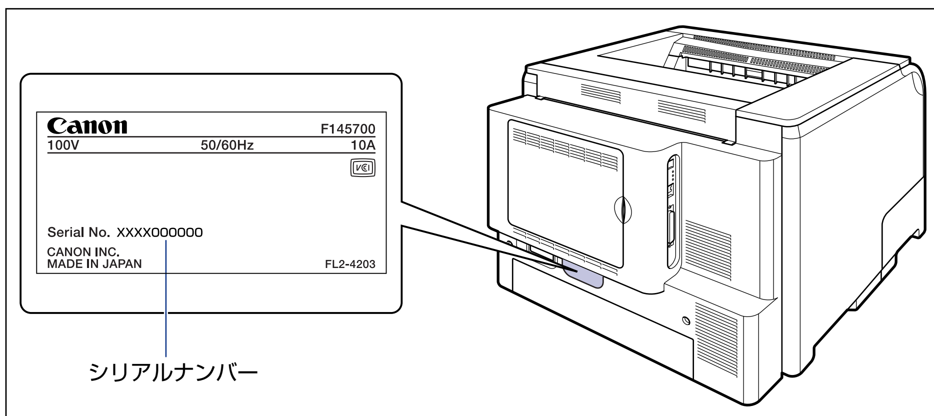
- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

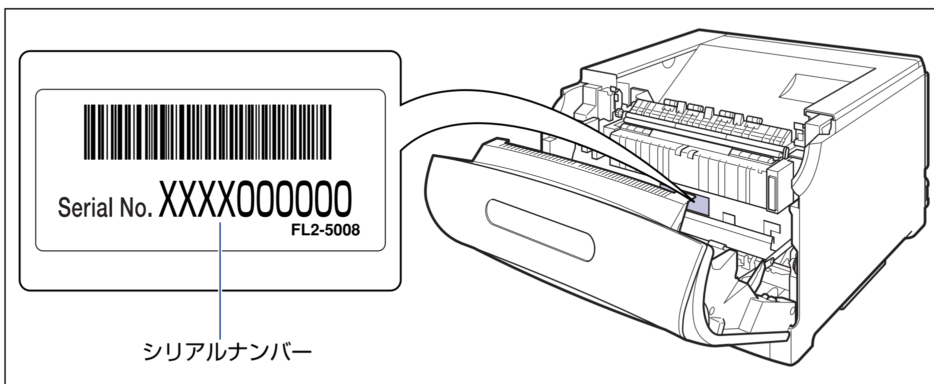
本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

重要　シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

■ 本体背面

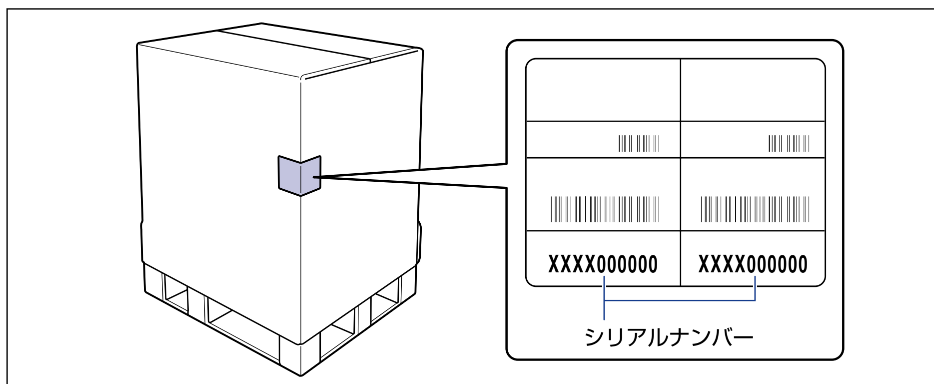


■ プリンタ内部



6
付録

■ 梱包箱外側



6
付録

定期交換部品のご案内

本プリンタでは、定期交換部品として以下のものが用意されています。ITB ユニット、二次転写ローラ、給紙ローラは専門のサービスマンが行います。お客様での交換はできませんので、本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。定着器につきましては、お客様での交換も可能です。本プリンタをお買い求めの販売店などでお買い求めください。サービスマンが定期交換部品を交換した場合には、部品代と技術料、訪問料金が別途必要となります。



定期交換部品は、以下の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境やプリントする用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

定期交換部品	交換の目安	用途
定着器	150,000ページ（A4横片面）	トナーを用紙に定着させるためのユニットです。寿命をすぎると、画像不良や用紙のしわの原因になります。
ITBユニット	150,000ページ（A4横片面）	4色のトナーを用紙に転写させるためのユニットです。
二次転写ローラ	150,000ページ（A4横片面）	4色のトナーを用紙に転写させるためのローラです。
給紙ローラ（給紙カセット、手差しトレイ）	150,000ページ（A4横片面）	給紙カセット、手差しトレイから用紙を給紙するためのローラです。

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。



キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

［受付時間］ <平日> 9:00～20:00 <土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ：http://canon.jp

USRM1-0917 (00)